



第7回

学生の生活実態と満足度に関する調査報告書

2021年度

日本赤十字看護大学

本調査のねらい

この調査は、本学の学生さんの現在の生活の実態と満足度を知り、大学生生活をよりよいものにするために行ったものです。前回実施した調査結果と比較して、その後どのように変化したのかを探り、今後の学生の皆さんのよりよい環境づくりに活かしていくことがねらいです。

■ 調査テーマ 日本赤十字看護大学の学生の学習・生活に関する意識・実態調査

■ 調査方法 自記式質問紙調査

■ 対象と抽出方法 2021年度4月時点の大学1～4年生および大学院生（ただし留学生、社会人経験者を除く）。質問紙の回数総数693部、うち白紙3部を除き計690部（看護学部527部、さいたま看護学部：163部）を有効回答数として集計対象とした。

■ 有効回答数 看護学部527名、さいたま看護学部163名

■ 調査時期 看護学部2021年12月～2022年1月 さいたま看護学部2022年4月

■ 調査項目 全82項目程度：1. 生活実態（現在住んでいる住居／現在の住居に対する満足度／収入の状況／支出状況／アルバイトによる収入の状況／学内課外活動／生活時間／健康状態／食生活／悩みや不安／学生相談室の利用／今後の学生相談室の利用／大学生活／卒業後の進路）、2. 学生生活に関する満足度（担当教員への満足度／保健室への満足度／学生相談室への満足度／経済的支援への満足度／事務職員に対する満足度／図書館の利用に関する支援に対する満足度／生協や自動販売機などのサービスに対する満足度／課外活動に対する満足度／ハラスメント防止のための支援に対する満足度／国際交流・留学に関する支援に対する満足度／就職・キャリアに関する支援に対する満足度／国家支援に関する支援に対する満足度／目安箱に対する満足度／施設・設備に対する全般的な満足度／学生生活に対する全般的な満足度／学生の出身高校の所在地／学部生の入試形態

■ 集計方法 学部別（看護学部、さいたま看護学部）、学年別に全設問の基本集計を行った。集計にあたっては学年の特定ができなかったものを無回答とした。

■ 調査票の回収数と回収率（%）

学年	看護学部		さいたま看護学部	
学部1年生	109名	(75.7%)	85名	(96.6%)
学部2年生	114名	(79.7%)	77名	(87.5%)
学部3年生+編入	138名	(95.2%)	—	
学部4年生+編入	118名	(76.6%)	—	
大学院生	47名	(32.6%)	—	
大学院修士（看護学専攻）1年	22名	(81.5%)	—	
大学院修士（看護学専攻）2年以上	14名	(41.2%)	—	
大学院修士（国際保健助産学専攻）1年	5名	(31.3%)	—	
大学院修士（国際保健助産学専攻）2年以上	3名	(18.8%)	—	
大学院博士1年	0名	(0.0%)	—	
大学院博士2年	0名	(0.0%)	—	
大学院博士3年以上	3名	(11.1%)	—	
大学院（共同災害看護学専攻）	0名	(0.0%)	—	
無回答	1名		1名	
計	527名	(65.7%)	163名	(92.6%)

●目次●

1. 生活実態.....	1
(1) 現在住んでいる住居	1
(2) 現在の住居に対する満足度.....	3
(3) 収入の状況.....	6
(4) 支出状況	12
(5) アルバイトによる収入の状況	22
(6) 課外活動	37
(7) 生活時間	60
(8) 健康状態	72
(9) 食生活	74
(10) 悩みや不安.....	78
(11) 学生相談室の利用.....	83
(12) 今後の学生相談室の利用.....	85
(13) 大学生活.....	87
(14) 卒業後の進路.....	104
2. 学生生活に関する満足度.....	109
(1) 担当教員への満足度	109
(2) 保健室への満足度	111
(3) 学生相談室への満足度	113
(4) 経済的支援への満足度	115
(5) 事務職員に対する満足度	117
(6) 図書館の利用に関する支援に対する満足度	119
(7) 生協や自動販売機などのサービスに対する満足度	121
(8) 課外活動に対する満足度	123
(9) ハラスメント防止のための支援に対する満足度	125
(10) 国際交流・留学に関する支援に対する満足度.....	127
(11) 就職・キャリアに関する支援に対する満足度	129
(12) 国家試験に関する支援に対する満足度	131
(13) 目安箱に対する満足度	133
(14) 施設・設備に対する全般的な満足度	135
(15) 学生生活に対する全般的な満足度	137
(16) 学生の出身高校の所在地.....	139
(17) 学部生の入試形態.....	141
3. 附録（調査表）.....	143

1. 生活実態

- ✓ 約 7 割以上が実家（1 年生が 9 割弱、大学院生は 7 割が実家以外）、現在の住居には約 8 割の学生が満足と回答
- ✓ 約 8 割の学生がアルバイトをしており、月額平均 3 万円～7 万円程度の収入がある
- ✓ 課外活動は約半数の学生が参加、実際に活動しているのは 3 割程度。大学が主催するプログラムの要望は「救急法の講習会」「海外研修」等があげられた
- ✓ 学期中と実習期間中の睡眠時間に平均 2 時間の差あり。学習時間は専門科目・基礎科目それぞれで 30 分～2 時間未満
- ✓ 約半数が健康状態は良好、欠食も少なかったが、大学院生の不調が 2 割と憂慮すべき状況
- ✓ 進路や学業への能力的問題で悩み・不安を抱える学生が 6 割、学生相談室の認知・利用のしやすさが課題
- ✓ 入学して良かったと 9 割弱が肯定的。専門性の高さ、教員の質、教育体制が手厚い点が評価されていた。一方設備面に対し、食堂やロッカーの改善、図書館や自習スペースの開放時間などがあげられた
- ✓ 8 割が卒業後は病院等に就職と回答、一方大学院生は半数が「まだ決めていない」
- ✓ 大学への要望には、就職・進学支援、国家試験対策などがあげられた

(1) 現在住んでいる住居

全体では 75.9%が「実家」と回答していた。「実家」の割合は 1 年生が最も多く 88.1%、2 年生は 1 年生とほぼ同割合、3 年生は約 3 割が「実家以外」と回答していた。4 年生は 3 年生よりもわずかに「実家」の割合が多く、大学院生は 74.5%が「実家以外」と回答していた。

質問 1. 現在、住んでいる住居の種類についてお聞きします。下記の項目の中から 1 つ選んで○をつけてください。

図1-1.現在、住んでいる住居の種類(全体)



図1-2.現在、住んでいる住居の種類(看護学部)

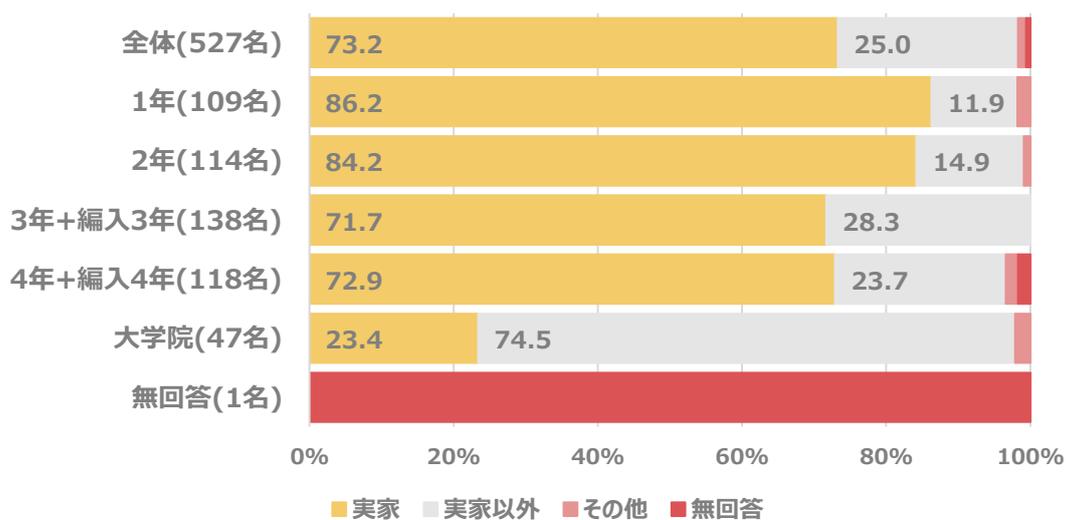
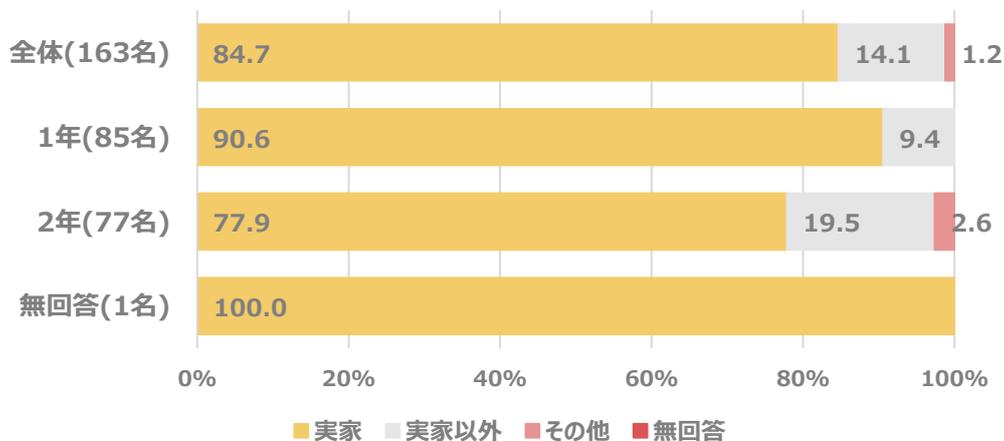


図1-3.現在、住んでいる住居の種類(さいたま看護学部)



(2) 現在の住居に対する満足度

現在の住居に対する満足度は、全体では 78.0%が「満足している」と回答しており、キャンパスごと・学年ごとの分布には大きな差がなかった。現在の住居に満足していない 13.2%（全体）の理由として最も多かったのは「学校から遠い」で 46.7%、「その他」を除き、「狭い（12.5%）」、「家賃が高い（9.2%）」が続いた。看護学部、さいたま看護学部を比較すると「学校から遠い」については、さいたま看護学部のほうが回答割合が高く 55.2%、看護学部では 45.0%だった。

質問 2. あなたは、現在の住居について満足していますか。

下記の中からあてはまるものを 1 つ選んで○をつけてください。

図2-1.現在の住居について満足していますか。(全体)



図2-2.現在の住居について満足していますか。(看護学部)

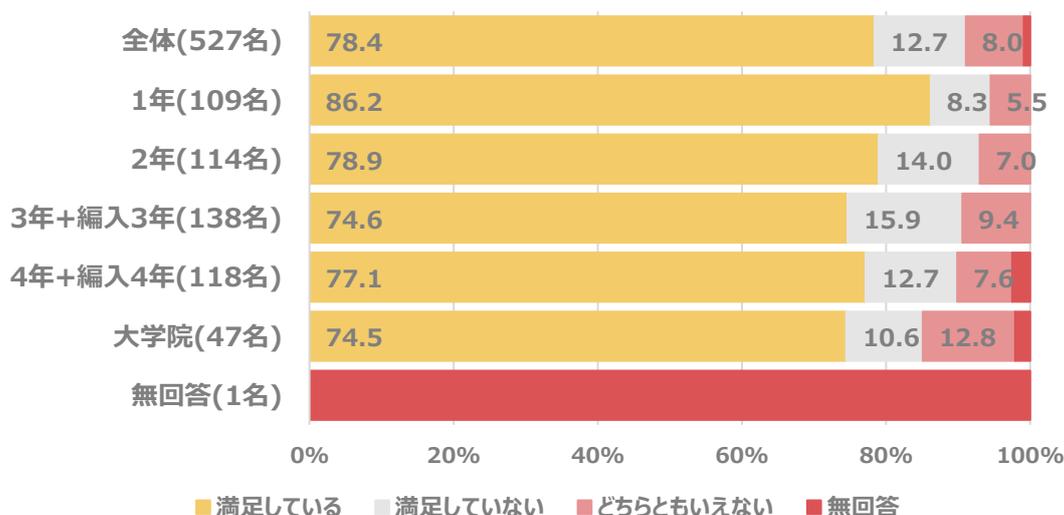
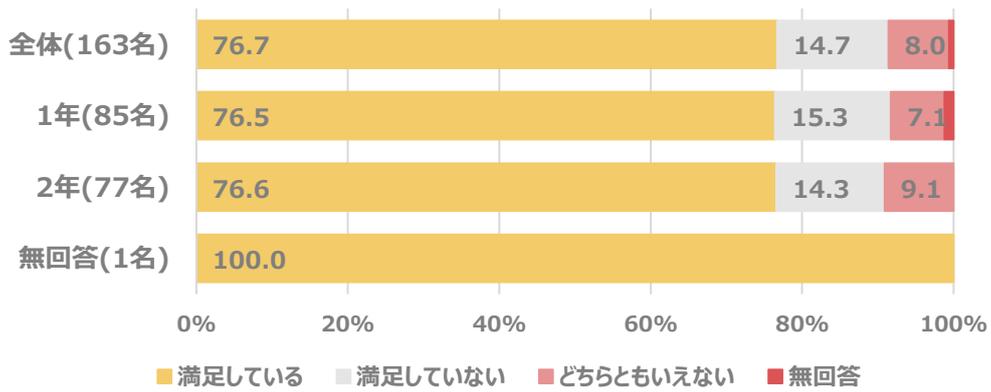


図2-3.現在の住居について満足していますか。
(さいたま看護学部)



質問2 - 1. [質問2で2.満足していない]を選択した方にお聞きします。
満足していない理由について、該当する項目全てに○をつけてください。

図3-1. (現在の住居に) 満足していない理由
(質問2で「2. 満足していない」を選択した方)(全体)

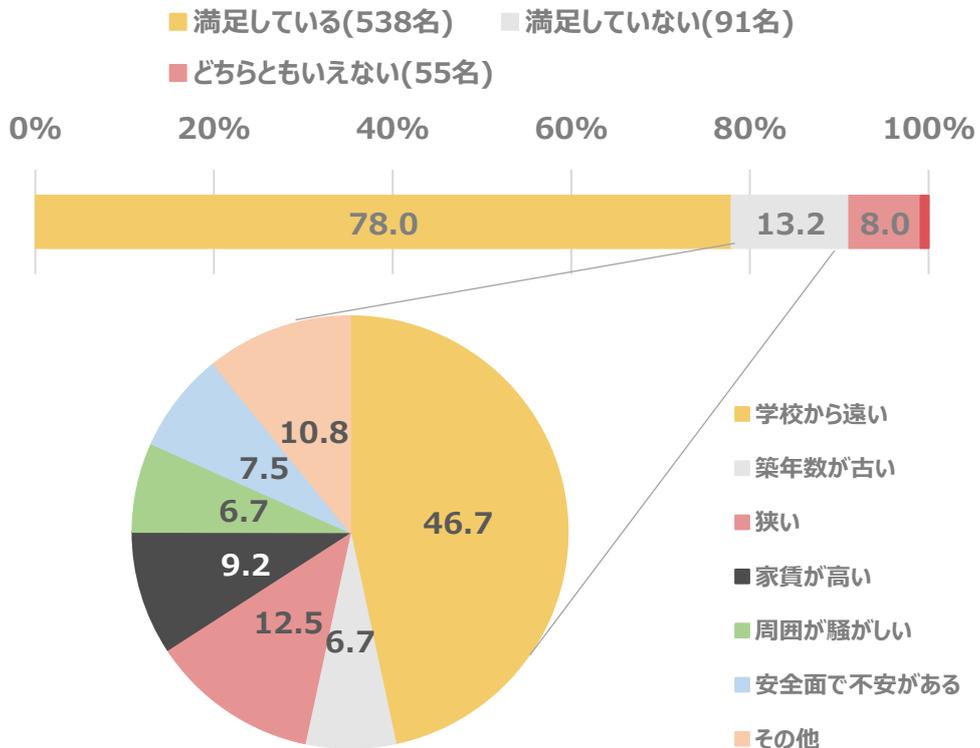


図3-2. (現在の住居に) 満足していない理由
(質問2で「2. 満足していない」を選択した方)(看護学部)

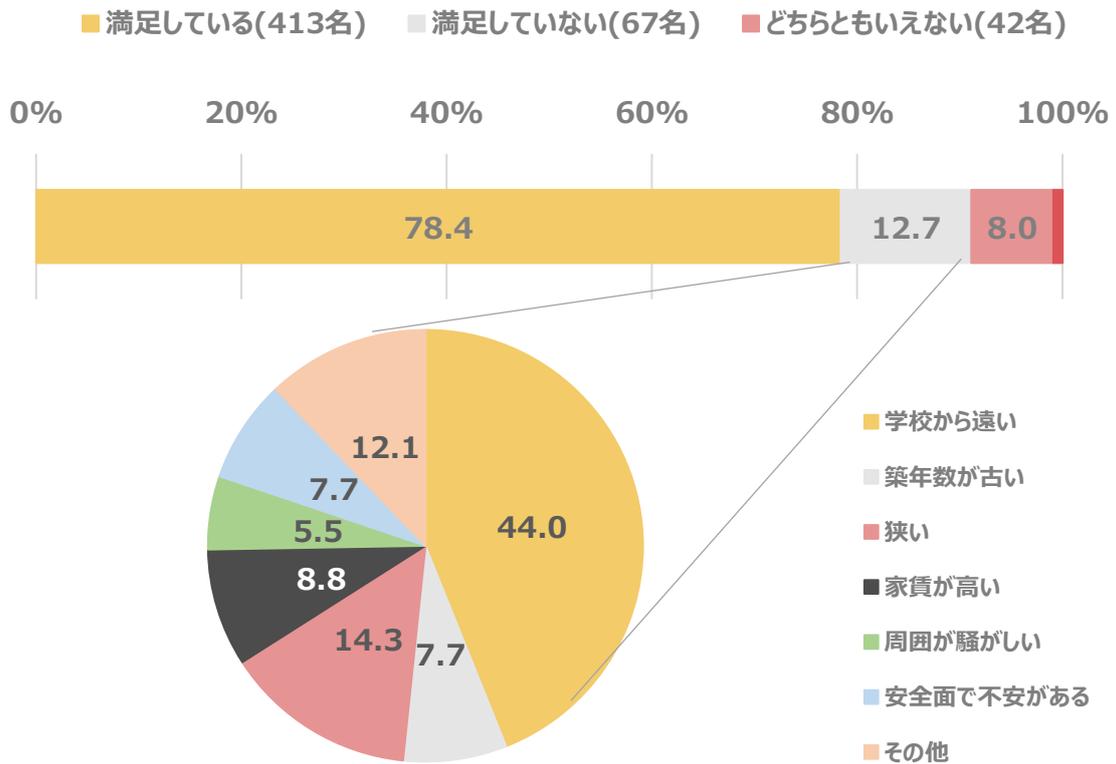
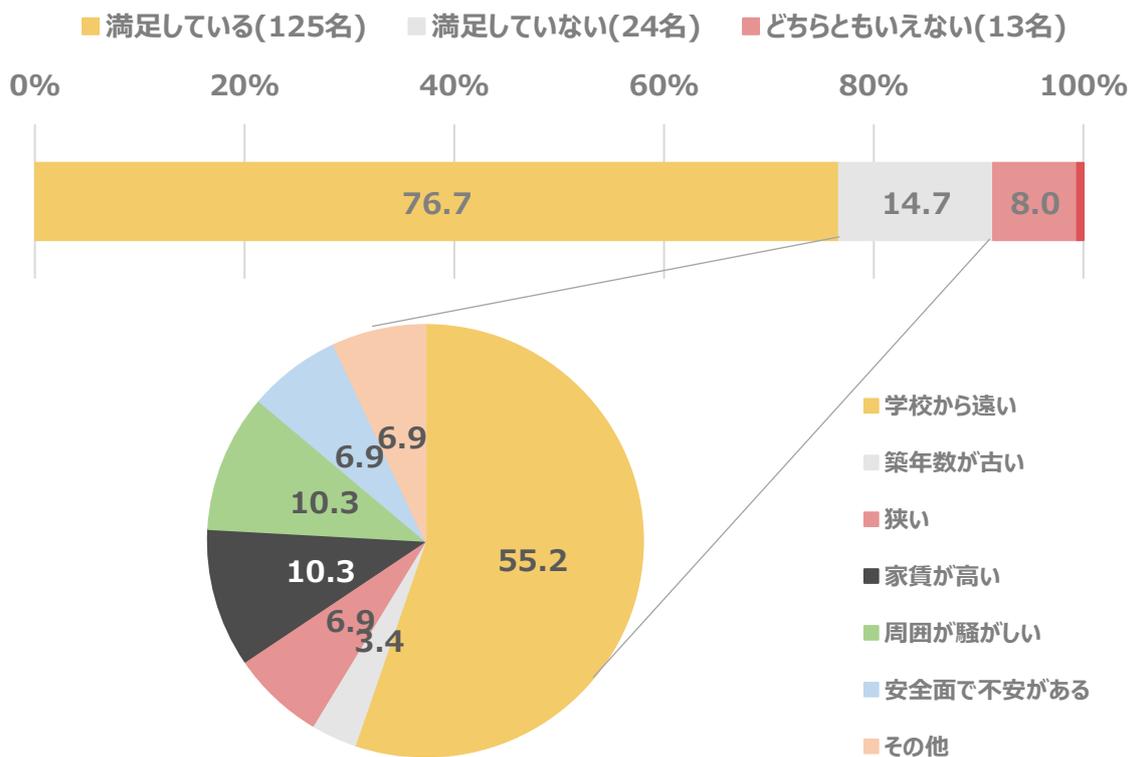


図3-3. (現在の住居に) 満足していない理由
(質問2で「2. 満足していない」を選択した方)(さいたま看護学部)



(3) 収入の状況

家族からの援助額（生活費）は、全体では「3万円未満」が最も多く66.5%だった。学年で比較すると「3万円未満」の割合は1年生が最も多く（74.2%）、一方大学院生は3万円以上の割合が51.1%であった。現在受けている奨学金は、全体では日本赤十字社都道府県支部および赤十字病院が最も多く21.4%であった。アルバイトによる収入は、全体では81.6%が「ある」と回答し、1年生から4年生まではいずれも80%を越えたが、大学院生は23.4%と低い割合だった。授業期間中の1か月のアルバイトの収入額は、全体の6割ほどの学生が3万円～7万円に分布していた。職場からの収入は、全体では64.6%が「ない」と回答していた。

質問3. 現在のあなたの1ヶ月の平均的な収入などについてお聞きします。

なお、以下の項目は全て学校納付金を除く経済生活とします。各項目について、それぞれあてはまるもの1つを選んで○をつけてください。

A) 家族からの援助額（生活費として）

図4-1. 家族からの援助額（生活費として）（全体）

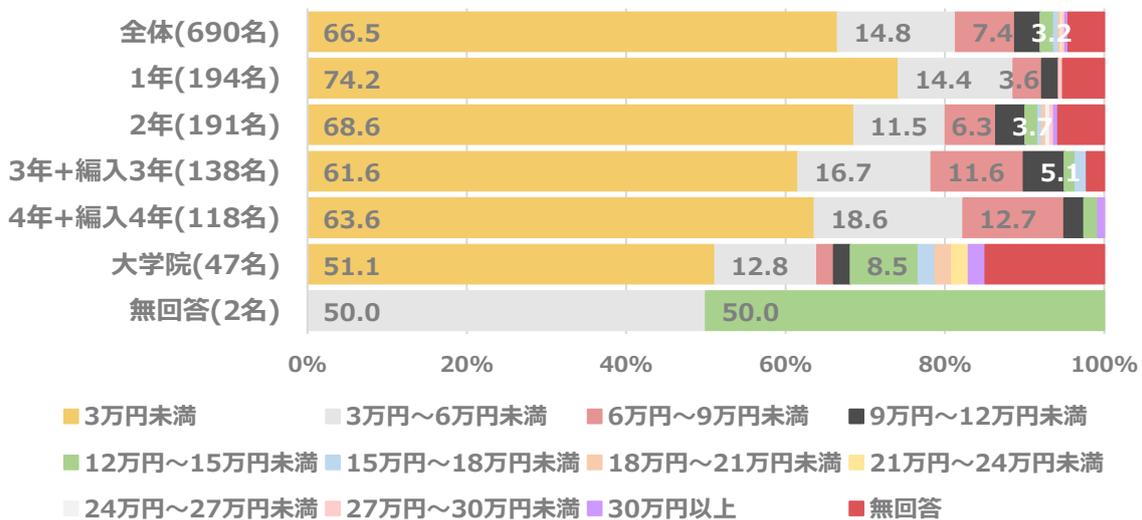


図4-2. 家族からの援助額（生活費として）（看護学部）

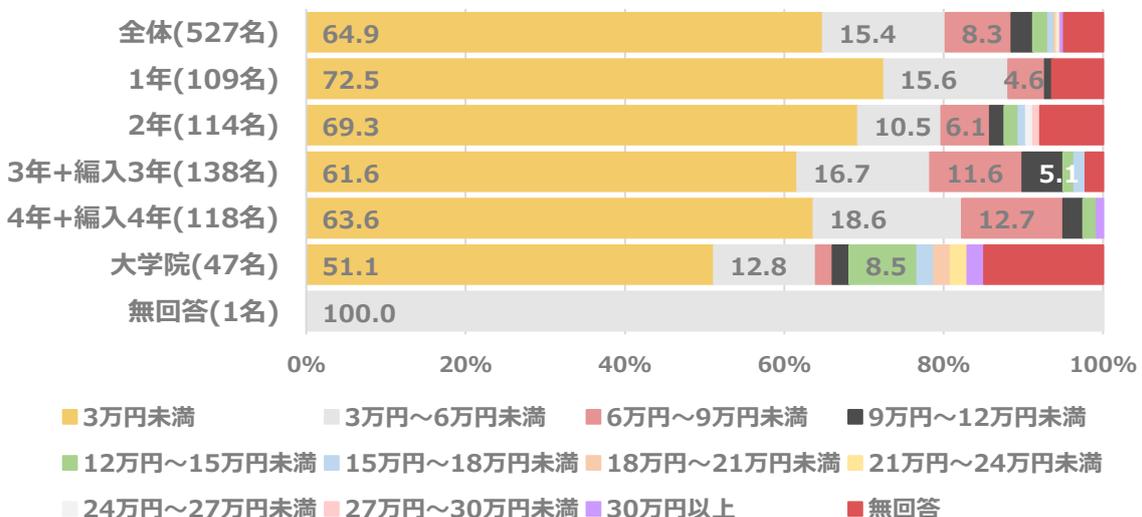
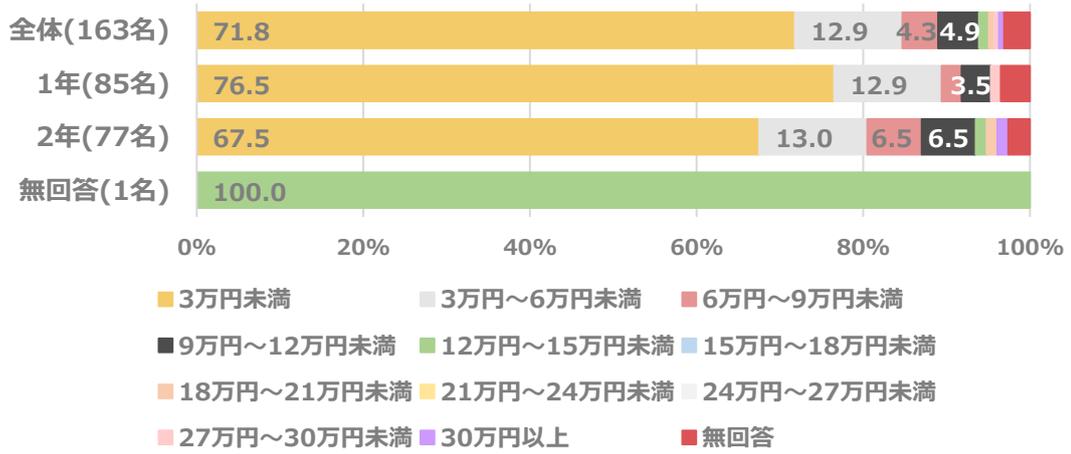


図4-3.家族からの援助額（生活費として）（さいたま看護学部）



B) 現在受けている奨学金の種類

図5-1.現在受けている奨学金の種類(全体)

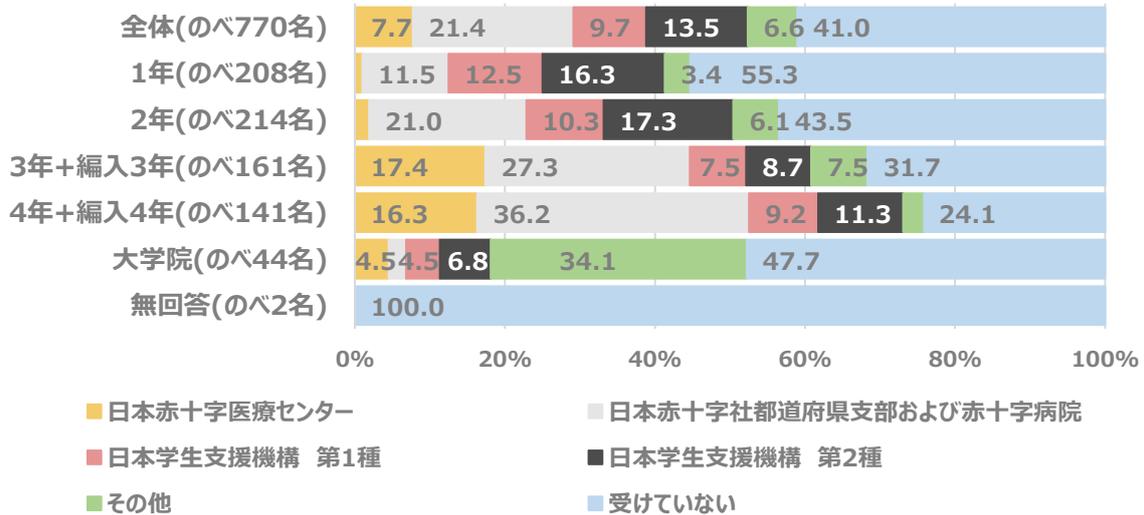


図5-2.現在受けている奨学金の種類(看護学部)

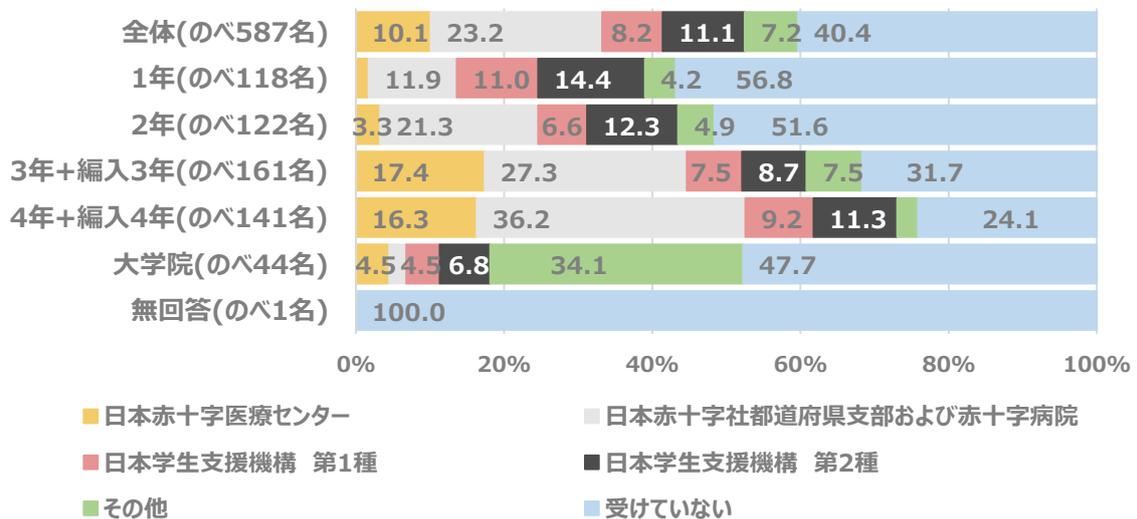
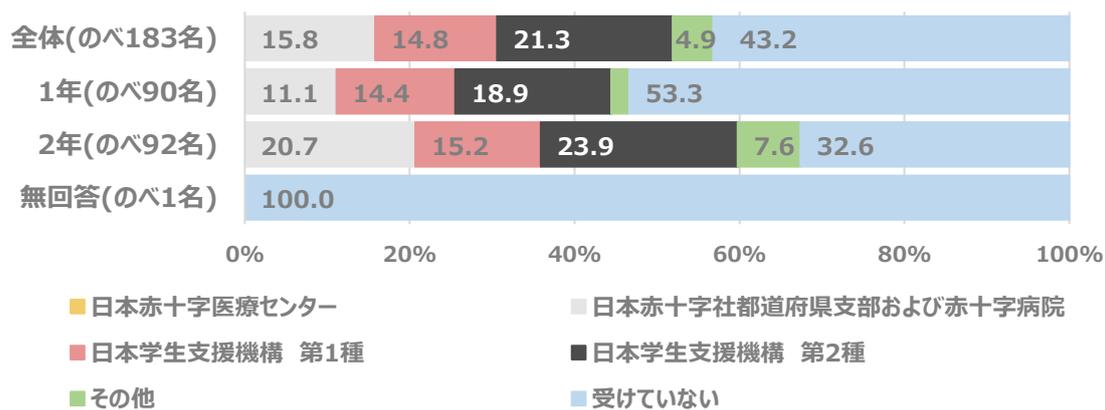


図5-3.現在受けている奨学金の種類(さいたま看護学部) (%)



C) アルバイトによる収入

図6-1.アルバイトによる収入(全体)

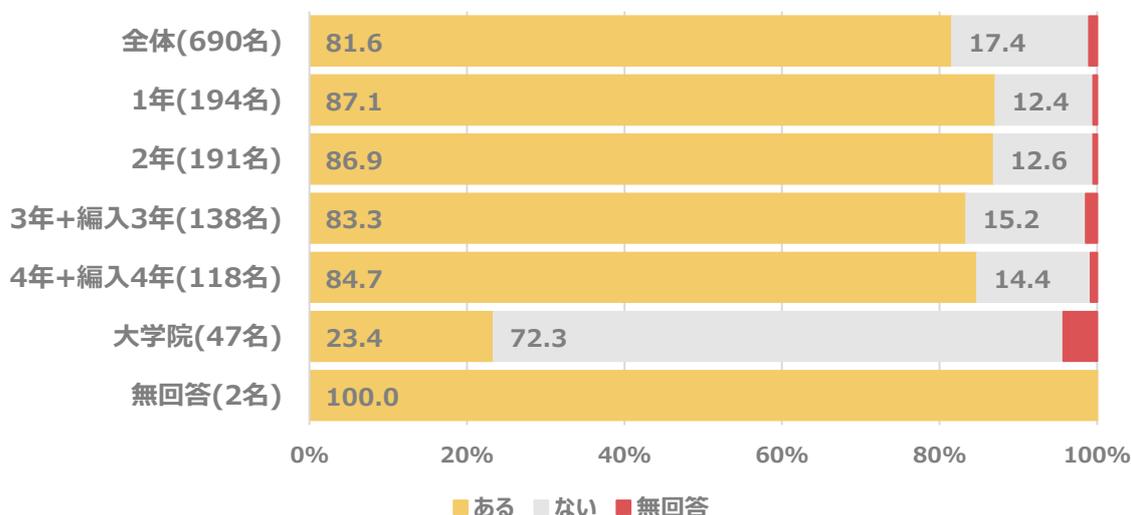
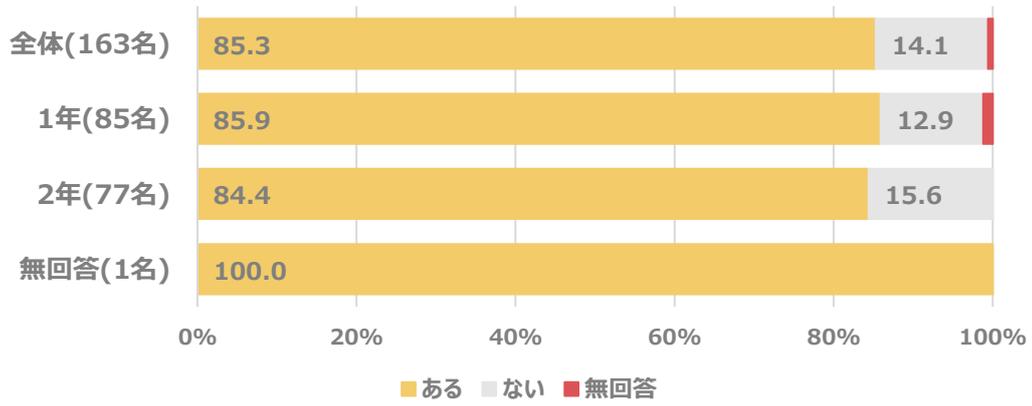


図6-2.アルバイトによる収入(看護学部)

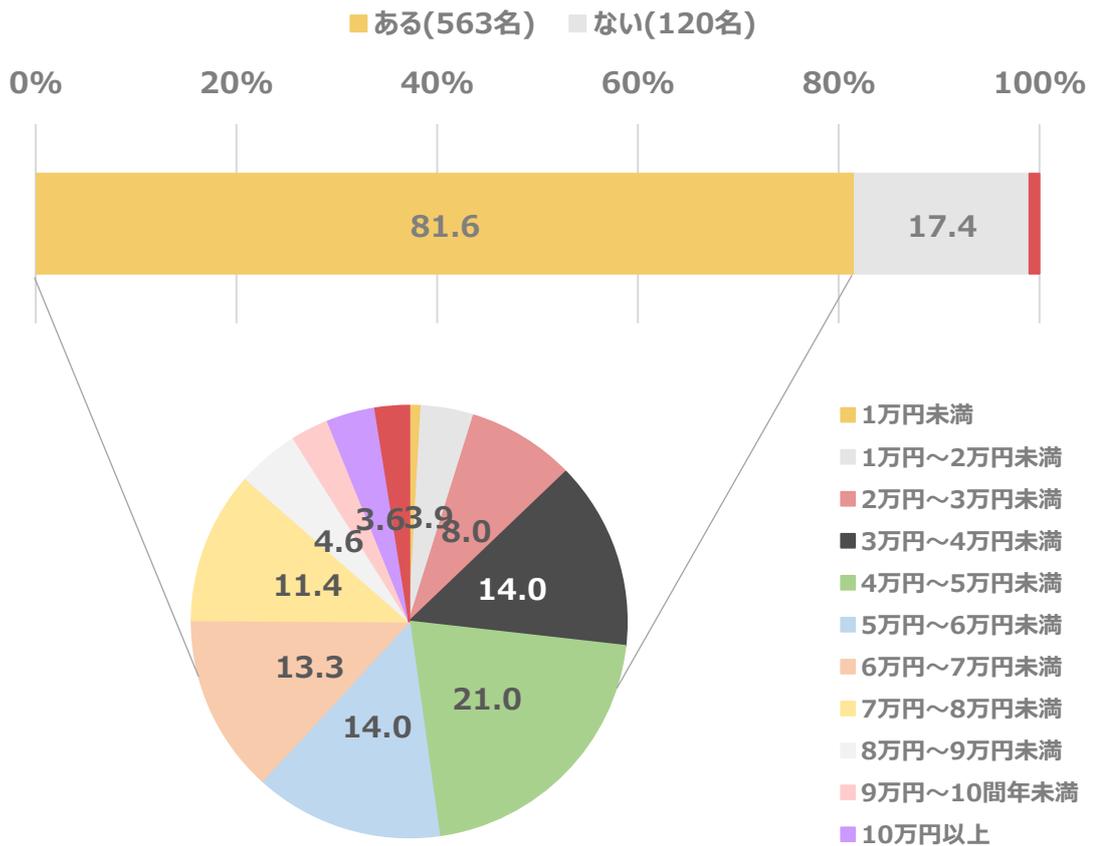


図6-3.アルバイトによる収入(さいたま看護学部)



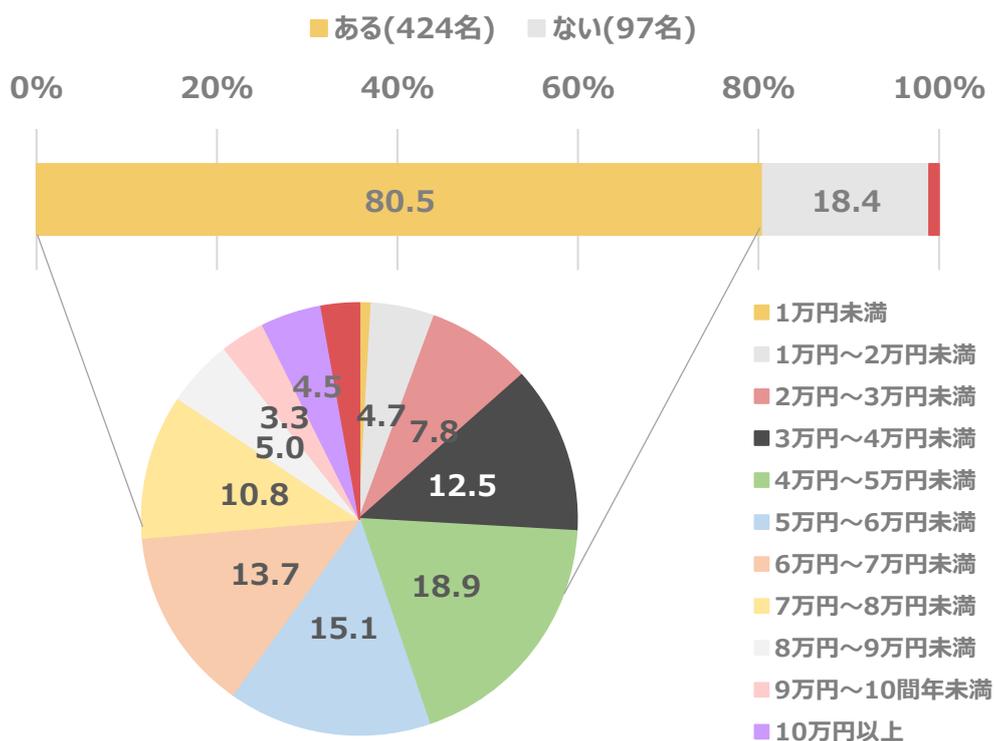
D) 授業期間中の1か月のアルバイトの収入額はいくらですか。1つだけ選んで○をつけてください。

図7-1.授業期間中の1か月のアルバイトの収入額(全体)



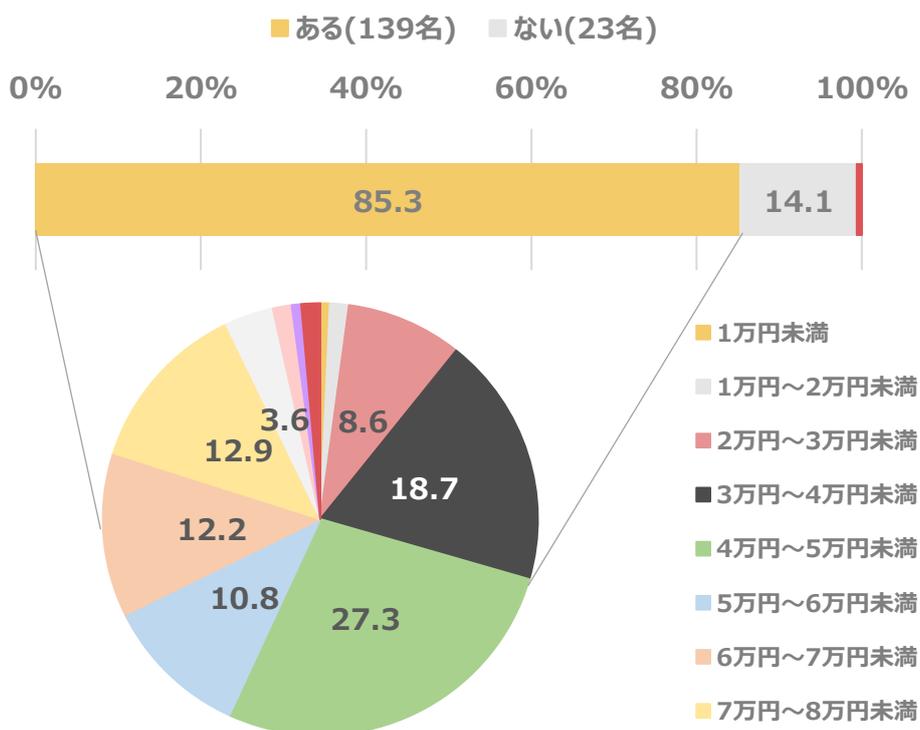
※1か月あたりの収入額

図7-2.授業期間中の1か月のアルバイトの収入額(看護学部)



※1 か月あたりの収入額

図7-3.授業期間中の1か月のアルバイトの収入額(さいたま看護学部)



※1 か月あたりの収入額

E) 職場からの収入

図8-1.職場からの収入(全体)

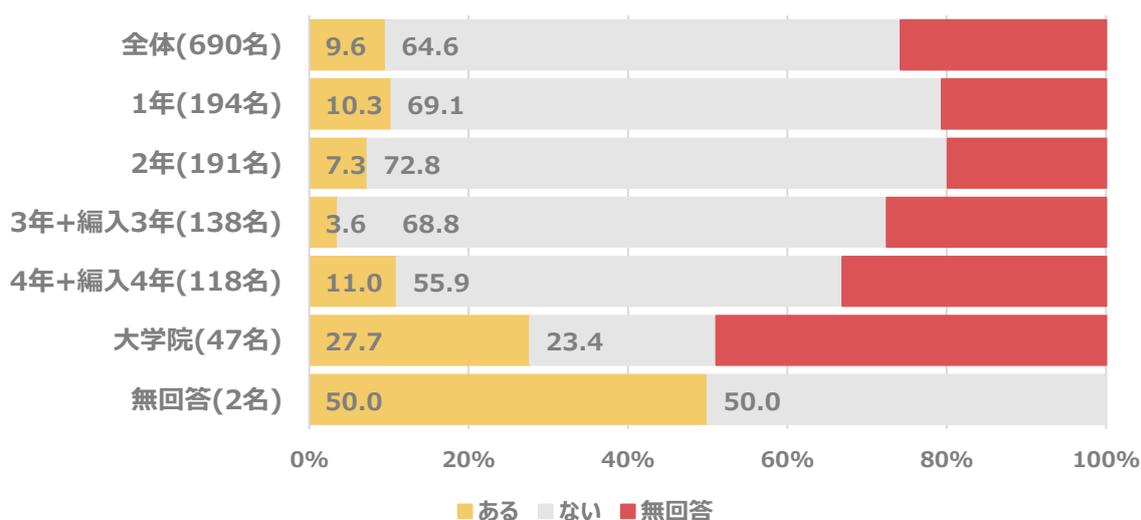


図8-2.職場からの収入(看護学部)

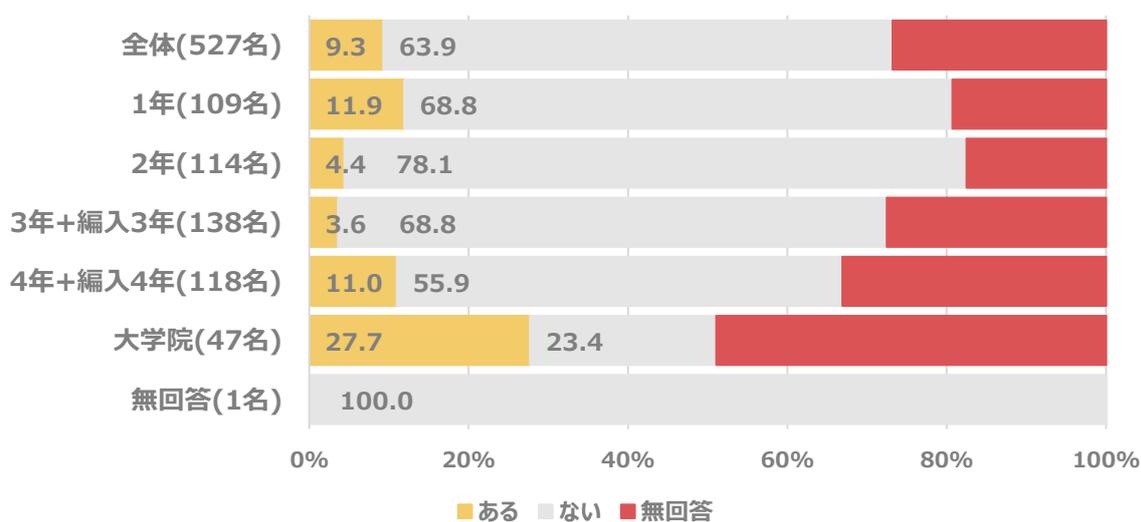
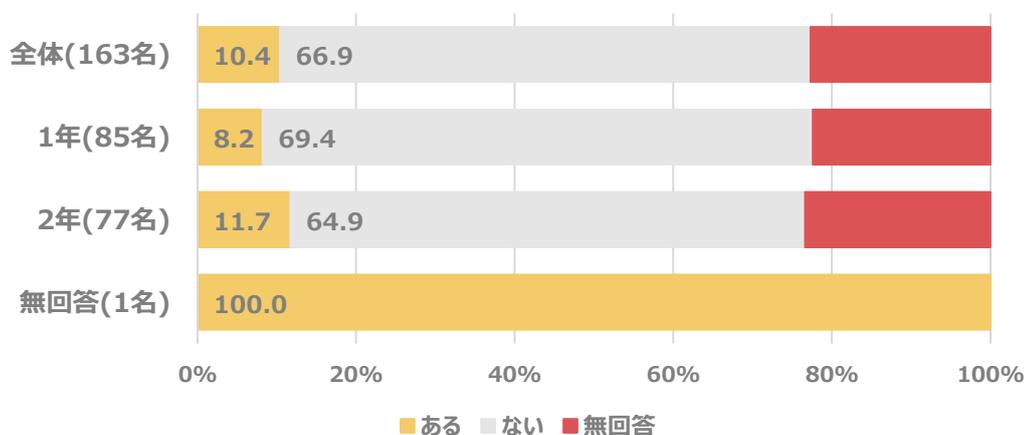


図8-3.職場からの収入(さいたま看護学部)



(4) 支出状況

1 か月あたりの総支出額は全体では 3 万円～6 万円未満が最も多く 40.0%であった。1 か月あたりの食費は 2 万円未満を回答した学生が 72.8%、住居費（家賃、高熱水費を含む）は自宅通学者を除き、全体では 3 万円未満が 25.4%、7 万円～11 万円が 24.3%と 2 極化していた。学部ごとにみると、看護学部は 7 万円～11 万円以上に分布、さいたま看護学部は 3 万円未満の分布が多かった。勉学費（学納金を除いた書籍、文具、コピー等に要する経費）は全体では 5 千円未満が 68.6%と最も多かったが、大学院生では 5 千円～1 万円が 46.8%と、1 年生～4 年生と比較して費用をかけていることが明らかとなった。なお、勉学費は 2 つのキャンパスで 2 年生の分布が少々異なり、看護学部では 70.2%が 5 千円未満と回答していたのに対し、さいたま看護学部では 5 千円未満が 63.2%、5 千円～1 万円未満と回答した人が 30.7%と、さいたま看護学部のほうが勉学費に少々多くの費用を費やしていることがわかった。通学費は 1 千円～1.5 万円に回答分布が集中していた。教養・娯楽は 41.4%が 5 千円未満と回答し最も多かった。嗜好品は 56.7%が 5 千円未満と回答し最も多かった。習い事の費用は全体の 87.5%が 5 千円未満と回答し最も多かった。

質問 4. 現在のあなたの 1 ヶ月の平均的な支出（自分自身に関わる支出のみ）などについてお聞きします。なお、以下の項目は全て学校納付金を除く経済生活とします。
各項目について、それぞれあてはまるもの 1 つを選んで○をつけてください。

A) 食費（自宅通学者は外食費）

図9-1.食費（自宅通学者は外食費）（全体）

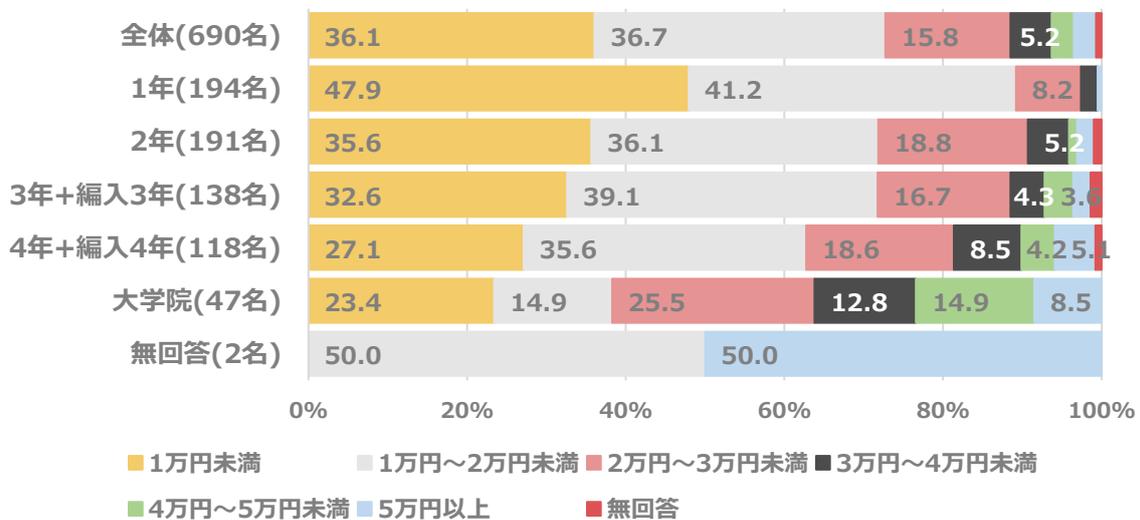


図9-2.食費（自宅通学者は外食費）（看護学部）

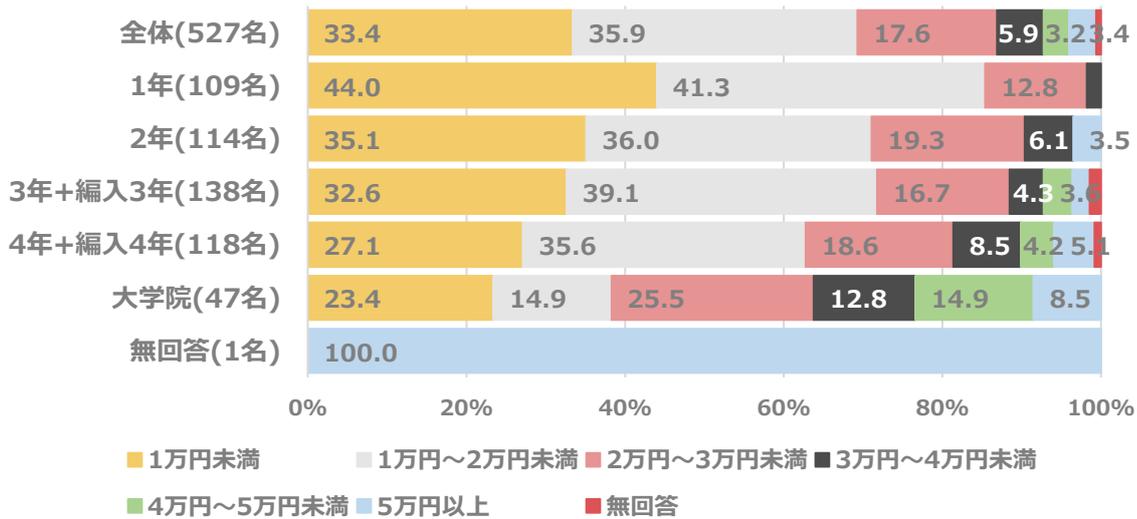
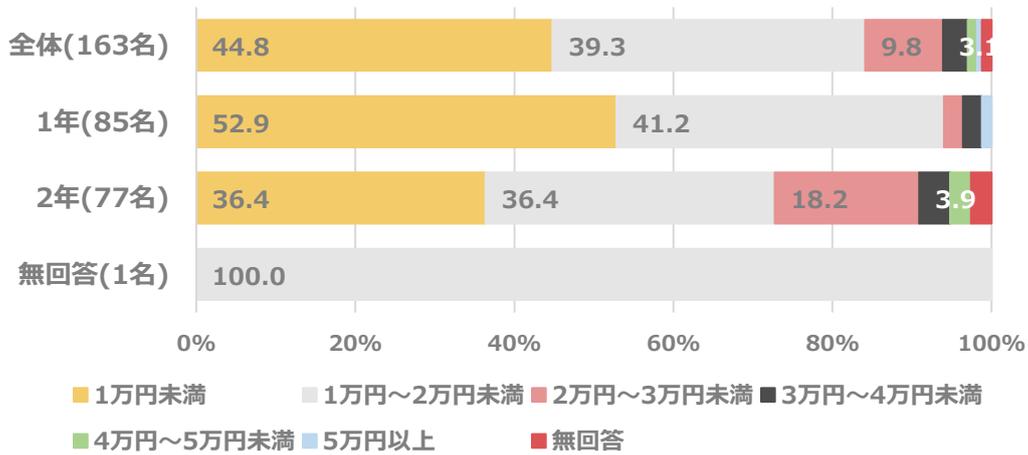


図9-3.食費（自宅通学者は外食費）（さいたま看護学部）



B) 住居費（家賃、高熱水費を含む）＜自宅通学者は除く＞

図10-1.住居費（家賃、高熱水費を含む）＜自宅通学者は除く＞
（全体）

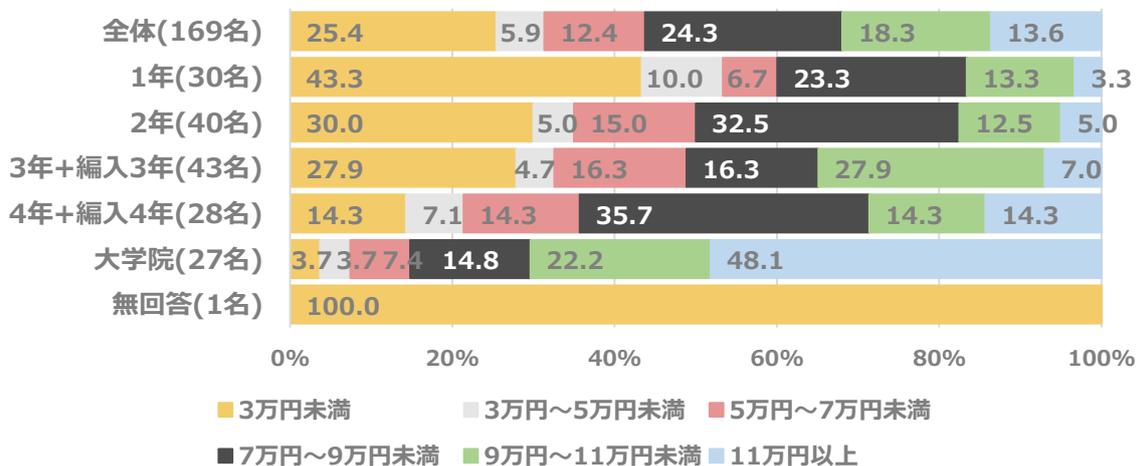


図10-2.住居費（家賃、高熱水費を含む）＜自宅通学者は除く＞
（看護学部）

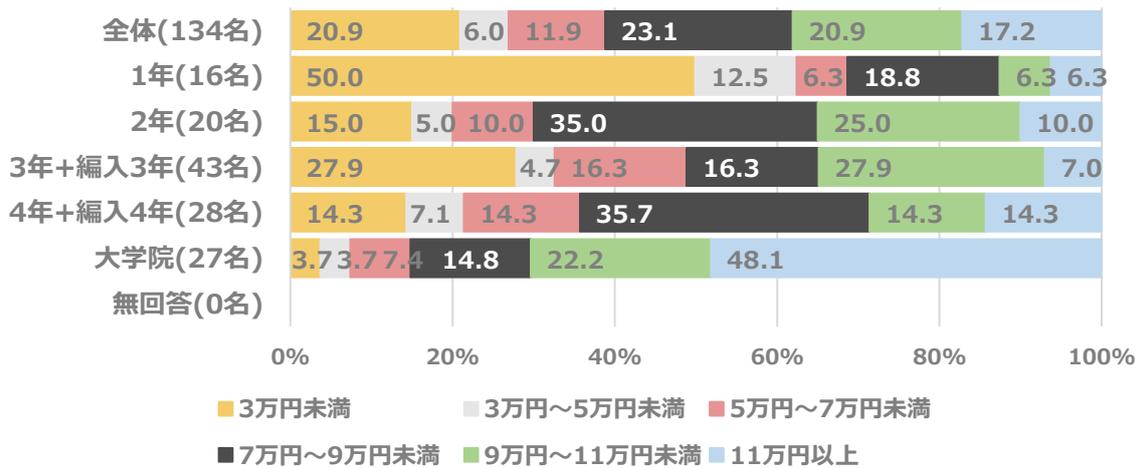
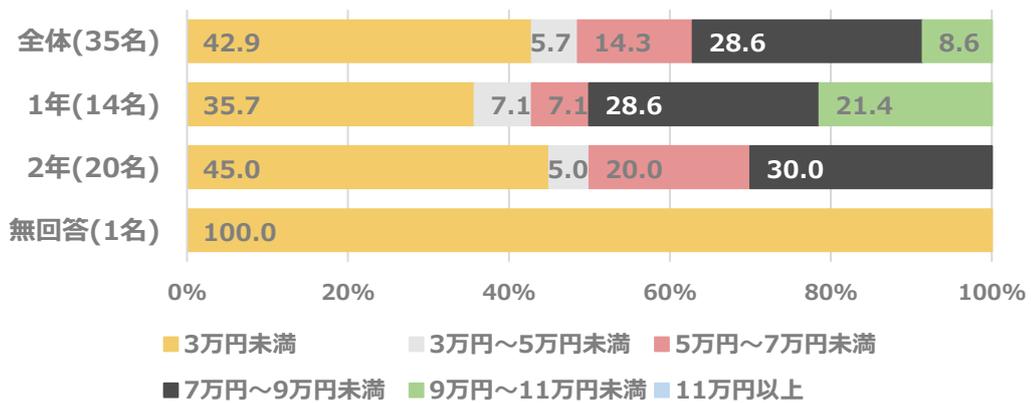


図10-3.住居費（家賃、高熱水費を含む）＜自宅通学者は除く＞
（さいたま看護学部）



C) 勉学費（学納金を除いた書籍、文具、コピー等に要する経費）

図11-1.勉学費（学納金を除いた書籍、文具、コピー等に要する経費）
（全体）

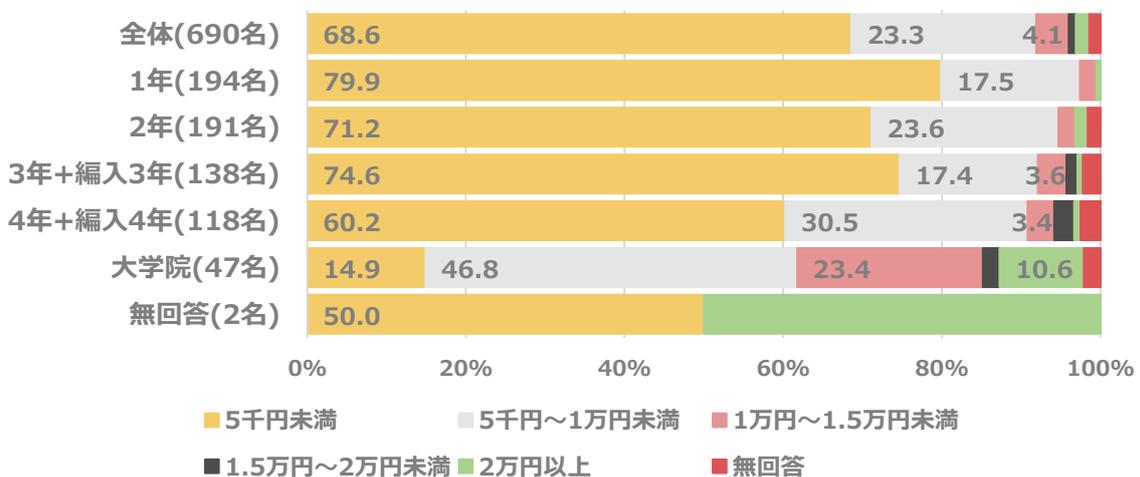


図11-2. 勉学費（学納金を除いた書籍、文具、コピー等に要する経費）
（看護学部）

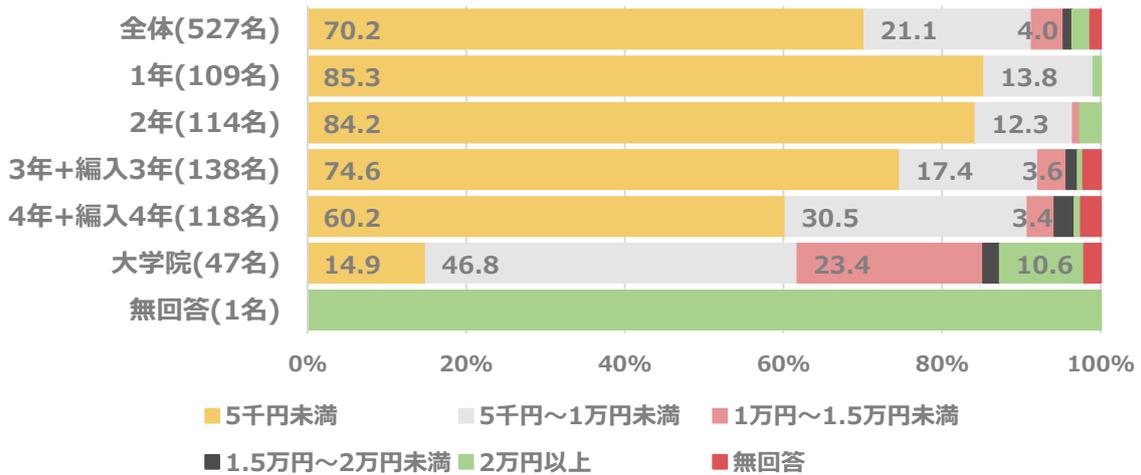
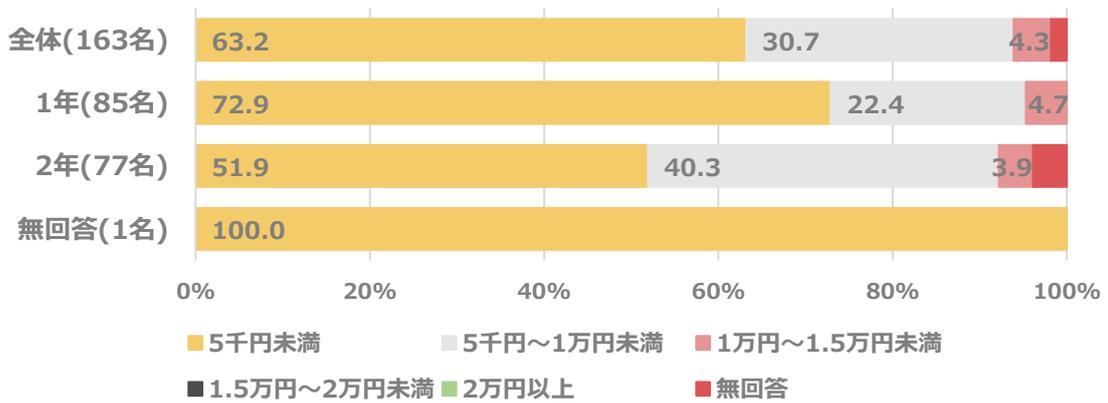


図11-3. 勉学費（学納金を除いた書籍、文具、コピー等に要する経費）
（さいたま看護学部）



D) 通学費

図12-1. 通学費(全体)

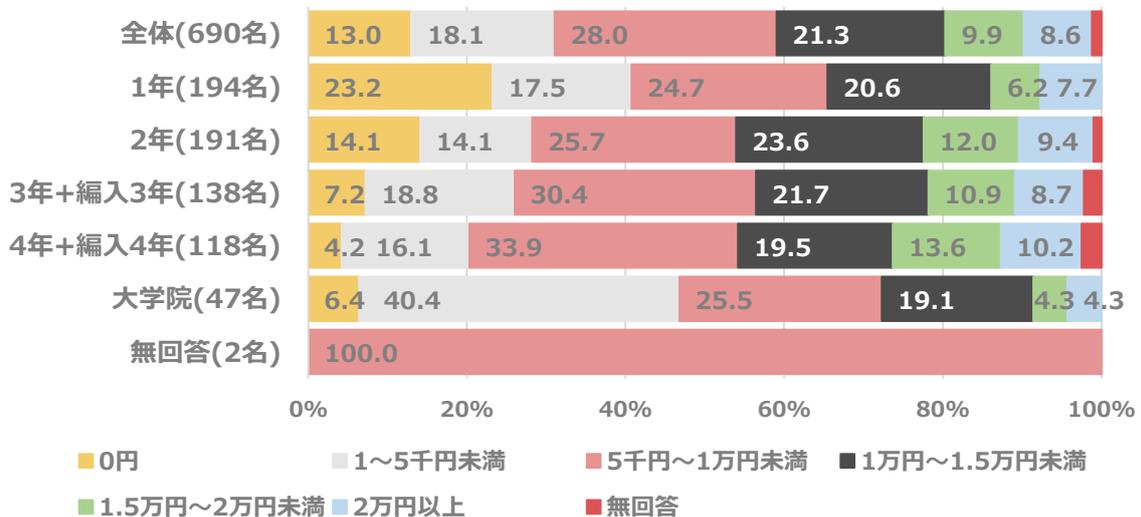


図12-2.通学費(看護学部)

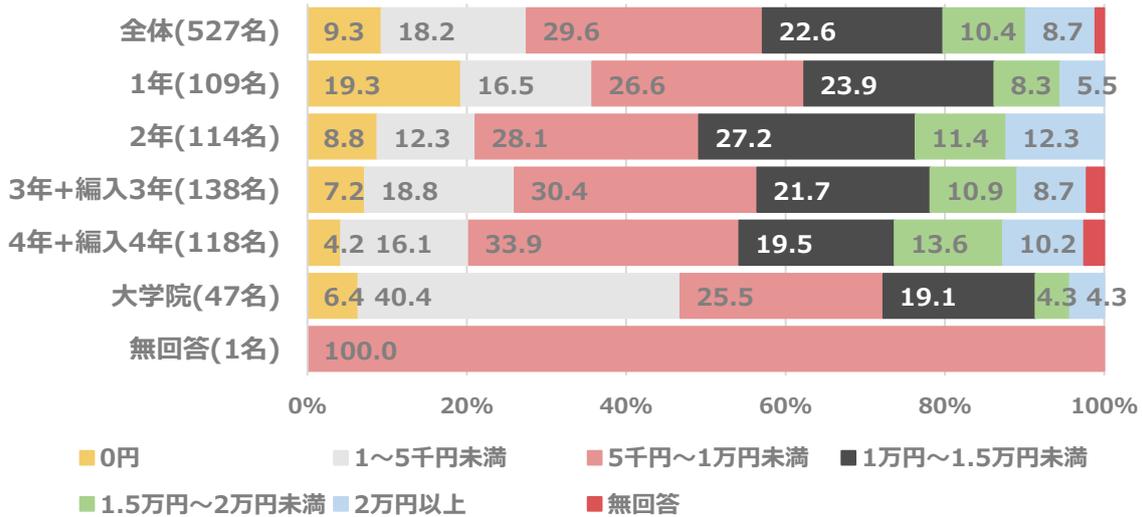
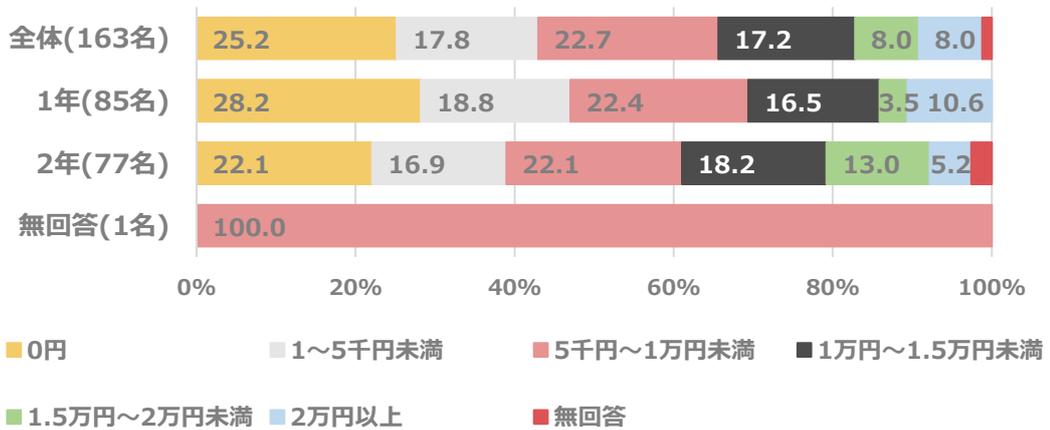


図12-3.通学費(さいたま看護学部)



E) 教養・娯楽

図13-1.教養・娯楽(全体)

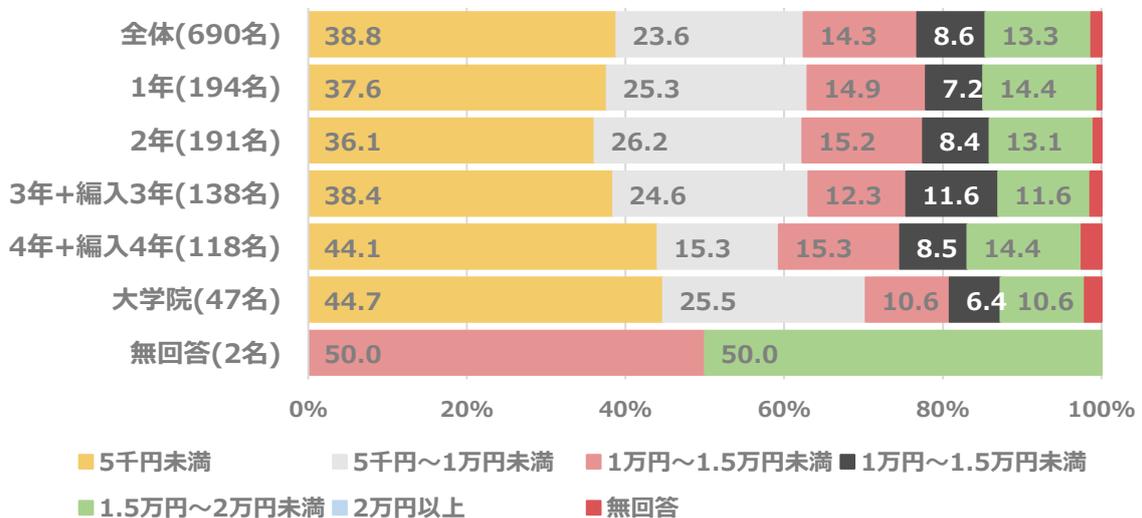


図13-2.教養・娯楽(看護学部)

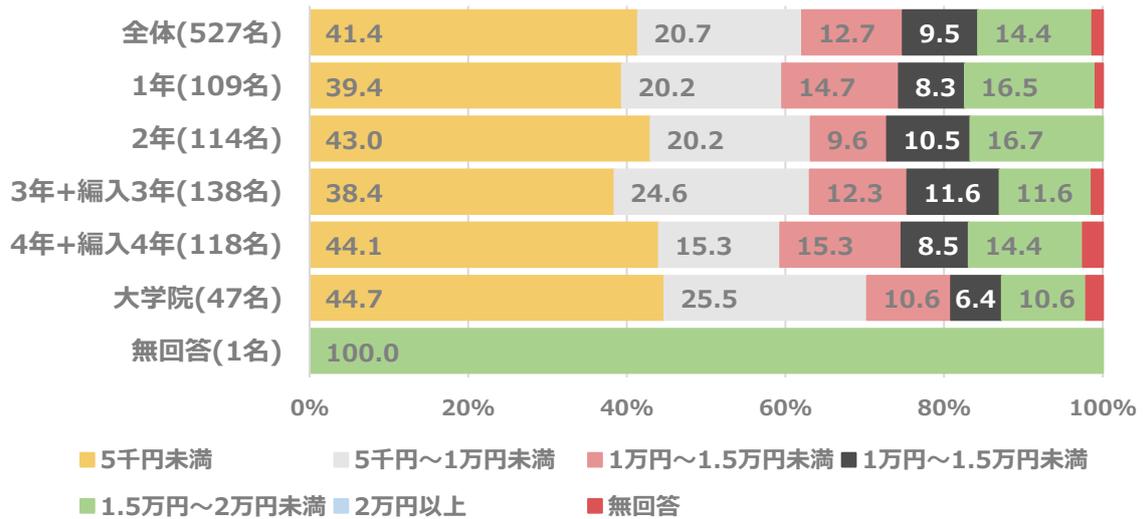
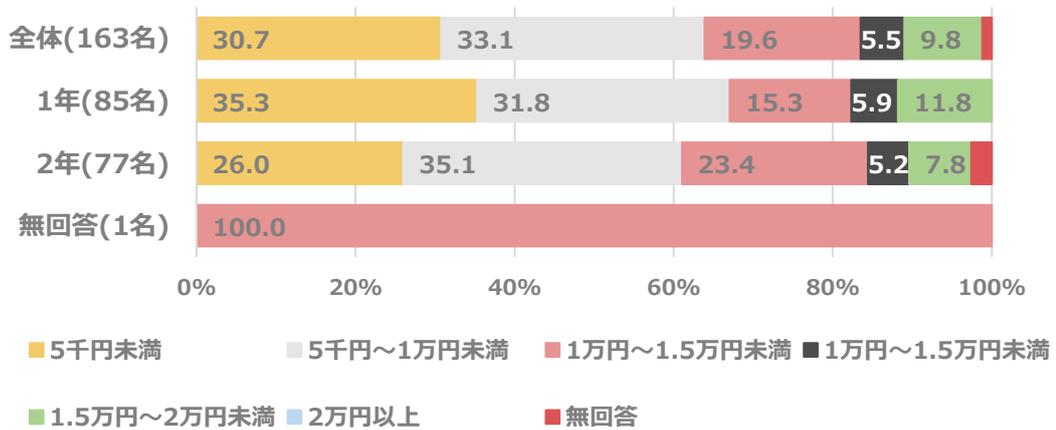


図13-3.教養・娯楽(さいたま看護学部)



F) 嗜好品費

図14-1.嗜好品費(全体)

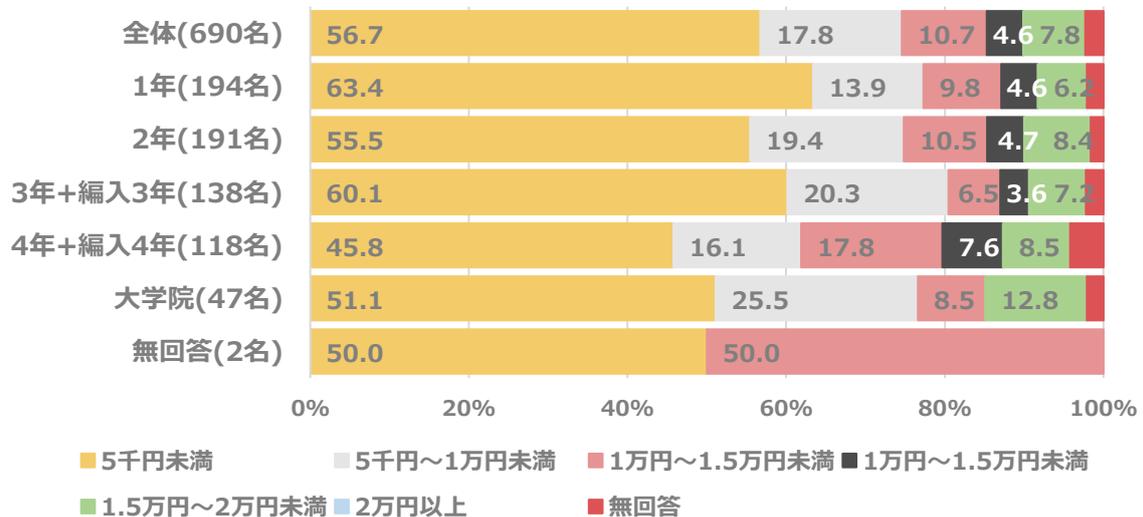


図14-2.嗜好品費(看護学部)

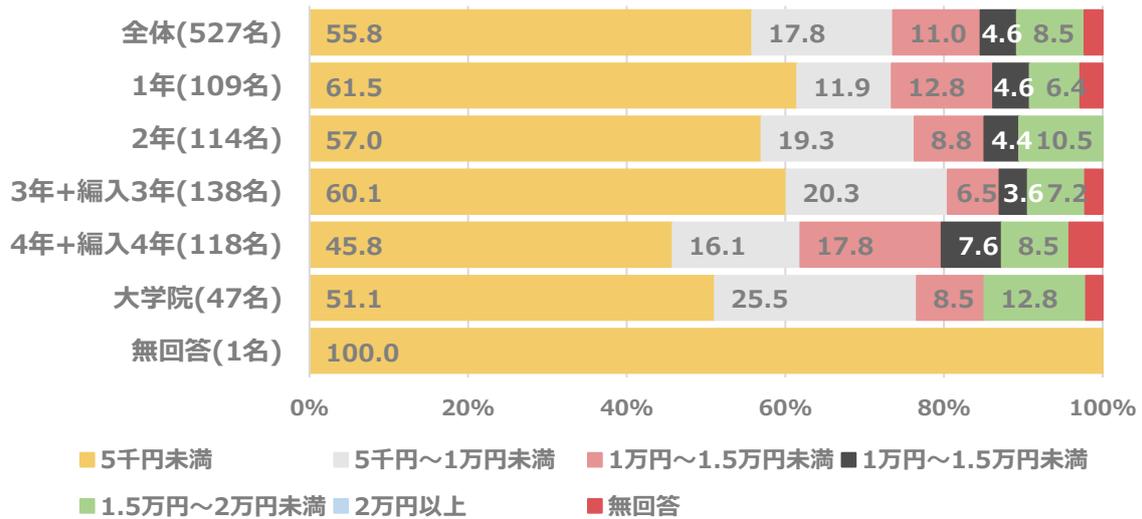
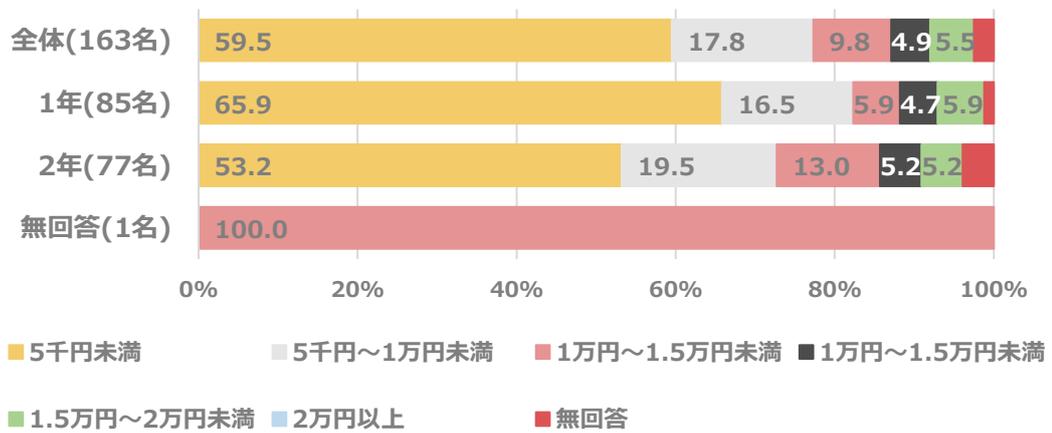


図14-3.嗜好品費(さいたま看護学部)



G) 習い事の費用

図15-1.習い事の費用(全体)

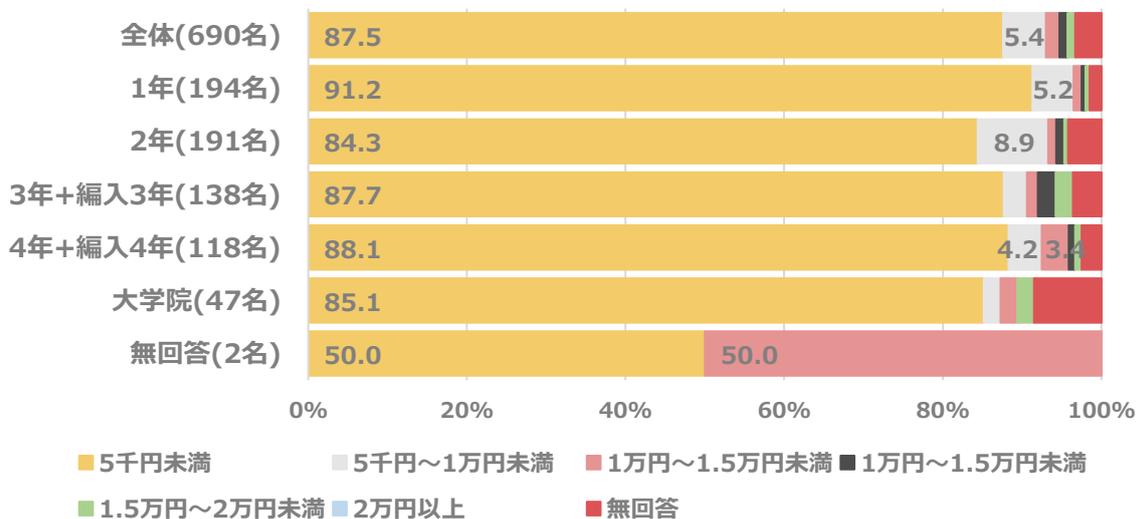


図15-2.習い事の費用(看護学部)

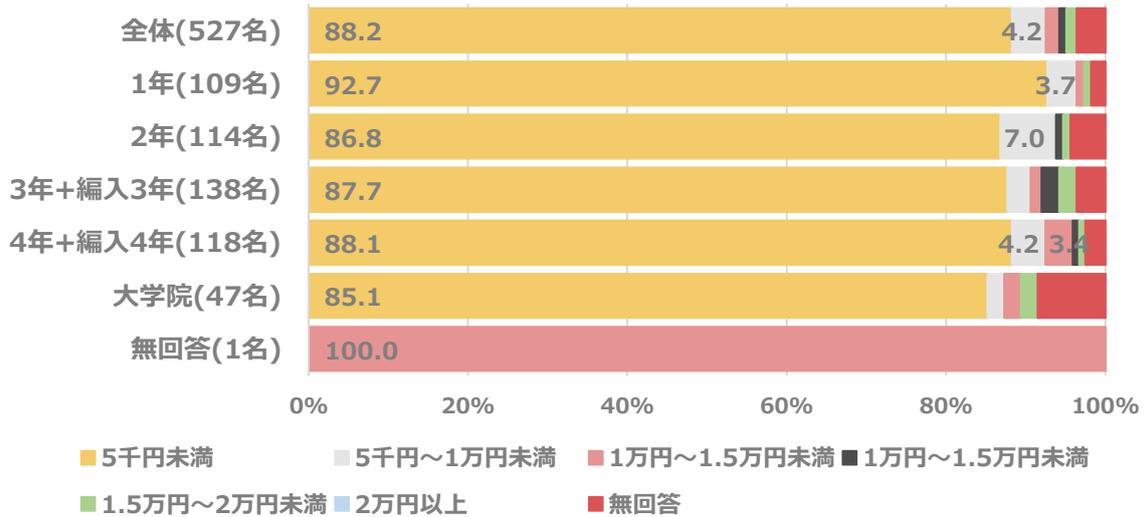
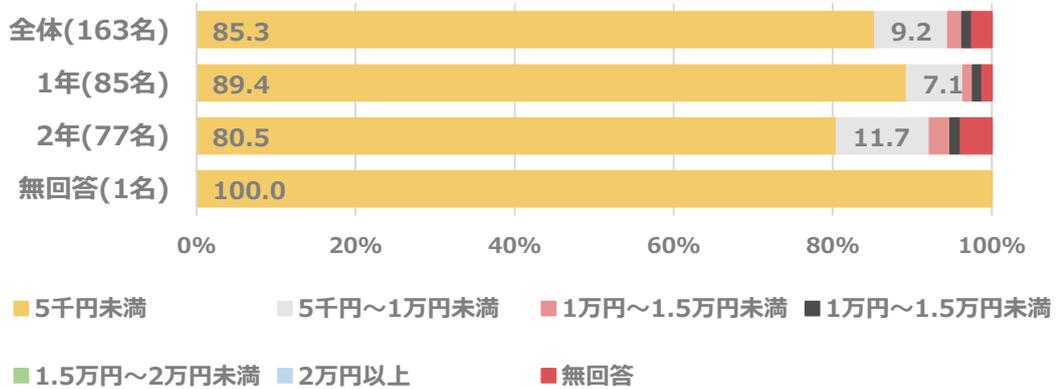


図15-3.習い事の費用(さいたま看護学部)



H) 通信費

図16-1.通信費(全体)

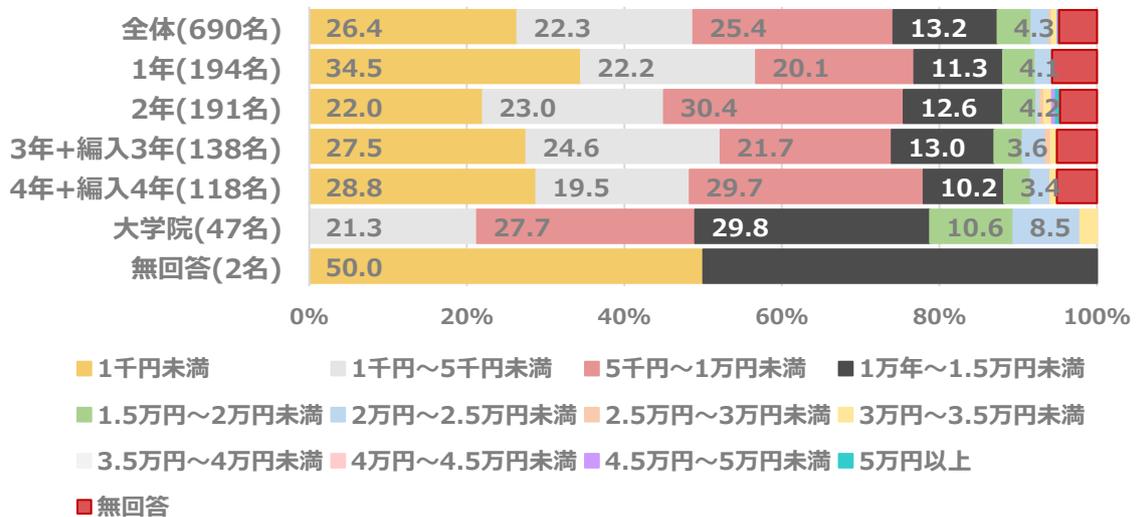


図16-2.通信費(看護学部)

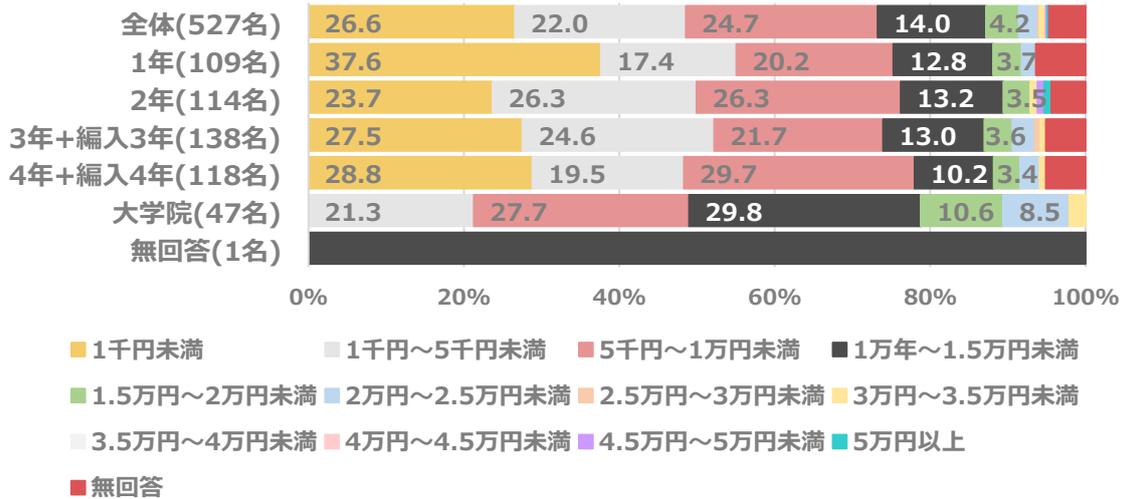
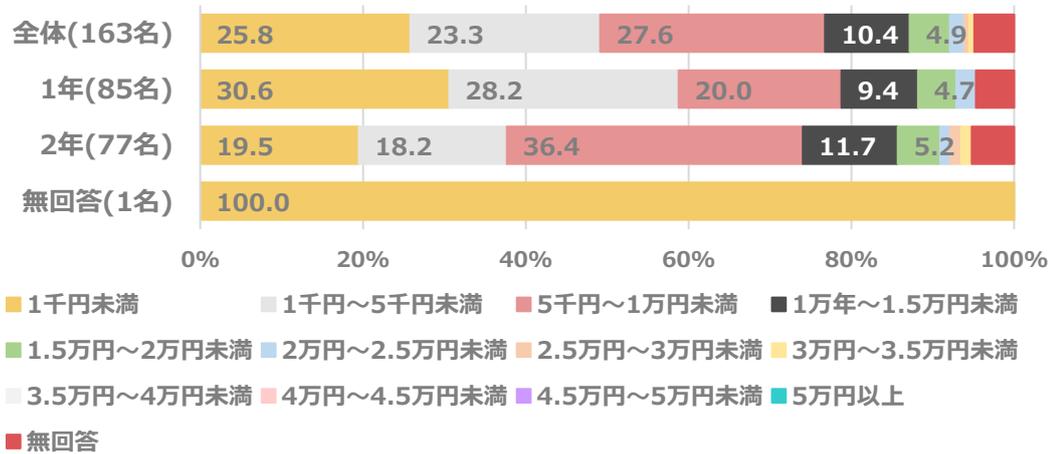


図16-3.通信費(さいたま看護学部)



l) 総支出額

図17-1.総支出額(全体)

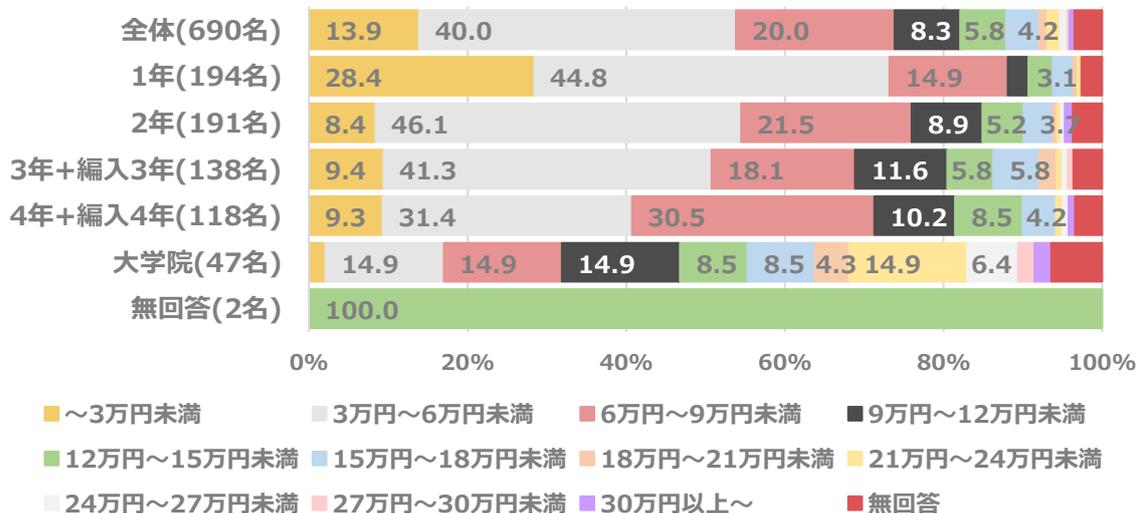


図17-2.総支出額(看護学部)

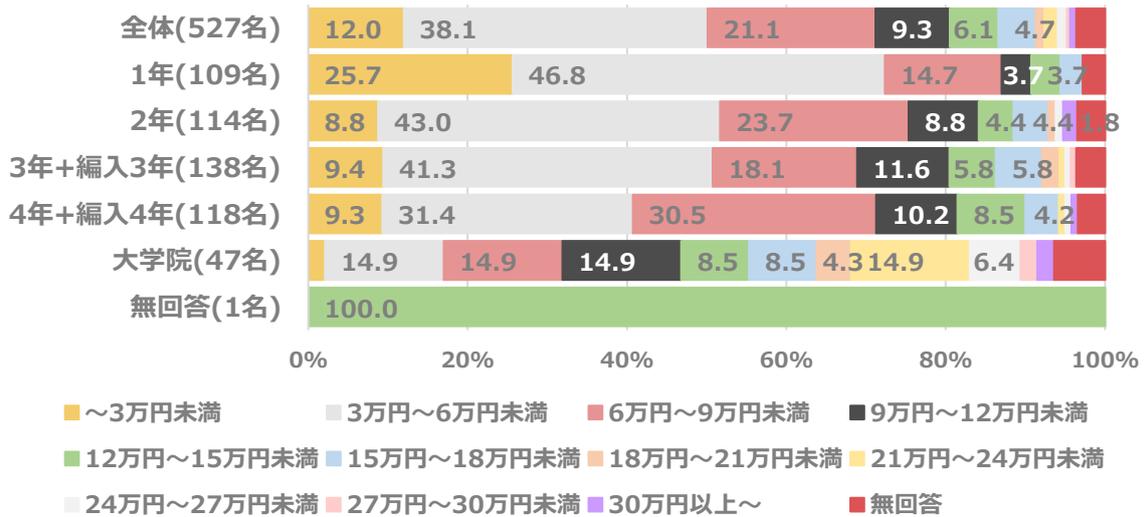
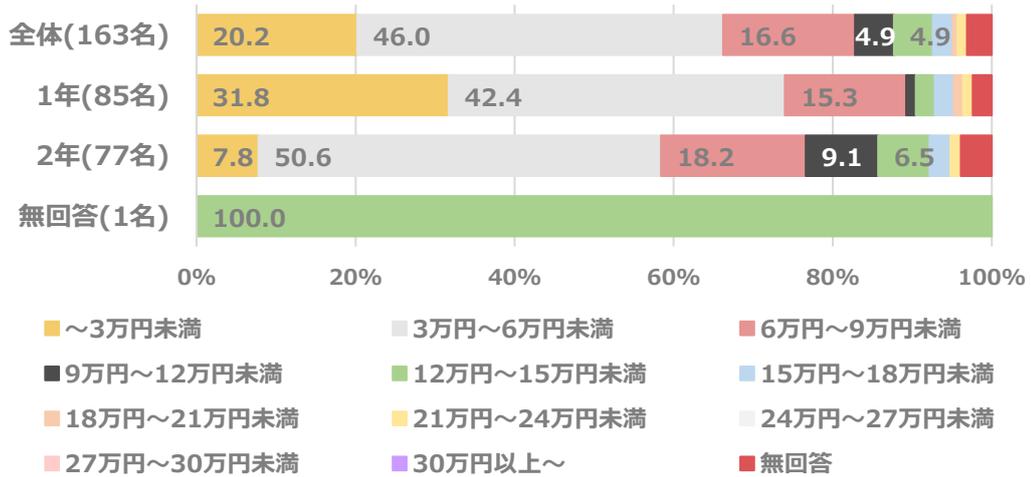


図17-3.総支出額(さいたま看護学部)



(5) アルバイトによる収入の状況

全体では81.6%がアルバイトによる収入があると回答していた。一方前設問より、1年生～4年生までは8～9割未満の学生がアルバイトをしていることがみてとれたが、大学院生は72.3%がアルバイトによる収入はないと回答していた。また、アルバイトによる収入があると回答した学生は、その52.4%が長期休暇中及び授業期間中に、24.7%が授業期間いつも、16.7%が授業期間中ときどきと回答しており、9割超の学生が授業期間中を含め、いわゆる単発ではなく長期間アルバイトをしていることがわかった。

アルバイトの目的は、「娯楽・嗜好品費の費用を得ること」と回答した学生が全体で31.0%と最も多く、次いで「社会勉強」が20.7%、「生活費を得る」が14.1%であった。

授業期間中の1週間の平均アルバイト日数は、2～3日が最も多く70.0%、4～5日が21.5%であった。授業期間中の1回のアルバイト時間は、回答が比較的ばらついたが、3時間～6時間未満が全体の約7割を占め、17.6%は6時間以上と回答していた。6時間以上と回答した学生の割合については2つのキャンパスで割合が少々異なり、看護学部では20.0%、さいたま看護学部では10.1%と少々少なかった。

アルバイトの賃金は平均して1時間あたり1,000円～2000円未満が最も多く66.4%であった。この分布はキャンパス2つで異なり、看護学部では1,200円～1,400円未満の割合が16.5%いたのに対してさいたま看護学部では6.5%、一方さいたま看護学部では800円～1,000円未満が32.4%で、アルバイトの平均賃金には差があった。

アルバイトの種類は、接客業（ウェ이터・ウエイレスなど）が最も多く全体で46.9%、次いで販売業（レジなど）が24.6%であった。医療職と回答した学生は5.6%で、具体的には看護師が最も多く、看護助手・介護などの回答もあった。

質問5. アルバイトの状況について、質問3のC)で「ある」と回答した学生にお聞きします。

下記のA)～G)の各項目について、それぞれお答えください。

A) 入学以来、アルバイトをどのようにしていましたか。1つだけ選んで○をつけてください。

図18-1.入学以来、アルバイトをどのようにしていましたか
(質問3 C)で「1.ある」を選択した方(全体)

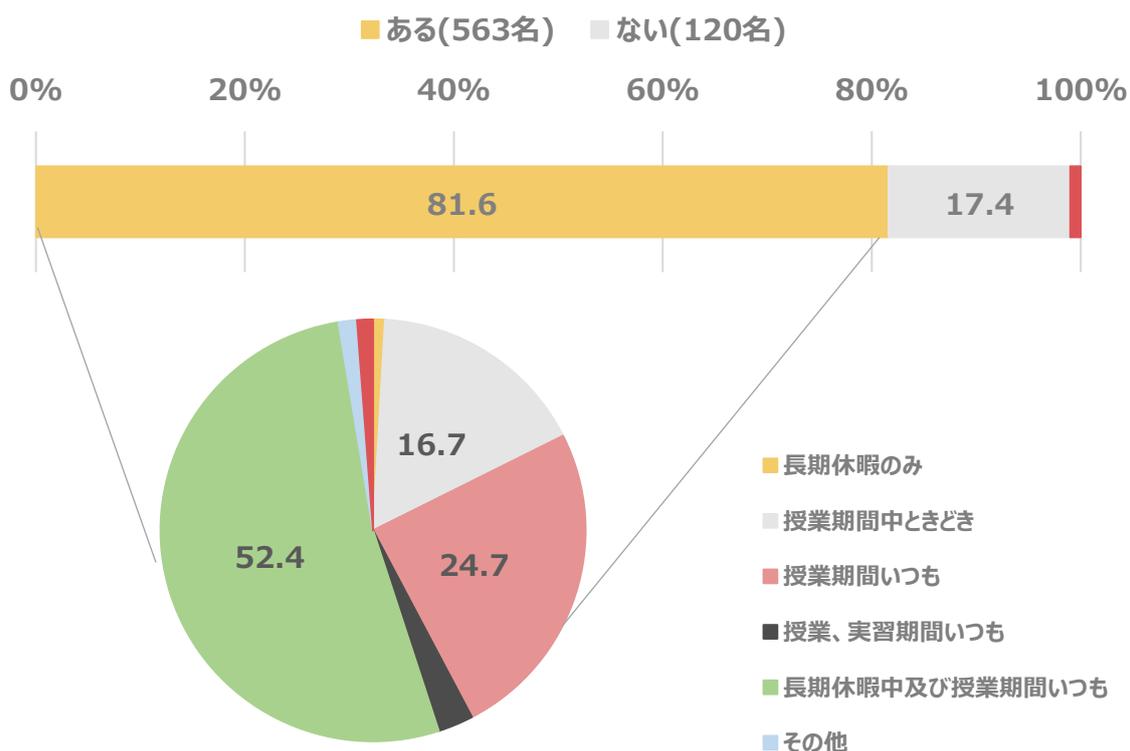


図18-2.入学以来、アルバイトをどのようにしていましたか
(質問3 C)で「1.ある」を選択した方) (看護学部)

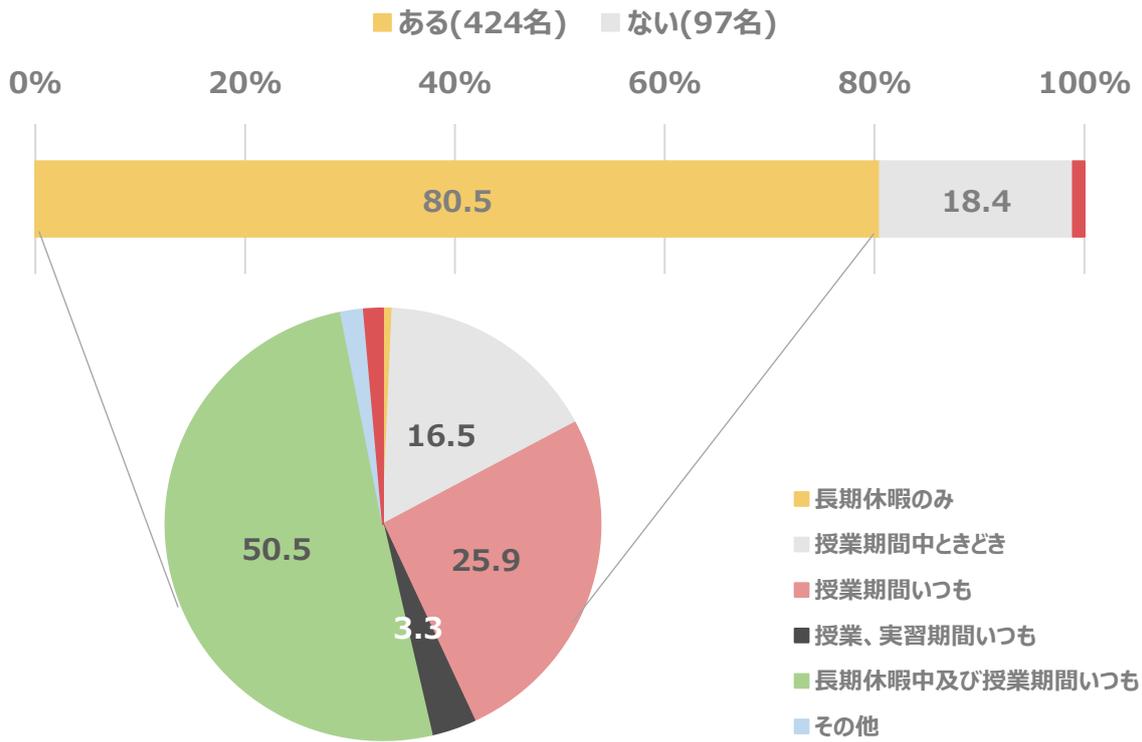
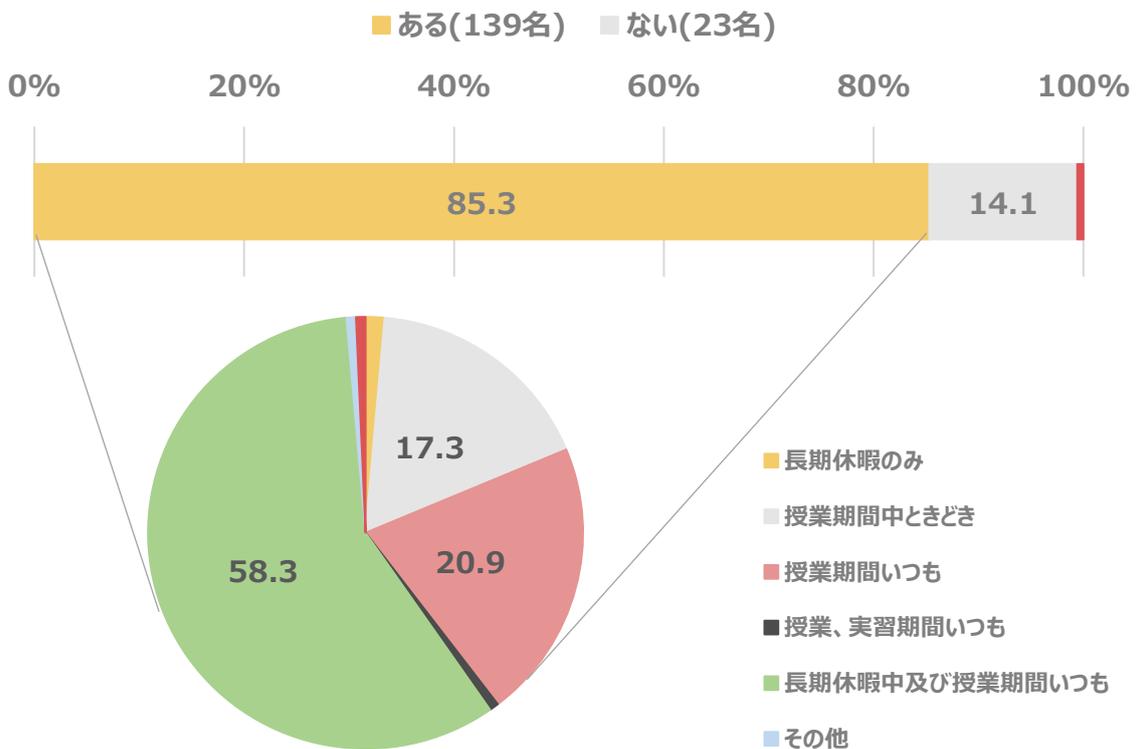


図18-3.入学以来、アルバイトをどのようにしていましたか
(質問3 C)で「1.ある」を選択した方) (さいたま看護学部)



B) アルバイトの目的はなんですか。該当する項目全てに○をつけてください。

図19-1.アルバイトの目的
(質問3 C)で「1.ある」を選択した方(全体)

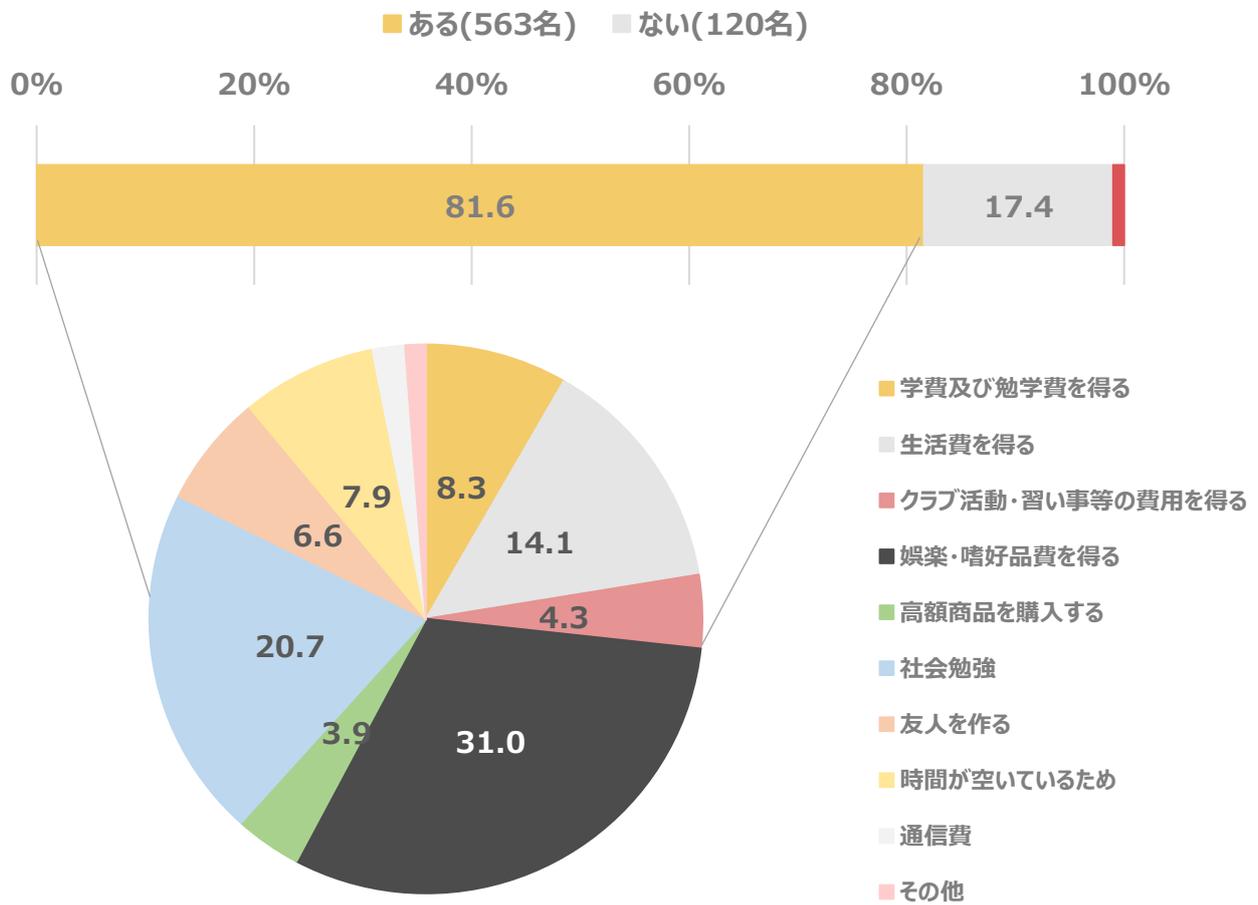


図19-2.アルバイトの目的
(質問3 C) で「1.ある」を選択した方) (看護学部)

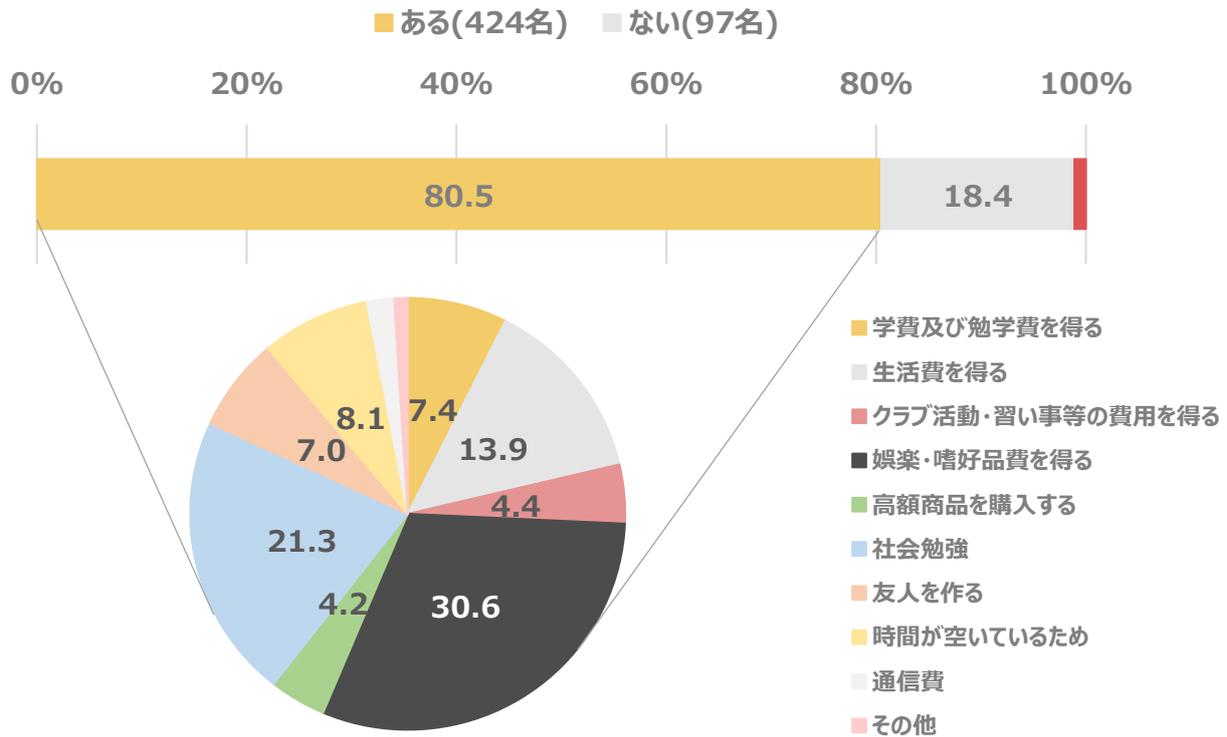
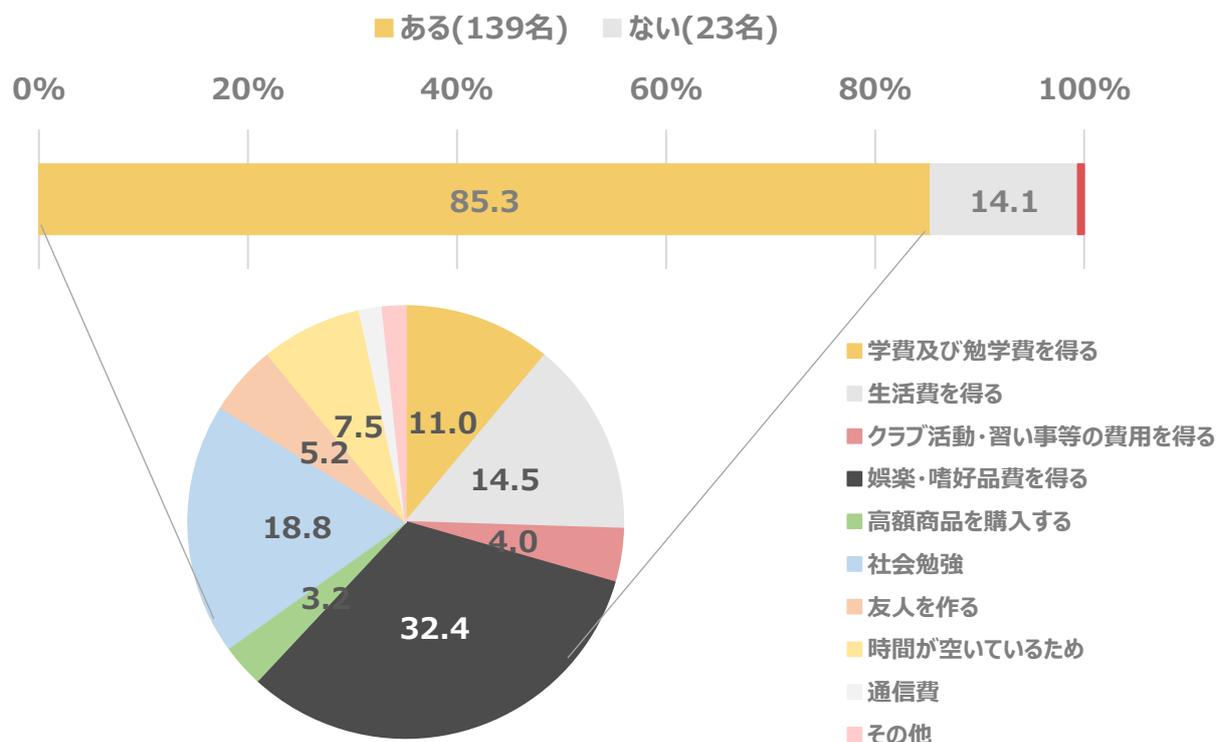


図19-3.アルバイトの目的
(質問3 C) で「1.ある」を選択した方) (さいたま看護学部)



【C)～F)は、授業期間中にアルバイトをしたことのある学生への質問です。】

C) 授業期間中の1週間の平均アルバイトの日数はどのくらいですか。
1つだけ選んで○をつけてください。

図20-1.授業期間中の1週間の平均アルバイト日数
(質問3 C)で「1.ある」を選択した方(全体)

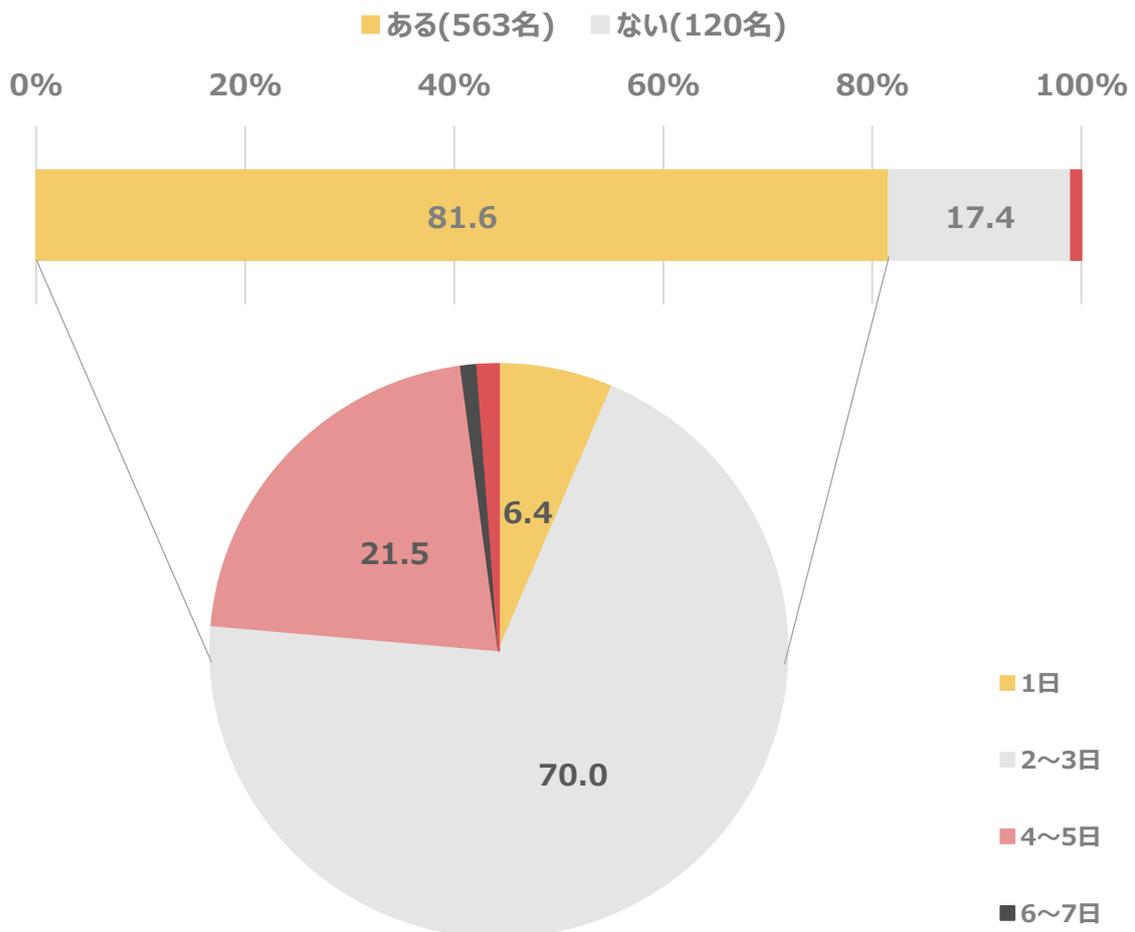


図20-2.授業期間中の1週間の平均アルバイト日数
(質問3 C) で「1.ある」を選択した方) (看護学部)

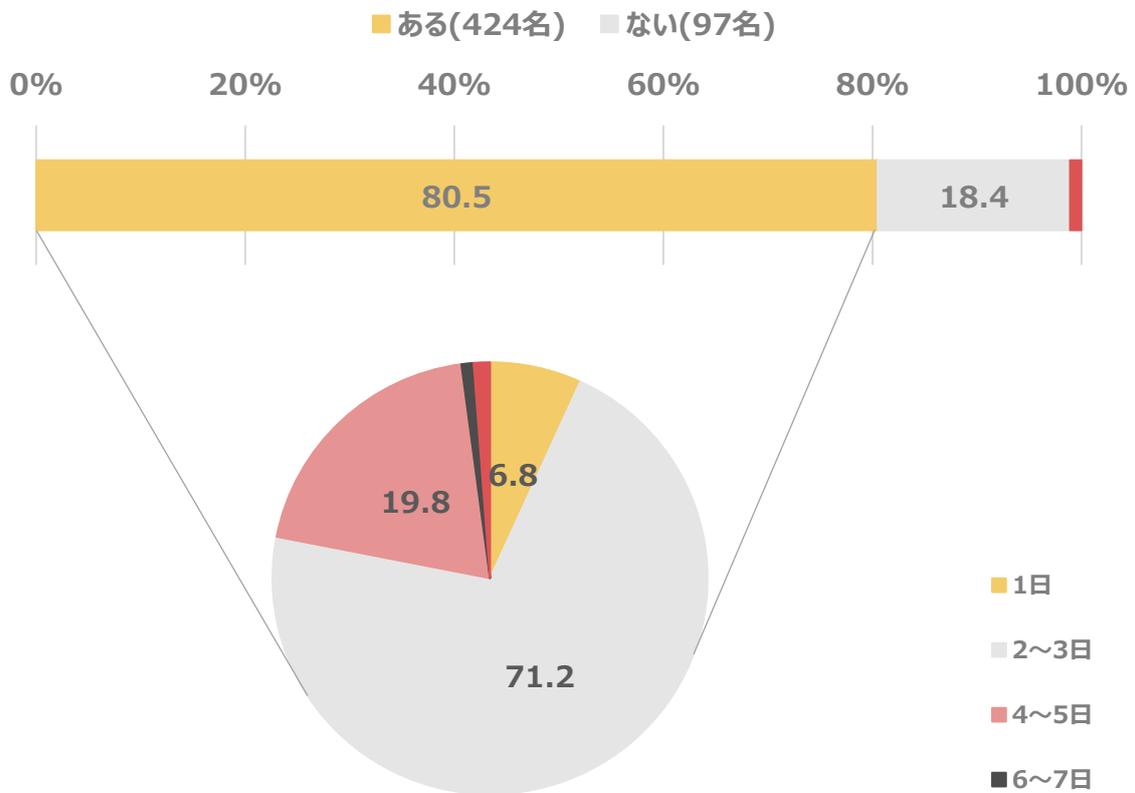
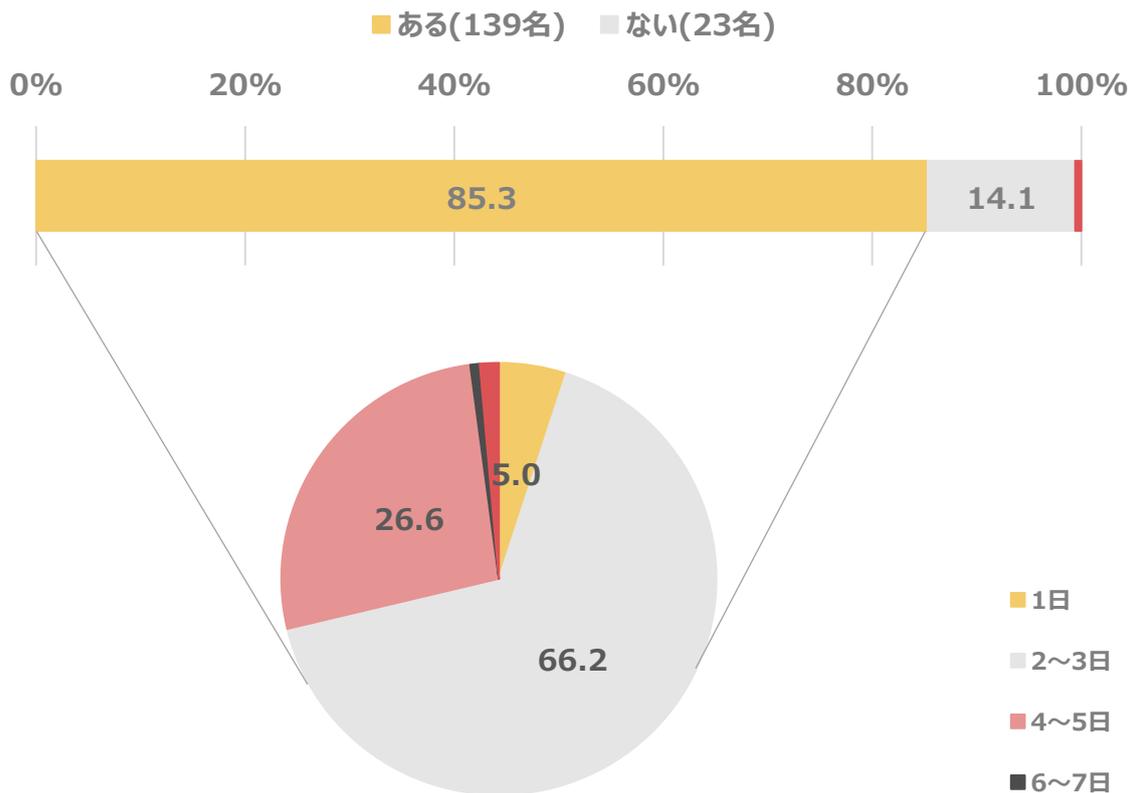


図20-3.授業期間中の1週間の平均アルバイト日数 (質問3 C) で「1.ある」を選択した方) (さいたま看護学部)



D) 授業期間中の1回のアルバイト時間はどのくらいですか。1つだけ選んで○をつけてください。

図21-1.授業期間中の1回のアルバイト時間
(質問3 C) で「1.ある」を選択した方 (全体)

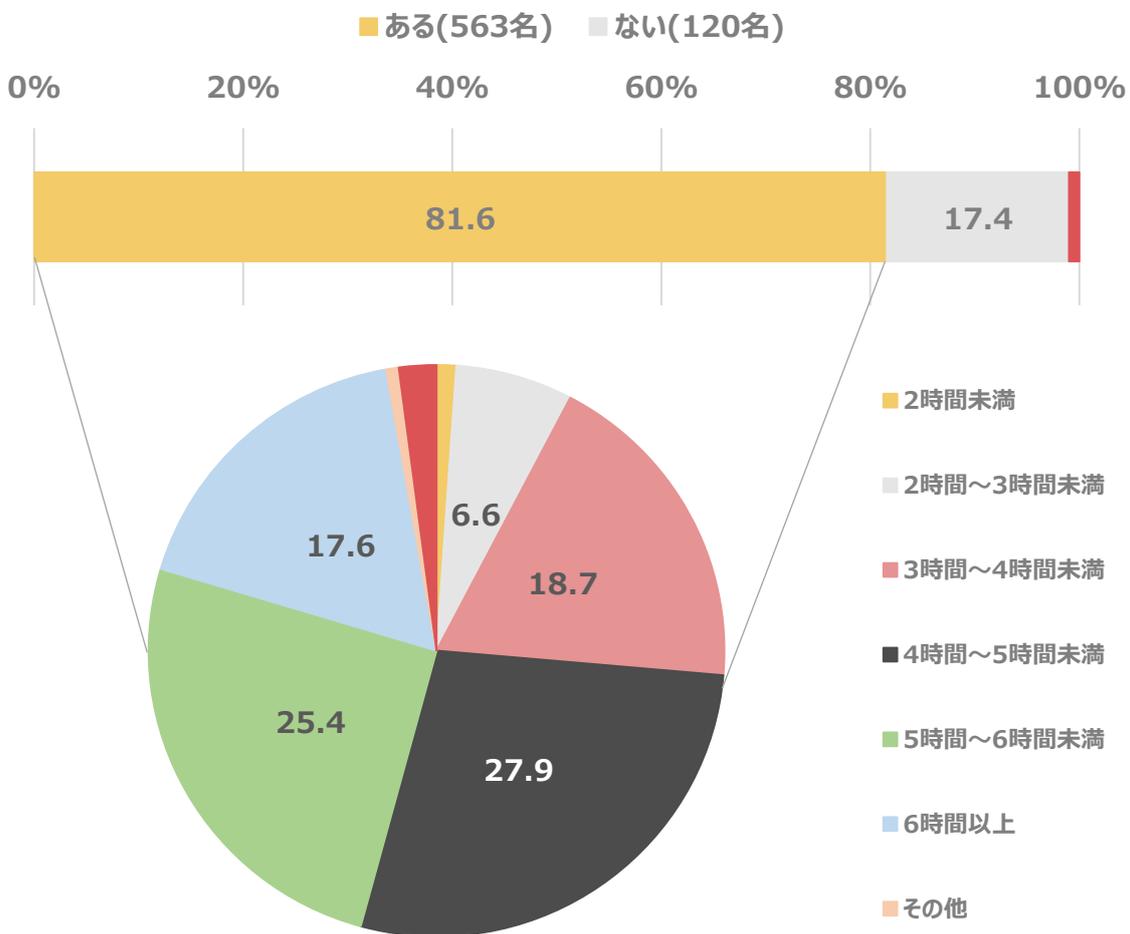


図21-2.授業期間中の1回のアルバイト時間
(質問3 C) で「1.ある」を選択した方 (看護学部)

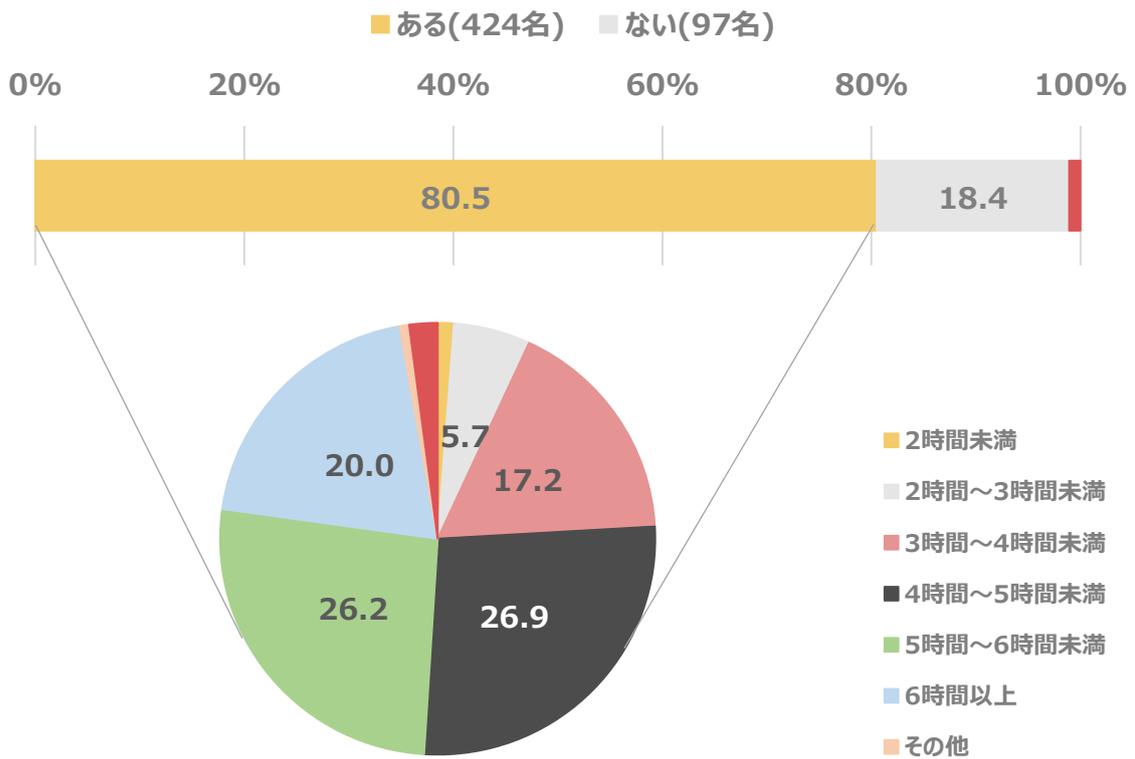
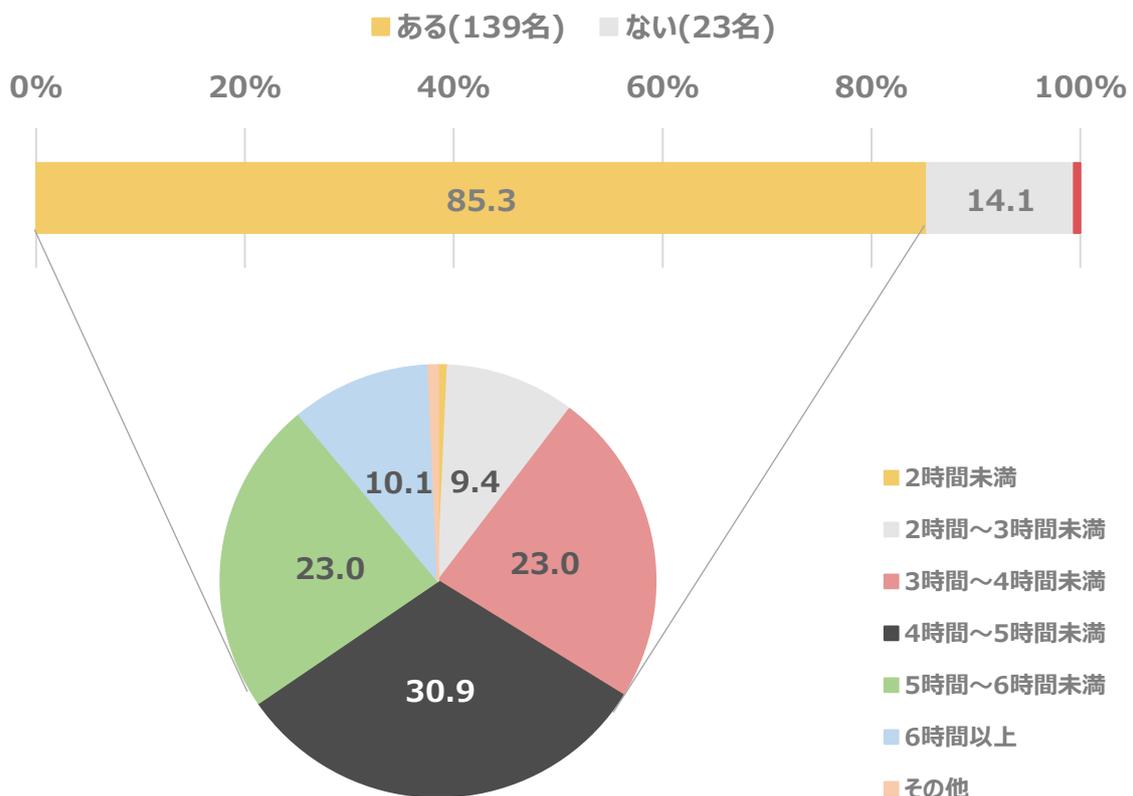


図21-3.授業期間中の1回のアルバイト時間
(質問3 C) で「1.ある」を選択した方 (さいたま看護学部)



E) 授業期間中の1時間あたりの平均アルバイト賃金はどのくらいですか。1つだけ選んで○をつけてください。

図22-1.1時間あたりの平均アルバイト賃金
(質問3 C) で「1.ある」を選択した方(全体)

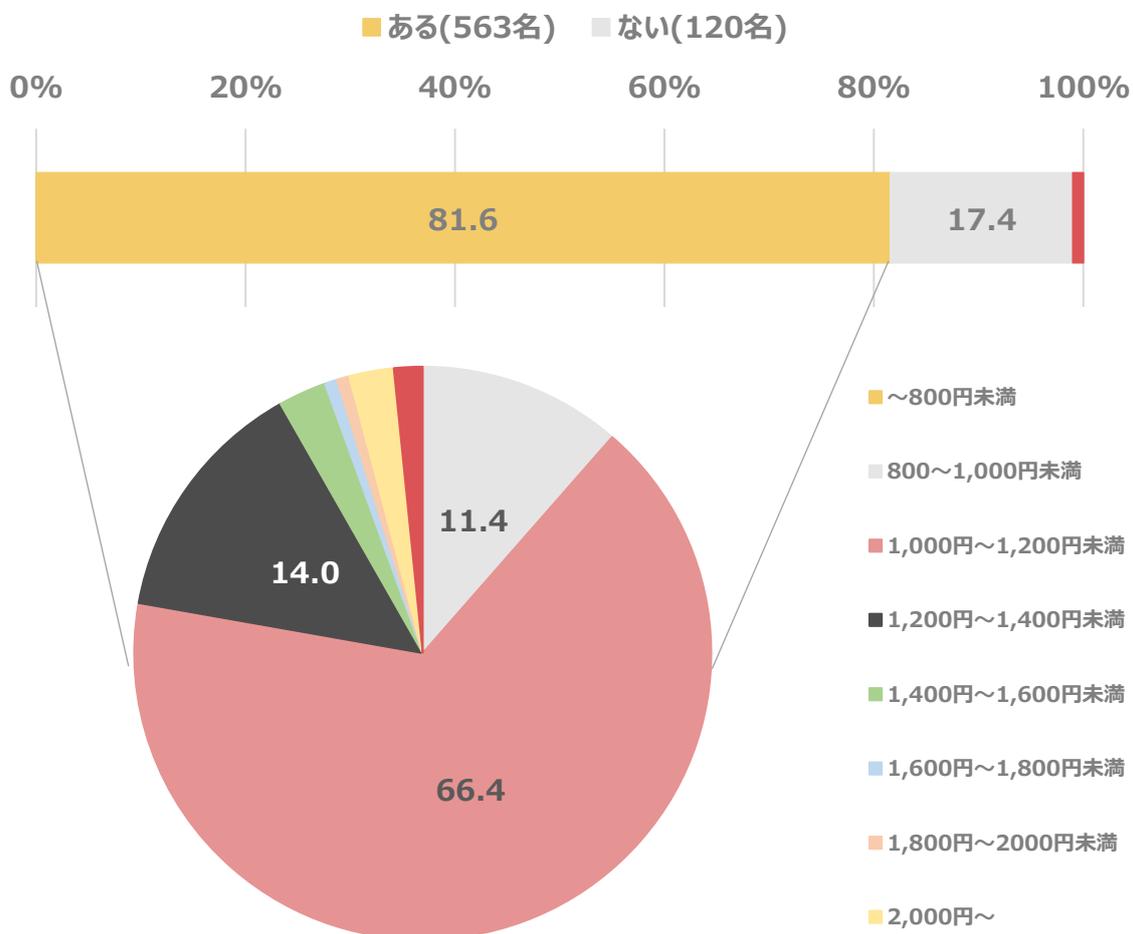


図22-2.1時間あたりの平均アルバイト賃金
(質問3 C) で「1.ある」を選択した方 (看護学部)

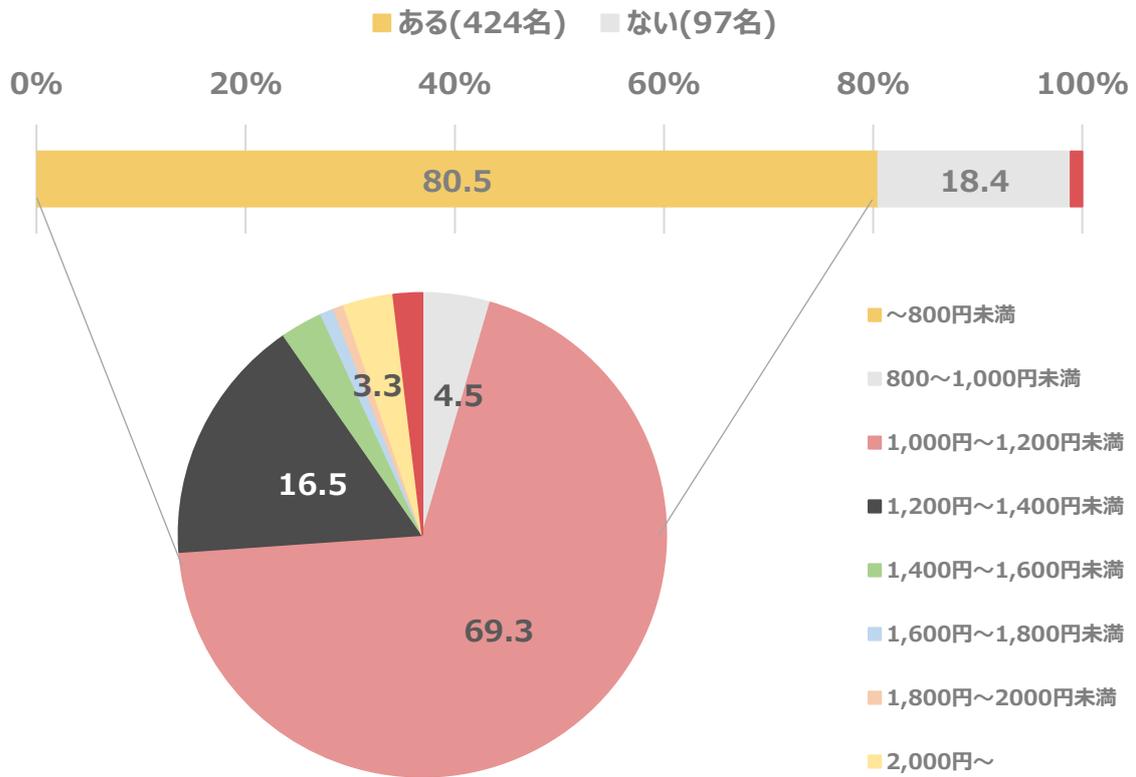
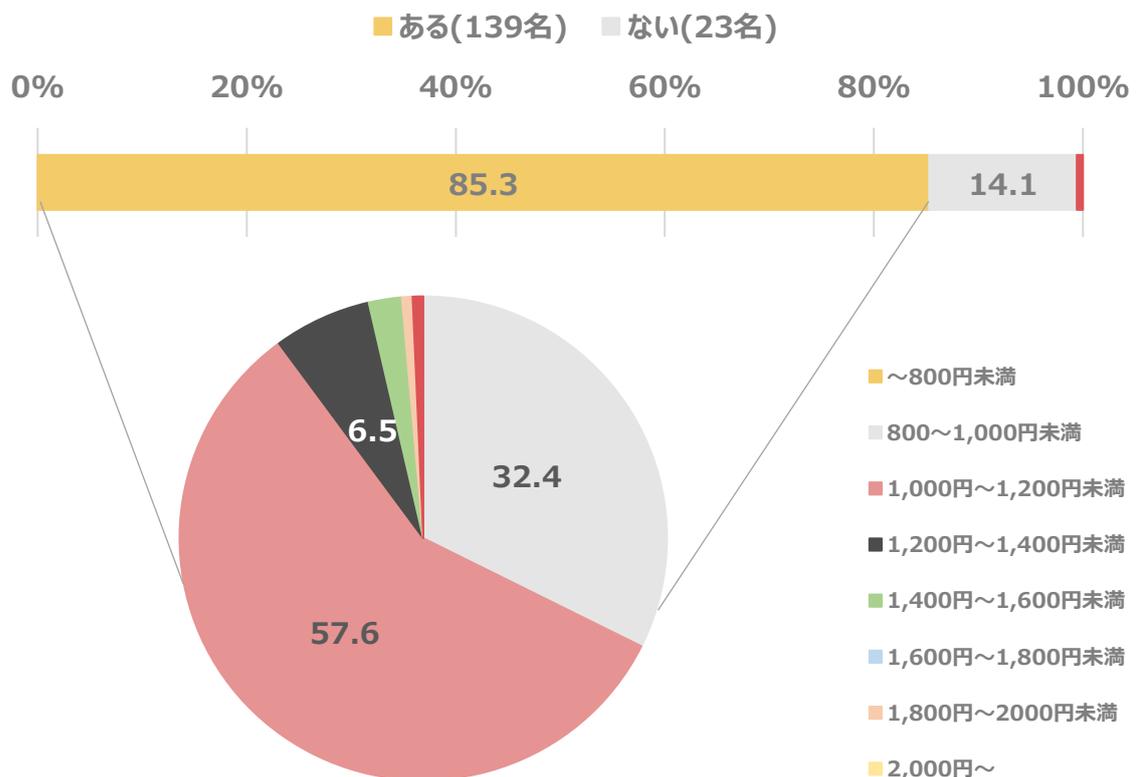


図22-3.1時間あたりの平均アルバイト賃金
(質問3 C) で「1.ある」を選択した方 (さいたま看護学部)



F) 授業期間中のアルバイトについて、該当する項目全てに○をつけてください。

図23-1.授業期間中のアルバイト
(質問3 C) で「1.ある」を選択した方 (全体)

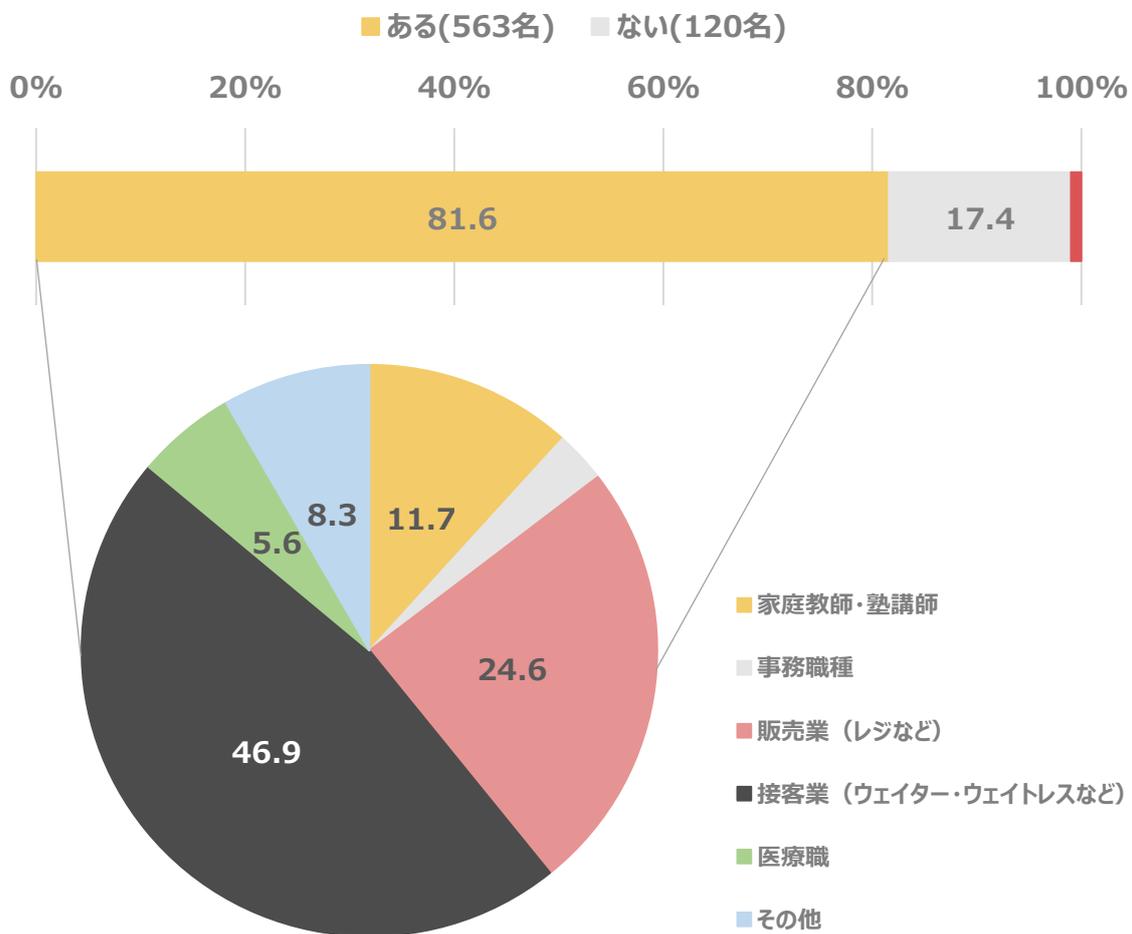


図23-2.授業期間中のアルバイト
(質問3 C) で「1.ある」を選択した方 (看護学部)

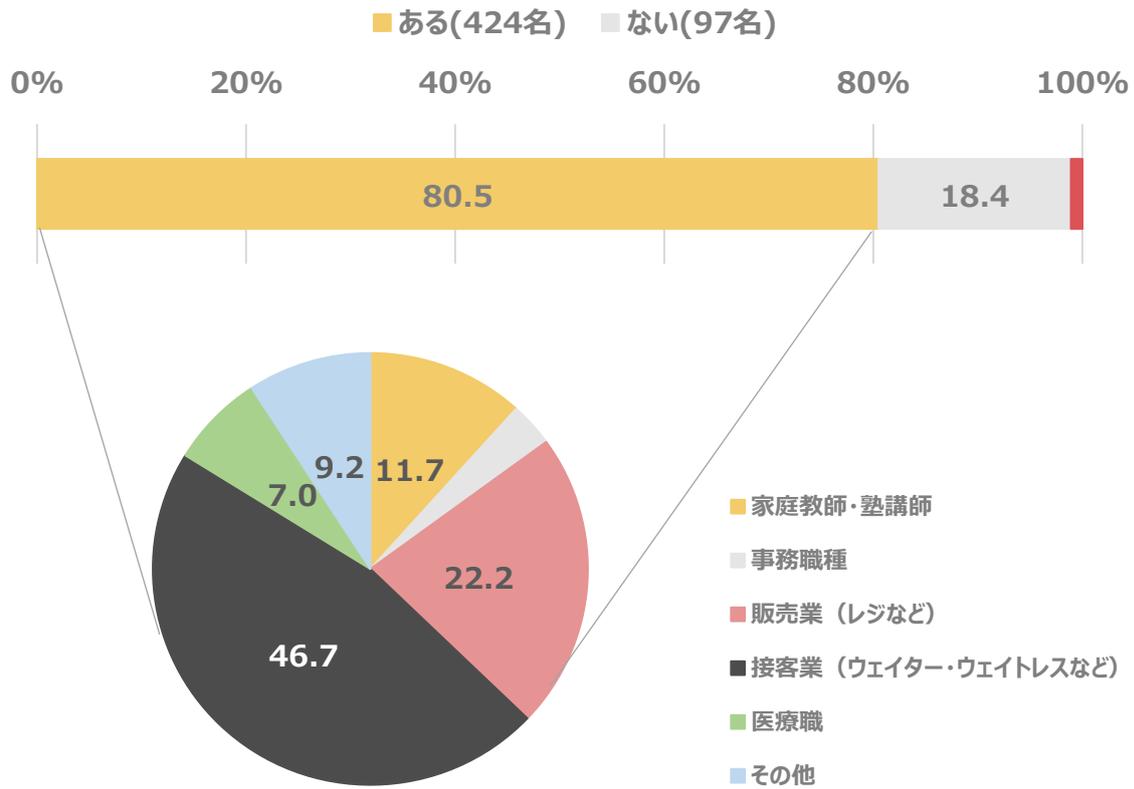
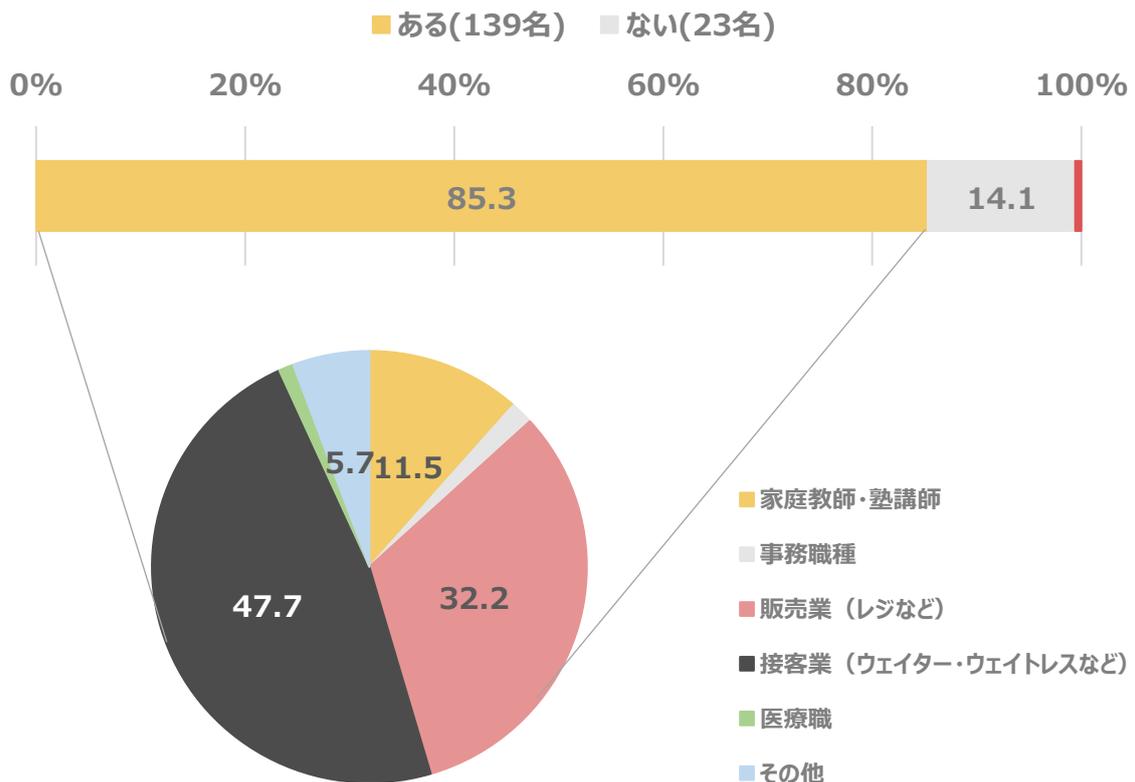


図23-3.授業期間中のアルバイト
(質問3 C) で「1.ある」を選択した方 (さいたま看護学部)



「医療職」を選択した方の具体的な回答内容は下記の通りであった。

- ・ 介護（看護学部6名）
- ・ 看護師（看護学部11名）
- ・ ワクチン接種（看護学部2名）
- ・ 会社の保健師の手伝い（看護学部大学院修士（看護学専攻）1名）
- ・ 訪問看護師（看護学部3名）
- ・ 歯科医院でアシストや受付、物品の滅菌（看護学部3名）
- ・ 老健、都発熱相談センター（看護学部大学院修士（看護学専攻）1名）
- ・ クリニック看護師、自費訪問看護（看護学部大学院修士（看護学専攻）1名）
- ・ ドラッグストア（看護学部6名）
- ・ 飲食業、調理（看護学部5名）
- ・ 内科（看護学部1名）
- ・ 看護助手・重度訪問看護（看護学部4名）
- ・ プールの指導・監視（看護学部1名）
- ・ 調剤事務（看護学部1名）
- ・ クリニック受付(産婦人科)（さいたま看護学部1名）
- ・ イベントスタッフ（看護学部2名）
- ・ ティッシュ配り（看護学部2名）
- ・ 保育補助（看護学部2名）
- ・ 児童相談所指導員（看護学部1名）

【G）は、長期休暇中にアルバイトをしたことのある学生への質問です。長期休暇中にはアルバイトをしたことがない学生は、質問6に進んでください。】

G) 長期休暇期間中のアルバイトについて、該当する項目全てに○をつけてください。

図24-1.長期期間中のアルバイト(全体)

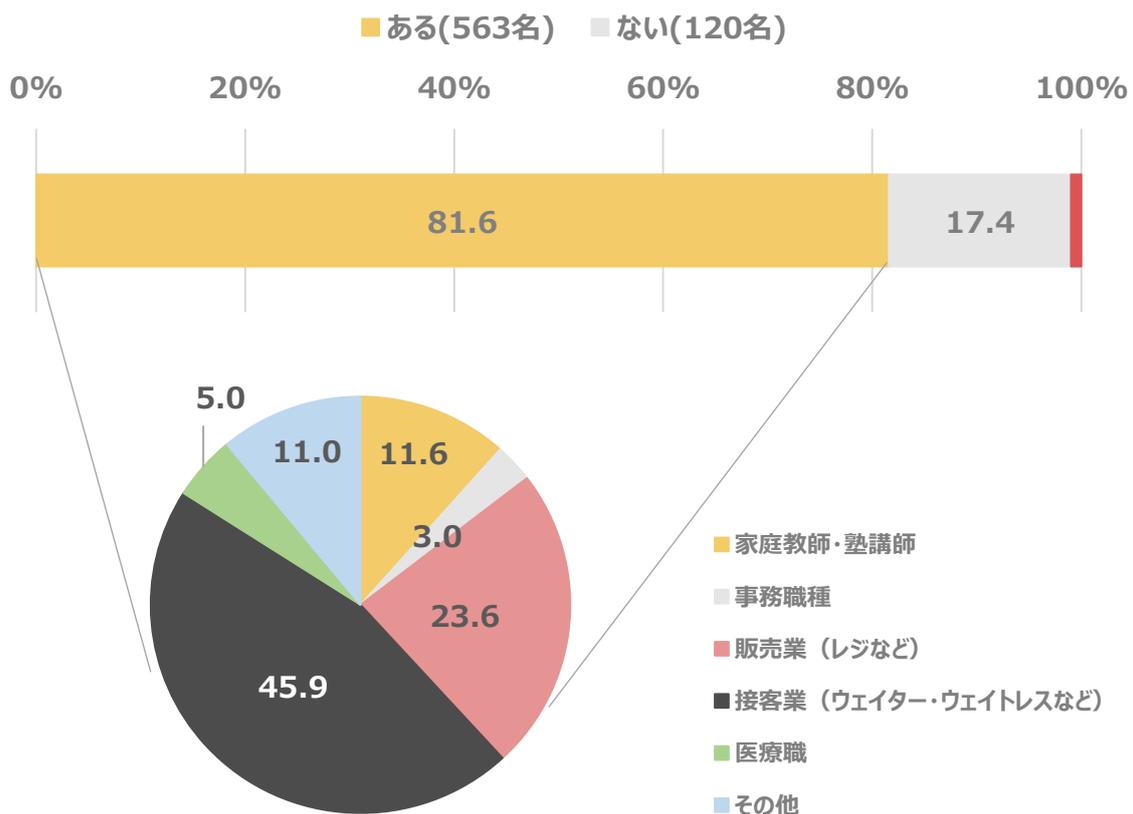


図24-2.長期期間中のアルバイト(看護学部)

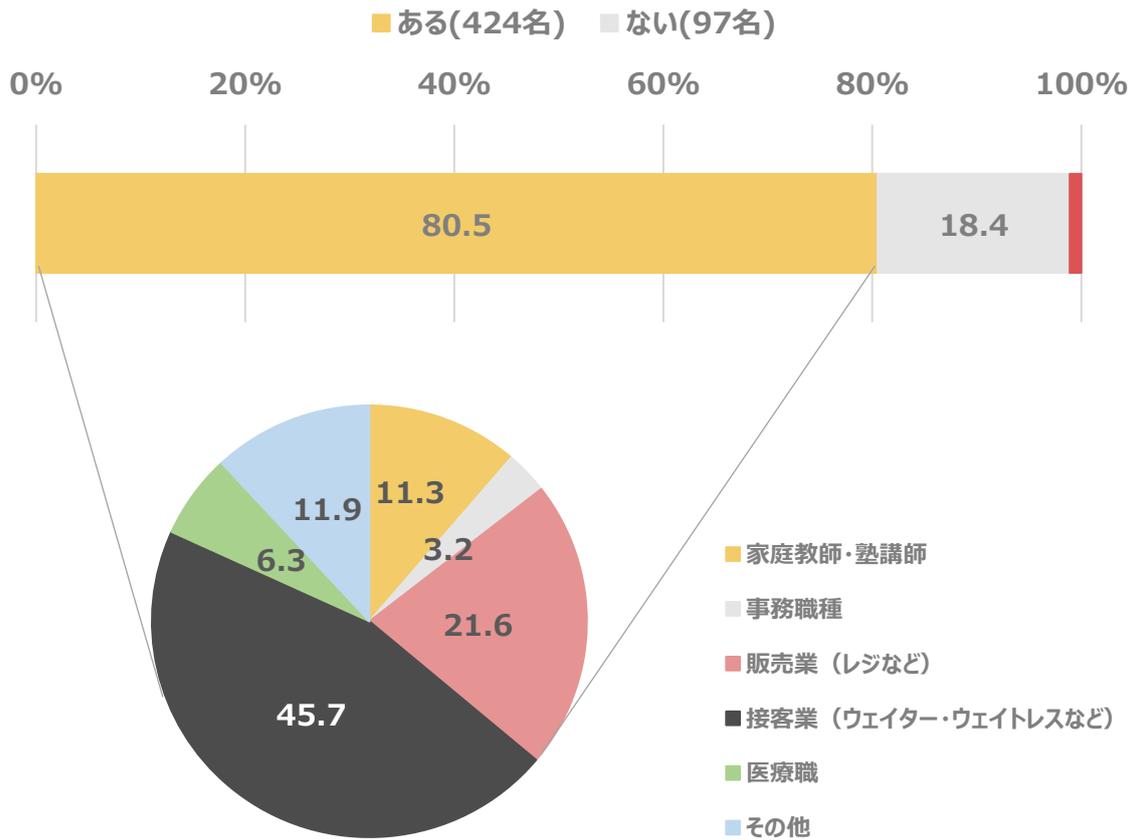
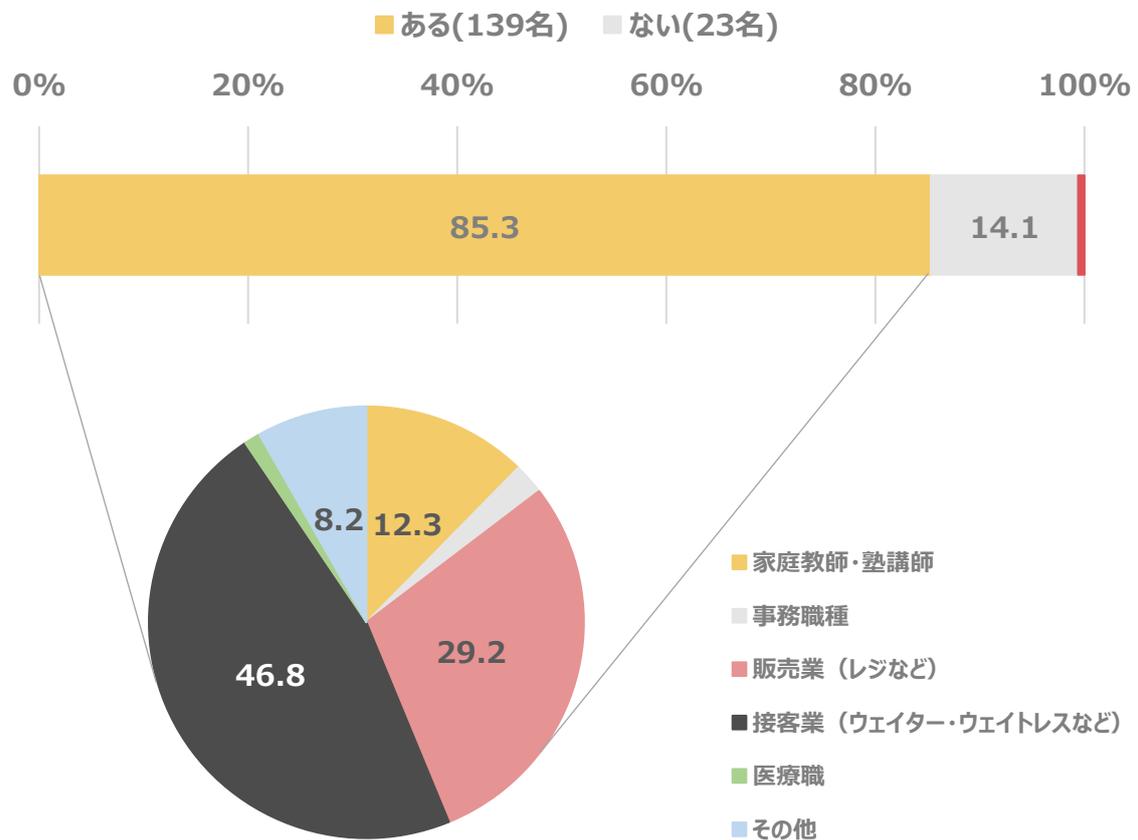


図24-3.長期期間中のアルバイト(さいたま看護学部)



「医療職」を選択した方の具体的な回答内容は下記の通りであった。

- 看護師・看護助手（看護学部 16 名）
- グループホーム世話人（看護学部 1 名）
- 介護（看護学部 5 名）
- コールセンター、**クリニック**（看護学部大学院修士（看護学専攻） 1 名）
- 老健、都発熱相談センター（看護学部大学院修士（看護学専攻） 1 名）
- 歯科助手（看護学部 3 名）
- 飲食業、調理、リゾート（看護学部 5 名）
- **クリニック**（看護学部 1 名、さいたま看護学部 1 名）
- 内科（看護学部 1 名）
- 調剤事務（看護学部 1 名）
- イベントスタッフ（看護学部 2 名）
- 工場、ティッシュ配り（看護学部 1 名）
- 児童相談所指導員（看護学部 1 名）
- プールの監視・指導（看護学部 1 名）
- 保育補助（保育園、学童）（看護学部 4 名）

(6) 課外活動

学内外の課題活動への参加については、全体では 28.4%が「加入し、活動している」と回答、22.2%が「加入のみで、活動していない」と回答した。学年で見ると、加入者は1年生～4年生がほとんどで、大学院生は「最初から加入していない」学生がほぼ 100%を占めた。キャンパスで比較すると、看護学部では1年生の加入者が多く 77.5%、一方でさいたま看護学部は 55.3%に留まった。学外のサークル・同好会・ボランティアの活動内容は、スポーツ系が 58.8%と最も多く、社会への貢献が 21.2%と続いた。

課外活動への参加目的は、「興味・関心があったから」が最も多く 28.7%、「友人を得るため（26.8%）」、「楽しむため（24.7%）」が近い割合であった。

クラブ活動（課外活動）の時間は1時間未満（週平均）が最も多く 41.5%、2時間以上活動している学生は全体の6割未満であった。1時間以上への回答については2つのキャンパスで少々差があり、看護学部では全体の13.5%ほどの学生は4時間以上と回答、1時間～3時間未満の学生は全体の28.1%であったが一方で、さいたま看護学部では、1時間～2時間未満、2時間～3時間未満が半数を占めた。

課外活動に以前加入していたがやめたと回答した学生の主な理由は、「課外活動に興味なくなった（20.0%）」、「課外活動の方針への不満や人間関係上のトラブル（14.1%）」と続いた。看護学部では、「学業と両立しない」が 10.4%と一定数いたのに対してさいたま看護学部ではその回答者がいなかった。

また、課外活動に最初から加入していない学生の主な理由としては、「課外活動に興味がない」「興味ある課外活動がない」「学業と両立しない」「アルバイトがあるから」が全体の7割ほどを占めた。キャンパスごとにみると「学業と両立しない」に関しては、さいたま看護学部のほうが回答者が少なかった。

本年度の夏季休暇の主な行動は、全体ではアルバイトが最も多く 45.0%、国内旅行 19.2%、研究や勉強が 17.5%であった。1年生では「自動車の免許の取得」が 16.7%、大学院生は 50.8%が「研究や勉強」と回答していたことが学年ごとの特徴といえる。

大学入学以来、技術や資格等の獲得のために学外の学校に通った経験については、全体で8割～9割弱がないと回答した。「ある」と回答した学生は、各種資格の予備校が 37.0%、語学が 14.8%、その他が 43.2%であった。その他は、記述内容から自動車免許の取得が多いように推測された。キャンパス2つで比較すると、看護学部のほうがさいたま看護学部よりも「語学」に関する講座を受講した学生の割合が多かったといえる。

現在大学で主催している課外教育プログラムも含めて今後希望しているプログラムは、「救急法の講習会」が最も多く 40.1%、「海外研修」が 27.4%と次いだ。学年ごとにみると、大学院生は 53.2%と約半数の学生が「教養講座等の講演会」を希望していることがわかった。

【全員の学生にお聞きします。】

質問6. あなたは、現在、課外活動（学内外）に参加していますか。（○は1つ）

図25-1.あなたは、現在、課外活動（学内外）に参加していますか。
（全体）

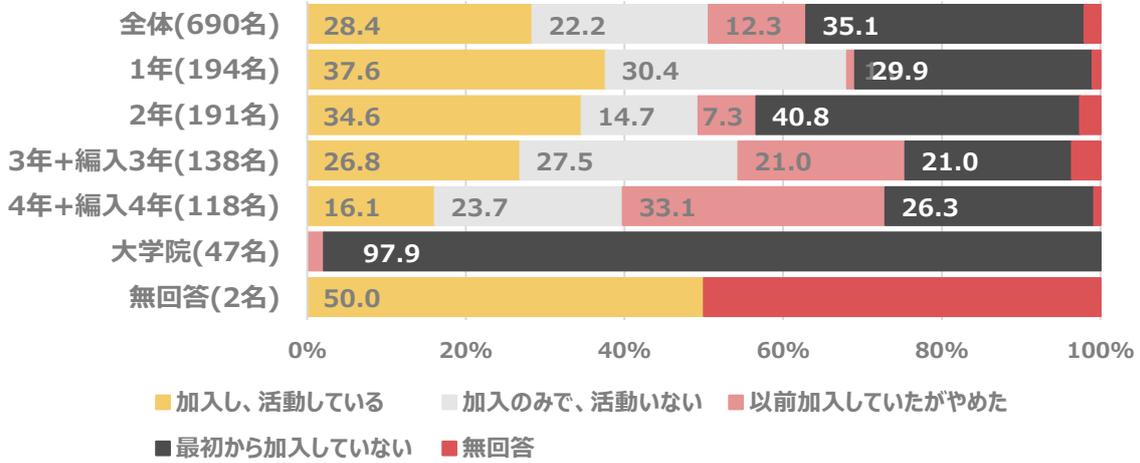


図25-2.あなたは、現在、課外活動（学内外）に参加していますか。
（看護学部）

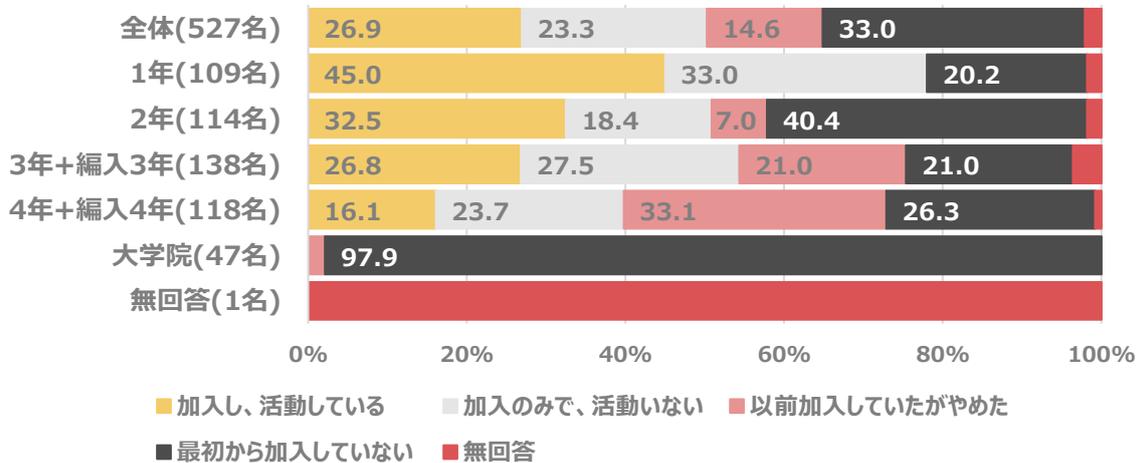
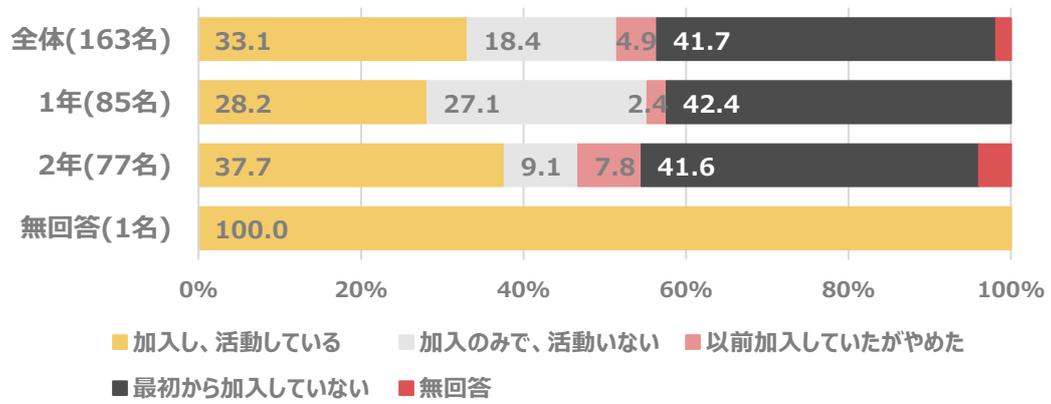


図25-3.あなたは、現在、課外活動（学内外）に参加していますか。
（さいたま看護学部）



質問6-1. 「質問6」で1～3と回答した学生にお聞きします。

A) 加入している（していた）学内課外活動に○をつけてください。

図26-1. 加入している（していた）課外活動
（質問6で1～3を選択した方）（全体）

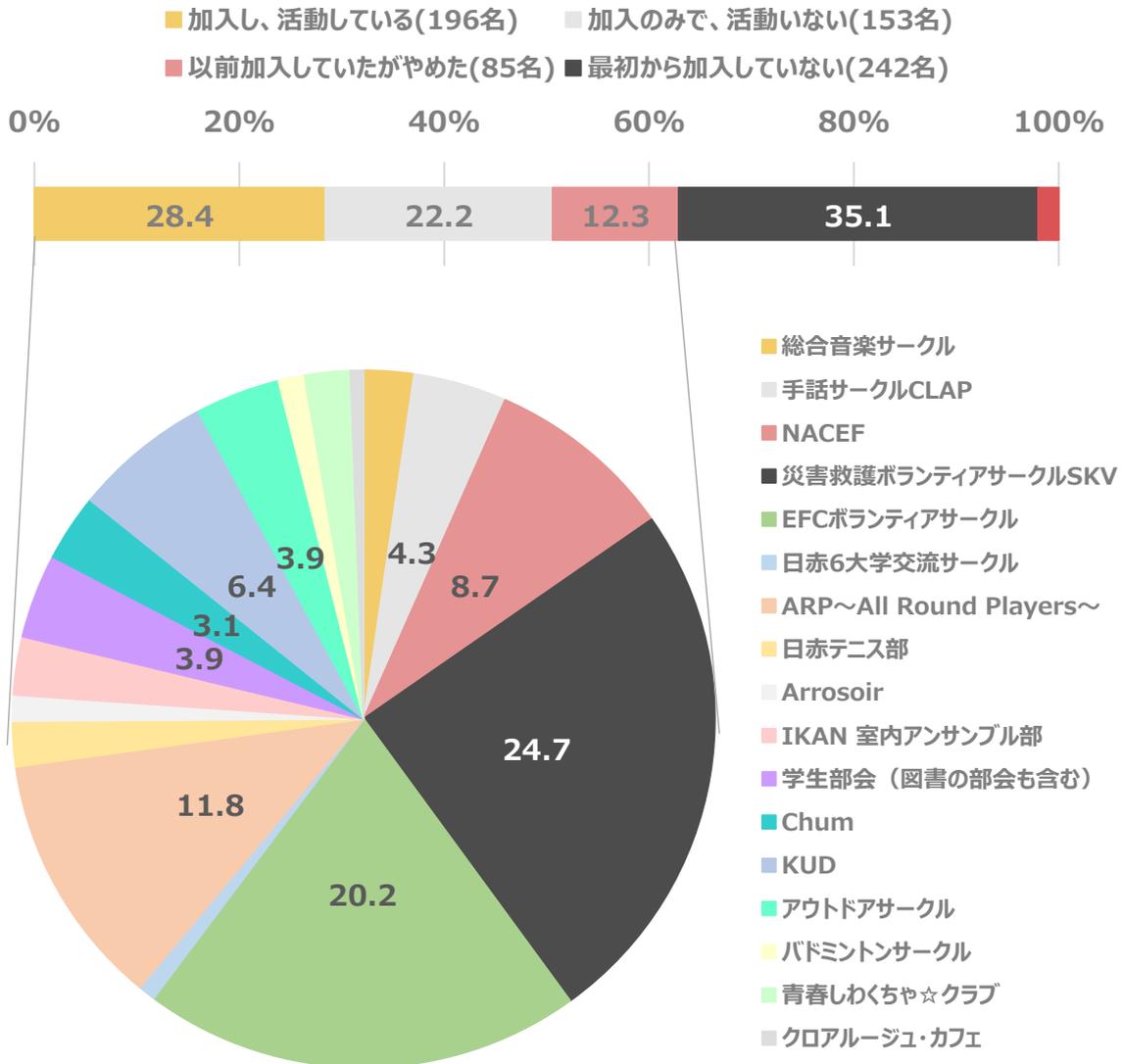


図26-2.加入している（していた）課外活動
（質問6で1～3を選択した方）（看護学部）

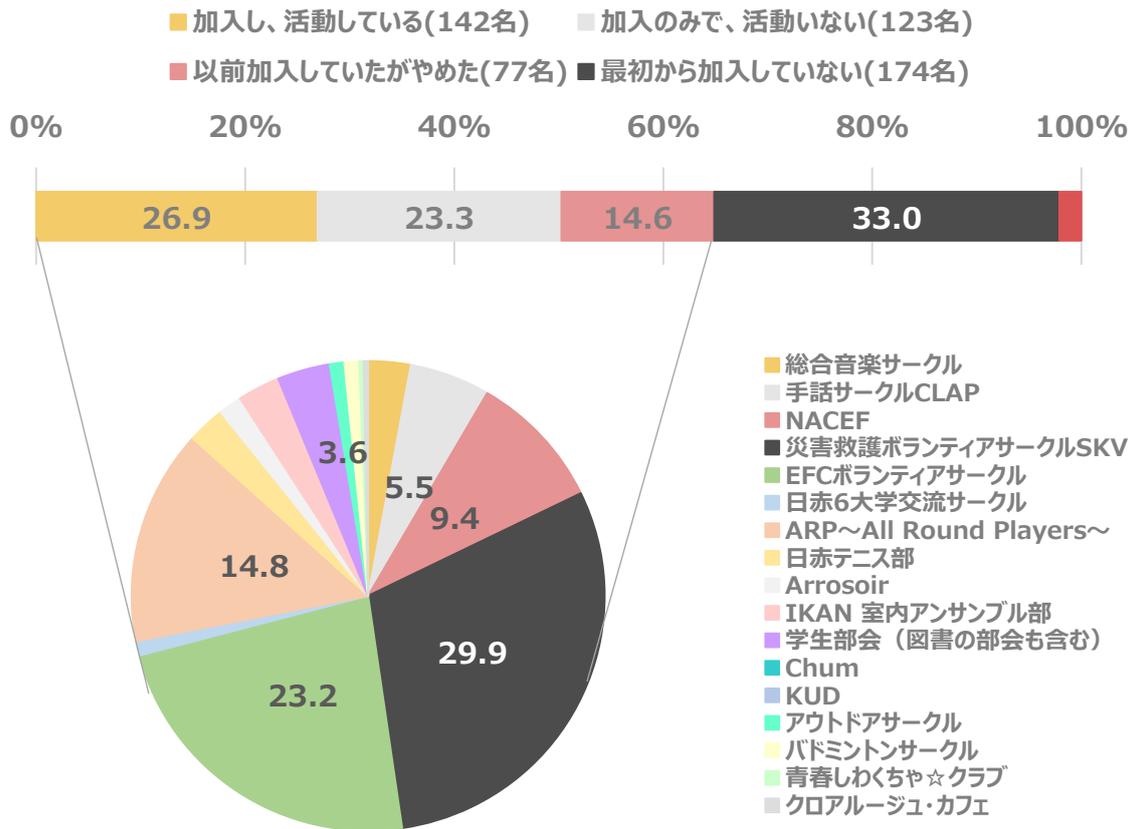
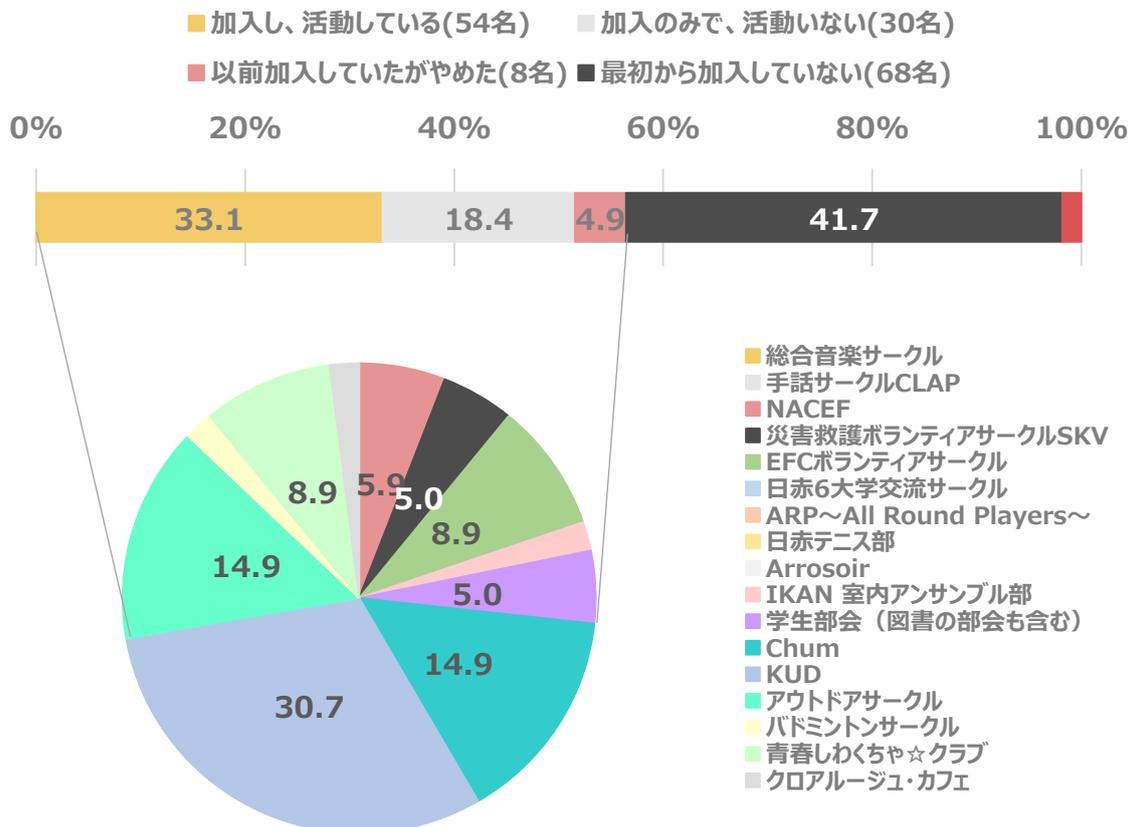


図26-3.加入している（していた）課外活動
（質問6で1～3を選択した方）（さいたま看護学部）



B) 加入している（していた）学外のサークル・同好会・ボランティアの活動内容について、該当する項目全てに○をつけてください。

図27-1.学外のサークル・同好会・ボランティアの活動内容
（質問6で1～3を選択した方）（全体）

■ 加入し、活動している(196名) ■ 加入のみで、活動いない(153名)
■ 以前加入していたがやめた(85名) ■ 最初から加入していない(242名)

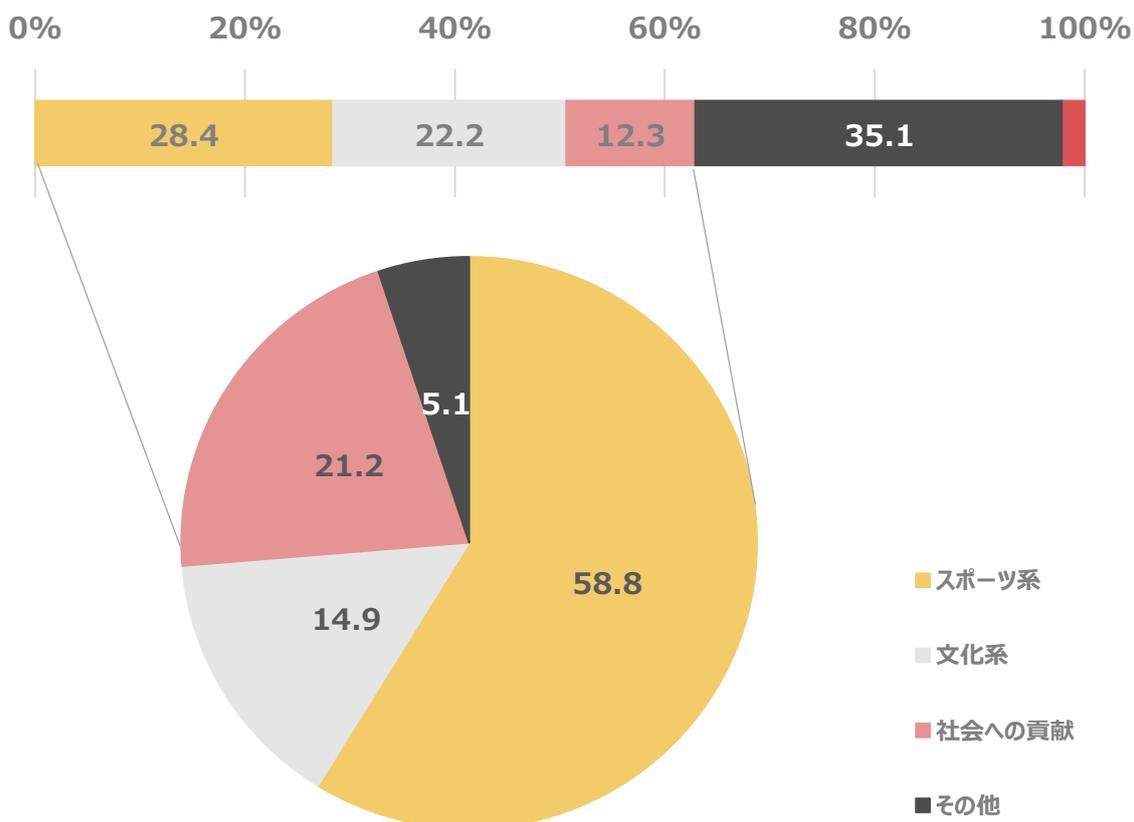


図27-2.学外のサークル・同好会・ボランティアの活動内容
 (質問6で1~3を選択した方) (看護学部)

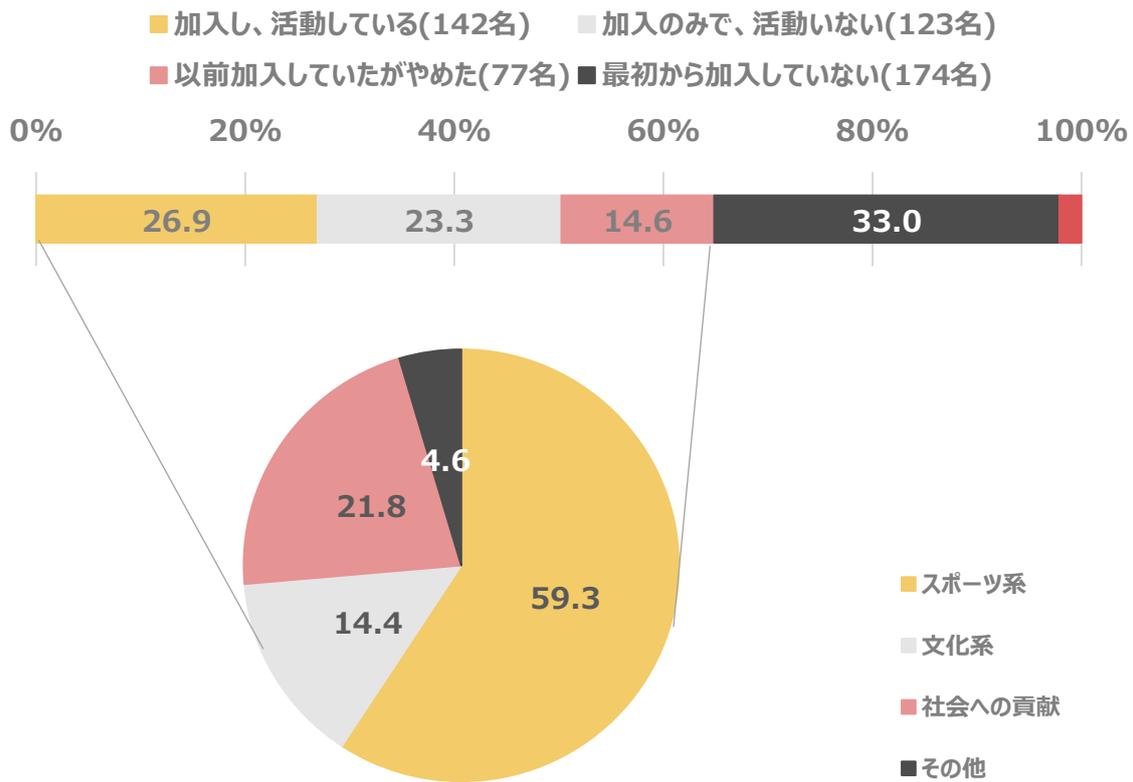
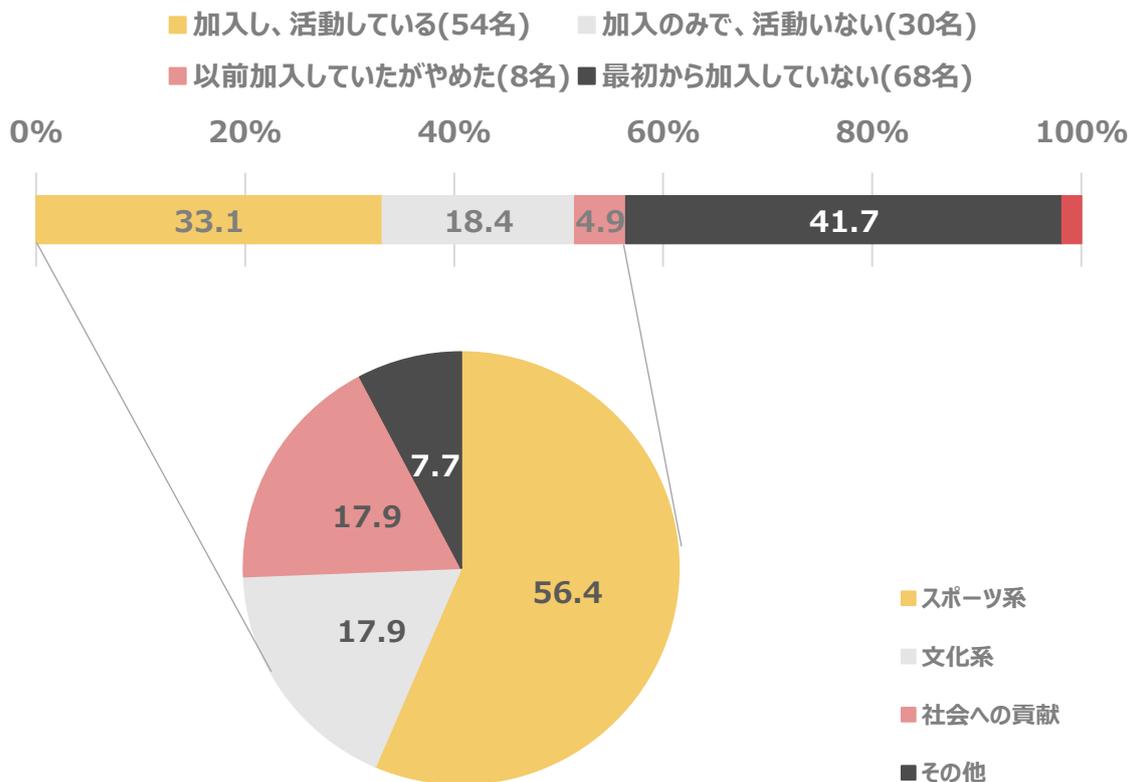


図27-3.学外のサークル・同好会・ボランティアの活動内容
 (質問6で1~3を選択した方) (さいたま看護学部)



「スポーツ系」を選択した方の具体的な回答内容は下記の通りであった。

- バドミントン（看護学部 15 名）
- 野球（看護学部 4 名、さいたま看護学部 2 名）
- マネージャー（看護学部 8 名）
- バレーボール（看護学部 20 名、さいたま看護学部 4 名）
- テニス（看護学部 9 名）
- バスケットボールサークル（看護学部 6 名、さいたま看護学部 5 名）
- 日本医科大学ラグビー部（看護学部 1 名）
- ダンス（看護学部 12 名、さいたま看護学部 3 名）
- スキューバダイビング（看護学部 10 名、さいたま看護学部 3 名）
- ハンドボール（看護学部 11 名）
- サッカー（看護学部 2 名）
- スノボ（看護学部 2 名）
- フットサル（看護学部 2 名）
- 球技（さいたま看護学部 1 名、看護学部 1 名）
- ドッジボール（さいたま看護学部 2 名）
- 卓球（看護学部 1 名）
- スポーツ委員会(スポーツの提案、文化祭の提案)（看護学部 1 名）
- よさこい（看護学部 2 名）
- 空手（看護学部 1 名）
- 陸上同好会、オールラウンド（看護学部 1 名）
- スカッシュ（看護学部 1 名）
- かくれんぼ、おにごっこ（看護学部 2 名）
- ばれいしょ（看護学部 1 名）
- SHODKER（看護学部 1 名）
- ヨット（看護学部 1 名）
- タッチラグビー（看護学部 1 名）
- 登山サークル（看護学部 2 名）
- 軽スポーツ全般、球技（さいたま看護学部 1 名）
- **競技かるた（看護学部 1 名）**

「文化系」を選択した方の具体的な回答内容は下記の通りであった。

- **合唱**（看護学部 4 名、さいたま看護学部 2 名）
- ミュージカル（看護学部 1 名）
- 吹奏楽（看護学部 3 名）
- 楽器（看護学部 1 名）
- 総合音楽サークル（看護学部 1 名）
- 音楽活動（看護学部 1 名）
- オーケストラ（看護学部 1 名）
- **バンド**（看護学部 4 名）

- 音楽家（看護学部1名）
- 室内楽（看護学部1名）
- 上智大管弦楽団（看護学部1名）
- PCサークル（看護学部1名）
- 国際交流（看護学部1名）
- 演劇サークル（看護学部2名）
- お笑いサークル（看護学部1名）
- 作品展示や販売（看護学部1名）
- ディズニー研究会（看護学部1名）
- 地理（看護学部1名）
- コス研（看護学部1名）
- 広報部会（さいたま看護学部1名）
- 韓国（看護学部1名、さいたま看護学部3名）
- カンボジアについて学ぶ（さいたま看護学部1名）
- 災害についての勉強、心電図の読み方（看護学部1名）

「社会への貢献」を選択した方の具体的な回答内容は下記の通りであった。

- ボランティア（看護学部3名）
- 障害をもつ子どもへのボランティア（看護学部1名）
- 手話ボランティア（看護学部2名）
- 地域のボランティア（看護学部2名）
- 災害ボランティア（看護学部5名）
- 小児がんの子どもへのボランティア（看護学部1名）
- 子どものボランティア（子ども食堂、学習支援）（看護学部5名）
- 学童へのサポート（看護学部2名）
- オンラインデイへの参加（看護学部1名）
- マイハウス（看護学部1名）
- 障害をもつ人々との交流（看護学部1名）
- 地域との交流（看護学部21名）
- 室内楽（看護学部1名）
- 勉強会（看護学部1名）
- 世界に目を向けよう（さいたま看護学部1名）
- アカデミックボランティアサークル、SDGs 貢献（さいたま看護学部1名）
- 教育ボランティア、ESA アジア教育支援の会（さいたま看護学部1名、看護学部1名）
- 神奈川県学生献血推進連盟（さいたま看護学部1名）
- 図書館ボランティア（さいたま看護学部1名）

C) 課外活動に参加した目的は何ですか。該当するすべてに○をつけてください。

図28-1. 課外活動に参加した目的
(質問6で1~3を選択した方) (全体)

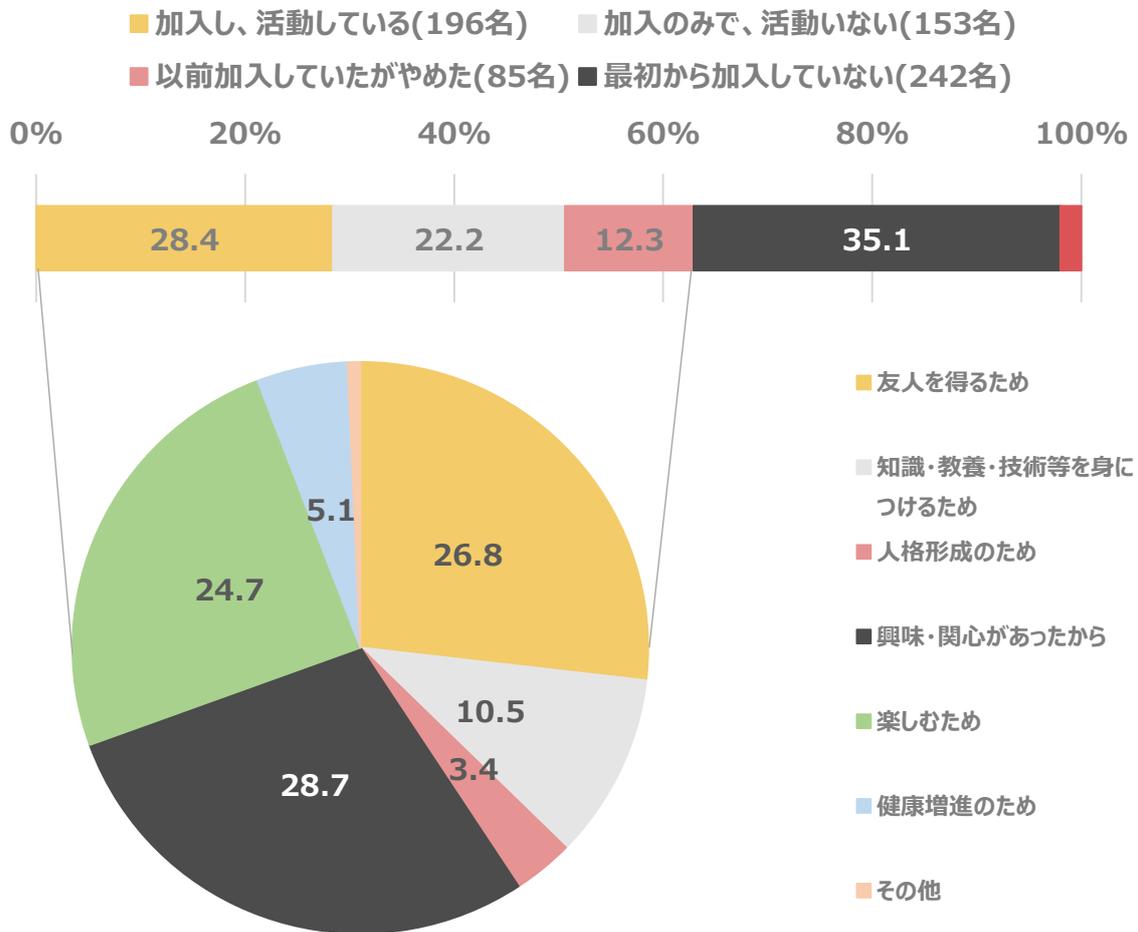


図28-2.課外活動に参加した目的
(質問6で1~3を選択した方) (看護学部)

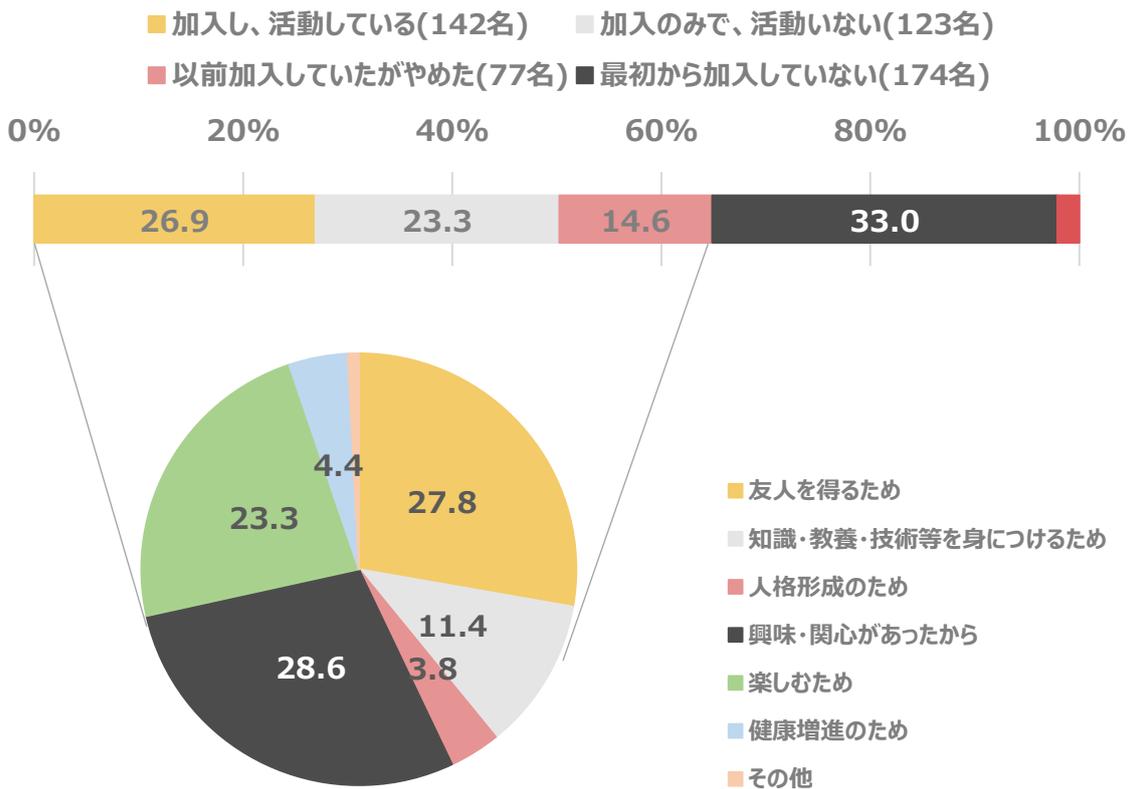
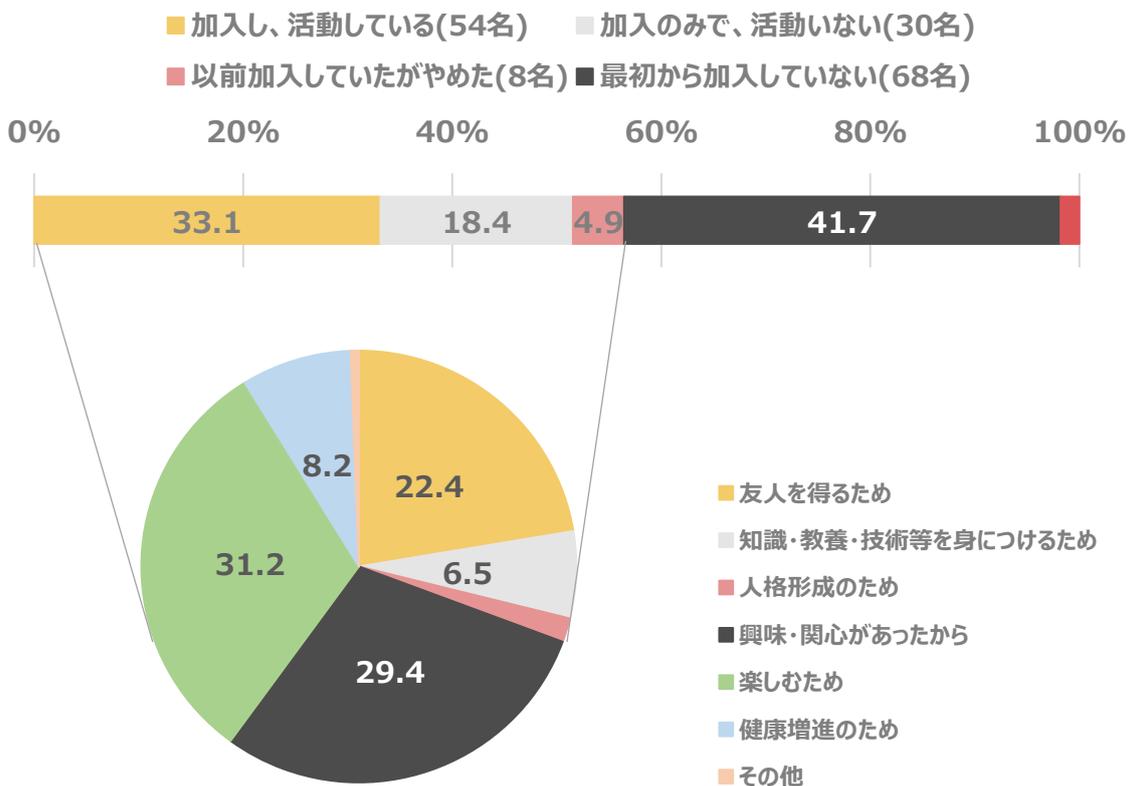


図28-3.課外活動に参加した目的
(質問6で1~3を選択した方) (さいたま看護学部)



D) クラブ活動（課外活動）時間は週平均してどのくらいですか。

図29-1.クラブ活動（課外活動）時間(週平均)
(質問6で1～3を選択した方) (全体)

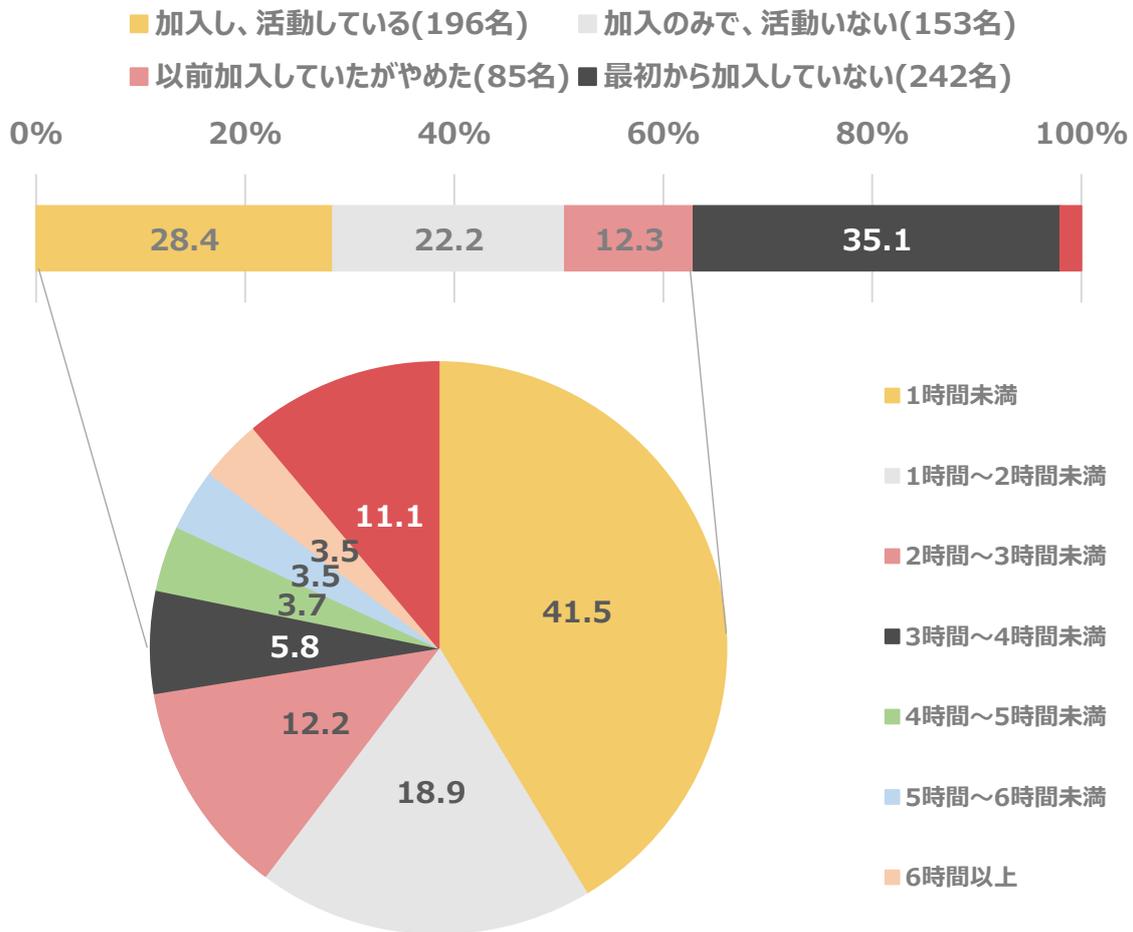


図29-2.クラブ活動（課外活動）時間(週平均)
 (質問6で1～3を選択した方) (看護学部)

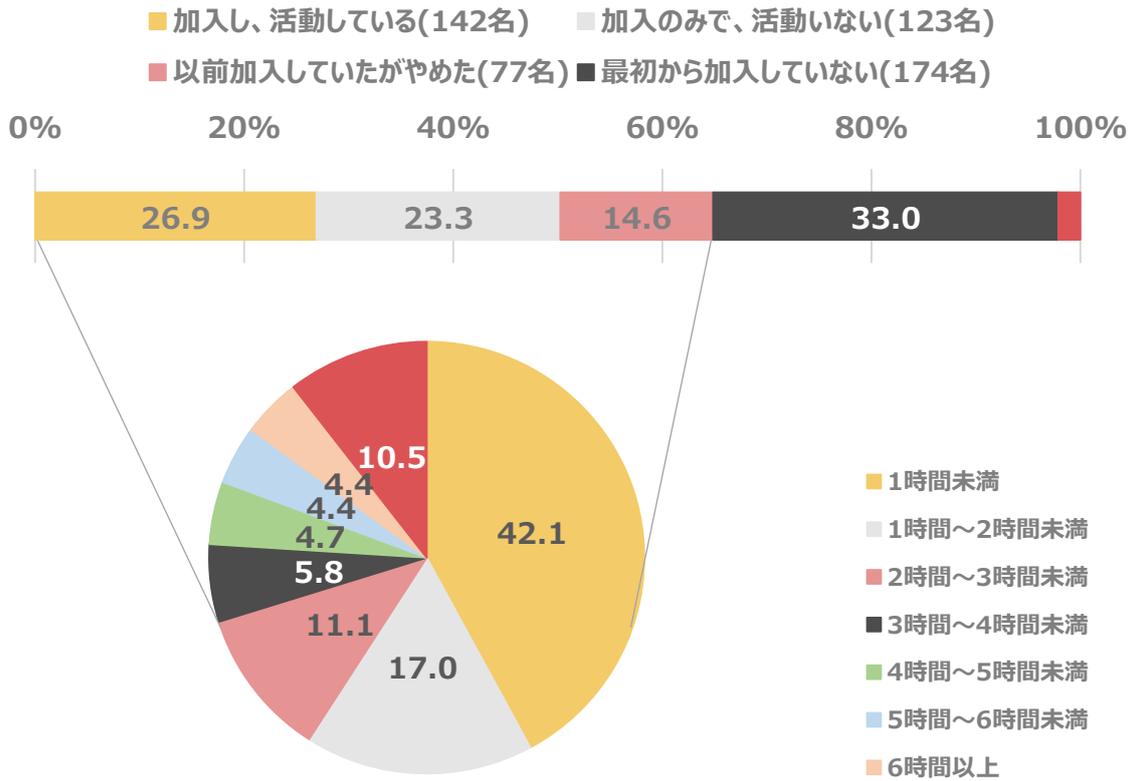
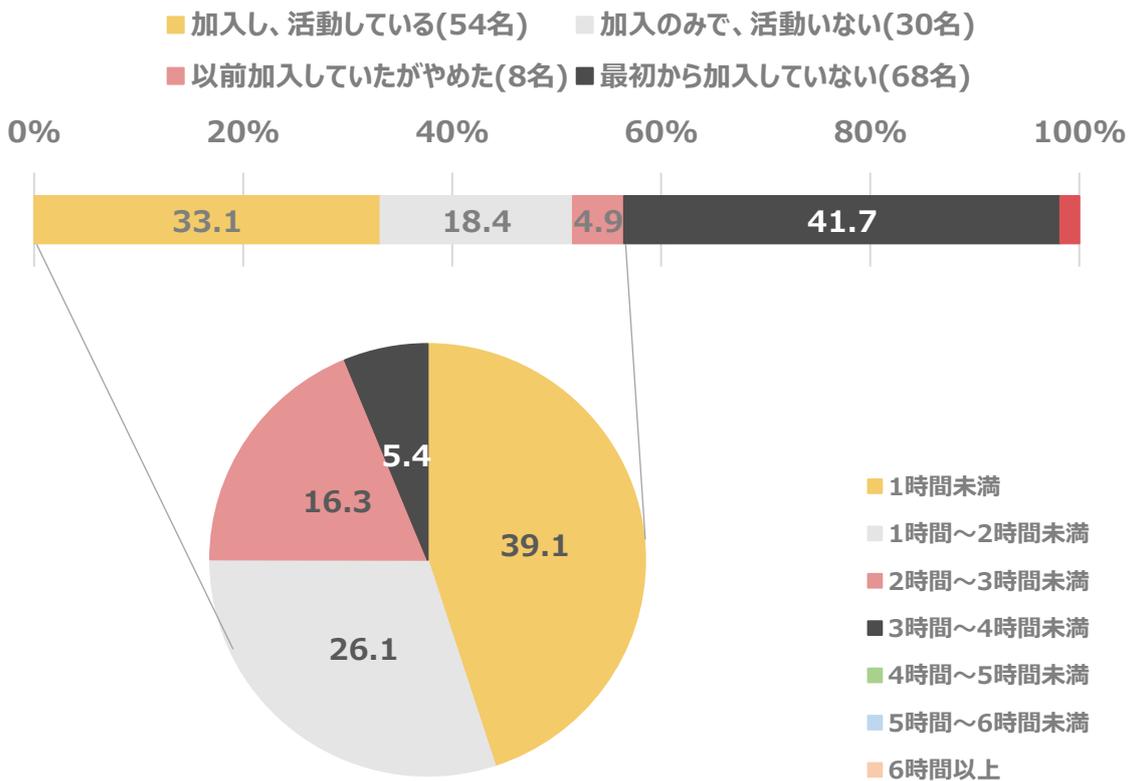


図29-3.クラブ活動（課外活動）時間(週平均)
 (質問6で1～3を選択した方) (さいたま看護学部)



質問6-2. [質問6で3.以前加入していたがやめた]と回答した学生にお聞きします。
課外活動を途中でやめた主な理由を1つ選んで○をつけてください。

図30-1. 課外活動を途中でやめた主な理由
(質問6で「3. 以前加入していたがやめた」を選択した方)(全体)

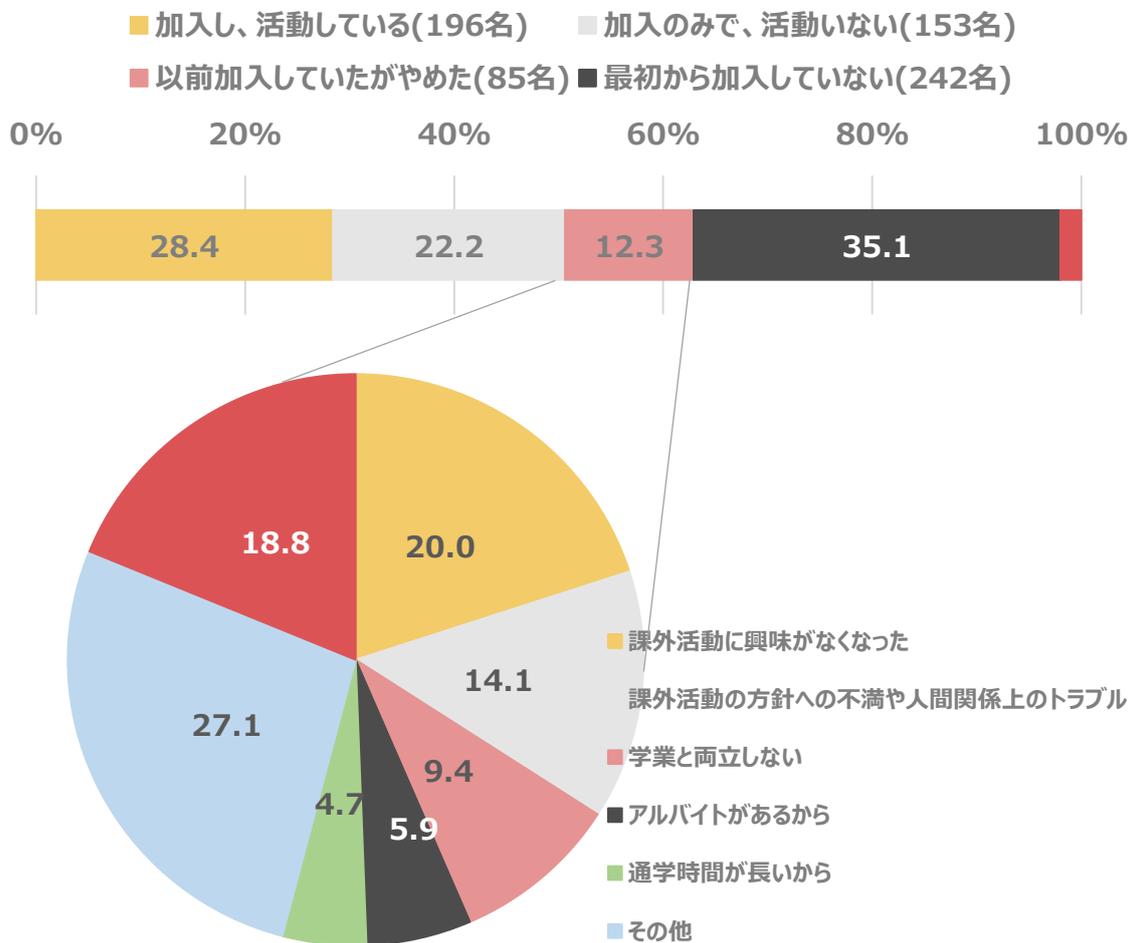


図30-2.課外活動を途中でやめた主な理由(質問6で「3. 以前加入していたがやめた」を選択した方)(看護学部)

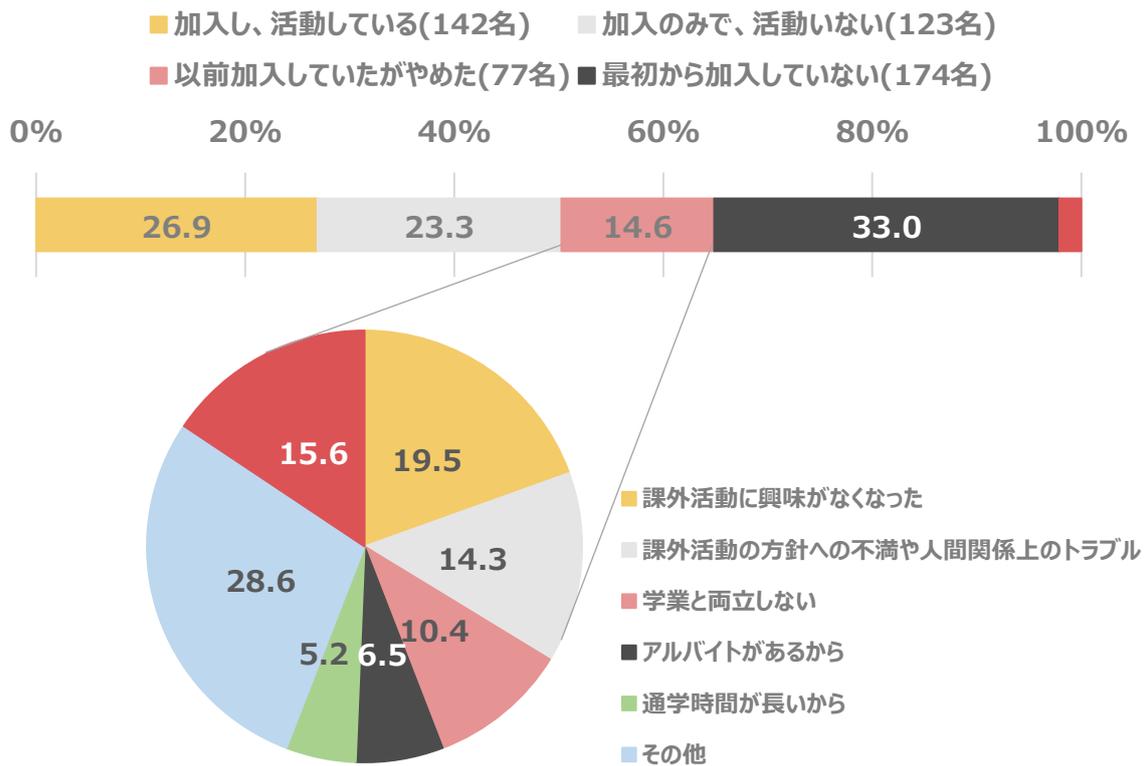
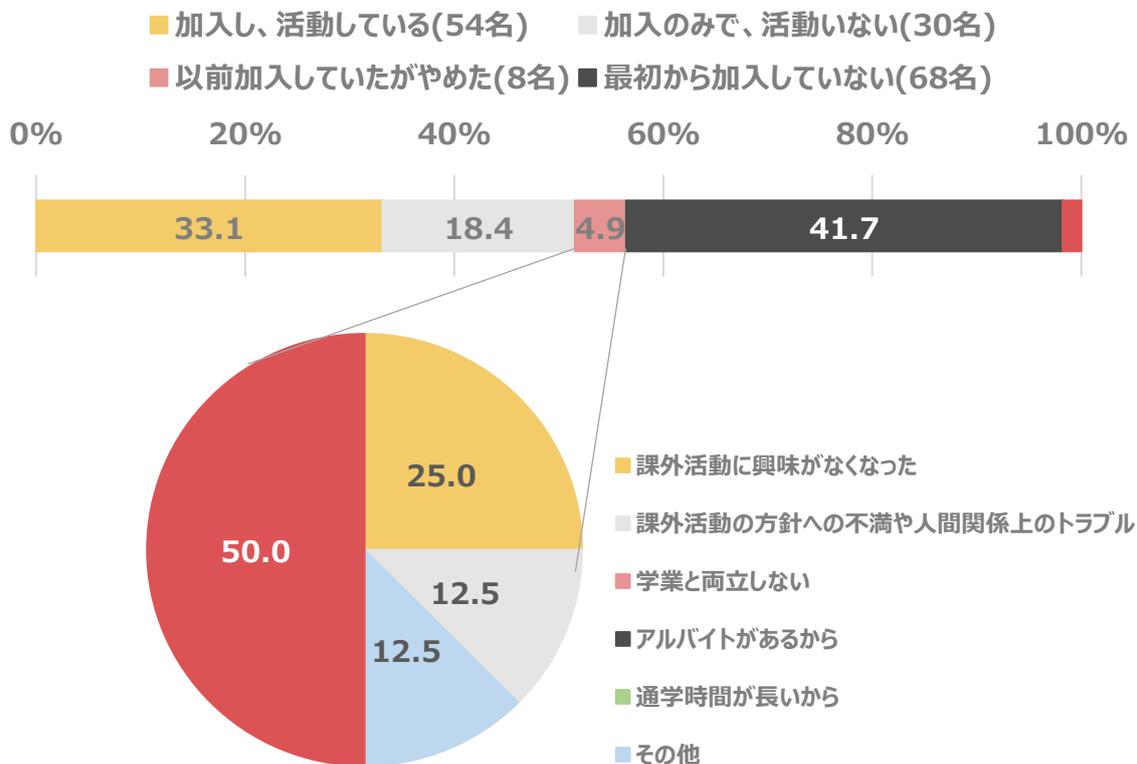


図30-3.課外活動を途中でやめた主な理由(質問6で「3. 以前加入していたがやめた」を選択した方)(さいたま看護学部)



「その他」を選択した方の具体的な回答内容は下記の通りであった。

- 卒業・引退だから（看護学部 9名）
- コロナ影響（看護学部 8名）
- もともと2年周期だった。（看護学部 1名）
- サークルがなくなった（看護学部 2名）
- 3年になり周囲の同学年の友人がほとんどやめたから（看護学部 1名）
- 活動がない（看護学部 2名、さいたま看護学部 1名）
- 経済的にきびしくなった（看護学部 2名、さいたま看護学部 1名）
- 時間が合わなく参加できなかった（看護学部 1名）
- 活動の見込みがなかったから（看護学部 2名）

質問6-3. [質問6で4.最初から加入していない]と回答した学生にお聞きします。

課外活動に参加したことの無い、主な理由を1つ選んで○をつけてください。

図31-1. 課外活動に参加したことの無い主な理由
(質問6で「3. 最初から加入していない」を選択した方)(全体)

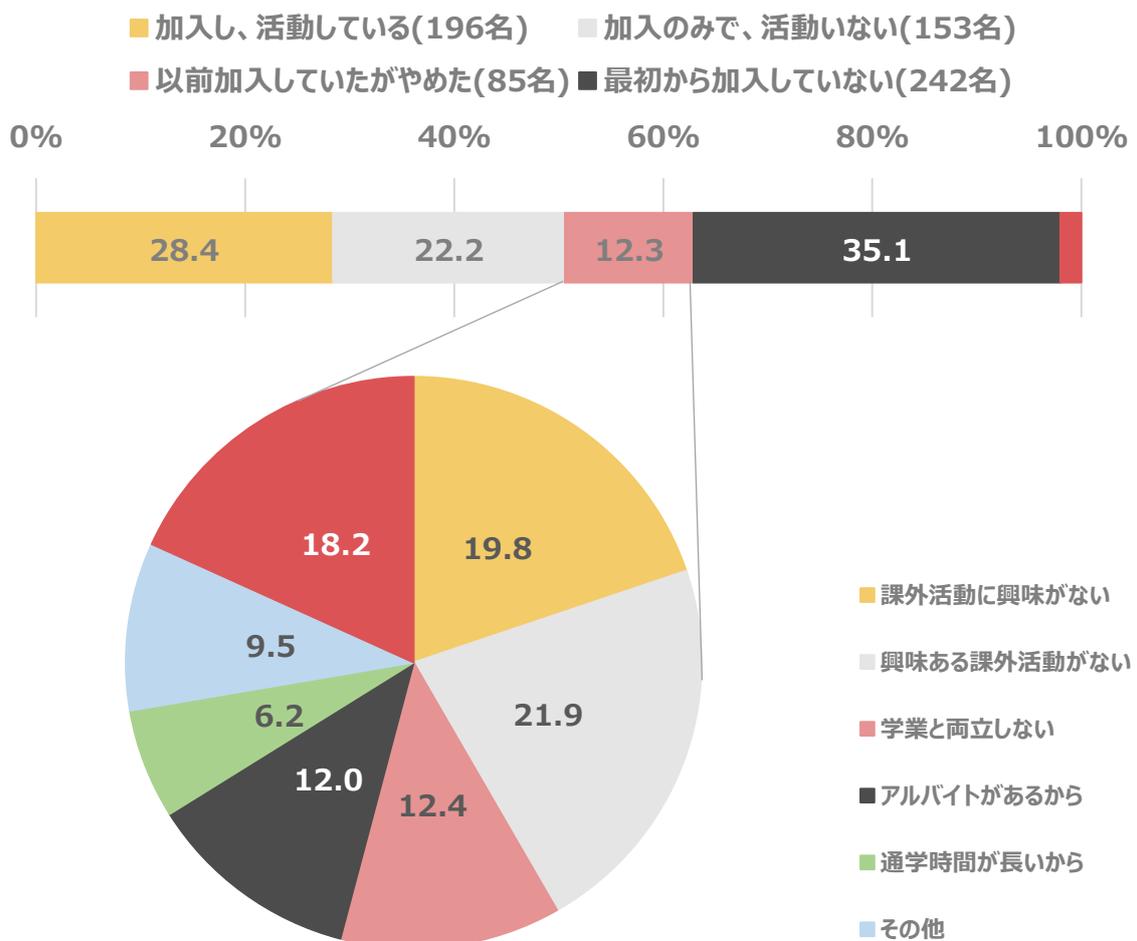


図31-2. 課外活動に参加したことの無い主な理由(質問6で「3. 最初から加入していない」を選択した方)(看護学部)

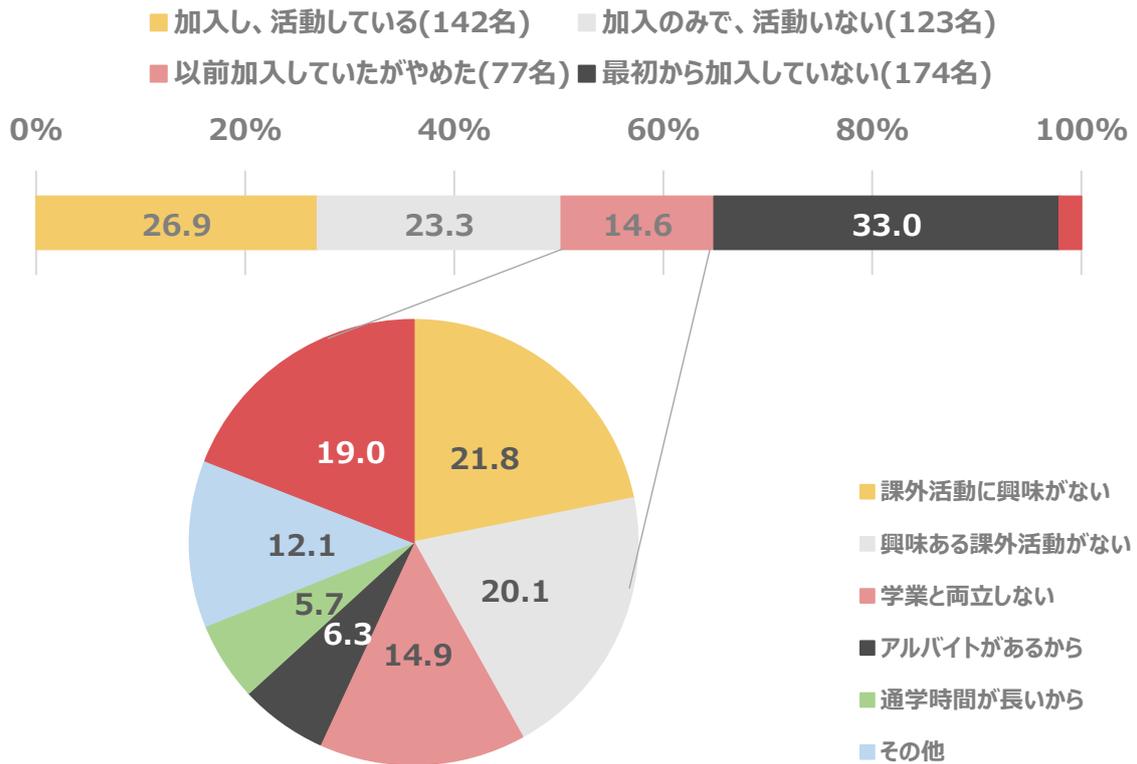
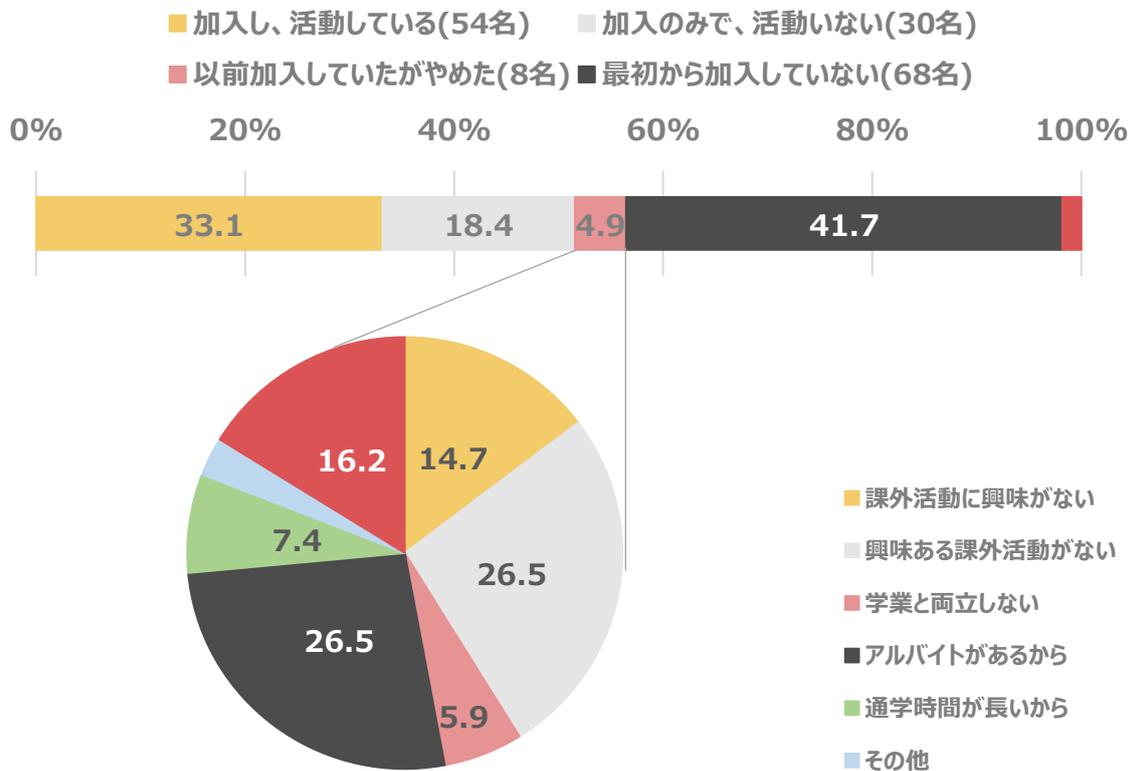


図31-3. 課外活動に参加したことの無い主な理由(質問6で「3. 最初から加入していない」を選択した方)(さいたま看護学部)



【全員の学生にお聞きします。】

質問6-4. 以下のA)～C)についてそれぞれお答えください。

A) 本年度の夏季休暇の主な行動について、該当する項目全てに○をつけてください。

図32-1.本年度の夏季休暇の主な行動(全体)

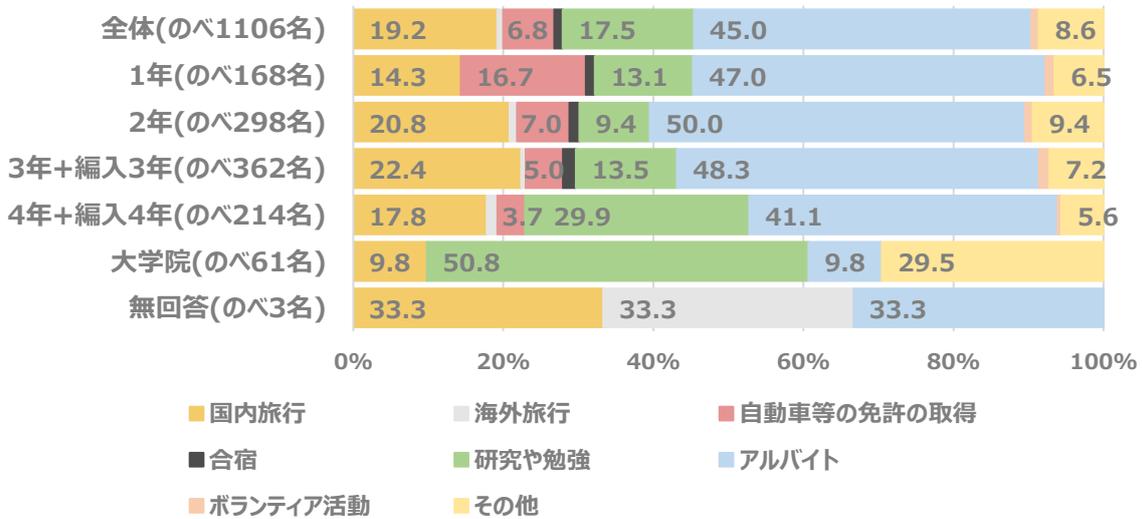


図32-2.本年度の夏季休暇の主な行動(看護学部)

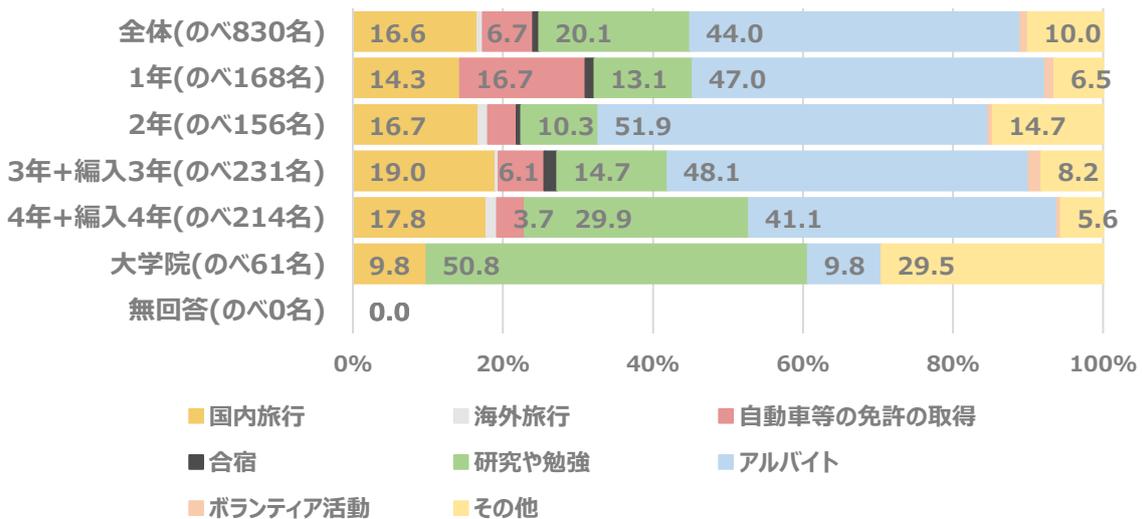
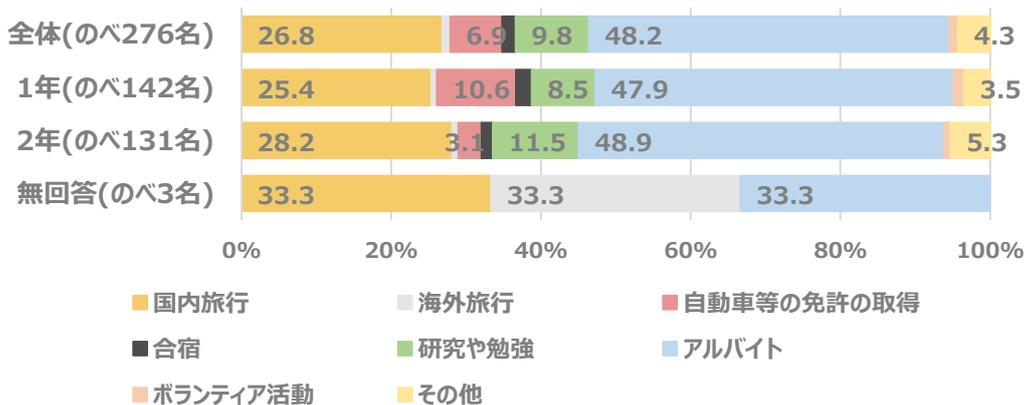


図32-3.本年度の夏季休暇の主な行動(さいたま看護学部)



B) 大学入学以来、技術や資格等の獲得のために学外の学校に通ったことがありますか。

図33-1.大学入学以来、技術や資格等の獲得のために学外の学校に通ったことがありますか。(全体)

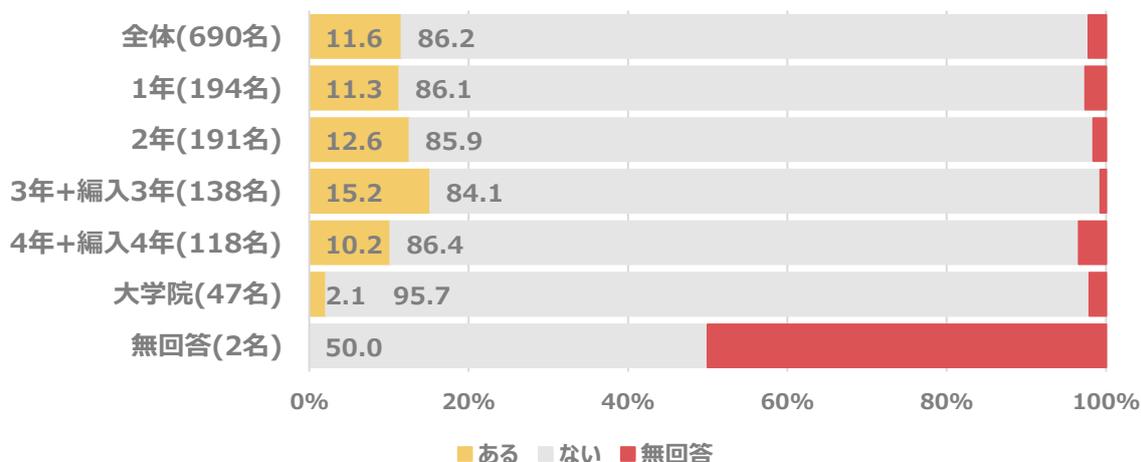


図33-2.大学入学以来、技術や資格等の獲得のために学外の学校に通ったことがありますか。(看護学部)

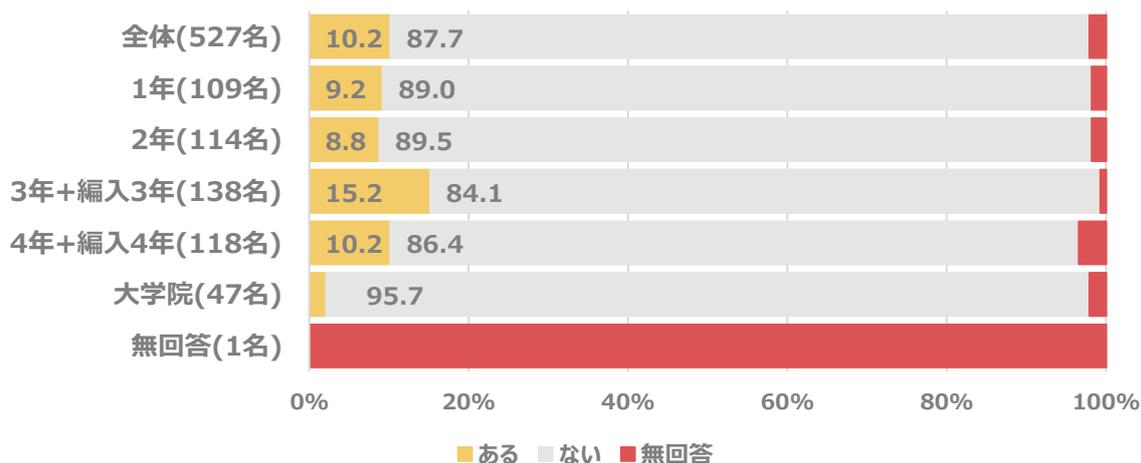
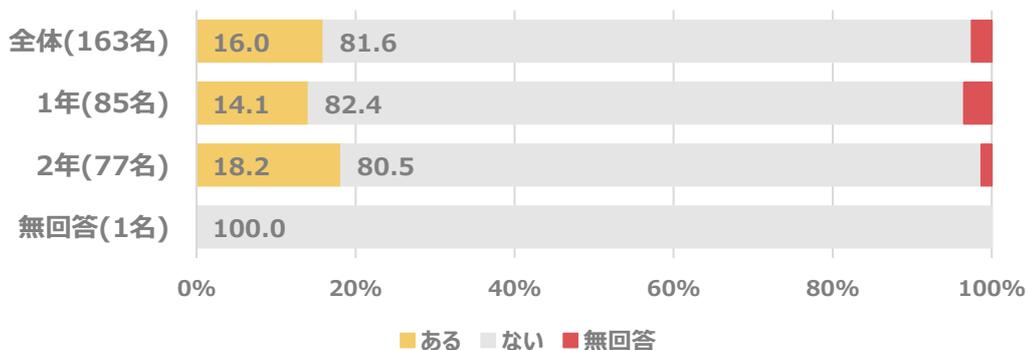


図33-3.大学入学以来、技術や資格等の獲得のために学外の学校に通ったことがありますか。(さいたま看護学部)



B)-1 (B) で 1. ある) と回答した学生にお聞きします。学外の学校でどのような講座を受講しましたか。下記の講座で該当する項目全てに○をつけてください。

図34-1.学外の学校でどのような講座を受講しましたか
(質問6-4 B) で「1. ある」を選択した方(全体)

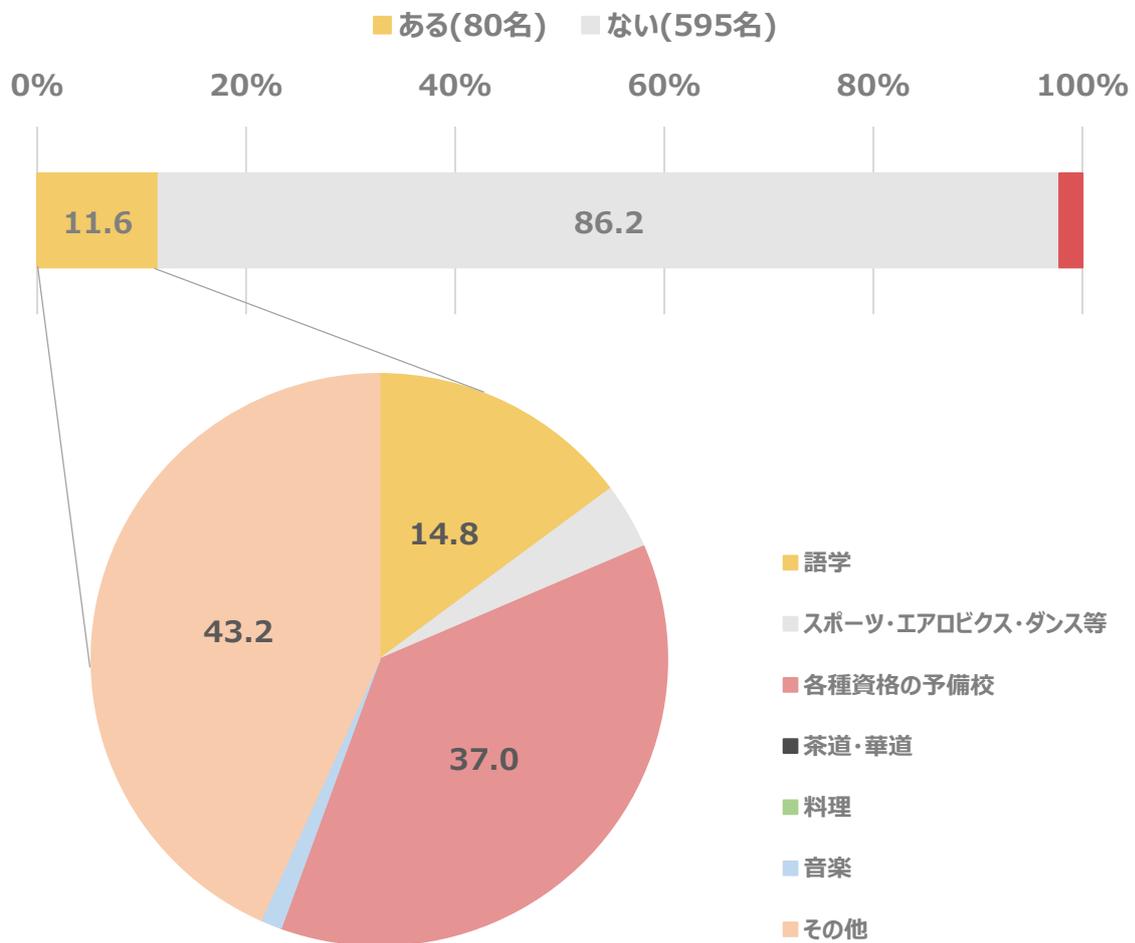


図34-2.学外の学校でどのような講座を受講しましたか
(質問6-4 B)で「1. ある」を選択した方)(看護学部)

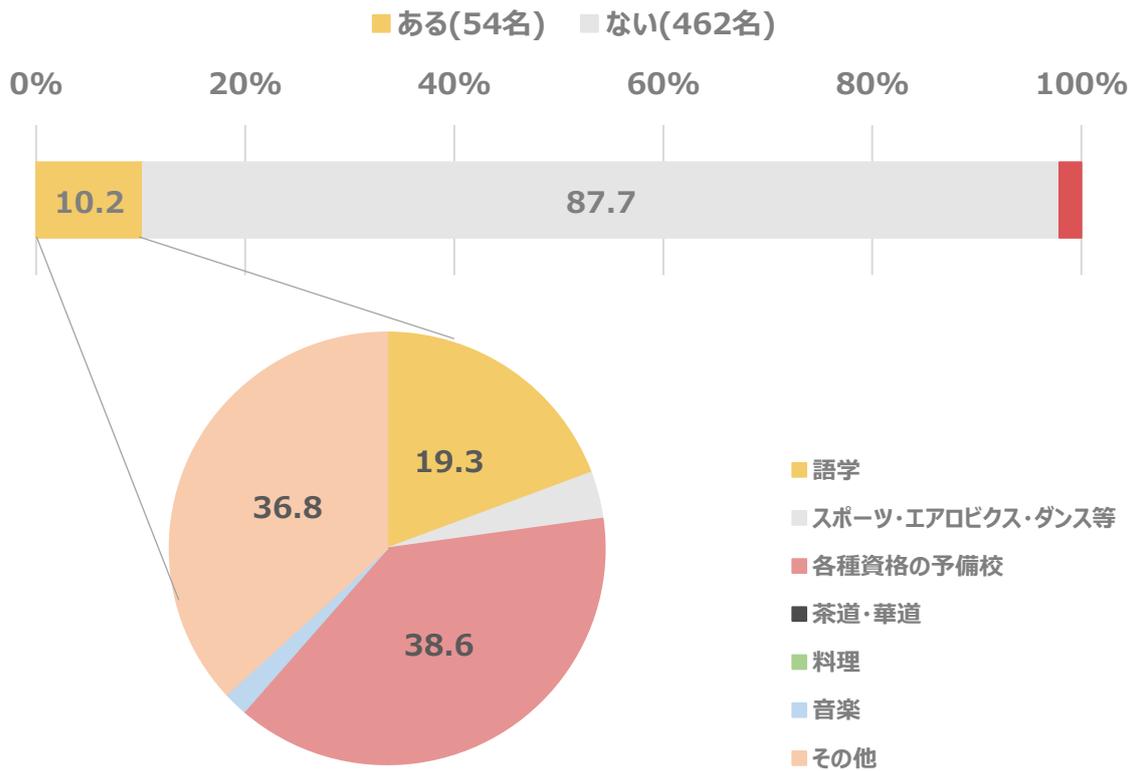
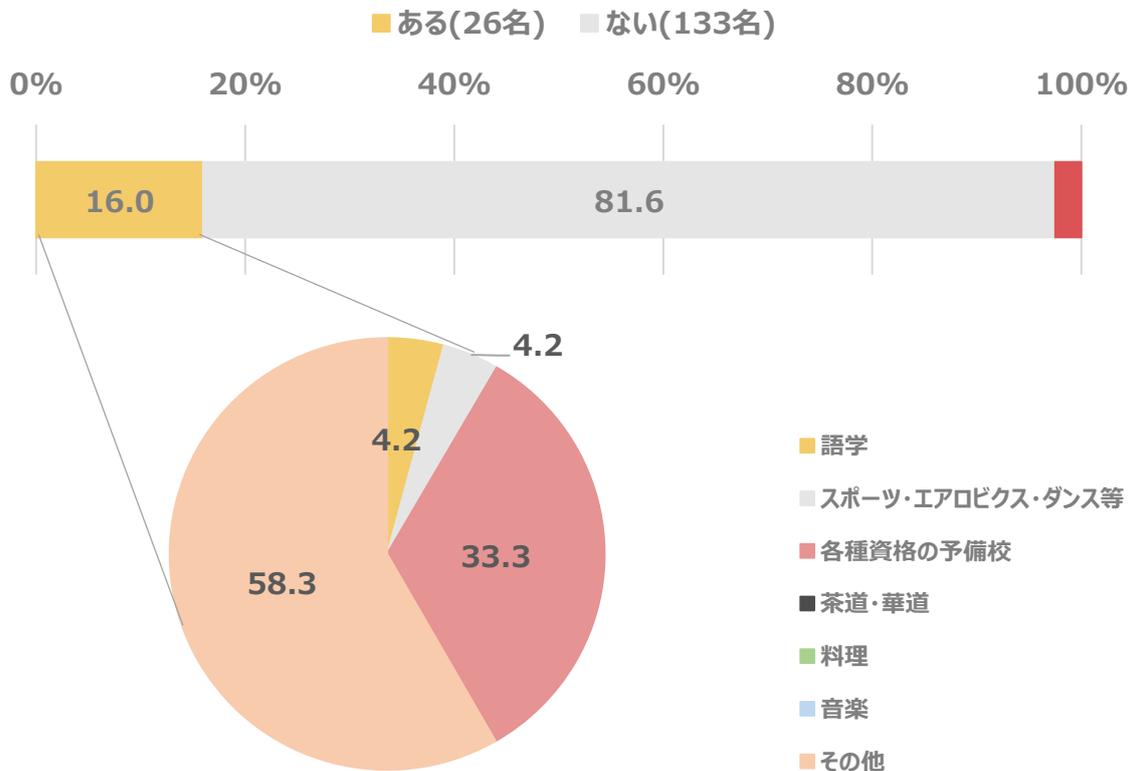


図34-3.学外の学校でどのような講座を受講しましたか
(質問6-4 B)で「1. ある」を選択した方)(さいたま看護学部)



「各種資格の予備校」を選択した方の具体的な資格内容は下記の通りであった。

- きもの5級準師範、4級師範（看護学部1名）
- 自動車運転免許（看護学部23名、たいたま看護学部8名）

「その他」を選択した方の具体的な回答内容は下記の通りであった。

- 自動車運転免許（看護学部15名、さいたま看護学部13名）
- 書道（看護学部2名）
- 救命に関する資格の講座（看護学部1名）
- サックス（看護学部1名）

【全員の学生にお聞きします。】

C) 現在大学で主催している課外教育プログラムも含めて、今後どのようなプログラムを希望しますか。最も希望するものを1つ選んで○をつけてください。

図35-1.現在大学で主催している課外教育プログラムも含めて、今後どのようなプログラムを希望しますか。(全体)

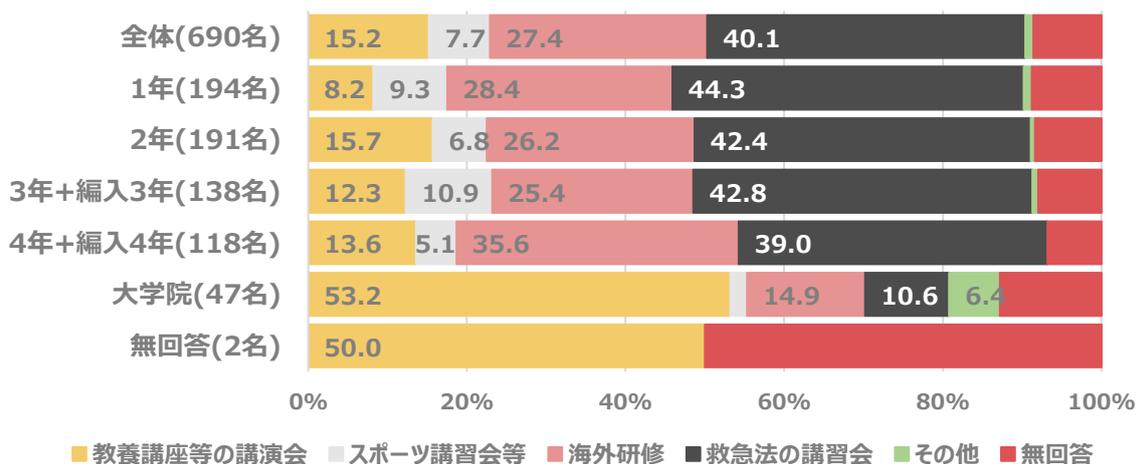


図35-2.現在大学で主催している課外教育プログラムも含めて、
今後どのようなプログラムを希望しますか。(看護学部)

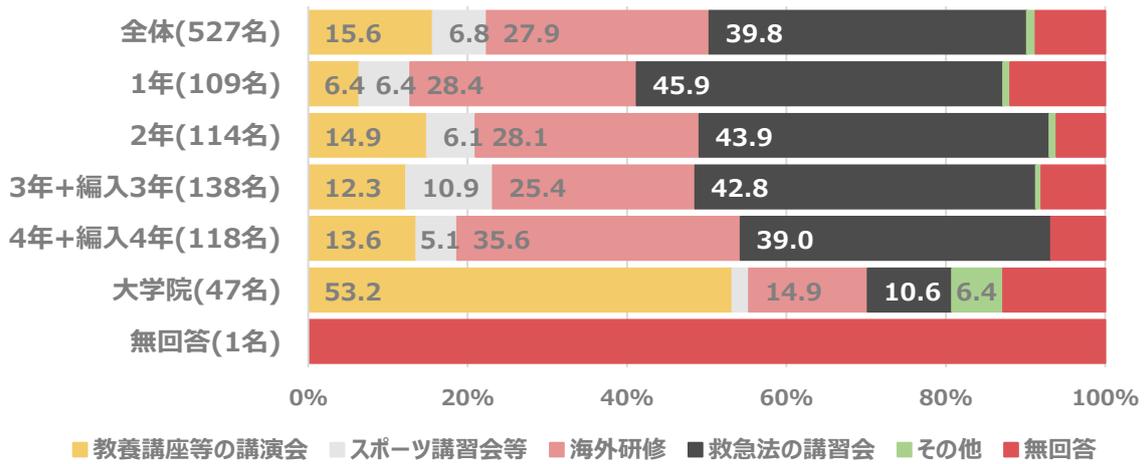
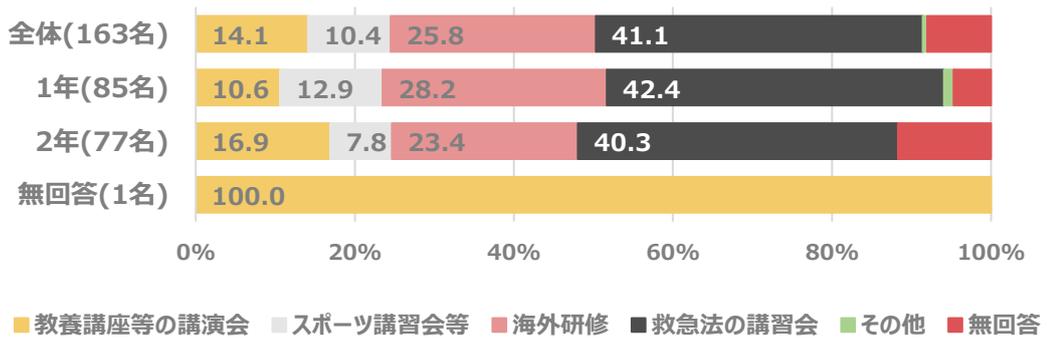


図35-3.現在大学で主催している課外教育プログラムも含めて、
今後どのようなプログラムを希望しますか。(さいたま看護学部)



(7) 生活時間

学期中の平日（月～金曜日）1日の生活時間は、実習がない期間の睡眠時間は全体の39.7%が6時間～7時間未満、31.4%が5時間～6時間未満であった。一方実習期間中の睡眠時間は31.3%の学生が4時間～5時間未満、25.1%が5時間～6時間未満と回答しており、実習がない期間と実習期間中で睡眠時間に大きな差が生じていることがわかった。学年別にみると、特に2年生、3年生の睡眠時間が実習期間中に少ない傾向がみとれた。

また、実習がない期間の普段の学習時間は、専門科目については、30分未満、30分～1時間未満、1時間～2時間未満がそれぞれおよそ3割前後の回答があった。2つのキャンパスを比較すると、2年生に少々分布の差があり、看護学部では1時間以上と回答した学生が4割程度だった一方で、さいたま看護学部では半数いた。30分未満と回答した理由については、「テスト前にすればよいから」が最も多く26.2%、「やる気がないから（17.1%）」、「アルバイトで忙しいから（16.9%）」と続いた。また基礎教養科目については、30分未満が最も多く45.4%、こちらも2年生の分布が2つのキャンパスで異なり、看護学部よりもさいたま看護学部のほうが学習時間が多かった。また、30分未満と回答した理由については、専門科目同様に「テスト前にすればよいから」が最も多く25.6%、「やる気がないから」が18.6%であった。続いて実習がある期間の学習時間は、1時間～3時間未満が40.0%で、3時間以上が24.1%であった。学年別にみると、3時間以上と回答している学生が最も多かったのは4年生、次いで2年生であった。自由時間（TV・音楽・電話等）は全体で66.2%の学生が1時間～3時間未満と回答していた。学年別にみると1年生～3年生は概ね分布が似通っているが、4年生になると2時間以上と回答している学生の割合が多い傾向がみとれた。

片道の通学時間は30分～90分未満が最も多く、全体の67.4%を占めた。2つのキャンパスで比較すると、さいたま看護学部のほうが看護学部よりも60分未満の割合が多く、比較的近距离から通学していることがみとれた。

質問7. 学期中の平日（月～金曜日）1日の生活時間についてお聞きします。

A)～E)の項目毎に、それぞれあてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

A) 睡眠時間

A)-1 実習がない期間

図36-1.睡眠時間(実習がない期間)(全体)

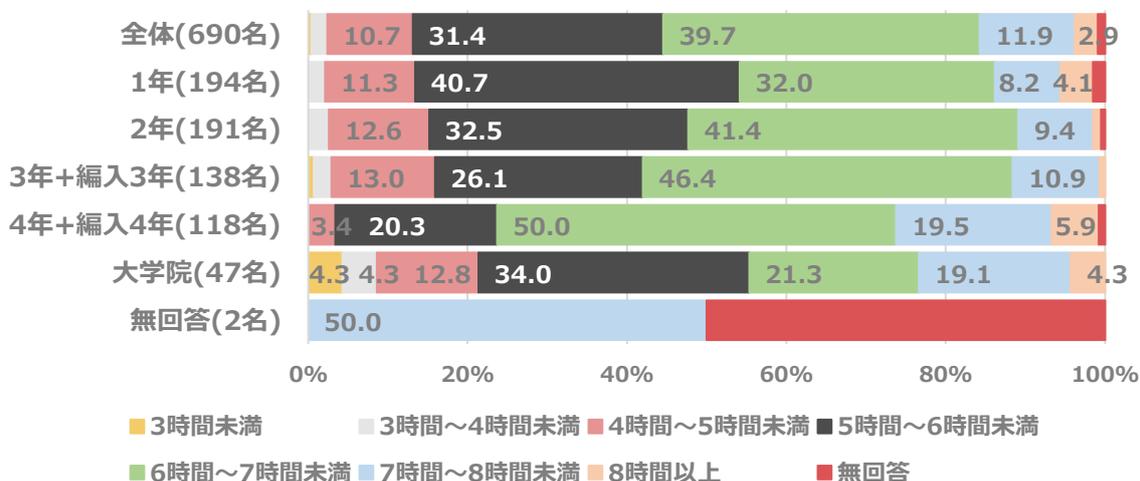


図36-2.睡眠時間(実習がない期間)(看護学部)

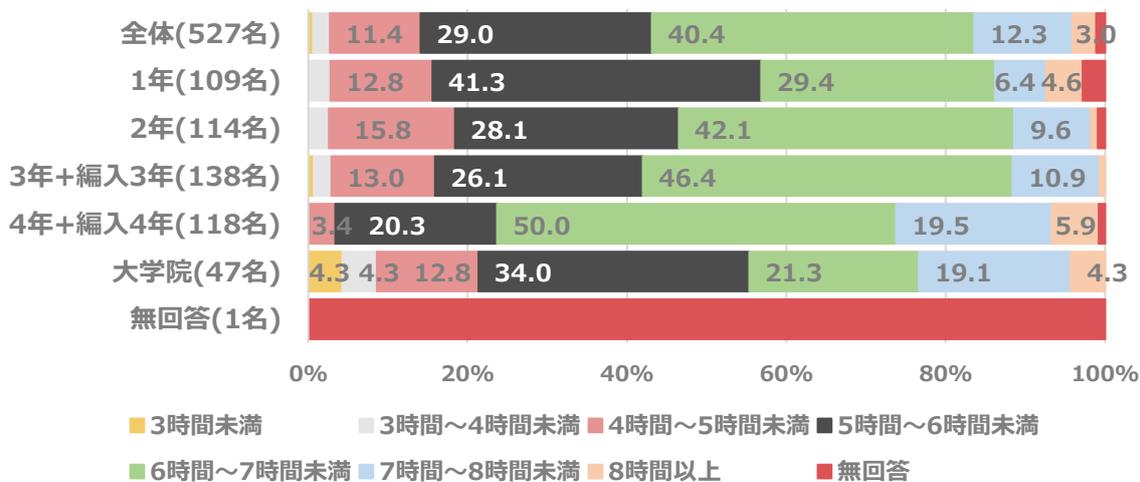


図36-3.睡眠時間(実習がない期間)(さいたま看護学部)

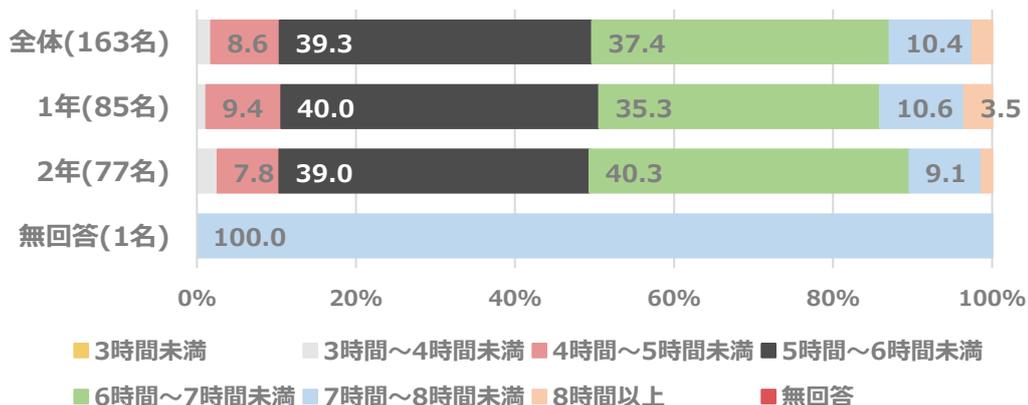


図37-1.睡眠時間(実習期間中)(全体)

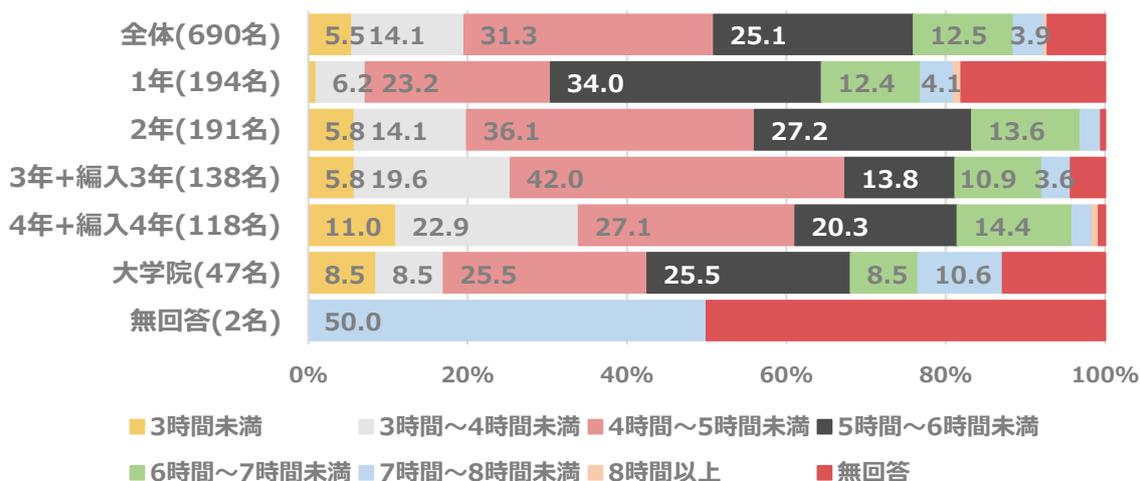


図37-2.睡眠時間(実習期間中)(看護学部)

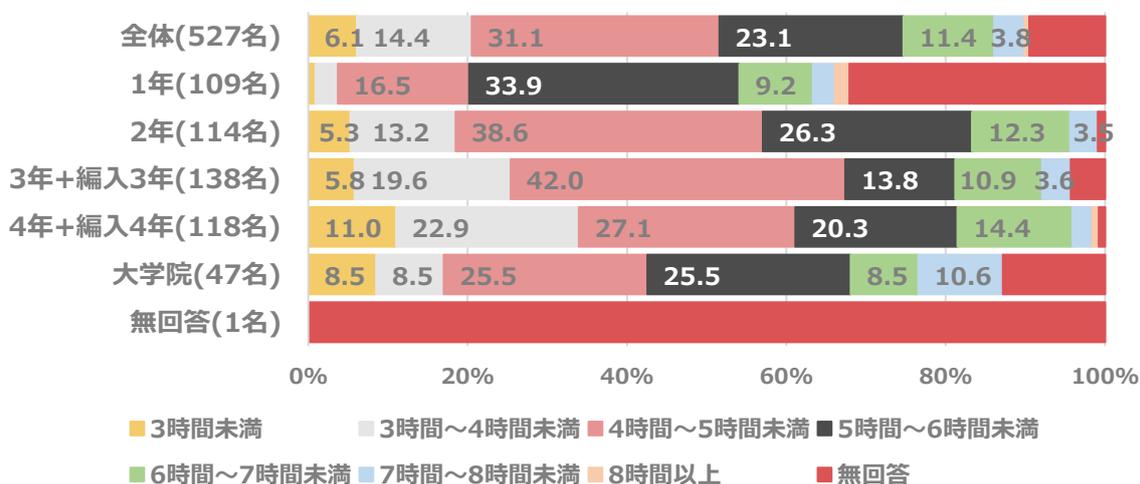
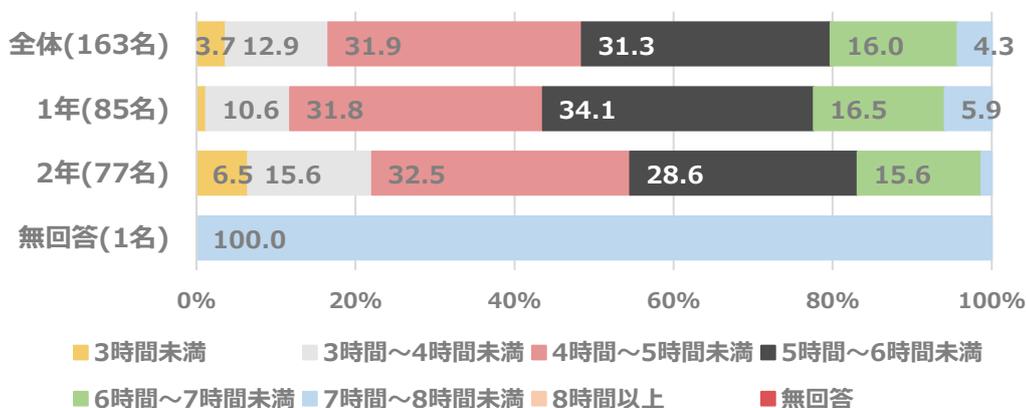


図37-3.睡眠時間(実習期間中)(さいたま看護学部)



B) 学習時間

B-1) 普段時（実習がない期間）

(1)-1 専門科目

図38-1. 学習時間(専門科目)(全体)

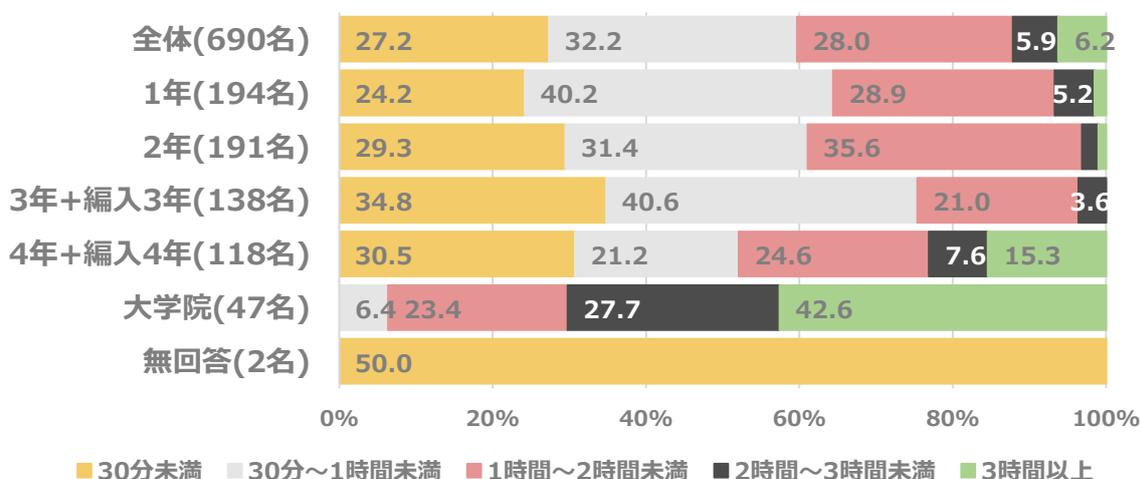


図38-2. 学習時間(専門科目)(看護学部)

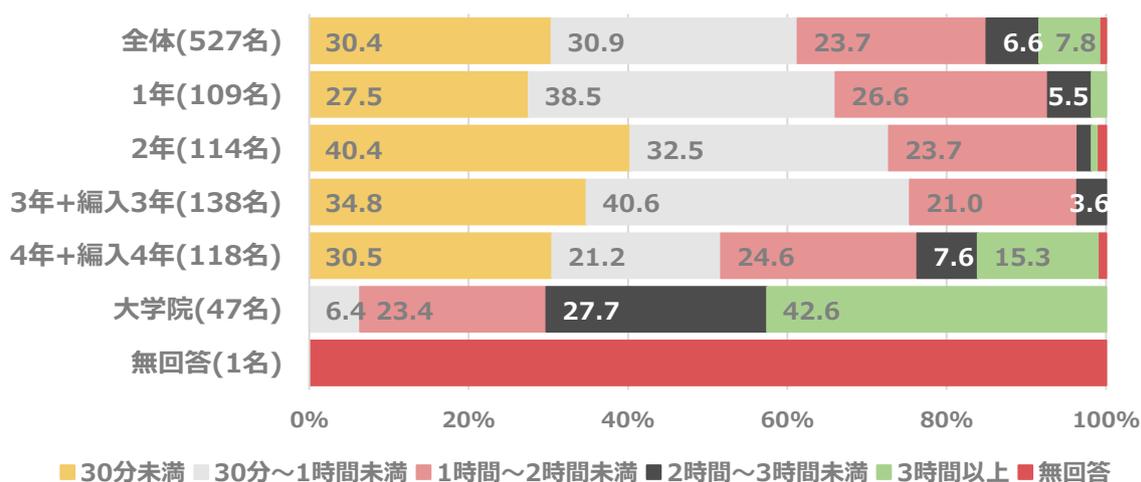
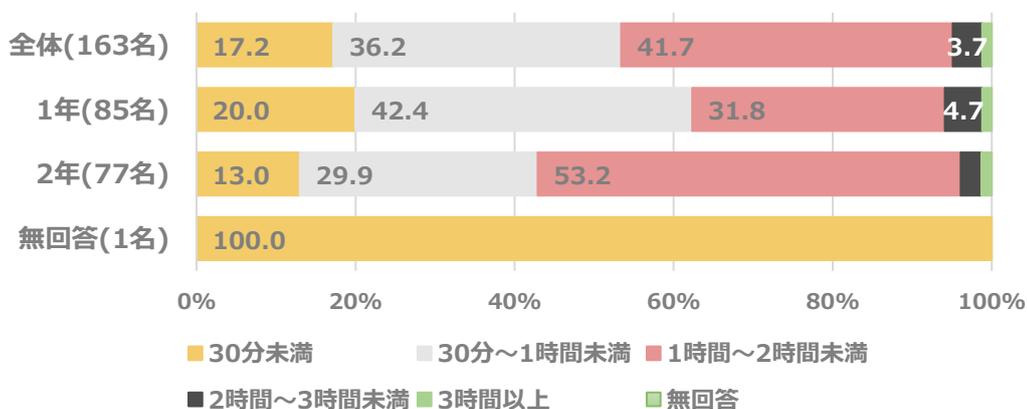


図38-3. 学習時間(専門科目)(さいたま看護学部)



(1)-2 (1)-1 で「30分未満」「30分～1時間未満」と回答した人にお尋ねします。
その理由として最も当てはまるのはどれですか。

図39-1.専門科目の学習時間についての理由（前問で「1. 30分未満」「2. 30分～1時間未満」を選択した方）（全体）

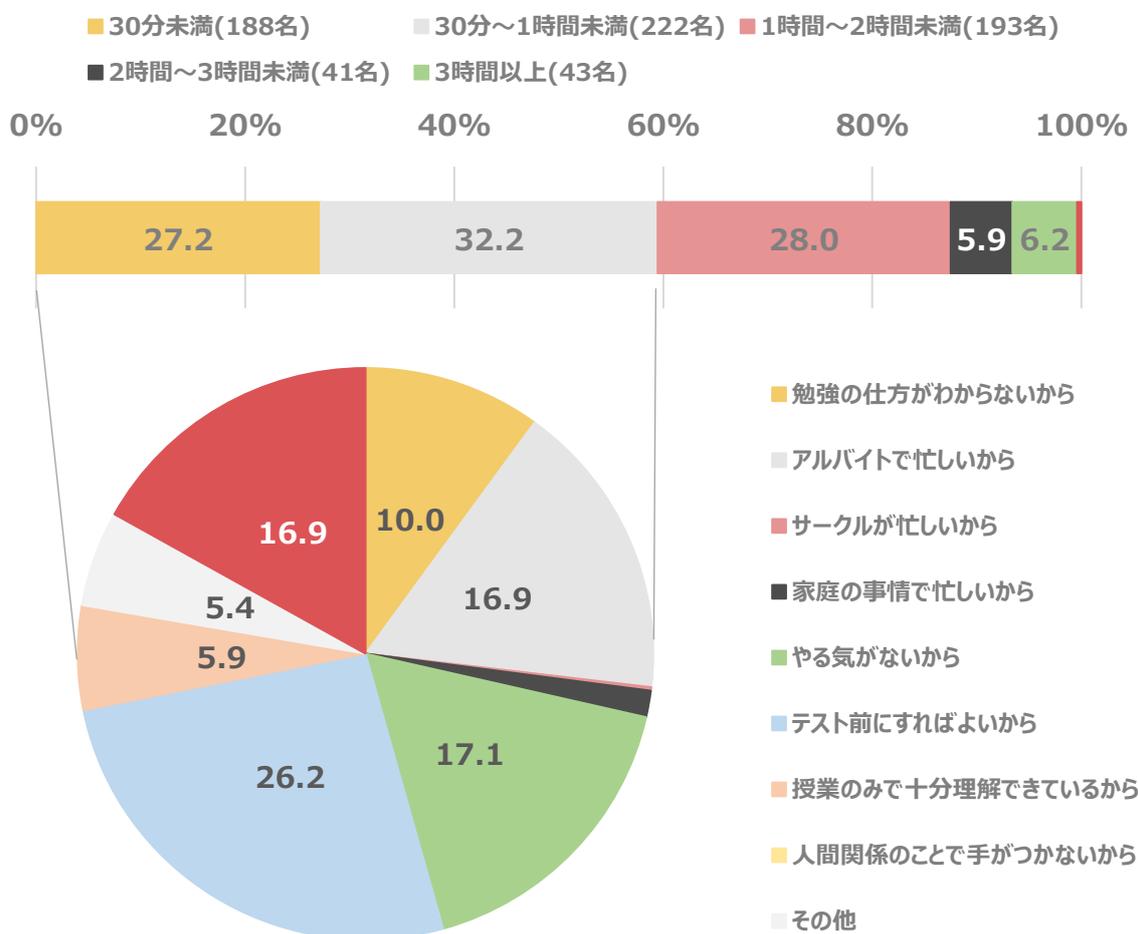


図39-2.専門科目の学習時間についての理由（前問で「1. 30分未満」「2. 30分～1時間未満」を選択した方）（看護学部）

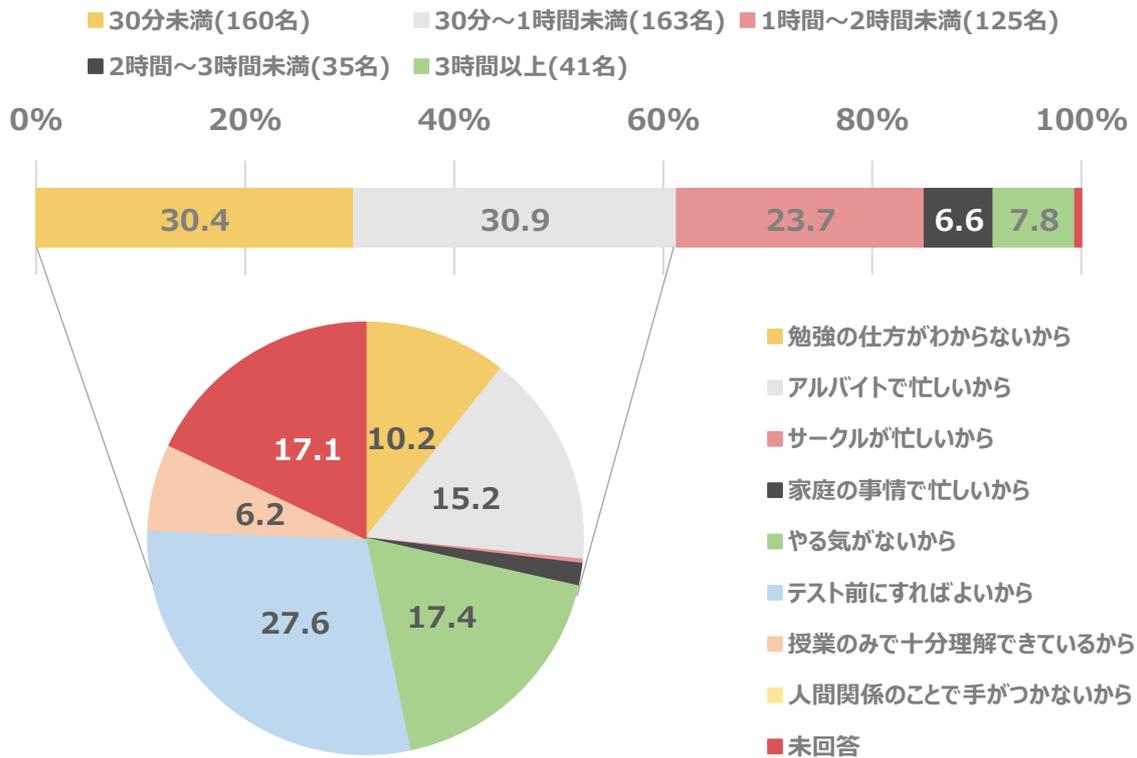


図39-3.専門科目の学習時間についての理由（前問で「1. 30分未満」「2. 30分～1時間未満」を選択した方）（さいたま看護学部）

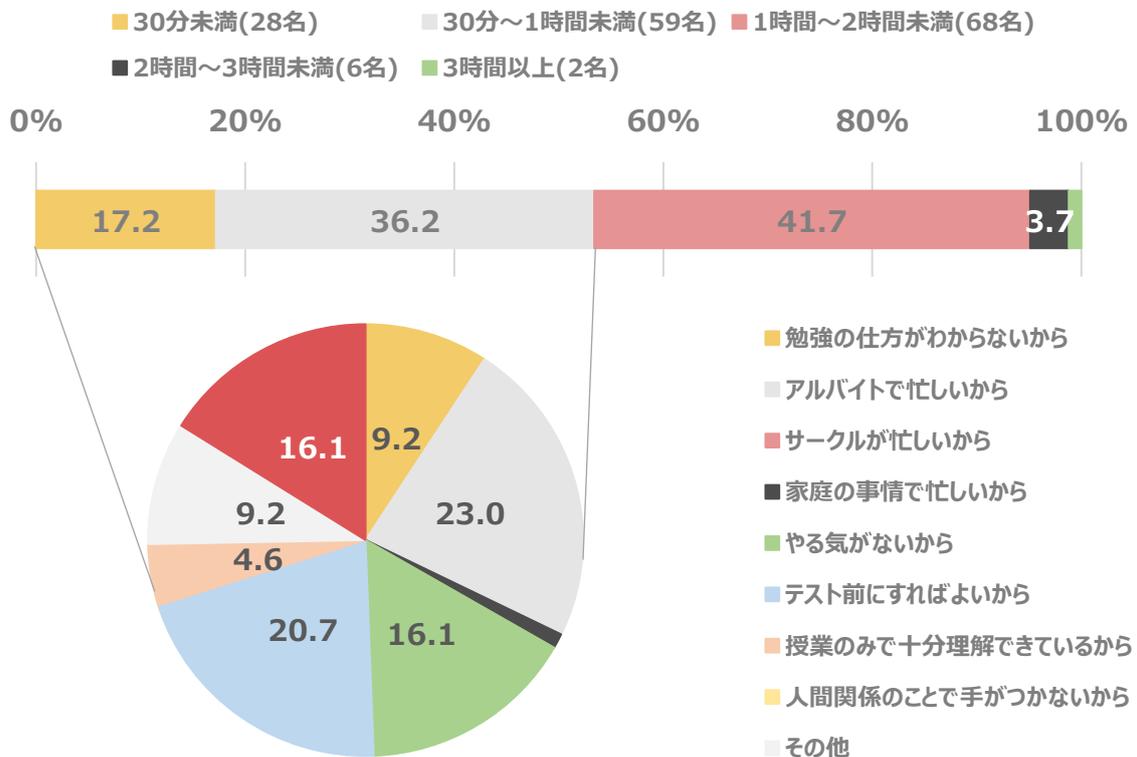


図40-1.学習時間(基礎教養科目)(全体)

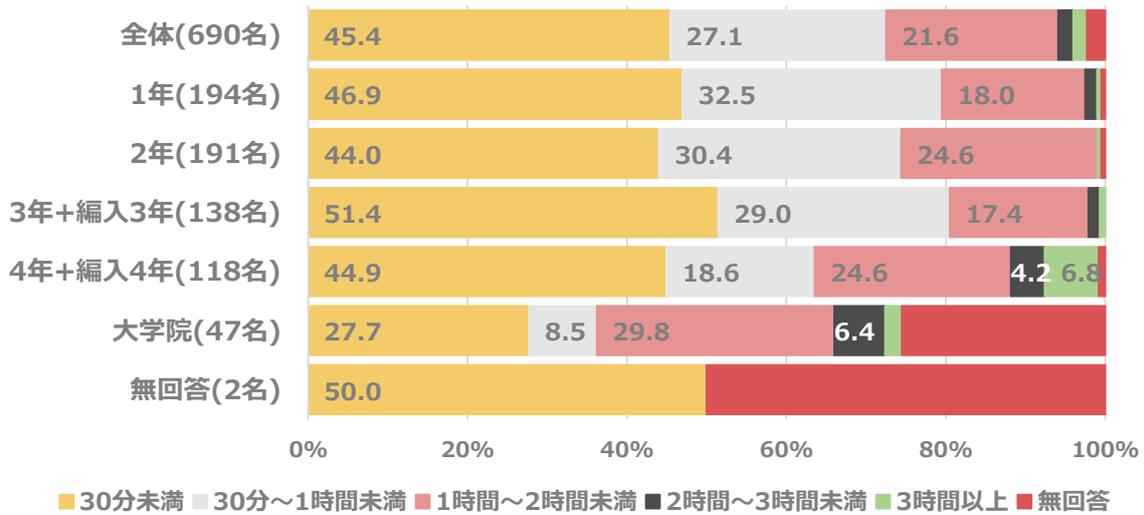


図40-2.学習時間(基礎教養科目)(看護学部)

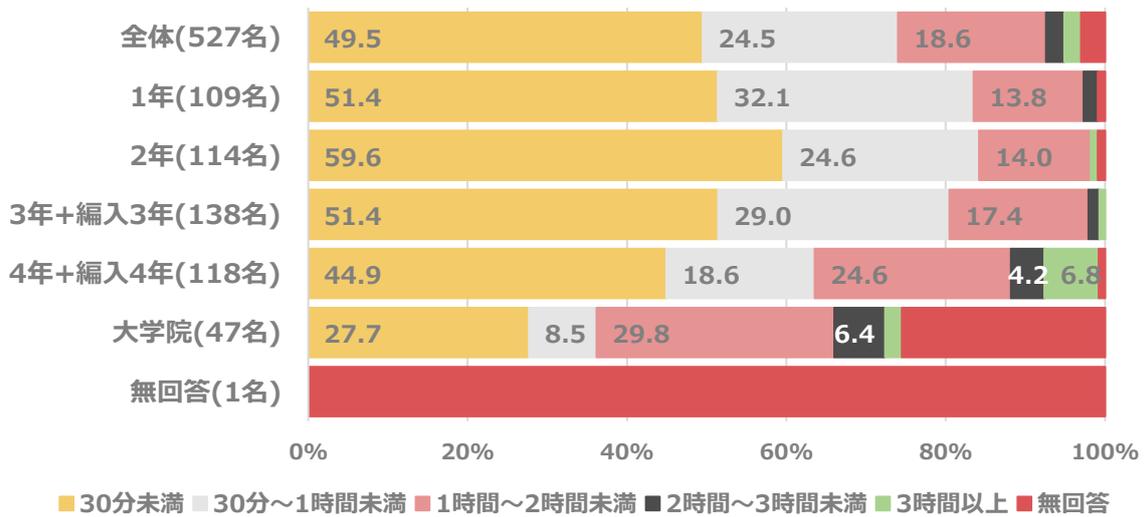
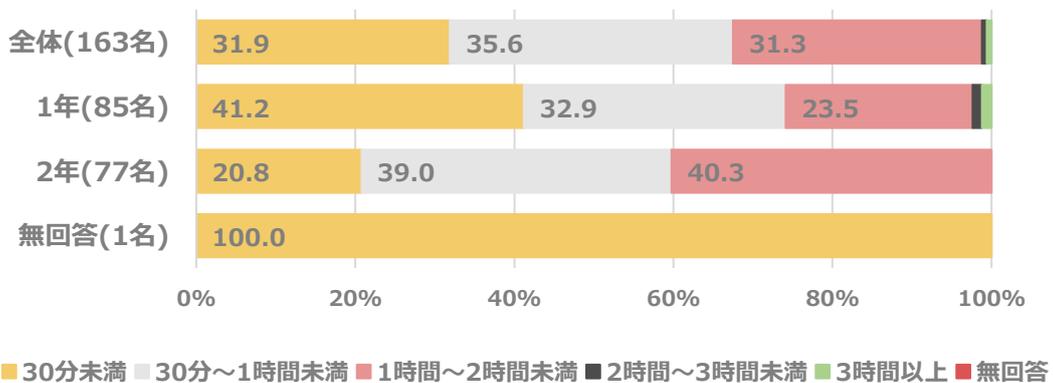


図40-3.学習時間(基礎教養科目)(さいたま看護学部)



(2)-2 (2)-1 で「30分未満」「30分～1時間未満」と回答した人にお尋ねします。その理由として最も当てはまるのはどれですか。

図41-1.基礎教養科目の学習時間についての理由（前問で「1. 30分未満」「2. 30分～1時間未満」を選択した方）（全体）

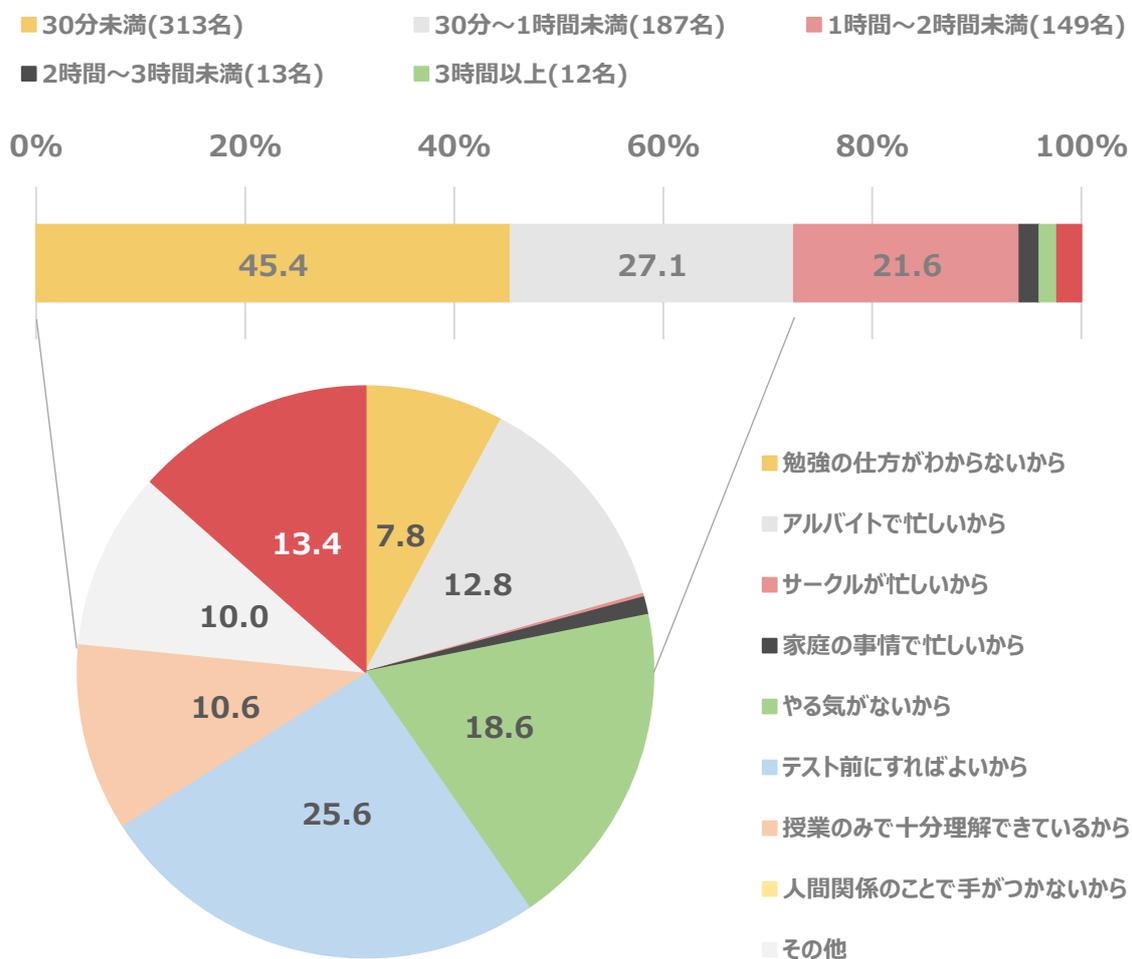


図41-2.基礎教養科目の学習時間についての理由（前問で「1. 30分未満」「2. 30分～1時間未満」を選択した方）（看護学部）

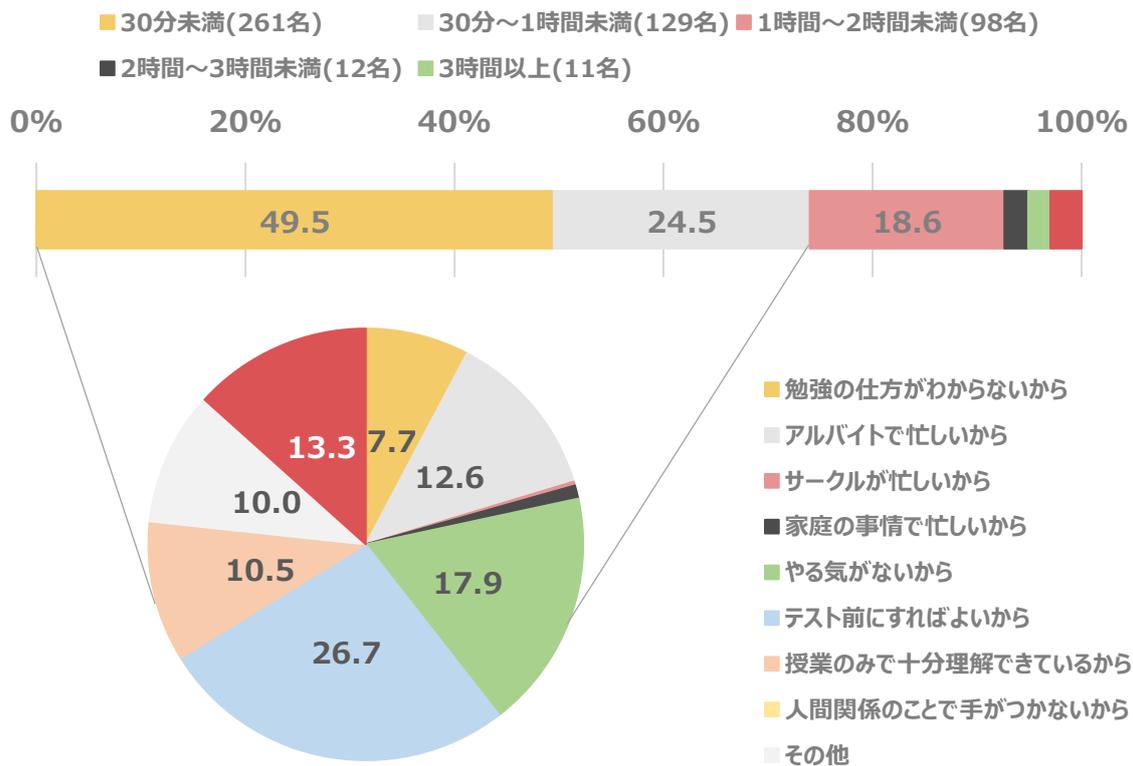


図41-3.基礎教養科目の学習時間についての理由（前問で「1. 30分未満」「2. 30分～1時間未満」を選択した方）（さいたま看護学部）

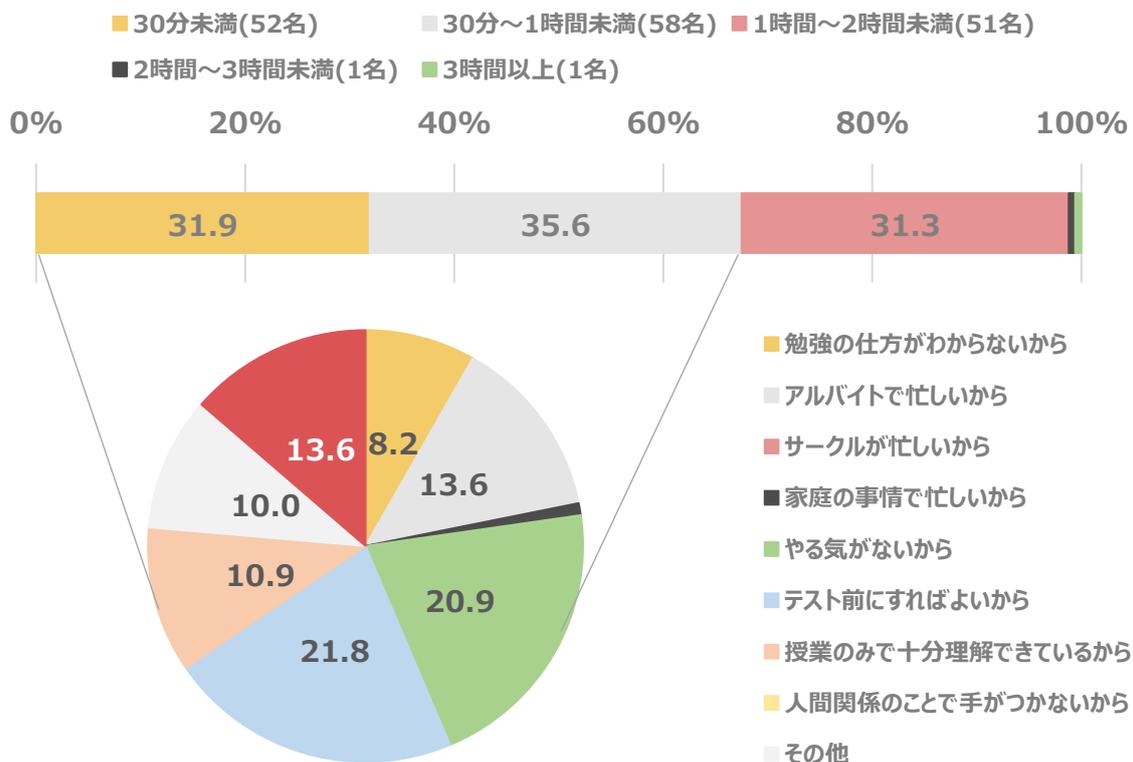


図42-1.学習時間(実習がある期間)(全体)

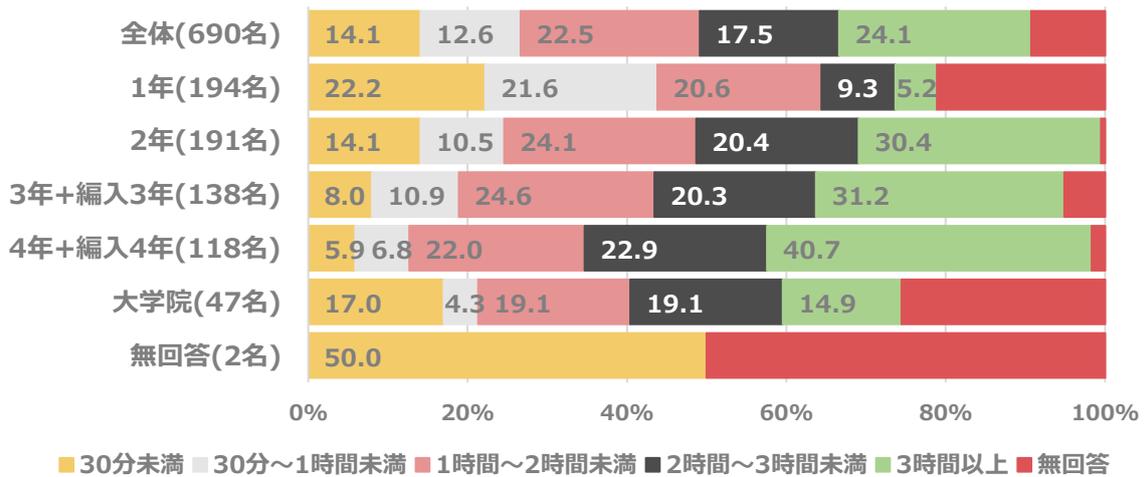


図42-2.学習時間(実習がある期間)(看護学部)

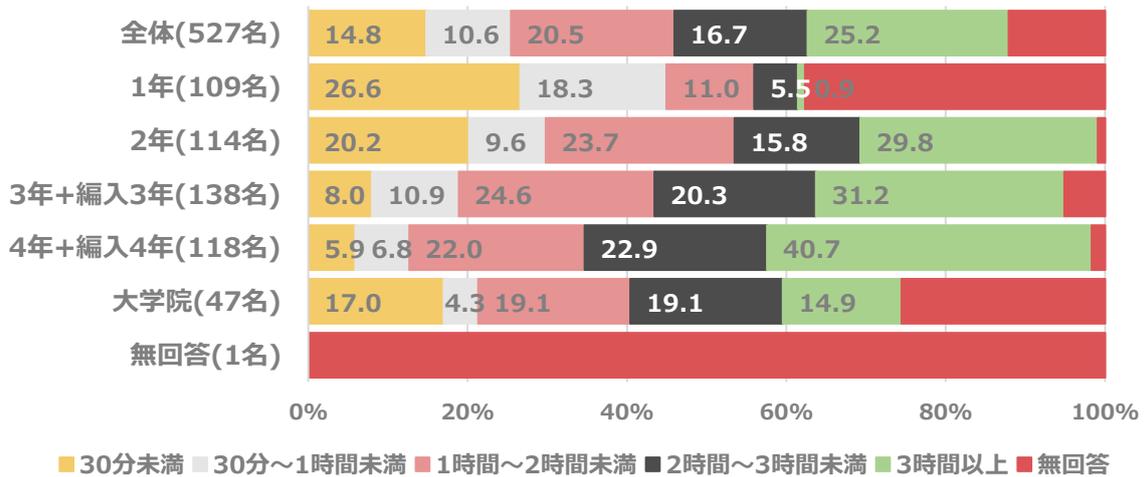


図42-3.学習時間(実習がある期間)(さいたま看護学部)

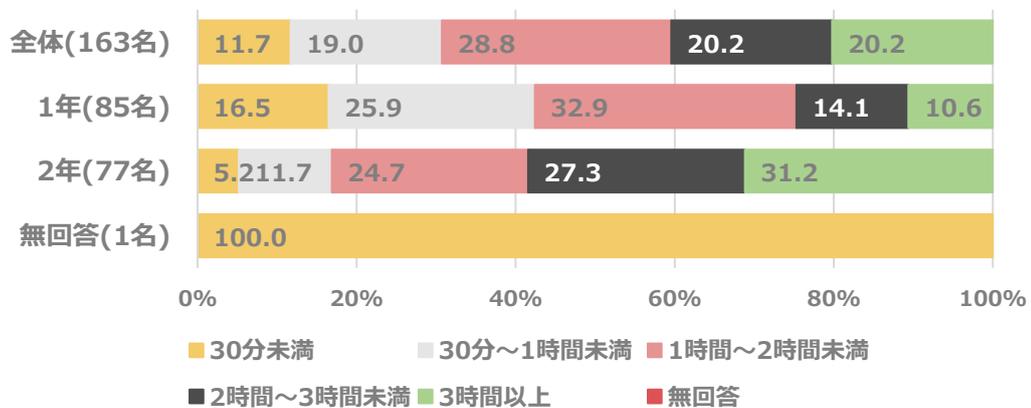


図43-1.自由時間 (TV・音楽・電話等) (全体)

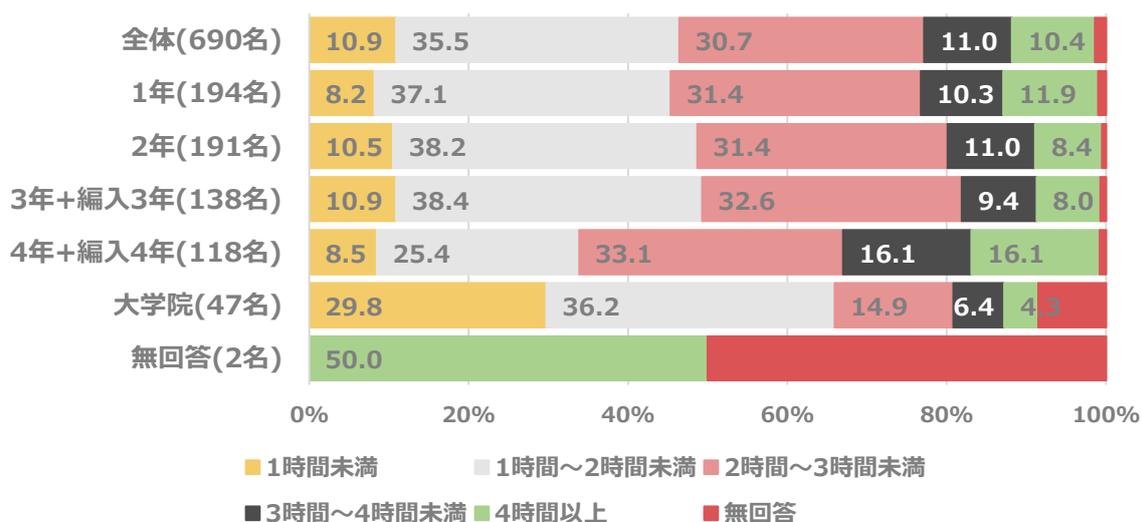


図43-2.自由時間 (TV・音楽・電話等) (看護学部)

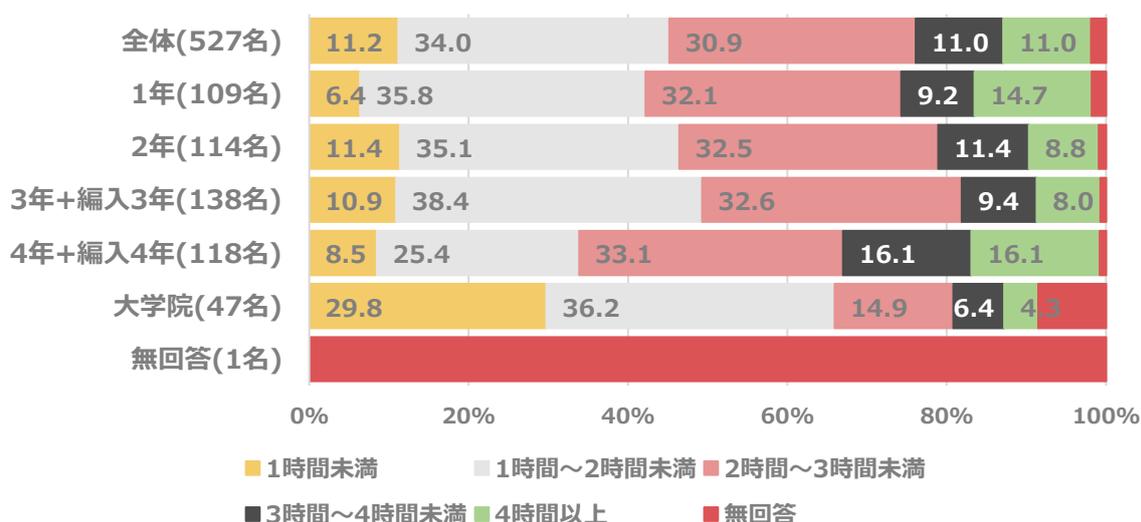


図43-3.自由時間 (TV・音楽・電話等) (さいたま看護学部)

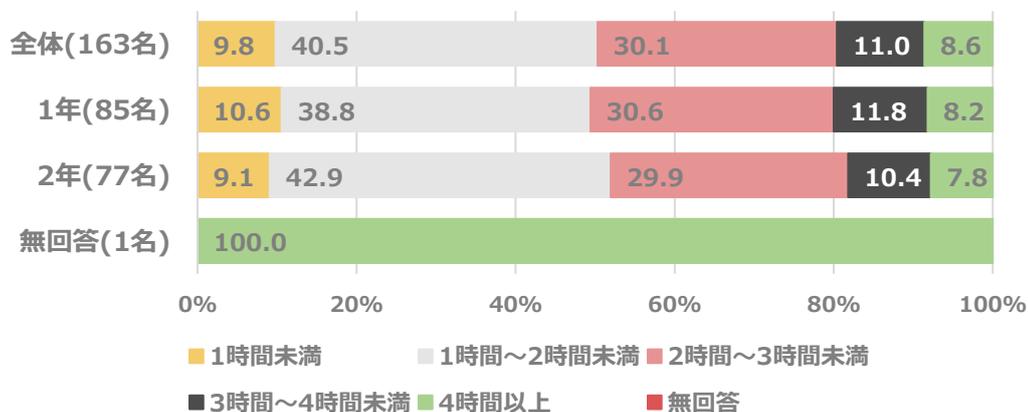


図44-1.通学時間 (片道) (全体)

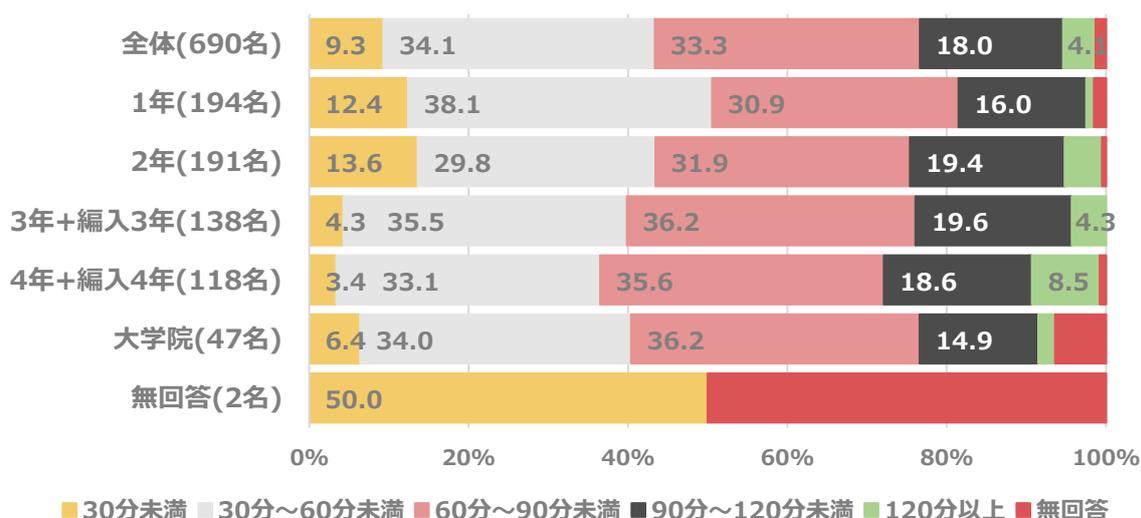


図44-2.通学時間 (片道) (看護学部)

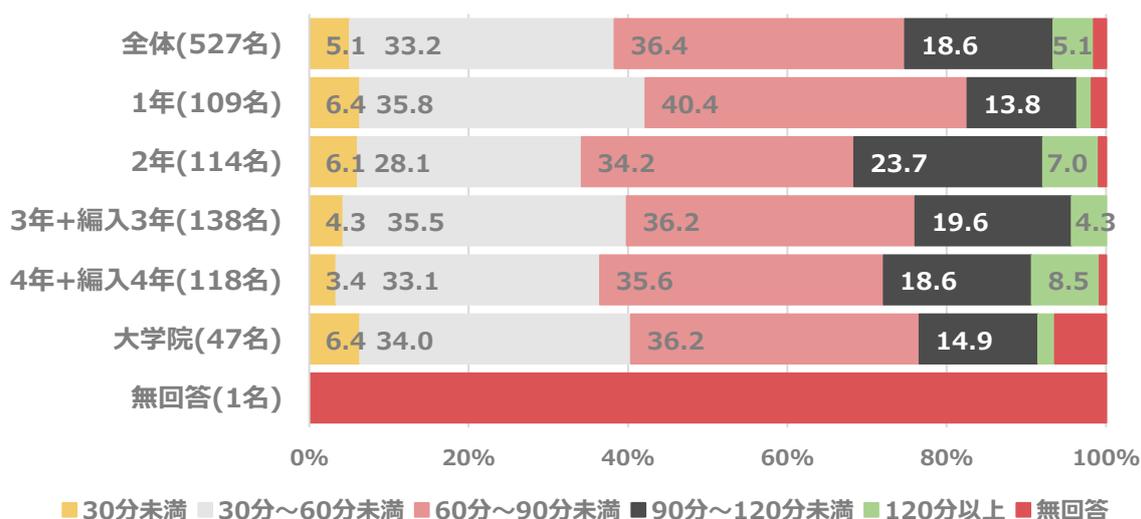
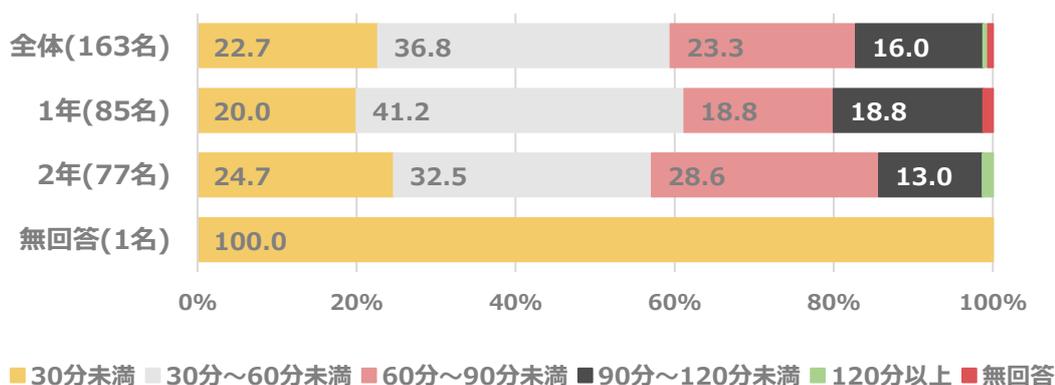


図44-3.通学時間 (片道) (さいたま看護学部)



(8) 健康状態

全体では、「いつも好調で、異常を感じない」が 49.4%と半数、32.5%が「1年に1～2回風邪をひく程度」と回答した。学年別にみると、3年生・4年生が「1年に1～2回風邪をひく程度」の割合が増え、約4割前後、大学院生では、「常に疲労感や不調を感じている」と回答した学生が 23.4%、「いつも好調で、異常を感じない」割合が 31.9%と、健康状態が良好ではない学生の割合が多かった。キャンパス別にみると、看護学部では2年生の「常に疲労感や不調を感じている」割合が 13.2%と1年生～4年生の中では特に割合が多く、大学院生の不調とあわせて懸念事項の1つである可能性があった。

質問8. 健康状態についてお聞きします。

下記の項目から最もあてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

図45-1.健康状態(全体)

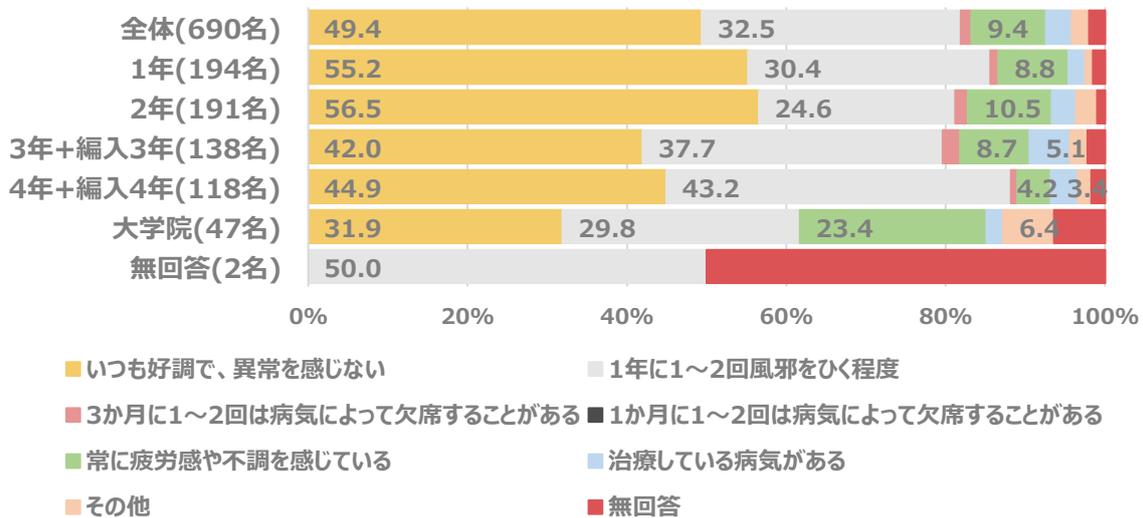


図45-2.健康状態(看護学部)

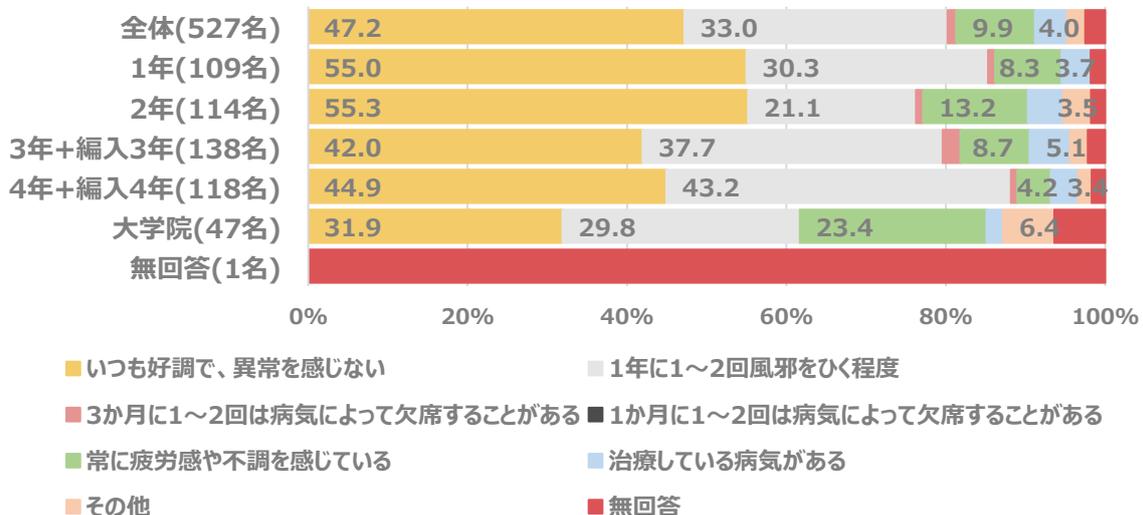
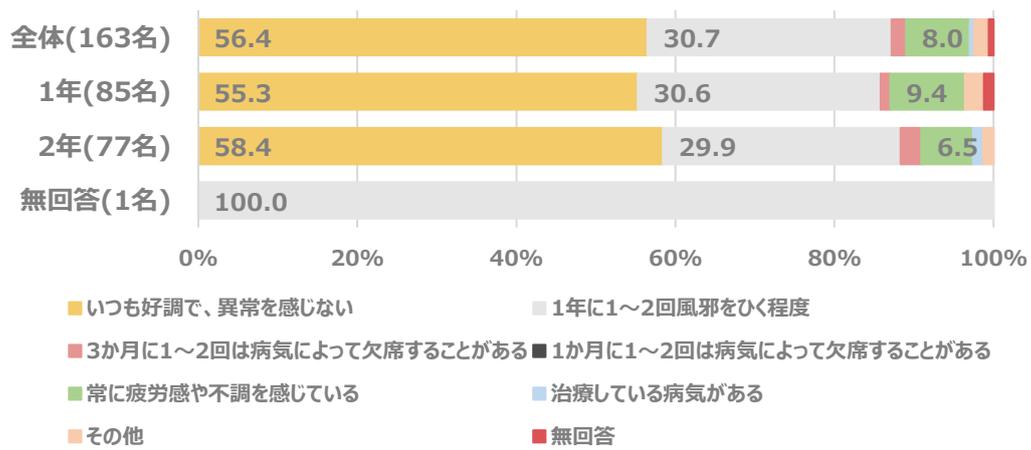


図45-3.健康状態(さいたま看護学部)



(9) 食生活

朝食は66.8%が「ほとんど毎日食べている」と回答していた。1年生・2年生・3年生だけみるとその割合は全体の7割前後と良好といえる。一方4年生、大学院生では「ほとんど食べていない割合がそれぞれ15.3%、27.7%と少々気にかかる結果がみてとれた。昼食はいずれの学年も9割以上の学生が「ほとんど毎日食べている」と回答していた。夕食も同様に、全体では、大学院生の89.4%を除き、9割以上の学生が「ほとんど毎日食べている」と回答していた。

質問9. 食生活についてお聞きします。

A)朝食は食べていますか。

図46-1.朝食は食べていますか。(全体)

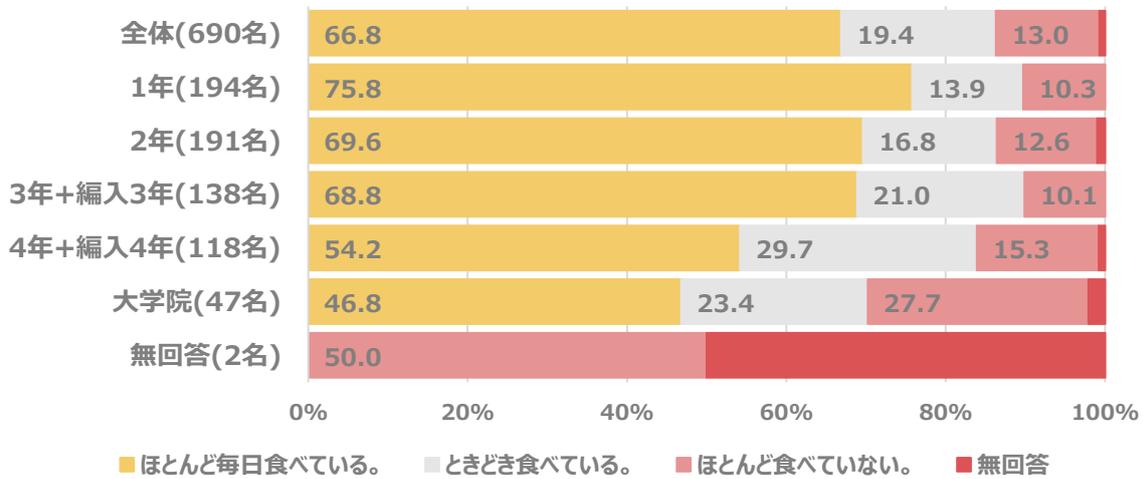


図46-2.朝食は食べていますか。(看護学部)

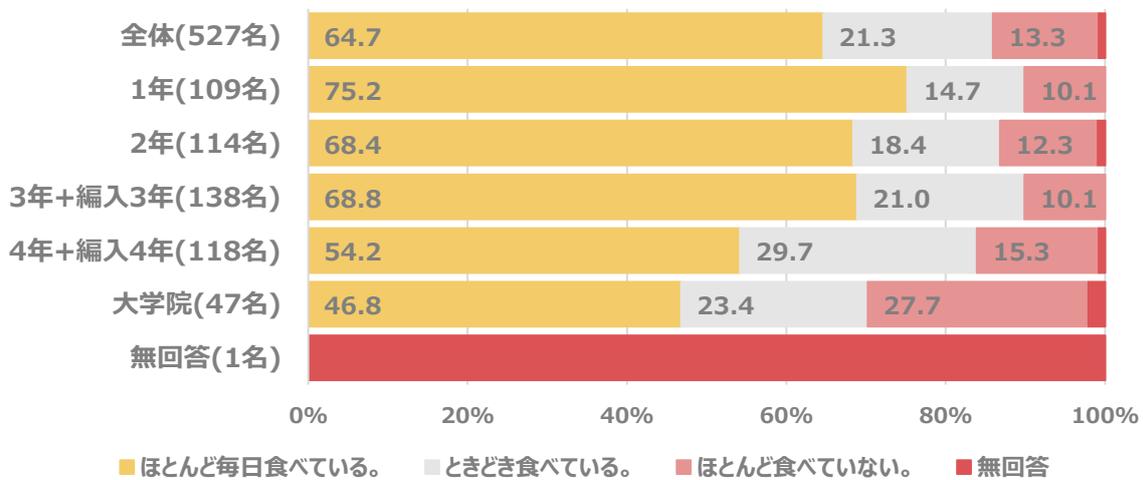
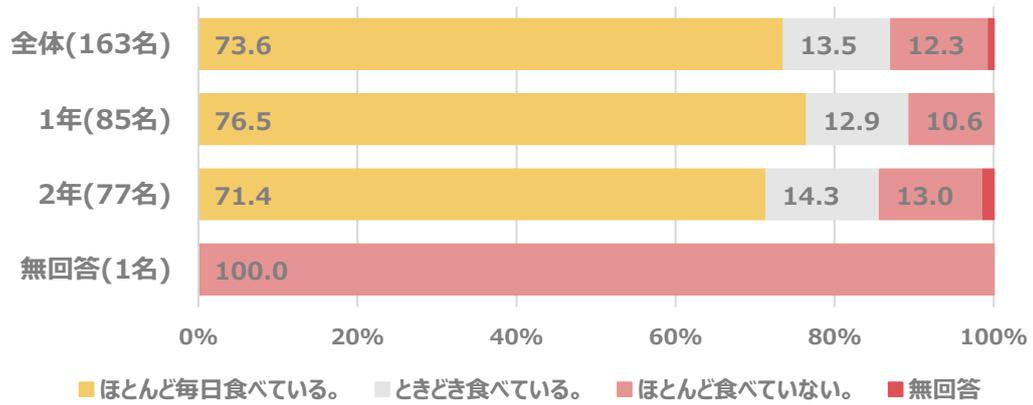


図46-3.朝食は食べていますか。(さいたま看護学部)



B) 昼食は食べていますか。

図47-1.昼食は食べていますか。(全体)

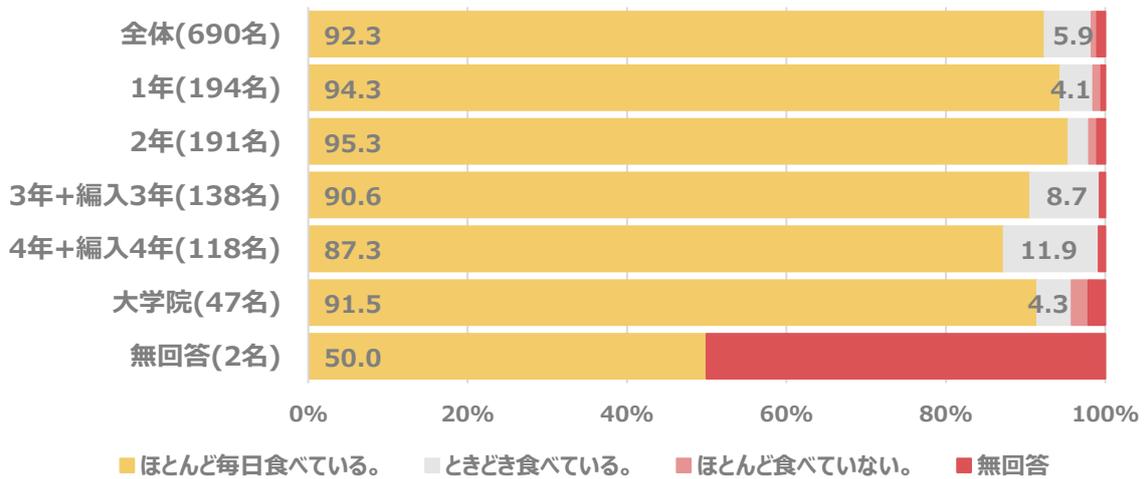


図47-2.昼食は食べていますか。(看護学部)

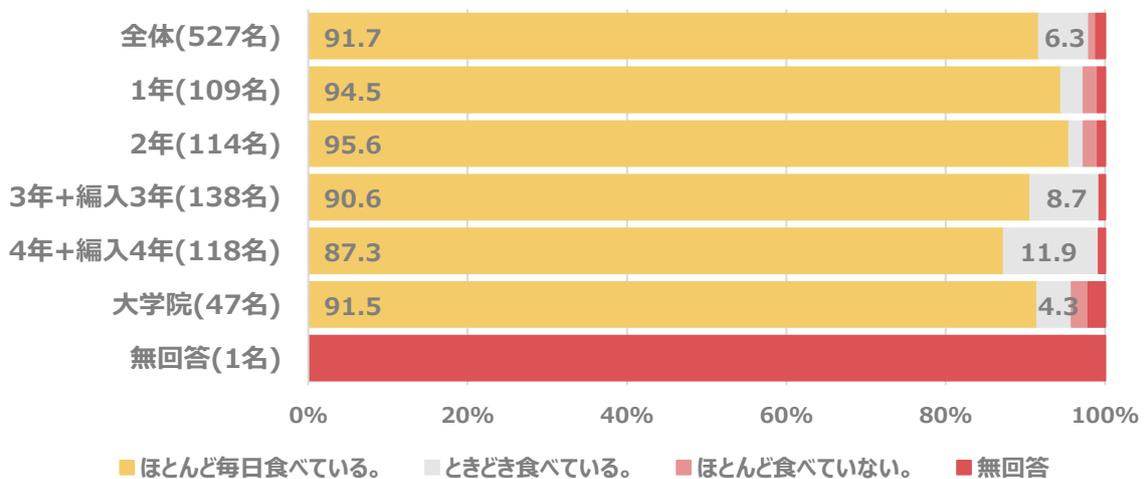
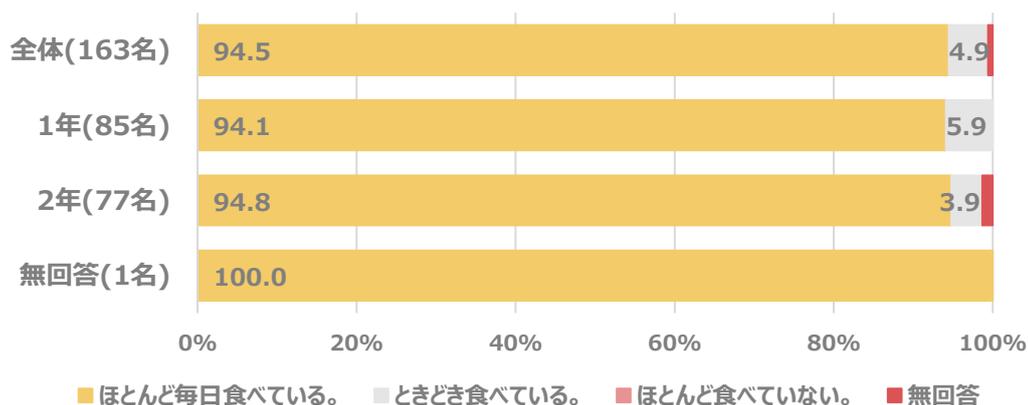


図47-3.昼食は食べていますか。(さいたま看護学部)



C)夕食は食べていますか。

図48-1.夕食は食べていますか。(全体)

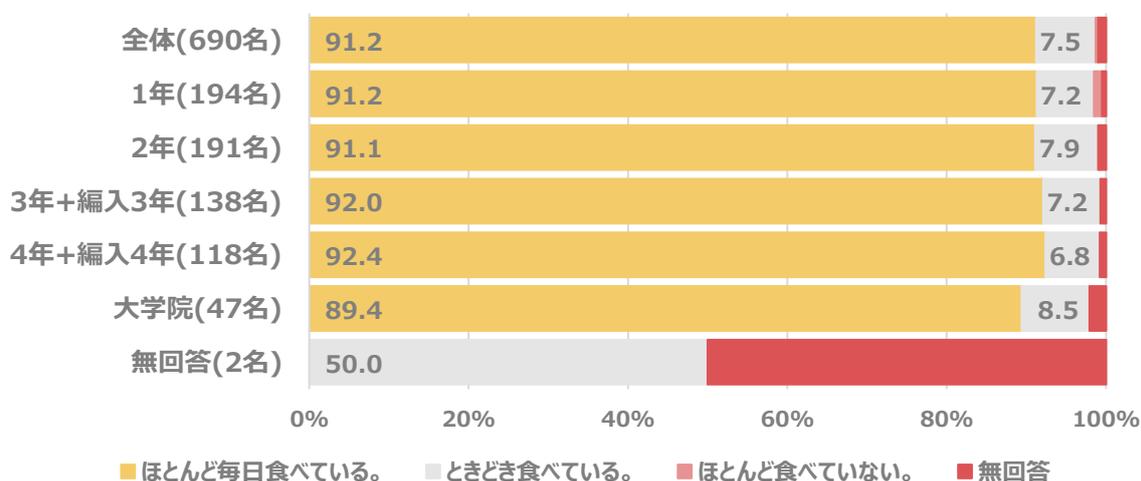


図48-2.夕食は食べていますか。(看護学部)

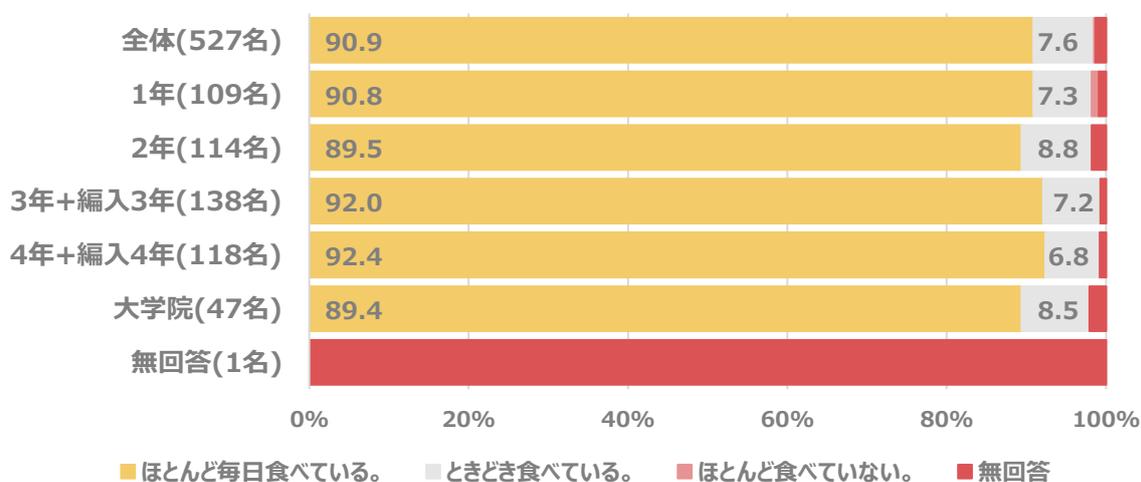
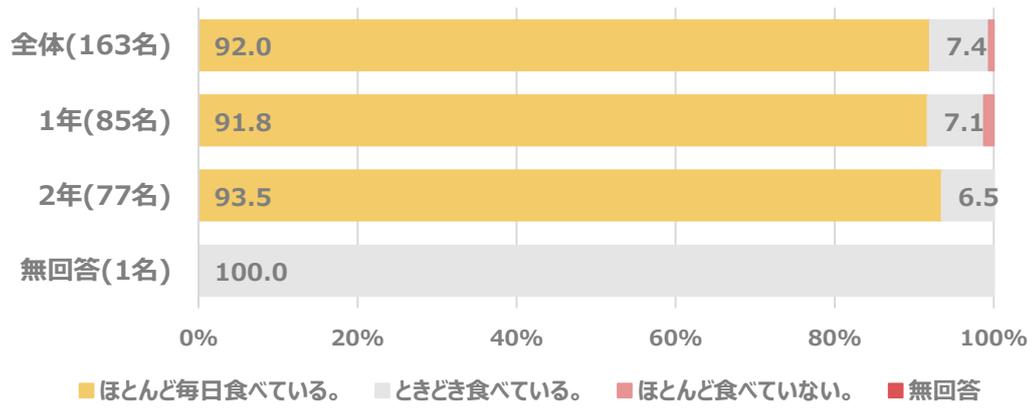


図48-3.夕食は食べていますか。(さいたま看護学部)



(10) 悩みや不安

入学してから今までに、悩みや不安が「あった」と回答した学生は全体で 63.2%、学年別にみると大学院生の 83.0%が最も多く、3 年生（73.9%）、4 年生（68.6%）と続いた。この設問については 2 つのキャンパスで回答分布に大きく差があり、看護学部では、入学してから今までに、悩みや不安が「あった」と回答した学生が 68.7%いたのに対し、さいたま看護学部では 45.4%と少なかった。

どのような悩みや不安があったかについては、2 つのキャンパスで分布に大きな差はなく、「将来の進路（19.5%）」、「学業に関する能力的問題（16.1%）」、「看護師・助産師としての適正（15.7%）」が上位 3 つであった。

そして、その悩みや不安の相談先については、「誰にも相談しない」が最も多く 72.9%、「友人」が 25.0%であり、「大学の教職員」や「恩師や先輩」「カウンセラー」はほとんど回答がなかった。

質問 10. 入学してから今までに、悩みや不安はありましたか。

図49-1.入学してから今までに、悩みや不安はありましたか。(全体)

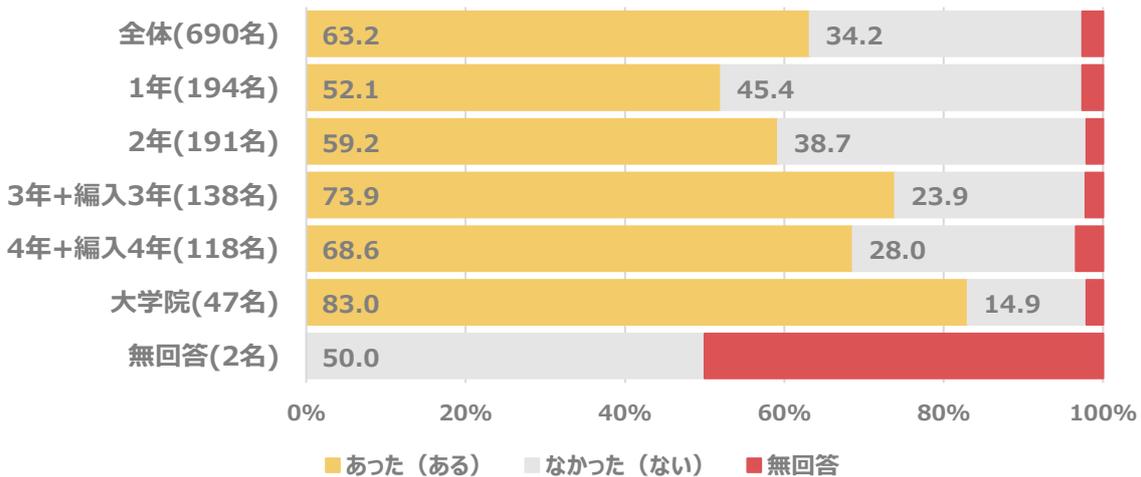
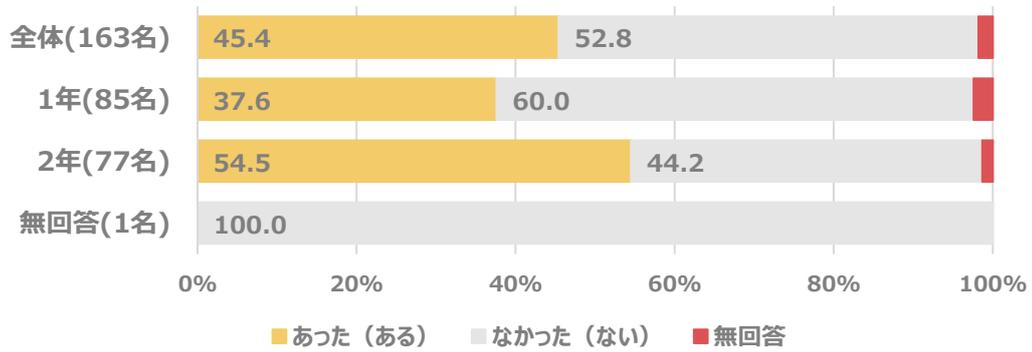


図49-2.入学してから今までに、悩みや不安はありましたか。(看護学部)



図49-3.入学してから今までに、悩みや不安はありましたか。
(さいたま看護学部)



質問 10-1. [質問 10 で 1. あった (ある)] と回答した学生にお聞きします。

A) どんな悩みや不安がありましたか (ありますか)。下記で該当する項目全てに○をしてください。

図50-1.悩みや不安
(質問 10. で「1. あった (ある)」を選択した方)(全体)

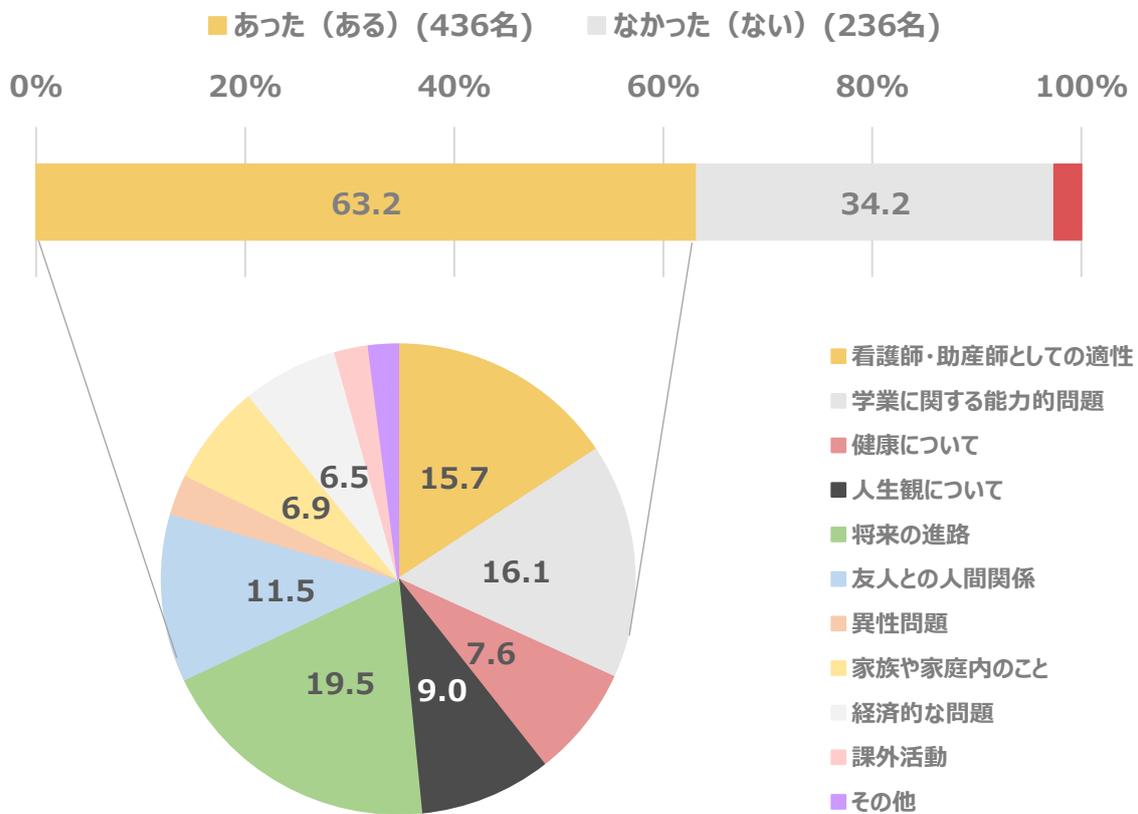


図50-2.悩みや不安
(質問10.で「1. あった(ある)」を選択した方)(看護学部)

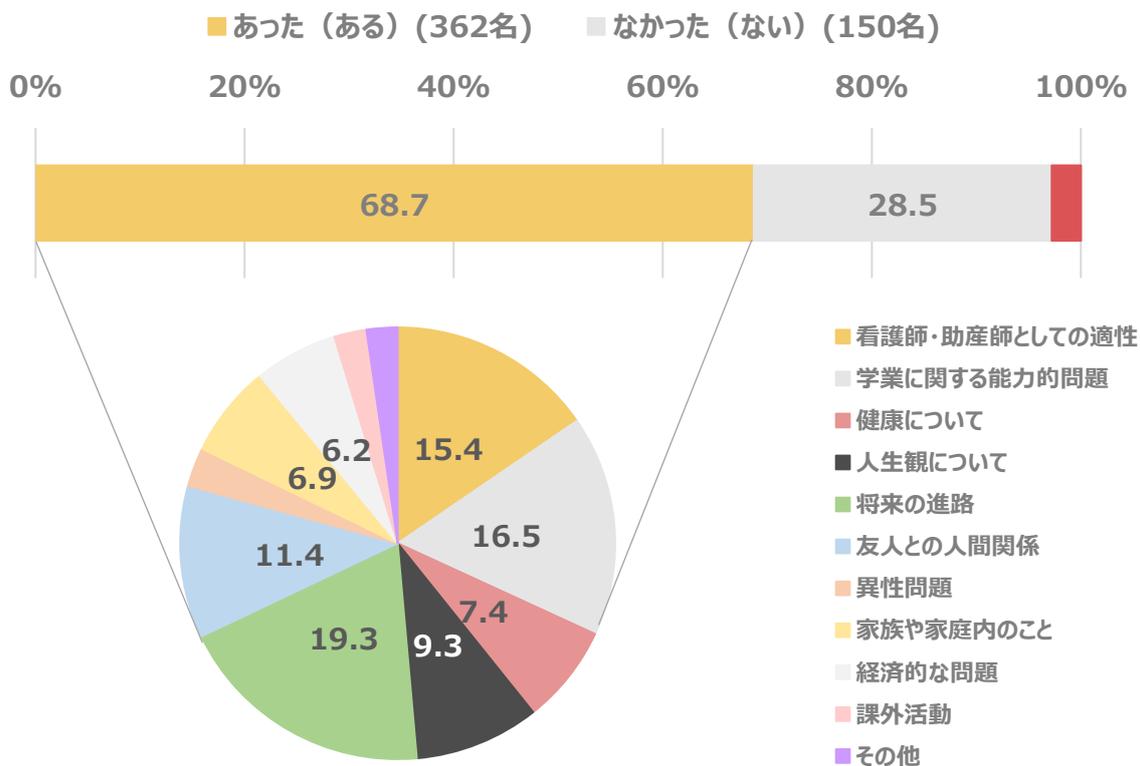
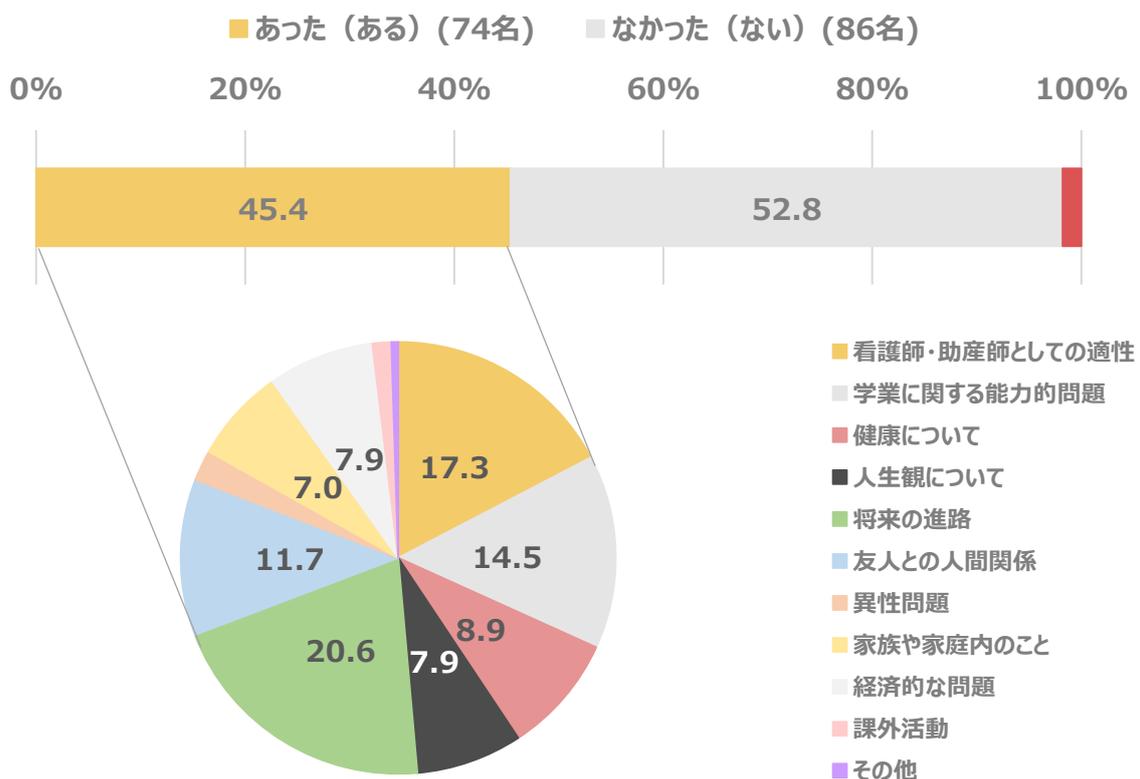


図50-3.悩みや不安
(質問10.で「1. あった(ある)」を選択した方)(さいたま看護学部)



B) その悩みや不安を誰に相談しましたか。下記のなかで最もあてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

図51-1.その悩みや不安を誰に相談しましたか
(質問10.で「1. あった(ある)」を選択した方)(全体)

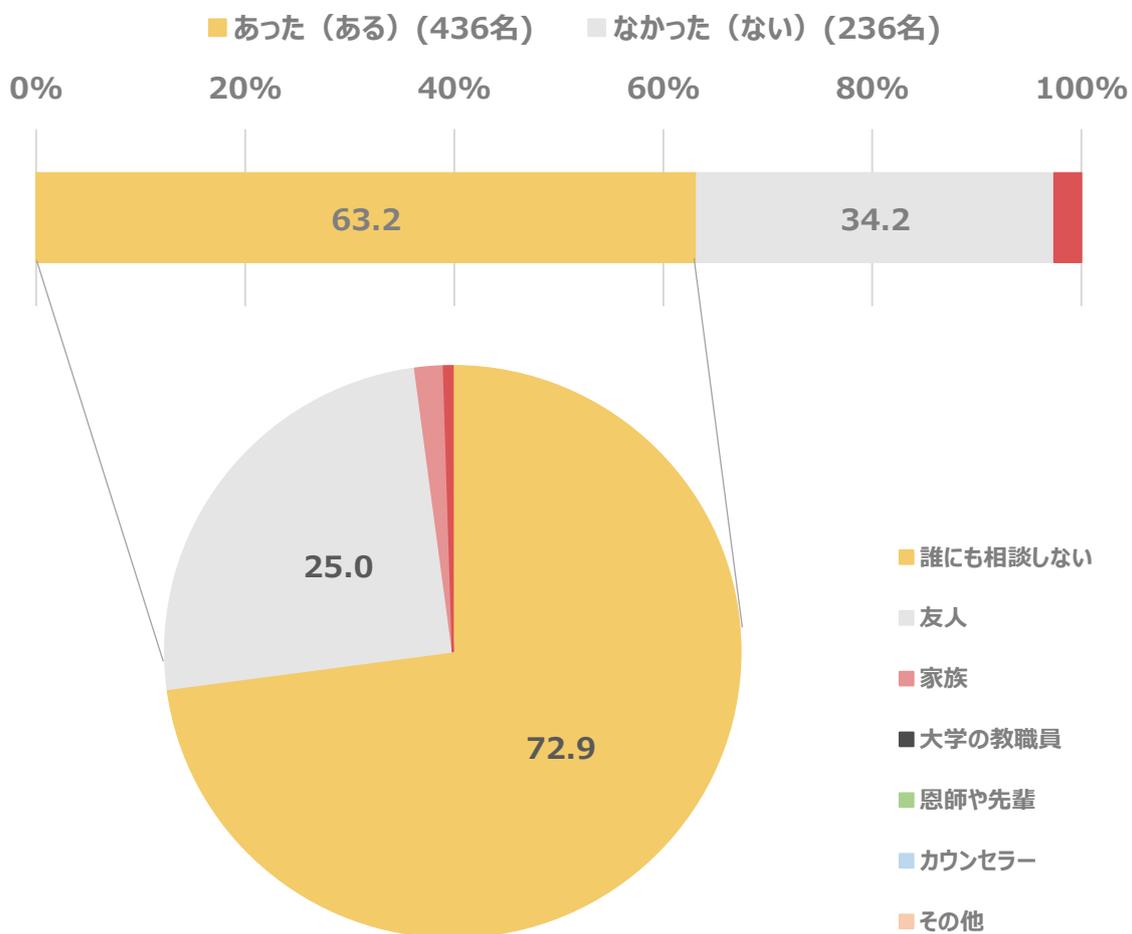


図51-2.その悩みや不安を誰に相談しましたか
 (質問10.で「1. あった(ある)」を選択した方)(看護学部)

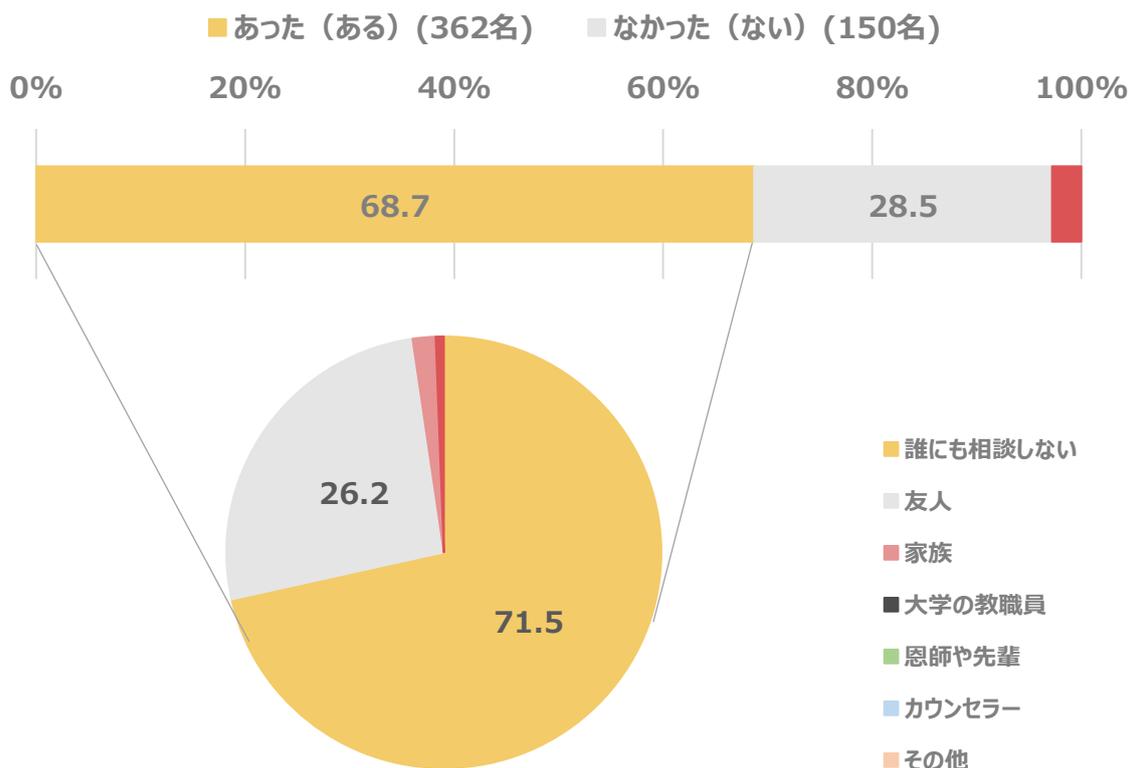
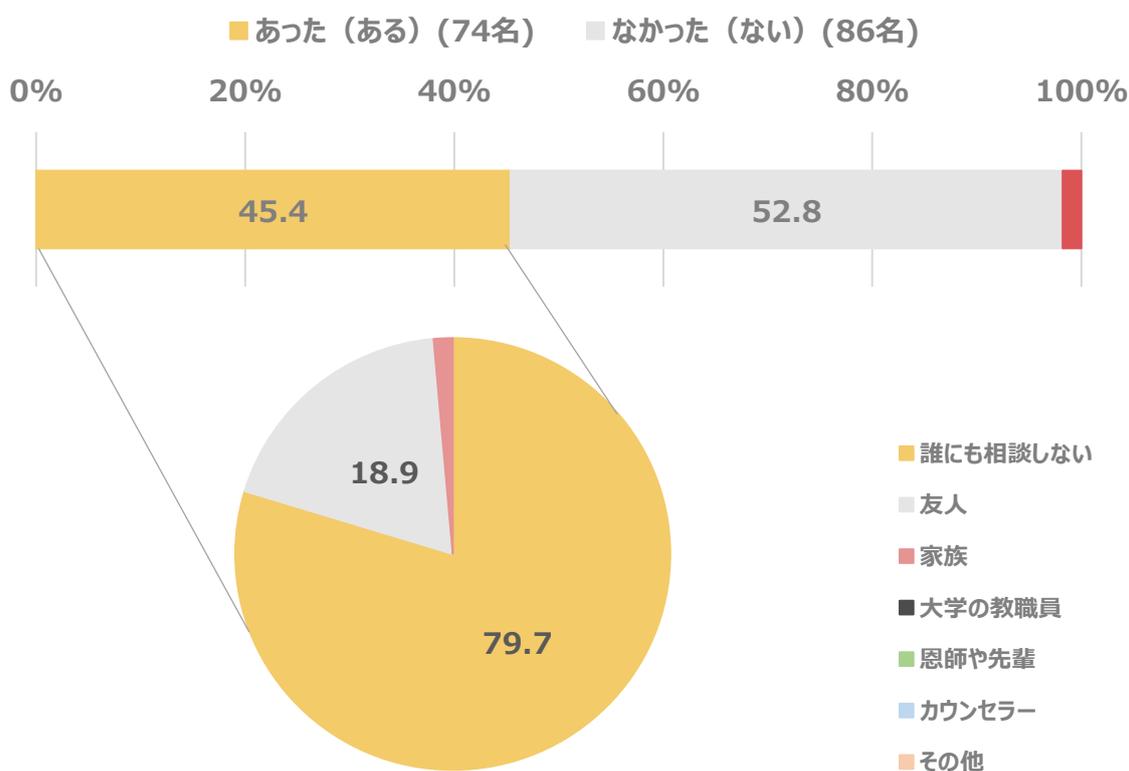


図51-3.その悩みや不安を誰に相談しましたか
 (質問10.で「1. あった(ある)」を選択した方)(さいたま看護学部)



(11) 学生相談室の利用

大学の学生相談室は、全体で「利用した」と回答した学生は 9.7%であった。その割合は大学院生が最も多く 17.0%、次いで 3 年生が 16.7%、4 年生が 12.7%であった。1 年生、2 年生の利用者は看護学部、さいたま看護学部ともに全体の 5%~7%程度であった。

質問 11. 大学の学生相談室を、あなたは利用したことがありますか。

図52-1.大学の学生相談室の利用(全体)

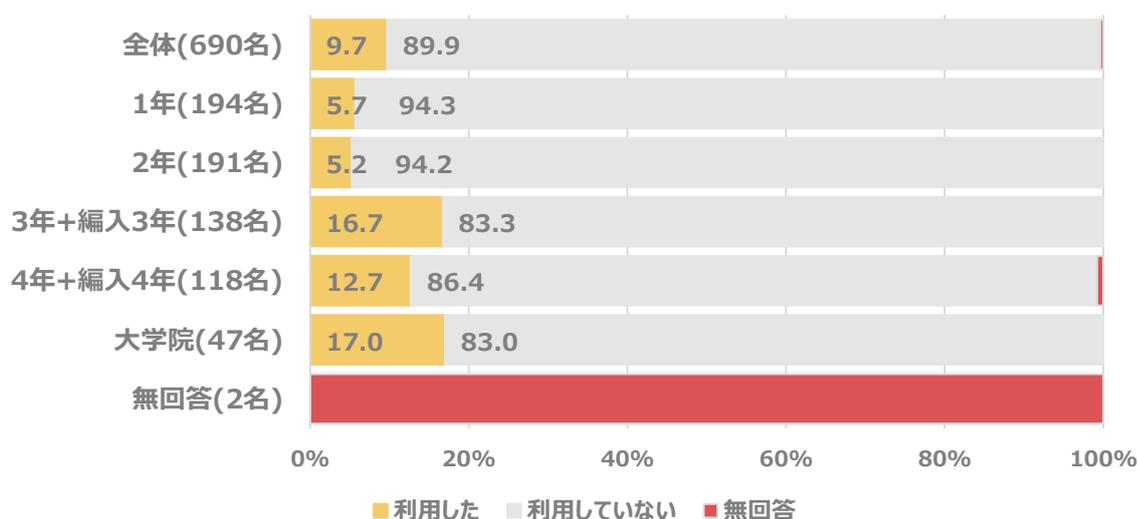


図52-2.大学の学生相談室の利用(看護学部)

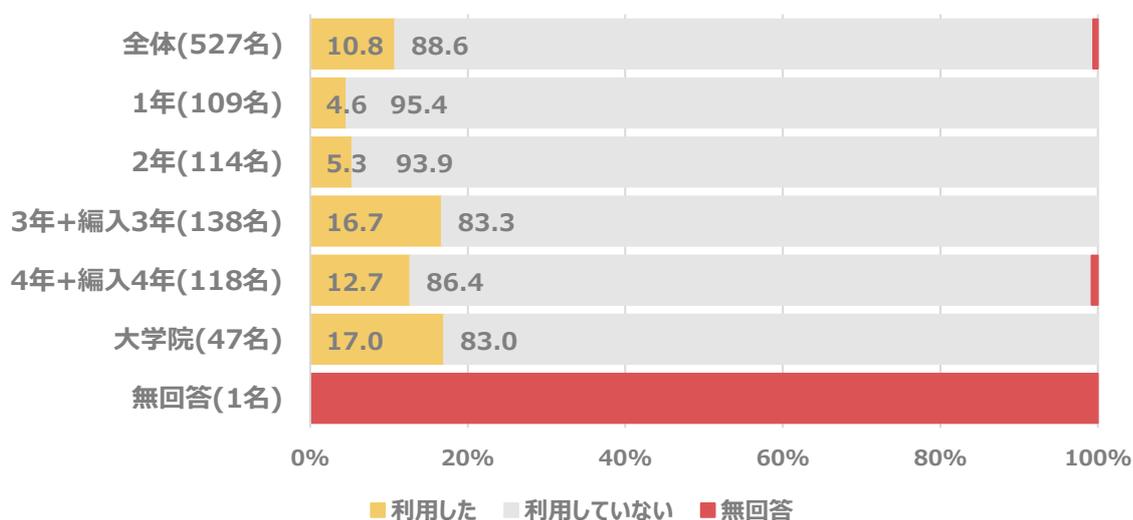
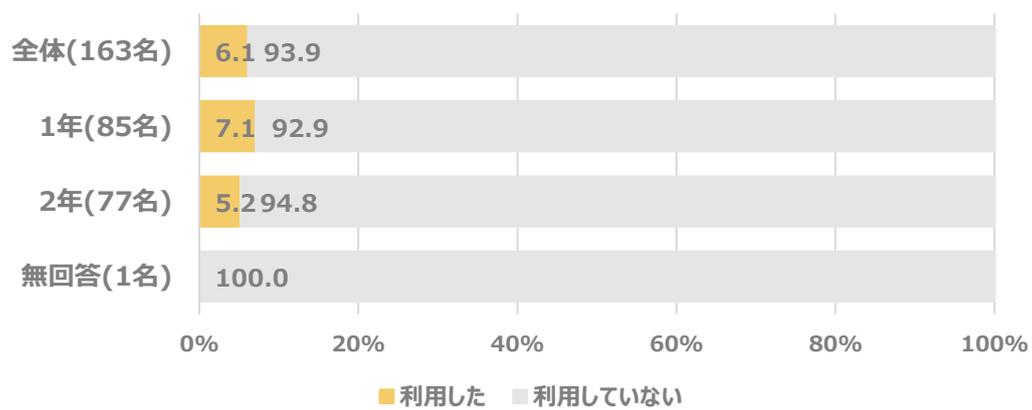


図52-3.大学の学生相談室の利用(さいたま看護学部)

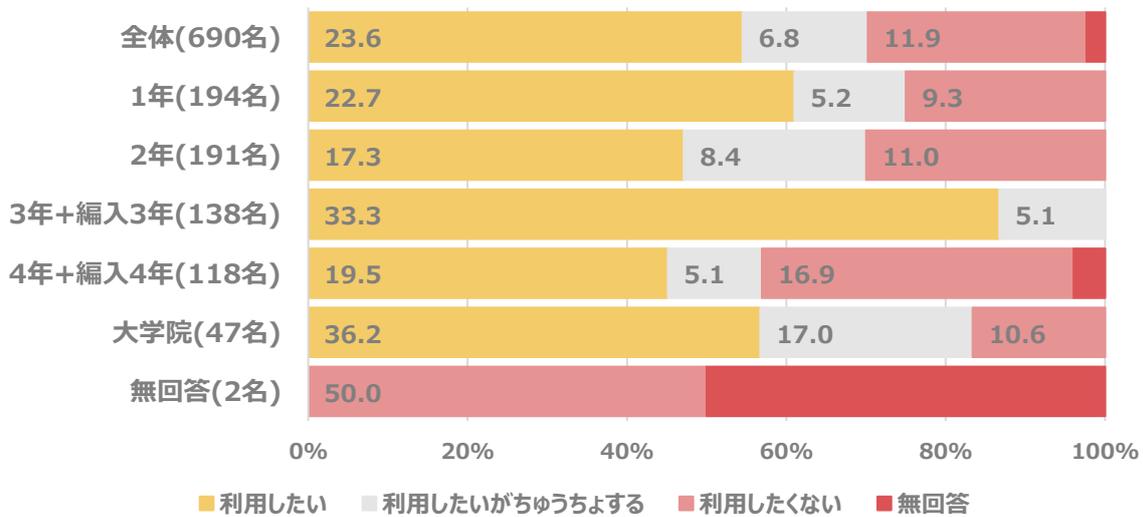


(12) 今後の学生相談室の利用

今後、学生相談室を「利用したい」と思っている学生は、全体で 23.6%、「利用したくない」が 11.9%であった。学年で見ると、3 年生・大学院生は「利用したい」と回答した学生の割合が高かった（33.3%、36.2%）。また、「利用したいがちゅうちょする」割合が各学年で一定数回答があった。この理由としては、「時間がない・時間があわない」、「行きにくい・気軽ではない」がそれぞれ複数名の回答があったことから、学生相談室の利用のしやすさに加え、学内における認知を高めることなどが課題と考えられる。

質問 12. 今後、学生相談室をあなたは利用したいと思いますか。
あてはまるもの1つを選んで○をつけ

図53-1. 今後、学生相談室を利用したいと思いますか(全体)



てください。

図53-2. 今後、学生相談室を利用したいと思いますか(看護学部)

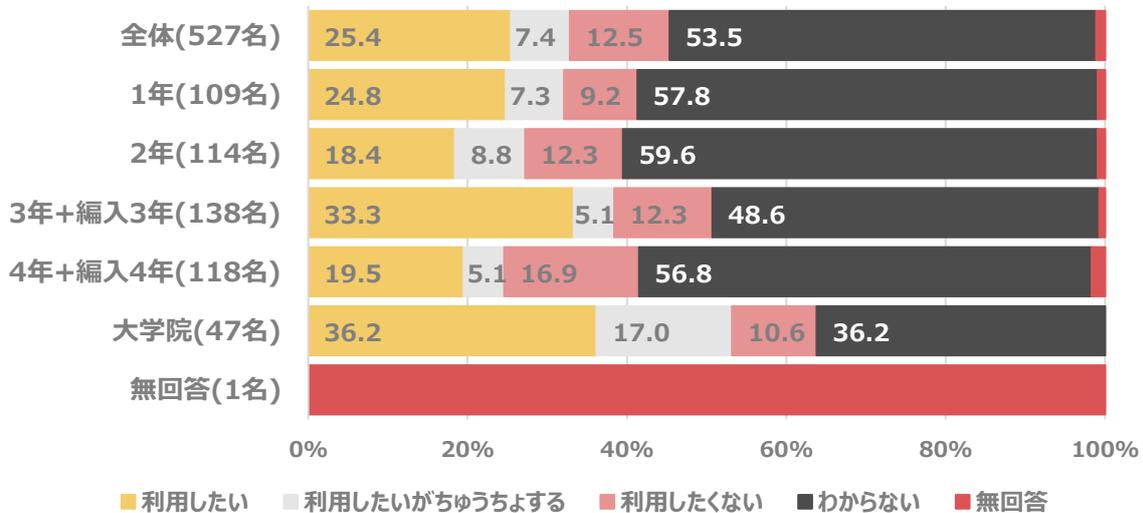
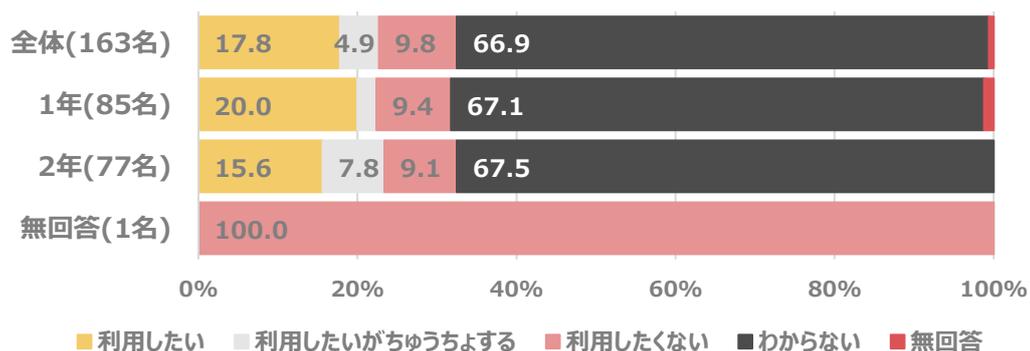


図53-3.今後、学生相談室を利用したいと思いますか
(さいたま看護学部)



「利用したいがちゅうちょする」を選択した方の具体的な選択理由は下記の通りであった。

- 時間がない・あわない（看護学部8名、さいたま看護学部1名）
- 人となりをよく知らないから（看護学部大学院修士（看護学専攻）1名）
- 行きにくい・気軽ではない（看護学部9名、さいたま看護学部2名）
- 相談することが思いつかない（看護学部2名）
- 情報が新卒向けのイメージ（看護学部1名）
- 前回利用した時、ためにならなかった。（看護学部1名）
- 院生で、成人しているため（看護学部大学院修士（看護学専攻）1名）
- なんとなく（さいたま看護学部1名）
- 相談しても相手にしてくれなさそうだから。（看護学部1名）
- 初対面の人と話しづらく感じる（看護学部1名）

(13) 大学生生活

日本赤十字看護大学を選んだ理由は、全体では「大学の特色」が 33.2 %、「就職や将来のことを考えて」が 28.4 %であった。3 年生・4 年生では編入者が加わることも一因してか、「奨学金制度が充実しているから」と回答した学生の割合がそれぞれ 9.1%、12.2 %と、1 年生・2 年生よりも若干割合が高くなっていた。大学院生については、49.3%の学生が「大学の特色」と回答していた。

日本赤十字看護大学に入学してよかったと思うか？の問に対しては、84.3 %が「よかったと思う」と回答していた。その理由は、「教員が優しい・丁寧・親身になってくれる」と記述した学生が多く、また、「授業・教育・サポートが充実している・手厚い、カリキュラムが充実、障害者生徒への支援が充実」「様々な分野の学びがある・他領域との交流」「看護の専門性の高さ・意識の高さ・興味のある授業・学びたいことを学べた」といった、大学の教育体制や専門性の高さ、教員への満足感などが特長として回答にあがっていた。

一方で、3 年生では 3.6%が、大学院生では 8.5%が「よかったとはいえない」と回答しており、この点は看護学部における課題の 1 つと思われた。この理由は「どちらともいえない」に対する記述も含めると、「課題の多さ・課題の難しさ」「教員の質に差が大きいこと」「時間割がハード」等に加え、「コロナの影響」が多く記述されていた。

日本赤十字看護大学で勉学を続けることに対しては、「このまま勉学を続ける」と回答した学生は全体の 95.9%で、ほとんどの学生が日本赤十字看護大学での勉学に対して前向きに考えていると思われた。

学生生活の充実については、「とても充実している」「やや充実している」が全体の 86.5%で、こちらも前向きな回答が多い印象だった。

大学生活の中で大切に思っていることは、全体の 38.6%が「専門的知識や技術を習得する」、26.3%が「交友関係」、20.3%が「教養を深める」と回答していた。学年別にみると、大学院生は「交友関係」と回答した学生が少なく、「教養を深める」が 32.2%と他の学年と比べて多かった。

大学に対して特に期待や要望することについては、全体では「福利厚生施設・設備（例えば、食堂やロッカー室など）の改善」が 19.8%と最も多かった。この割合はとくにさいたま看護学部で多く、2 年生は 29.3%の学生が「福利厚生施設・設備（例えば、食堂やロッカー室など）の改善」と回答していた。具体的な要望の内容は、設備に関する要望が多く、「食堂の拡張（看護学部）」「食堂を作ってほしい（さいたま看護学部）」「生協・食堂・購買の営業時間を長くしてほしい」「ロッカーを広くしてほしい」「図書室や自習スペースの開放時間を増やしてほしい」が多く記述されていた。そのほかには、時間割に対する要望（空きコマが多い、時間割の組み方を変えてほしい）、奨学金に対する要望（縛りのない奨学金を増やしてほしい）、就職・進学支援についての要望（進学・就職先の相談がもっとしやすいといい、就職情報を早くほしい、面接練習をしてほしい）、国家試験に対する要望（4 年時は国試に集中させてほしい、国試対策をもう少しやってほしい）、その他コロナへの対応については、「授業と実習内容が浅く感じた」、「オンライン講義の導入以降教育体制が整っていないように感じた」といった声が記述されていた。

質問 13. 次に大学生活についてお聞きします。

A) 本学を選んだ理由は何ですか。該当する全てに○をつけてください。

図54-1.本学を選んだ理由(全体)

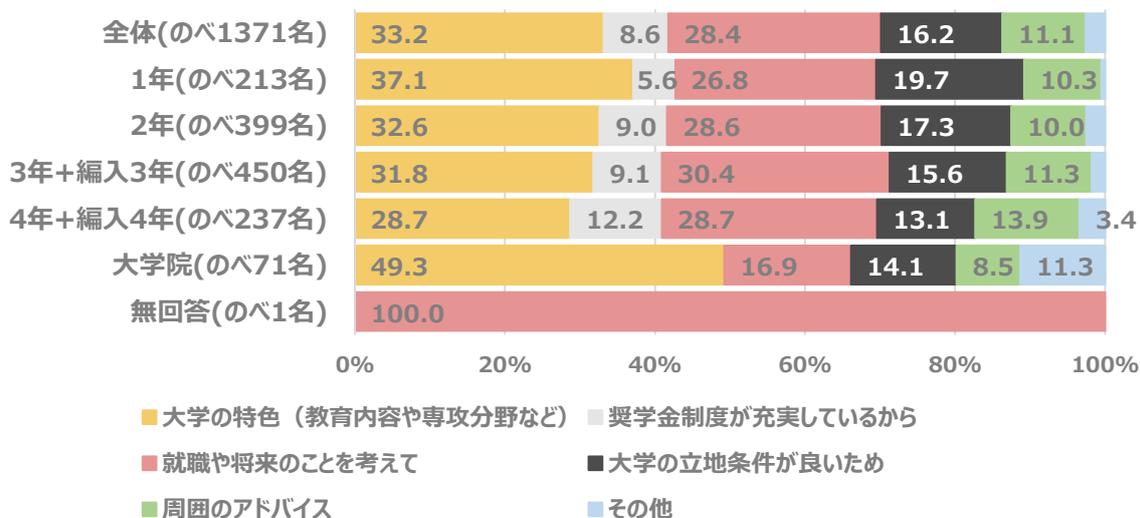


図54-2.本学を選んだ理由(看護学部)

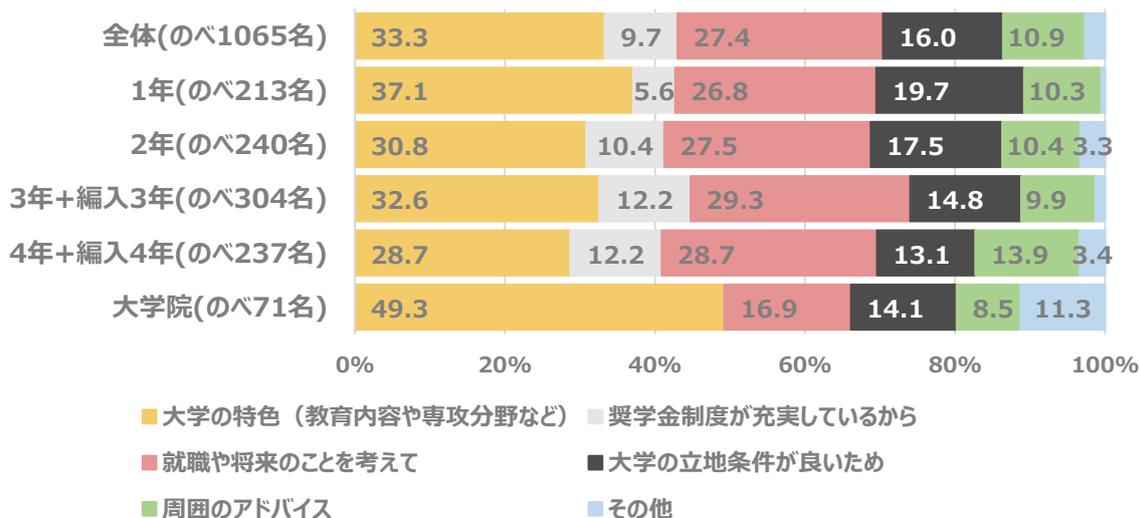
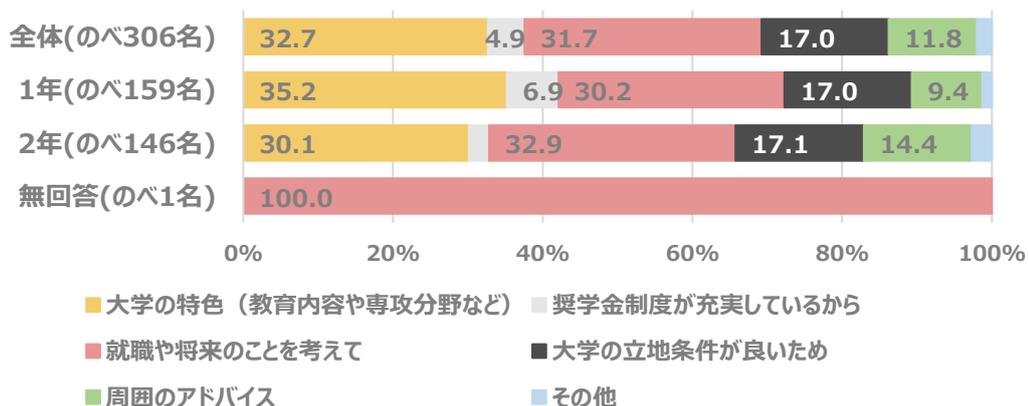


図54-3.本学を選んだ理由(さいたま看護学部)



B) 本学に入學してよかったと思いますか。最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

図55-1.本学に入學してよかったと思いますか(全体)

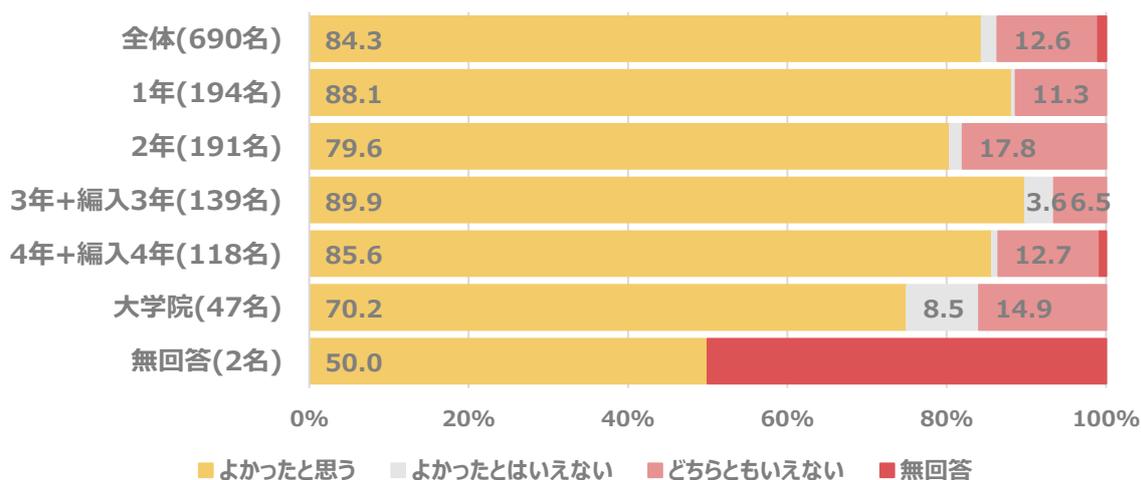


図55-2.本学に入學してよかったと思いますか(看護学部)

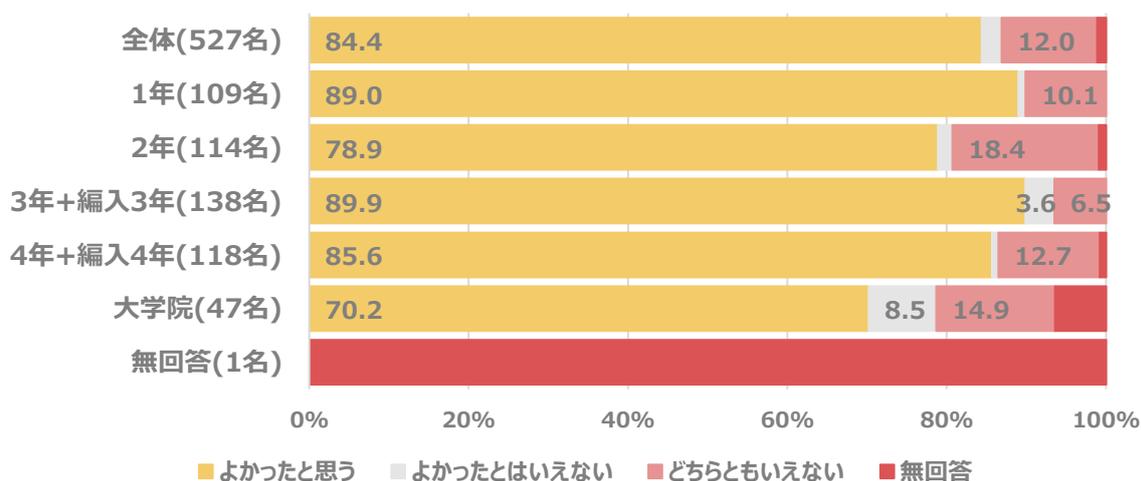
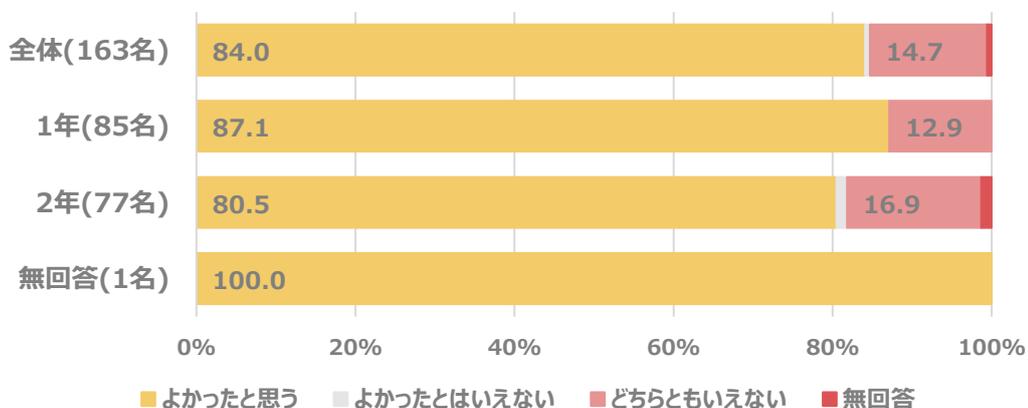


図55-3.本学に入學してよかったと思いますか(さいたま看護学部)



「よかったと思う」を選択した方の具体的な回答内容は下記の通りであった。

- 先生が優しい・丁寧、親身になってくれる、距離が近い、熱心（看護学部 108 名、さいたま看護学部 38 名）
- 良い友人に出会えた、学生が意欲的（看護学部 61 名、さいたま看護学部 11 名）
- 立地（看護学部 13 名、さいたま看護学部 1 名）
- 授業・教育・サポートが充実している・手厚い、カリキュラムが充実、障害者生徒への支援が充実（看護学部 28 名、さいたま看護学部 12 名）
- 楽しい・成長できる・充実している・皆が温かい（看護学部 25 名、さいたま看護学部 5 名）
- 学習環境が良い、アットホーム（看護学部 22 名、さいたま看護学部 3 名）
- 歴史がある、赤十字の理念を感じる、日赤ならではの教育（看護学部 9 名、さいたま看護学部 2 名）
- 実習の教育体制が充実している、実習で得られることが多い（看護学部 10 名、さいたま看護学部 1 名）
- 奨学金が充実している（看護学部 3 名）
- 様々な分野の学びがある・他領域との交流（看護学部 26 名、さいたま看護学部 2 名）
- 看護の専門性の高さ・意識の高さ・興味のある授業・学びたいことを学べた（看護学部 30 名、さいたま看護学部 8 名）
- 研究が実践と見合っている（看護学部 1 名、さいたま看護学部 1 名）
- 就職で有利（看護学部 2 名）
- 看護師になりたいという気持ちが強くなった（看護学部 2 名、さいたま看護学部 2 名）
- 校舎がきれい（看護学部 1 名、さいたま看護学部 3 名）
- 将来のためになっていると感じた（看護学部 2 名、さいたま看護学部 1 名）
- 振り返るとよかったと思うところが多い（看護学部 1 名、さいたま看護学部 1 名）
- 人数が少ないのでつながりを築きやすい（さいたま看護学部 1 名）
- 勉学に対する意識が高い（看護学部 1 名、さいたま看護学部 1 名）
- 対面授業が多いから（さいたま看護学部 1 名）
- 看護師になるためだけでなく、人間として成長できる教育であると感じるから（さいたま看護学部 1 名）

「よかったとはいえない」を選択した方の具体的な回答内容は下記の通りであった。

- 時々勉強についていけず、本当に入学して良かったのかと思うことがある。（看護学部 1 名）
- 学べることはたくさんありますが、編入生に向けてのサポートがまだ整っていない印象です。（看護学部 1 名）
- 多重課題（看護学部大学院修士（国際保健助産学専攻）1 名）
- 海外行けなくなったから国公立蹴ってまで来たイミがなくなったから。（看護学部 1 名）
- 学びに対するサポートは充実していたが、他学に比べて自粛が過度であったのではないかと考えるから。（看護学部 1 名）
- 奨学金制度が充実していないから（看護学部 1 名）
- GW が多く自分に合っていない（看護学部 1 名）

「どちらともいえない」を選択した方の具体的な回答内容は下記の通りであった。

< 課題、学習内容 >

- 思ったより課題が多く、自分にとって大変だった。(看護学部大学院修士(看護学専攻)1名)
- 課題が充実していない(看護学部1名)
- 勉強がむずかしい。(看護学部1名)
- 他職種連携をもっと学びたかった。(他学部との交流したい)(看護学部大学院修士(国際保健助産学専攻)1名)
- 教育方法が自分に合わない。他の学生になじめない(看護学部1名)
- 良かったといえないこと。授業の質の悪さ(さいたま看護学部1名)

< 教員 >

- 実習設備が充実している。学費が高い。(看護学部1名)
- 教員による講義の内容、工夫のバラツキ(看護学部1名)
- 説明があまり充実していない(学食売店ないとやっぱり不便)、良い先生と尊敬できない先生の差が激しい等(さいたま看護学部1名)

< 時間割 >

- 授業のあきコマが多いため(看護学部1名)
- 学びたいことは学べていると思うが、時間割が少しハードに思う。(さいたま看護学部1名)

< コロナの影響 >

- コロナによって留学プログラムがなくなった(看護学部1名)
- 色々な領域の人と友人になれて自分の視野が広がった。やっぱり通学が遠いなと思う。気軽に行けない。コロナ禍もあって皆でワイワイできない。(看護学部大学院修士(看護学専攻)1名)
- コロナの影響もあり半年間十分な学生生活ができていない。(看護学部6名)
- コロナになってから連絡がおそく、対応が二転三転して困ったから。(看護学部1名)
- 実習前の2週間の行動自粛がとにかくつらい。(看護学部1名)

< 授業料・奨学金 >

- 経済的に不安があるから。(さいたま看護学部1名)
- 授業の質は保たれているが、学費が高いと感じるため。(さいたま看護学部1名)
- 奨学金が入学前に聞いていたよりも利用しづらかった(看護学部2名)
- 1年次の学費になっとくがいてない。(看護学部1名)
- 奨学金制度を利用しようとしていたが魅力的だった制度が変わってしまったため(看護学部1名)
- 奨学金を返済しないといけなくなったから(看護学部1名)

< 通学 >

- 家から遠い、奨学金は充実(さいたま看護学部1名)
- 遠い。カリキュラム的に近い方が良かったと考えることもあった。(看護学部1名)
- 距離が遠いから(さいたま看護学部1名)
- 将来は安泰だが、家から思ったより遠い(看護学部1名)

< その他 >

- まだ分からない(看護学部4名、さいたま看護学部1名)
- いいところと悪いところもある(看護学部1名、さいたま看護学部2名)
- 他の大学を知らないため比較ができない。(看護学部4名、さいたま看護学部1名)
- 将来に対して不安、進路に迷っている、今後が見えない(看護学部2名、さいたま看護学部1名)

- 看護職への適性に不安がある（さいたま看護学部 2名）
- サークルがつまらない（看護学部 1名）
- 大学院に入学したことを後悔することがある。（看護学部大学院修士（看護学専攻） 1名）
- 助産を4年でとりたい気持ちが強くなった。（看護学部 1名）
- 専攻のことや仕事で十分な時間がとれないことなど（看護学部大学院修士（看護学専攻） 1名）
- 想像していたものとのギャップがあった（看護学部 2名）

C) 本学の勉学を続けることについてどのように考えていますか。最もあてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

図56-1.本学での勉学を続けることについてどのように考えていますか。
(全体)

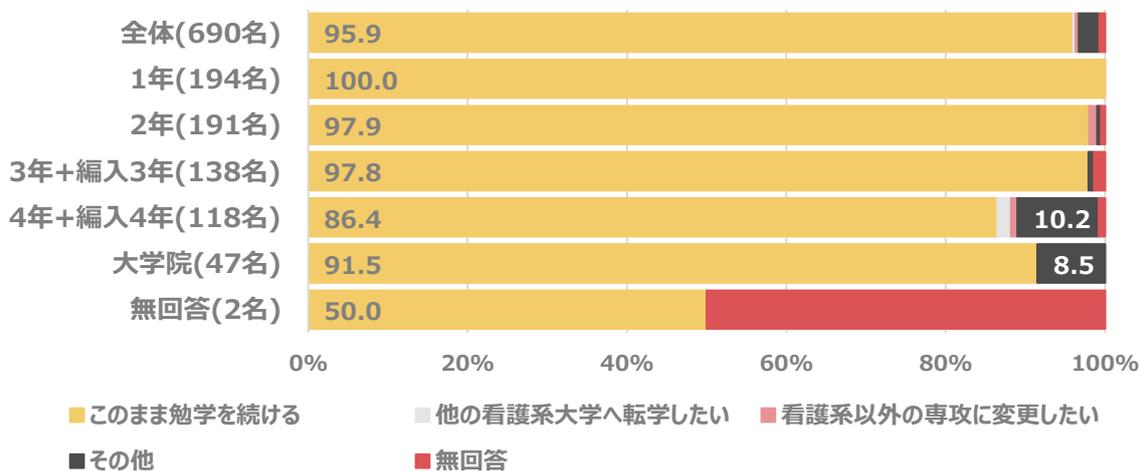


図56-2.本学での勉学を続けることについてどのように考えていますか。
(看護学部)

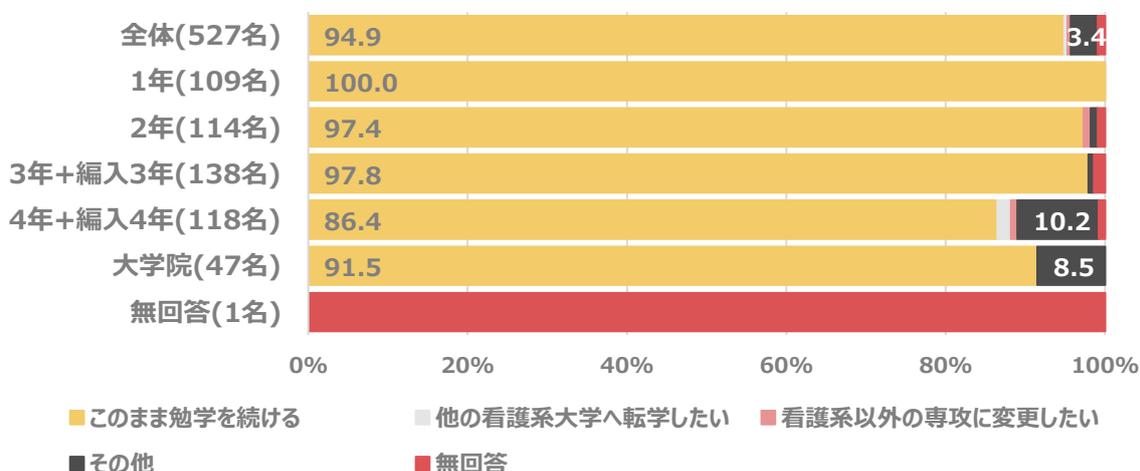
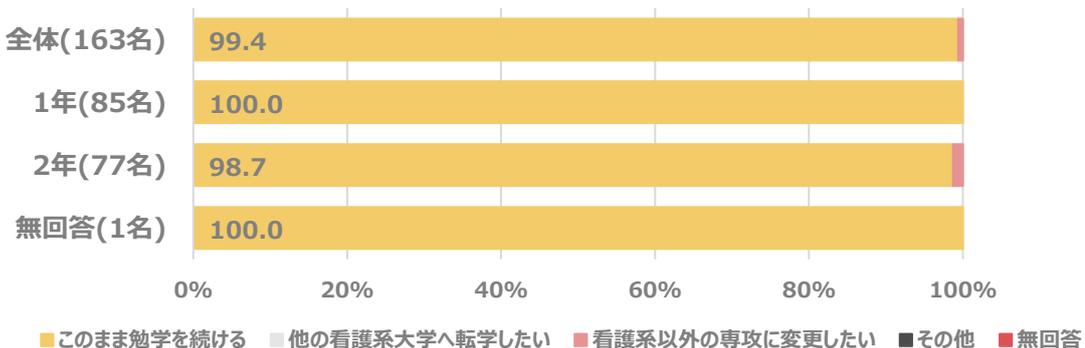


図56-3.本学での勉学を続けることについてどのように考えていますか。
(さいたま看護学部)



D) あなたの学生生活は充実していますか。最もあてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

図57-1.あなたの学生生活は充実していますか。(全体)

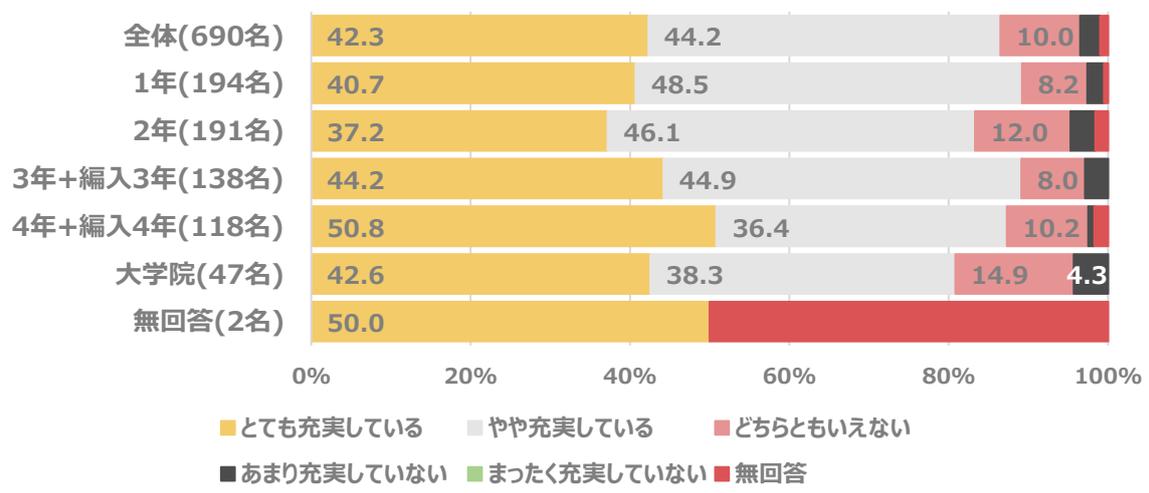


図57-2.あなたの学生生活は充実していますか。(看護学部)

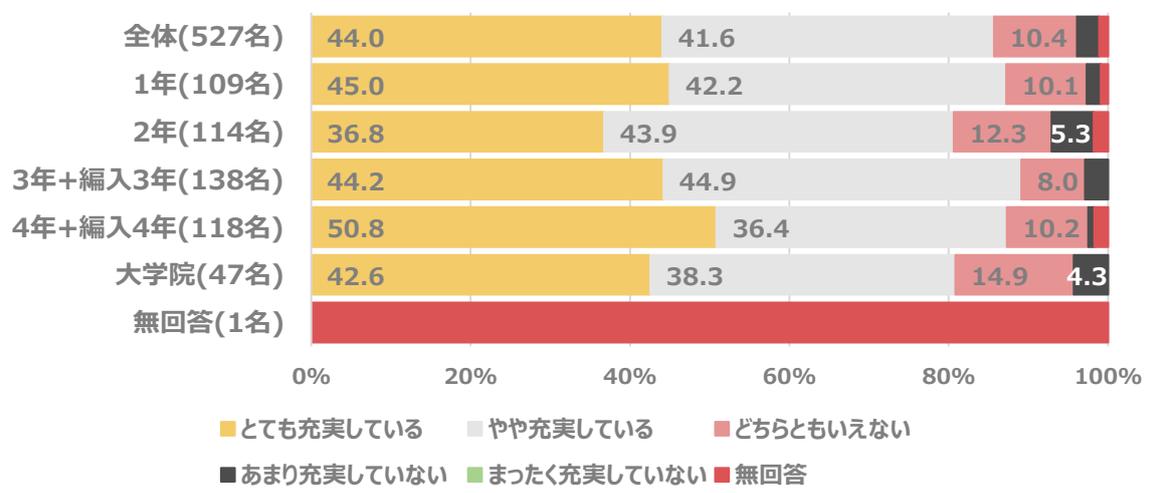
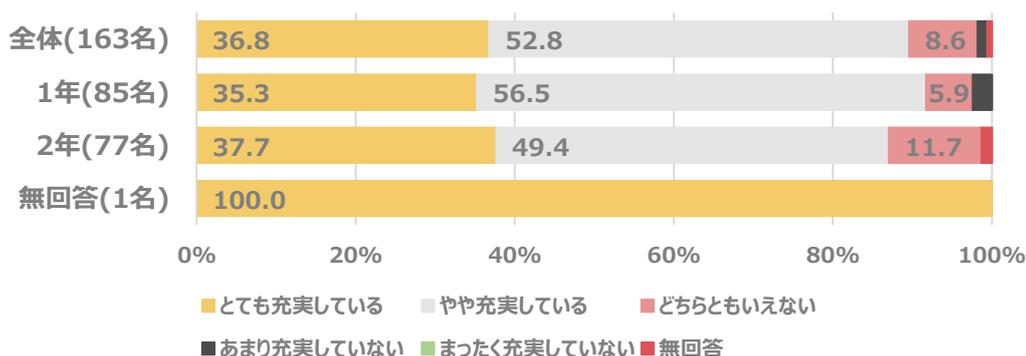


図57-3.あなたの学生生活は充実していますか。

(さいたま看護学部)



E) 大学生活の中であなたが大切だと思っていることは何ですか。主なもの2つ以内で選んで○をつけてください。

図58-1.大学生活の中であなたが大切だと思っていること(全体)

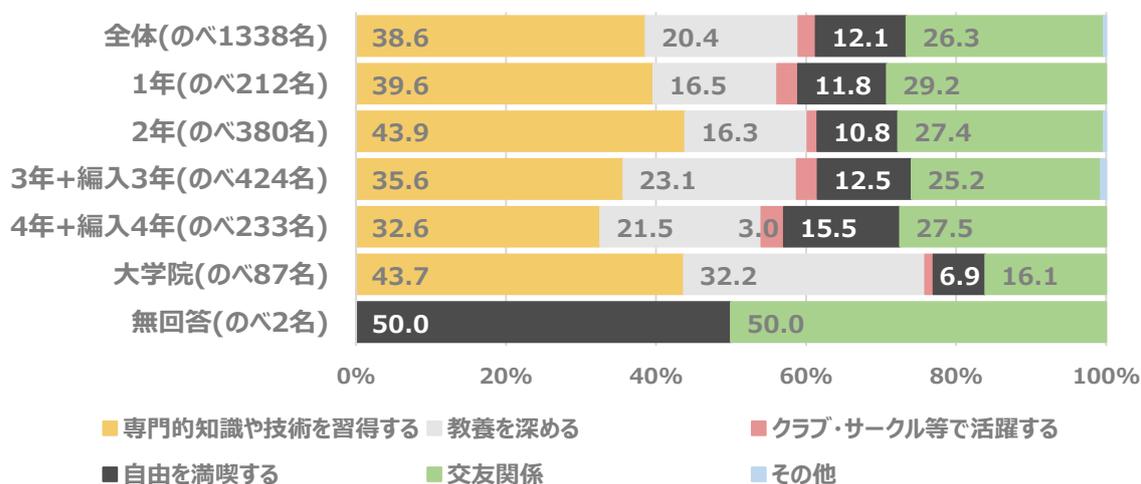


図58-2.大学生活の中であなたが大切だと思っていること

(看護学部)

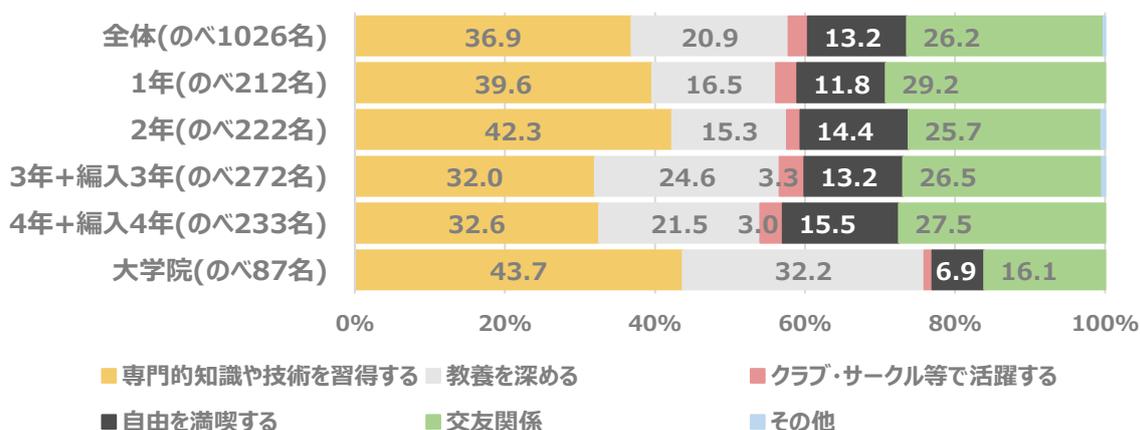
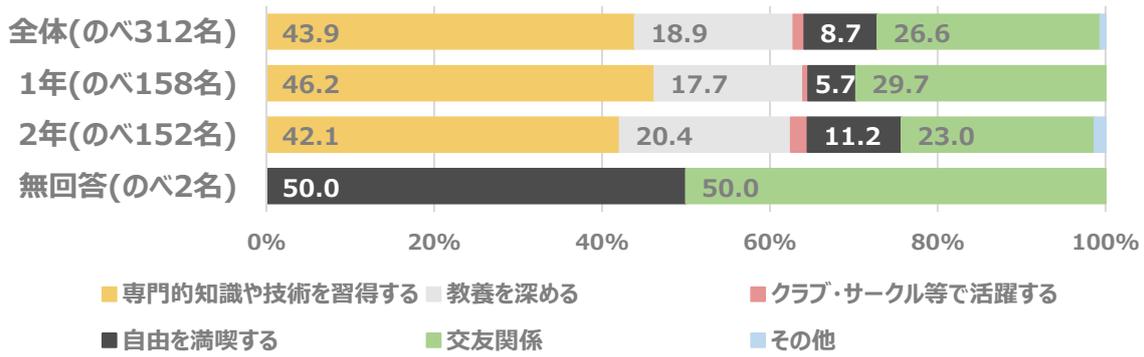


図58-3.大学生活の中であなたが大切だと思っていること
(さいたま看護学部)



F) 大学に対して特に期待や要望することについて、下記の項目の中から3つ以内で選んで○をつけてください。

図59-1.大学に対して特に期待や要望すること(全体)

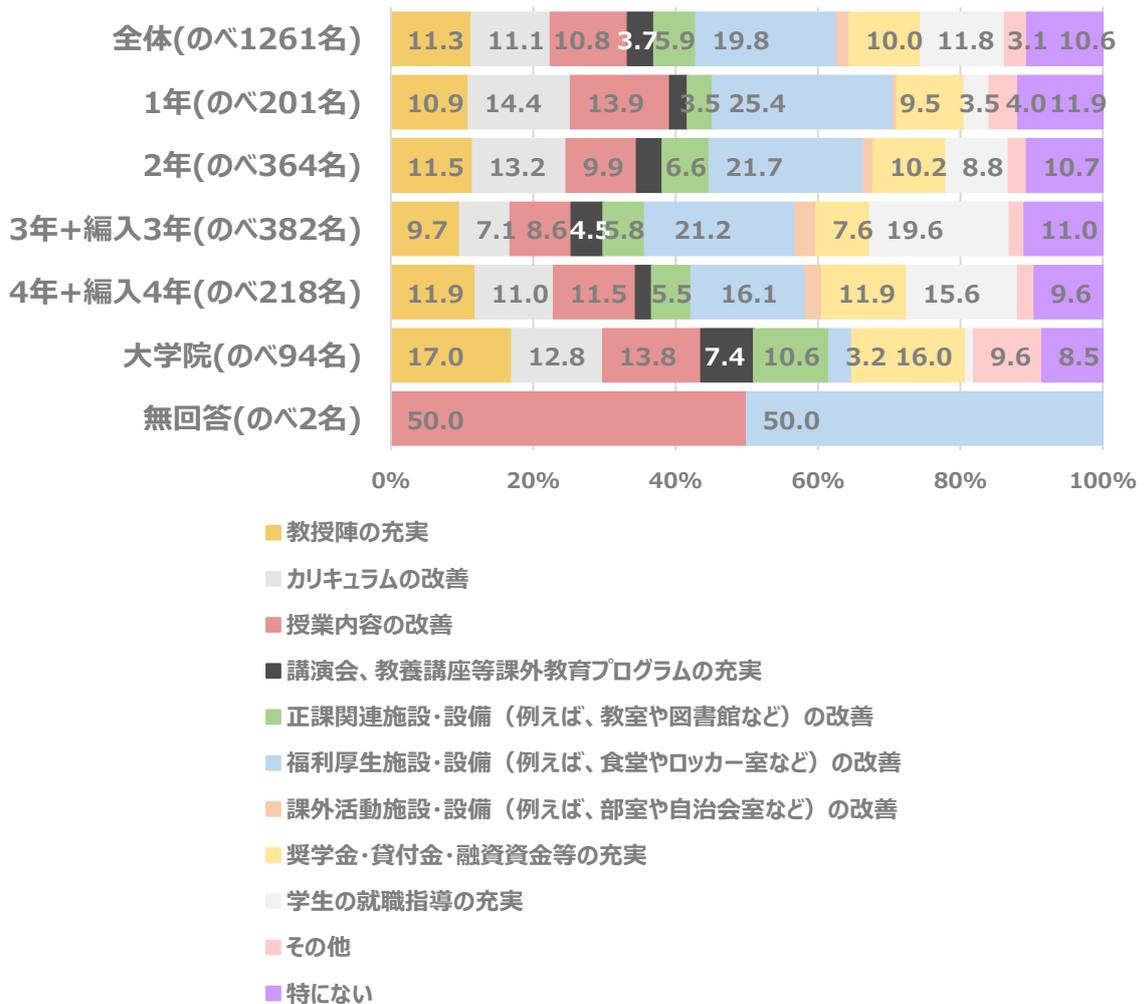


図59-2.大学に対して特に期待や要望すること(看護学部)

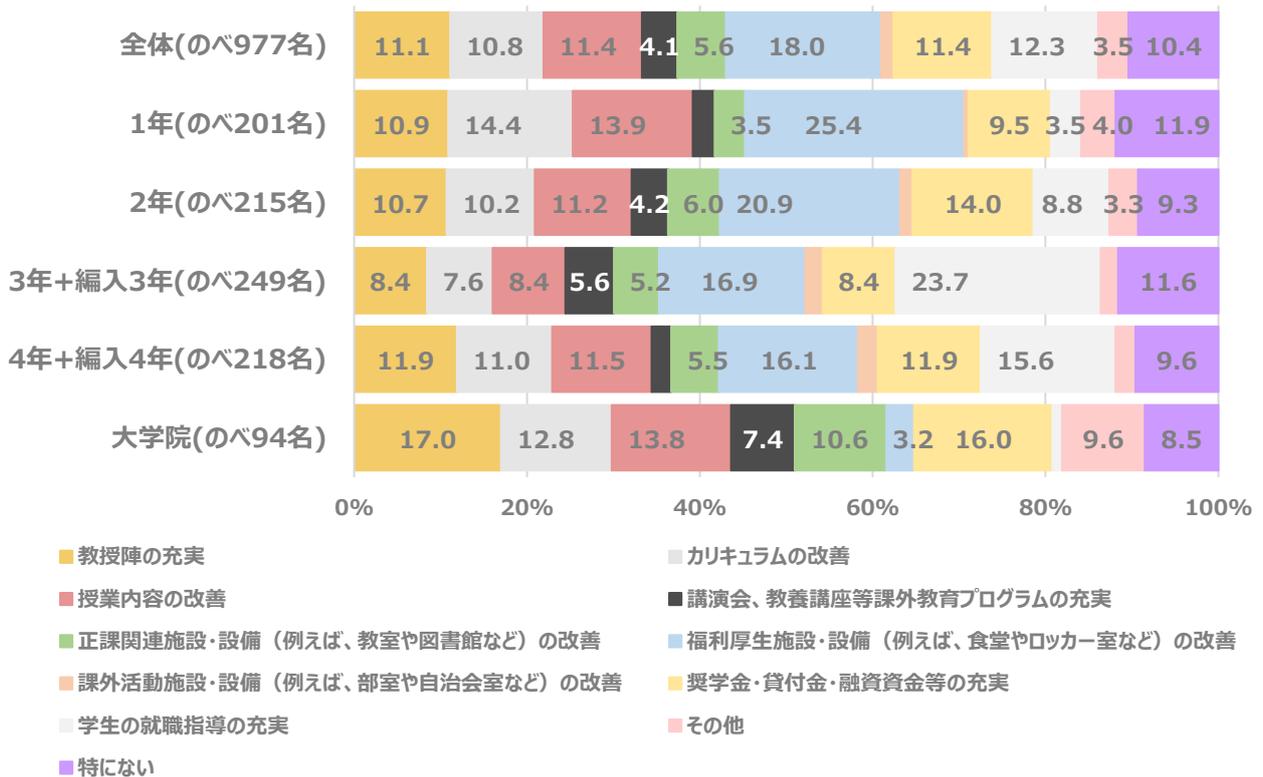
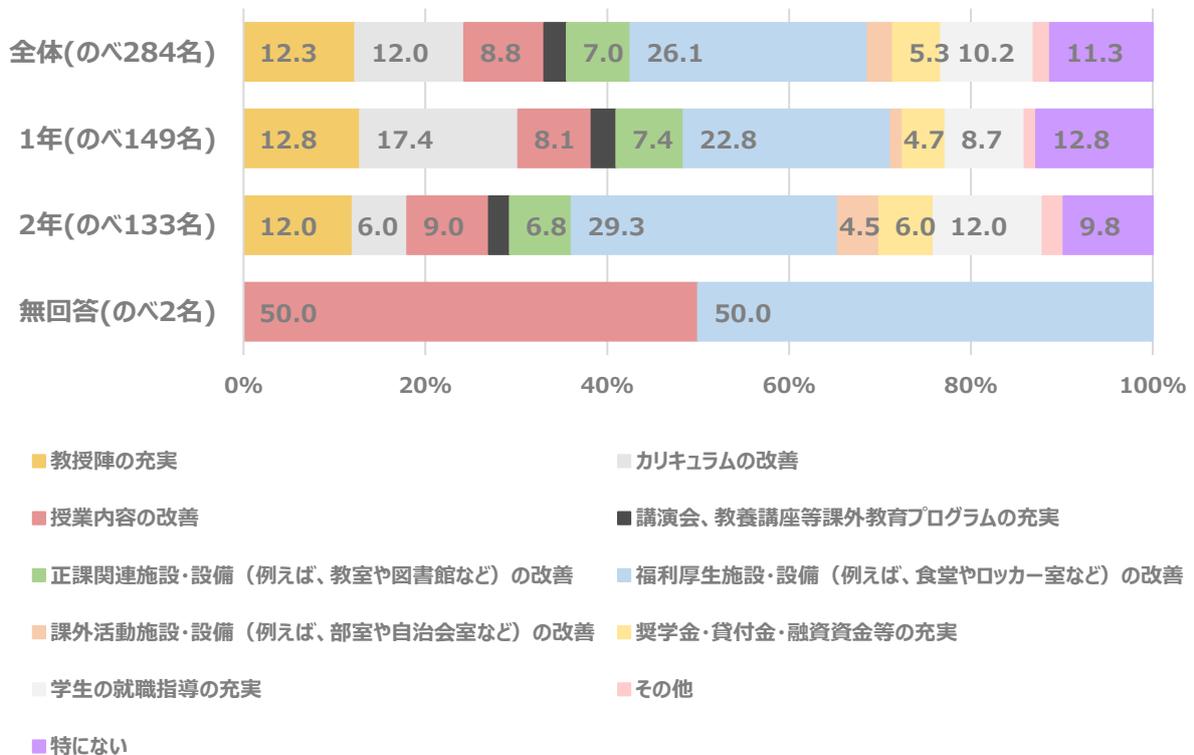


図59-3.大学に対して特に期待や要望すること(さいたま看護学部)



「その他」を選択した方の具体的な回答内容は下記の通りであった。

<時間割>

- 必修科目を1限・5限に入れないでほしい。(看護学部2名)
- クラス替えをなくしてほしい(看護学部2名)
- 体育の授業、又はサークルを増やしてほしい。体育館がほしい。(看護学部2名)
- 時間割が空きコマが多い(看護学部1名)
- 時間割をもう少し工夫して1日にまとめて全休などを増やしてほしい(看護学部1名)
- 時間割の組み方(看護学部1名、さいたま看護学部1名)
- 授業間の休憩時間(看護学部大学院修士(看護学専攻)1名)
- カリキュラムについて先生方も忙しく調整が難しいとは思いますが、時間割に空きコマや1日1コマが多く、通学が苦痛になってしまう事がよくあります。(看護学部1名)

<学費>

- 学費を減額してほしい(看護学部大学院修士(看護学専攻)1名)
- 学費が高すぎる(看護学部大学院修士(看護学専攻)1名)

<教育内容・教員・教育サポート>

- 国試対策(手厚い)(看護学部2名)
- 海外研修(看護学部2名)
- 実習やらせてあげて(看護学部1名)
- 博士論文のページ数をもっと増やして欲しい。100ページではおさまらないため。(看護学部大学院博士1名)
- 先生が多忙すぎて、連絡がつかない(看護学部大学院修士(看護学専攻)1名)
- オンライン、オンデマンドの充実(看護学部1名)
- 教員の学生教育に対するスタンス(看護学部大学院修士(看護学専攻)1名)
- 担任制度でできるだけ同じ教員に4年間ついてもらいたい。(看護学部1名)
- 誰に相談していいかわからなかった。(看護学部1名)
- 進路相談の機会があるとよりよい(看護学部編入1名)

<情報伝達>

- 教員同士の情報共有統一、事務の行動の早さ(看護学部大学院修士(看護学専攻)1名)
- 情報伝達(看護学部1名)
- 連絡など滞りがややある。(看護学部5年生)
- 各連絡の迅速化(さいたま看護学部1名)

<その他>

- 学食を再開してほしいです。生協のご飯を充実してほしいです(看護学部1名)
- お湯が出る場所を2階以上にもつくってほしい。(看護学部1名)
- 睡眠を取るスペースをつくってほしい(看護学部1名)
- ボランティアの募集(さいたま看護学部1名)
- 実習中の交通費の支給(さいたま看護学部1名)
- 2年次健康診断の採血(看護学部大学院修士(看護学専攻)1名)
- さいたま看護学部との交流(看護学部1名)
- 大学に行っていない期間の施設費等への配慮(看護学部1名)
- 10枚以上になるレポートをとめるためのホチキスの貸し出しをして下さないこと(看護学部1名)

G) あなたが F)でとりあげた項目の具体的内容について教えてください。1つの項目についてでも結構です。

<奨学金・授業料>

- ・ 奨学金を詳しく教えてほしい。奨学金の利用方法、条件がわかりにくい（看護学部2名）
- ・ 奨学金を頂く病院を決める期間が短く、病院をあまり知らずに決めてしまった（看護学部2名）
- ・ 授業料が高いが奨学金がもらえる額も少ないため経済的な余裕が全くない。（看護学部3名）
- ・ 縛りなしの奨学金を増やしてほしい（収入制限、給付型、定員制）。（看護学部12名、さいたま看護学部3名）
- ・ 授業料や施設利用費(コロナ禍)について（看護学部2名）
- ・ 1年時かなり落ちた人がいるように聞き、話とちがっていたため。（看護学部1名）
- ・ 「充実」と少し違うが、大学1年の頃日赤系の奨学金の説明で「借りた病院に借りた年数勤めれば返済免除。自分で返済すればそこに勤めなくても大丈夫」という選択を検討した際「それは許されない。奨学金を借りている病院に失礼。自分で返済するから大丈夫という簡単な話ではない」というテンション感で先生に問い詰められている友達がいる話を聞いた。今、違う病院への就職はやめたので、この話に関係はないが、大学3年になって先生にそんな問い詰められるのならば、何も分からない大学1年の頃に「将来が決まる本当に大事なこと。後から「自分で返せばいいや」でやめられる話ではない」ことをもっと時間をかけて説明するべき。絶対に困る学生が出てくる。大学1年の時、「奨学金をやりたいが、どの病院がいいか分からない。でも仮に違う病院に行きたくなったら自分で返済すればいいのでは」という理解だった。あんなに軽い説明だったら誰でも同じ理解になるはず(現に友人も同じ理解をしていた)（看護学部1名）
- ・ 成績上位者の学費免除の人数が少ない。自動販売機や生協が高い。（看護学部1名）
- ・ 奨学金を充実させてほしい。（看護学部2名）
- ・ 奨学金を借りてはいるが、就職活動の際の不安が大きかった。面識のある先輩にアドバイスをもらっていたが、縦のつながりがない人はより辛いのではないかと感じた。（看護学部1名）
- ・ コロナの影響で一部の奨学金制度が変わってしまったことが困った（看護学部2名）
- ・ 奨学金を取ってほしい学生への就職指導の充実（看護学部1名）

<ロッカー>

- ・ ロッカーを広くしてほしい。（看護学部26名、さいたま看護学部4名）
- ・ 人によってロッカー内の設備(鏡の有無など)差がある。（看護学部1名）
- ・ ロッカー室の洗面台のあたりなどに個人の物が置かれていて気になる。（看護学部1名）
- ・ ロッカーを他学年と交互にして、着替えのときの混雑を改善してほしい。（看護学部1名）

<食堂・生協・購買・お弁当>

- ・ 食堂を使いたい、食堂がほしい（看護学33名、さいたま看護学部33名）
- ・ 食堂拡張、メニューを増やしてほしい（看護学部9名）
- ・ 食堂もう少し安くしてほしい。（看護学部4名）
- ・ ビュッフェ形式を復活してほしい。（看護学部9名）
- ・ 食堂にテレビをつけてほしい。（看護学部1名）
- ・ 食堂の席数を少し増やしてほしい。キャンパス内にカフェがほしい。（看護学部1名）
- ・ 購買開放時間の延長（看護学部2名）
- ・ 生協の品数増やして欲しい・内容を変更してほしい（看護学部6名）
- ・ 生協がもう少し安かったら利用しやすいです。（看護学部2名）
- ・ 食事できるスペースが足りないと思うため福利厚生施設を充実させてほしい。（さいたま看護学

部 1 名)

- ・ セブン自販機やアイスがあると嬉しいです。(さいたま看護学部 1 名)
- ・ 食堂、事務が使いづらい広尾と比べて生協がほぼ会員になっている意味がないと感じる。(さいたま看護学部 1 名)
- ・ 大学の自販機の食材があまり良くない。弁当やパンなどの販売が始まっているので、利用してみようと思う。(さいたま看護学部 1 名)
- ・ お弁当屋さんが来てくださるそうなので、それよりも生協を常設していただくと嬉しいです。(さいたま看護学部 1 名)
- ・ おいしいパンとイチゴミルクがたべたい。コークオンの自動販売機 (さいたま看護学部 1 名)
- ・ 販売機の内容の充実 (さいたま看護学部 1 名)
- ・ お弁当の取り寄せだけでなくいろんな食べ物があると嬉しいです。(さいたま看護学部 1 名)

< 時間割・講義内容 >

- ・ クラス替えをなくしてほしい (看護学部 3 名)
- ・ 時間割の組み方を考えてほしい・座学みの授業はオンラインも取り入れて効率的に行うのもいいと思う (看護学部 11 名、さいたま看護学 10 名)
- ・ 1 限からが多い。空きコマが多い・フルで授業が入っている日もあり日によって偏りが大きい。5 限に授業をあまり入れないでほしい。(看護学部 5 名、さいたま看護学部 1 名)
- ・ 経済系の授業を取り入れてほしい。(看護学部 1 名)
- ・ バスケやテニスがやりたかった。テニスコートは自由に使えるのですか? (看護学部 1 名)
- ・ 4 年で研究をとると年末まで忙しいためもう少し余裕がほしい。(看護学部 1 名)
- ・ 臨床に役立つ知識の指導 (看護学部 1 名)
- ・ 講演会・シンポジウムをもう少し増やして欲しい。TOEIC、TOEFL の講義会が欲しい。(看護学部 2 名、さいたま看護学部 2 名)
- ・ 10 分休憩だと授業がのびた時に次に間に合わない。昼休憩も同じく。(看護学部大学院修士 (看護学専攻) 1 名)
- ・ 他大学と比べて休みが短い。休日にも授業があるなんて入学する前に説明がなかった (看護学部 1 名)
- ・ オンラインでもっと自由に書籍を読むことができる。(看護学部大学院修士 (看護学専攻) 1 名)
- ・ 1 月のテスト前の授業がたて込むこと。研究方法論に関してはレポート提出直前のオフィスアワーとなり、疑問解決が遅くなる。既卒者向けにも案内して欲しい。(看護学部編入 1 名)
- ・ (社会人の履修をしやすく)夜も講義をうけられるようにしてほしい (看護学部大学院修士 (看護学専攻) 1 名)
- ・ 院生室の中で代々教えられること(授業や実習大学内のことなど)が多く、コロナ禍で 4 月から登校できず、わからない、知らないことがそのままにされていたように感じます。それによるトラブル(レポート BOX や院生室の使い方を知らない)が起りやすい年だったのではないかと思います。(看護学部大学院修士 (看護学専攻) 1 名)
- ・ フィジカルアセスメントの授業はなるべく対面で実施できれば嬉しいです。(看護学部大学院修士 (看護学専攻) 1 名)
- ・ 年次によって忙しさにかなり変動があるため少しずらしてほしい。(看護学部 1 名)
- ・ もっと看護の世界で通用する解剖生理学の授業が必要。(看護学部 1 名)
- ・ 授業によってだけど、本当なら時間をかけてやられる分野(範囲)が 1, 2 回の授業だけで終わらせてられてしまうのは、つめこみにもなるし単に大変 (看護学部 1 名)
- ・ カリキュラムが詰まりすぎて、こなすだけの課題になっていることが多い。(看護学部大学院修

士（看護学専攻）1名）

- ・ 1, 2年の教養科目の中にウェイトが重すぎて解ぼうや病理の学習に時間がかけられなかった。（看護学部1名）
- ・ 実習時間の改善（看護学部1名）
- ・ 医学書院の教科書はとても分かりにくいので『病気がみえる』に変えたほうがいいと思います。（看護学部1名）
- ・ 看護技術の授業を1年からもう少し増やしてほしい。（看護学部1名）
- ・ 一部の授業ではあるが、必要ではないと感じてしまうものがあった。（看護学部2名）
- ・ 時間割による偏りをできるだけ減らしてほしいから。（看護学部1名）
- ・ 言葉づかいやコミュニケーションなどを、看護師ではなく他の、例えばCAなどの接客のプロから話しをきくことで、対人スキルがあがると思う。（看護学部1名）
- ・ 量的研究にも積極的にとりくめるように、統計処理に関する科目を増やす(充実される)10→どう勉強したらよいかどう考えたらよいか、何が分からないかわからない等行き詰っている時に教員側からアプローチが欲しい。3→授業のすすめ方や評価の仕方についてももう少し詳しく説明してほしい。レポートへのフィードバックが欲しい（大学院修士（看護学専攻）1名）
- ・ 興味ある課外教育の分かりやすい、参加しやすいプログラム。（看護学部1名）
- ・ 専門的な知識を知りたいから。（さいたま看護学部1名）
- ・ 海外で活躍された方の講演。（さいたま看護学部1名）
- ・ テストの問題、解説がどの科目でもほしいです。（さいたま看護学部1名）
- ・ 平日によって試験、レポートの点数が公開されている科目、されない科目があるため、全ての科目で点数を公開してほしいです。次学期、次学年のガイダンスで成績を公開されても振り返ることで内容の確認が難しい(次の授業でいそがしくなるため)ため、できるだけ早い段階での成績開示をしてほしいです（ポータルでの個別配信等）（さいたま看護学部1名）
- ・ 様々な変更や各連絡はもう少し余裕を持って知らせていただきたいです。（さいたま看護学部1名）
- ・ 教授同士の連携がとれていない時があると感じたため。（さいたま看護学部2名）
- ・ 演習の授業を増やしてほしい。（看護学部1名）

<国際交流・海外研修>

- ・ 国際交流についてはHPで国際活動を載せている割に、学部生の看護留学のチャンスが少なすぎると思う。実質的にはスイス、スウェーデンの4人に選ばれることしかなく、ギャップと疑問を4年間ずっと感じていた。コロナ禍で状況は異なるが、行き来ができない今だからこそ、大学として方針を改善し、コロナがおちついたときに多くの学生が看護留学できるような体制を整えてほしい。（看護学部1名）
- ・ ご時世時にほぼ不可能だが、海外研修に行きたかった。それが特色だと思うので。（看護学部1名）
- ・ ハイブリット型授業のディスカッションの時間を増やして欲しい。（看護学部大学院修士（看護学専攻）1名）
- ・ 英語は話せないが、海外研修に資金的なサポートが得られれば、是非機会を活用したい。COVID-19の流行においては難しいと思うが、海外の病院の施設と管理についてみてみたい。（看護学部大学院修士（看護学専攻）1名）

<先生・講義>

- ・ 先生によって、授業内容が時間内に終わらないことが多く、不満がある。（看護学部1名）
- ・ 連絡や相談がとにかくしづらかったです。（看護学部大学院修士（看護学専攻）1名）

- ・ 教授陣、授業内容共に専門科目の勉強法を教えてください。(看護学部1名)
- ・ 1つ1つの分野が詰めこみすぎて広く浅すぎる点。(看護学部1名)
- ・ ゼミをもっと充実させてほしいと思います。発表のスキルが身につくことも良いですが、より教授や講師の研究分野を学びたかったなと思いました。(看護学部1名)
- ・ 先生が学生の相談にのる時間(看護学部2名)
- ・ 講義によっては教科書を読んでいるだけのものもあったり、先生方の工夫や熱意が伝わってくるものがあったりとバラつきがあった。(看護学部2名)
- ・ 先生の声が聞こえない時があります。マイクを聞こえるようにしてほしい。(看護学部2名)
- ・ 早すぎることもあり、ついていけない。疾病の説明がむずかしすぎる。医者でなく看護師に教えてください。(看護学部3名)
- ・ 魅力のある教授が入れば学生は集まると思う。(看護学部大学院修士(国際保健助産学専攻)1名)
- ・ どの先生も親密に話を聞き、アドバイスをくださるため。(看護学部2名)
- ・ 実習で当たる先生の当たりはずれがすごい(看護学部3名)
- ・ 見づらいレジメがあった。(看護学部2名)
- ・ 前期の人体の授業は分かりにくかった。(看護学部1名)
- ・ 先生との距離が近い方がやりやすいから(さいたま看護学部1名)
- ・ 親身になってくれる先生がいると心強いです。(さいたま看護学部1名)
- ・ 質問に適切に回答して下さる先生方を望みます。プリントに書いてあることをそのまま読み上げる先生がいらっしゃいました。もう少し工夫して授業を行ってほしかったです。(さいたま看護学部1名)
- ・ 実習の際に安心できる先生に近くにいてほしい。(さいたま看護学部1名)
- ・ 授業資料を全ての教科配るなど(さいたま看護学部1名)
- ・ リクエストした資料の準備が遅いなと思った。(さいたま看護学部1名)
- ・ 臨時の先生が変な人が多い。(看護学部1名)

<施設設備>

- ・ 図書室や自習スペースの開放時間を増やしてほしいです。(看護学部4名、さいたま看護学部2名)
- ・ 図書館のWi-Fiがどこでも安定して使えるようにしていただきたい。(看護学部1名)
- ・ 生協を大手のコンビニエンスストアにしてほしい(看護学部1名)
- ・ 部室(サークル室)が汚い。(看護学部1名)
- ・ 院生室のプリンターの故障の対応をもっと早くしてほしい。またスキャナの改善など設備の充実を期待します。(大学院修士(看護学専攻)1名)
- ・ 外でのスポーツを行う場所がないこと(看護学部1名)
- ・ 防犯カメラの設置をお願いしたい。(看護学部1名)
- ・ 音楽をしてもいい部屋を増やしてほしい(看護学部1名)
- ・ 広尾ホール等に大きな鏡が欲しいです!(看護学部1名)
- ・ 図書室の本がとても古いものが多く、新刊が少ない印象があります。(看護学部1名)
- ・ シャワー室がほしい(看護学部1名)
- ・ 実習室を完備してほしいです。(看護学部1名)
- ・ ATMを作してほしい(看護学部1名)
- ・ 大きな教室では後ろの方の席だと字が読めない場合があるので、スライドやテレビが中間にもあるとありがたい。(看護学部1名)

- ・ 図書館のことで医療以外の小説やビジネス書なども充実してほしいです。(看護学部1名)
- ・ 席が多い教室。(さいたま看護学部1名)
- ・ サークルの部室が欲しい。(さいたま看護学部1名)
- ・ 冷水器の設置(さいたま看護学部1名)
- ・ 教室を広げる。多くする。(さいたま看護学部1名)
- ・ 冷凍食品など食堂と類似した設備が充実してきたと思うが1品1品値段が高い。(さいたま看護学部1名)
- ・ 教室が空いていても定期的には使えないといわれた等(さいたま看護学部1名)

<就職・進学>

- ・ 就職の面接練習・就職指導をしてほしいです。(看護学部4名)
- ・ 就職指導について、特定の指導者がいないため、いろいろな先生に聞かねばならず不安・心配が消えない。特化した人を明らかにしてほしい。または配置してほしい。(看護学部1名)
- ・ 就職支援をしてほしい(就活情報早くほしい、体験談、スケジュールなど)(看護学部5名、さいたま看護学部6名)
- ・ 就職支援について、インターシップや小論文、面接対策など学外の企業だけでなく、先輩方や先生方の体験、経験談をお聴きする機会があったらありがたいです。(看護学部1名)
- ・ 進学・就職先の相談がもっとしやすいといいなと思いました。(看護学部5名)
- ・ 編入の就職支援が不足しているため、情報提供をもう少ししてほしい(看護学部編入1名)
- ・ 赤十字の病院に就職する学生が多いと思うが、だからこそ、他の病院と比較する機会も欲しいと思います。(看護学部1名)
- ・ どうやって就活するのが気になる。日赤の大学に通っていて日赤の病院に勤めたい場合、優遇措置の有無など(さいたま看護学部1名)
- ・ 看護学生としての就職活動がどのようなものか知りたい。(さいたま看護学部1名)
- ・ 赤十字系の病院に行くかも決めておらず、小論文などが試験にあるとき、誰に見てもらえればいいのかわからない。(さいたま看護学部1名)
- ・ 日本赤十字社系以外の病院も知りたい。(さいたま看護学部1名)

<国試>

- ・ 4年の実習を3年までにおわらせて国試に集中させてほしい(看護学部3名)
- ・ 国試対策をもう少しやってほしい。(看護学部3名)
- ・ 担任がいても就職や国試への手厚い指導がなく、不安であった。(看護学部1名)
- ・ カリキュラムについては4年の研究Ⅱを選択する人があまりにも忙しくなってしまうことを改善してほしい。他大学では12月までに研究発表がおわっていて、年始から全員国試対策ができています。本学も確実に変えるべきだと思う(看護学部1名)
- ・ 国試の勉強や就職活動の始める時期等具体的に指示してほしいです。(看護学部1名)

<コロナ>

- ・ 学校に来るより家の方が自由時間が多くなり、空きコマなど有意義に過ごせるし、QOLが向上する(看護学部1名)
- ・ コロナで仕方のないことだが、授業と実習内容が浅く感じ、身になっていないように感じる。(看護学部1名)
- ・ 具体的にはテニスコートの貸し出しについて、感染症対策から「緊急事態宣言中」は貸し出せないと言われた。しかし、宣言明け後も、団体利用は認めるが、個人利用はまだ無理と言われた。理由も理解できるが、ではいつになったら利用できるのか。利用する条件は何か。条件やルールがないのならば、しばらくコロナと付き合っていかなければならないのだから作ってほしい。施

設費も学費の一部として払っているのだからもう少し考えてほしいし、説明も欲しい。昨年ならまだしも2年目もよく分からない状態なのは理解できない。カリキュラムも時間割の組み方が非効率的だと思う。座学だと一方的に話を聞くことが多くグループワークなど他の生徒との交流が少ない。(看護学部1名)

- ・ 前年度はコロナの状況で、4月が自宅学習、5月からオンラインになったが、授業内容の体制がととのっていなかったように感じる。2021年度入学者は状況が整っている上で、授業をうけている姿を見て、私たちの1年は何だったのだろうと正直に思う。(看護学部大学院修士(看護学専攻)1名)
- ・ コロナ禍で先生方、同級生、大学へ行く機会が減った。交流も減りました。研究でわからないところもすぐきけない。聞いてもわからない。もっと調べたいけど自分だけではどうしようもないことも沢山あった。直接うかがっておききたいことも沢山あった。先生大学側もとても尽力してくださり感謝しています。しかし、学費に見合っていないと思いました。研究のデータ処理、統計はとても苦労しました。大学に行っても解決できなかった。さいたま看護学部の先生に(以前から交流があった)沢山相談にのっていただいた。量研究にかんして相談に乗っていただける常勤の先生を紹介してもらいたかったです。量研究はとてもお金がかかりました。先生にご提供していただいた資料も沢山あり感謝していますので、学費を減額してほしいです。図書室に関しては、文献を取りよせるときに支払うのが電子マネーではないことが大変困りました。ぜひこのコロナ禍の状況もあるので電子マネーで払えるシステムを導入してもらいたいです。(看護学部大学院修士(看護学専攻)1名)
- ・ クラブ活動の制限を緩和してほしい。大学でのクラブ活動を中学生の時から楽しみにしていたので満足にできないことに不安や焦りを感じる。(看護学部1名)

<その他>

- ・ 特にないです満足です！(看護学部1名)
- ・ 授業がとり上げていること以外を学べる機会がほしいから。(看護学部1名)
- ・ やりたいクラブ活動が無かったのが心残り。(看護学部1名)
- ・ 様々な情報に関してもう少し早く伝達していただきたいです。(看護学部1名)
- ・ より良い教授の授業を受けたい。(看護学部1名)
- ・ 退職して学生となっているため、任意で選択でき(有料でも)採血検査が受けられると助かります。入学時にあった項目だけでも。(看護学部大学院修士(看護学専攻)1名)
- ・ 貧乏学生を救ってほしい(看護学部1名)
- ・ 看護管理を学ぶことのできる大学院は限られているため、どのような教授から学ぶのか、また授業の特徴などは進学を決めるうえで大きな要素だった。(大学院修士(看護学専攻)1名)
- ・ 学生がきちんと日常を送れるような内容にしてほしい(大学院修士(国際保健助産学専攻)1名)
- ・ 担任制度をもっと活用したい。(看護学部1名)
- ・ 授業の質が上げれば、身につくものも良質な知識がつくから。(さいたま看護学部1名)
- ・ 看護学部しかないため、他職種連携を実践的に学べないことが不安。(さいたま看護学部1名)
- ・ 他学部との交流(看護学部2名)
- ・ コミュニティケアが思っていたよりも多かった(さいたま看護学部1名)
- ・ 災害看護に関わる講演会、それぞれの分野(国際・災害など)につくため経過を教えてください(何年働いてどこに行くなど)(看護学部1名)

(14) 卒業後の進路

卒業後の進路は、全体で 81.7 %が「病院等に就職」と回答していた。学年別にみると、1年生・2年生・3年生までは、「大学院に進学」「まだ決めていない・わからない」の回答も約 2 割程度あったが、4年生では 89.8%が「病院等に就職」と回答しており、進路が明確である様子が見えてきた。一方大学院生は、「病院等に就職」と回答した学生の割合は 55.3%と約半数で、その他は「まだ決めていない・わからない」「その他」であった。

質問 14. 卒業後の進路（希望も含む）についてお聞きします。

以下の項目の中で最もあてはまるものを 1 つだけ選んで○をつけてください。

図60-1.卒業後の進路（希望も含む）（全体）

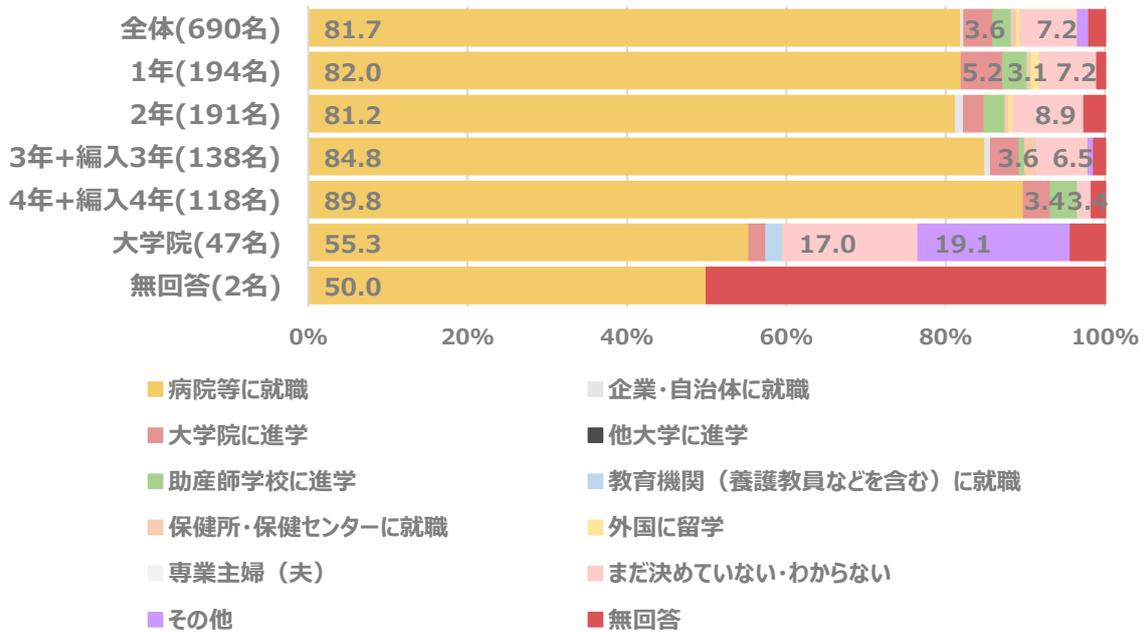


図60-2.卒業後の進路（希望も含む）（看護学部）

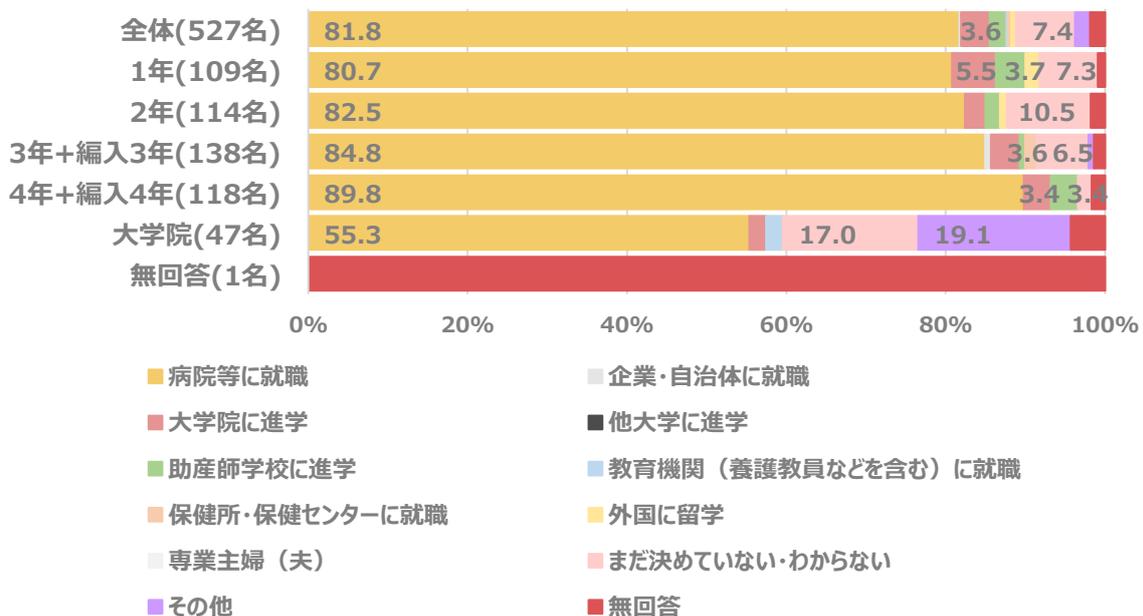
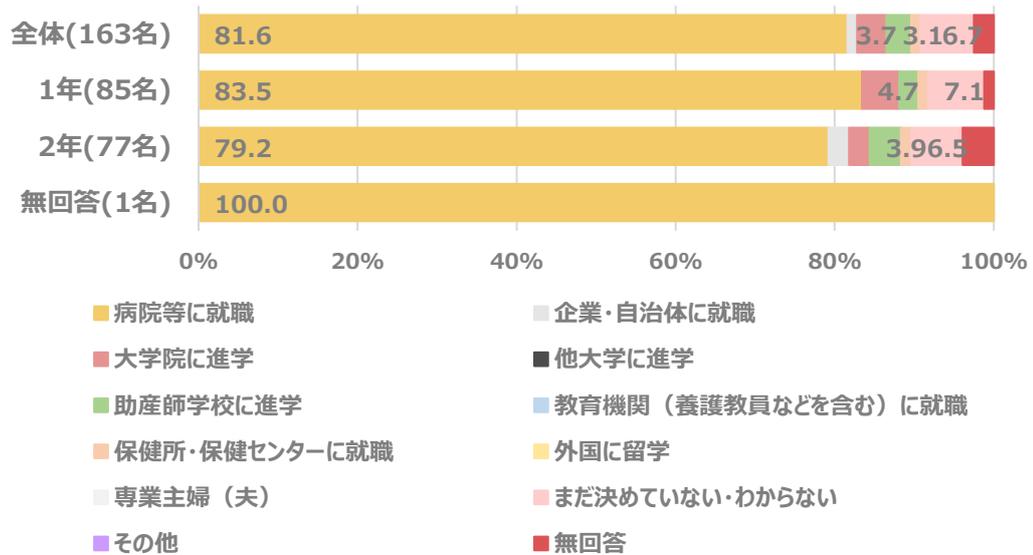


図60-3.卒業後の進路（希望も含む）（さいたま看護学部）



質問 14-1. [質問 14 で1.病院等に就職]したいと回答した学生にお聞きします。どのような病院に就職したいと思っていますか。以下の中から1つだけ選んで○をつけてください。

図61-1.どのような病院に就職したいと思っていますか
(質問14で「1. 病院等に就職」を選択した方)(全体)

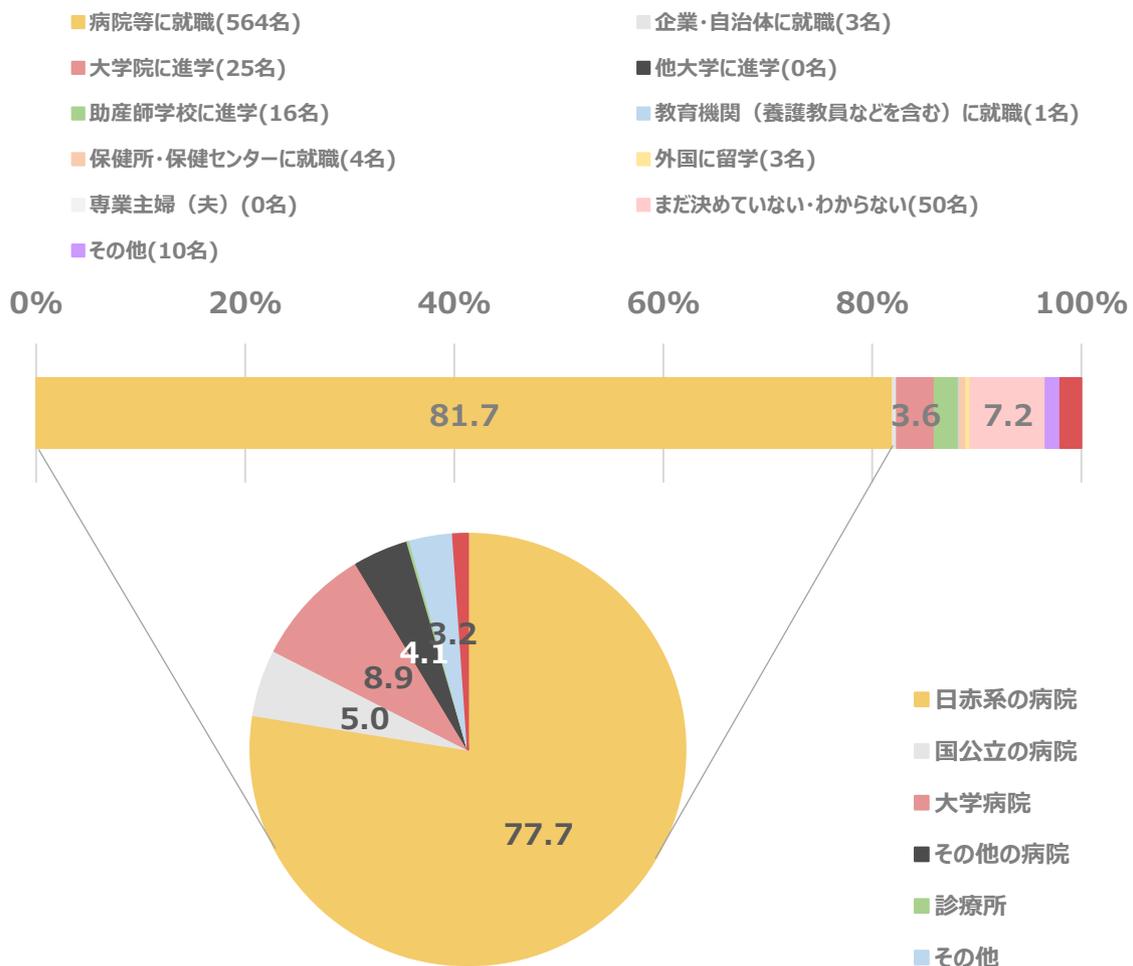


図61-2.どのような病院に就職したいと思っていますか
(質問14で「1. 病院等に就職」を選択した方)(看護学部)

- 病院等に就職(431名)
- 大学院に進学(19名)
- 助産師学校に進学(11名)
- 保健所・保健センターに就職(2名)
- 専業主婦(夫)(0名)
- その他(10名)
- 企業・自治体に就職(1名)
- 他大学に進学(0名)
- 教育機関(養護教員などを含む)に就職(1名)
- 外国に留学(3名)
- まだ決めていない・わからない(39名)

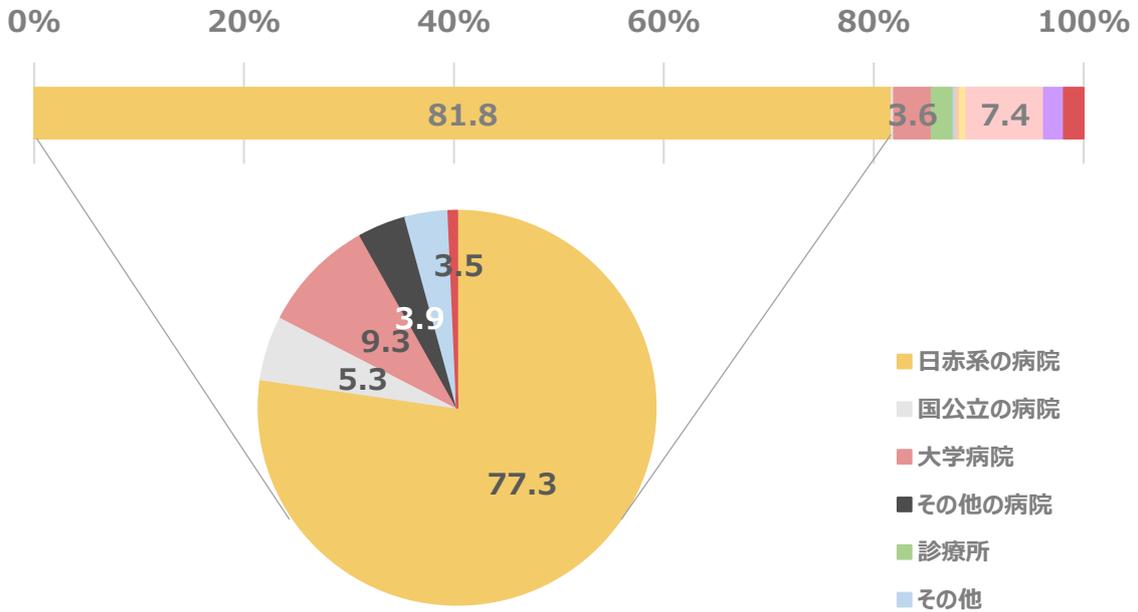
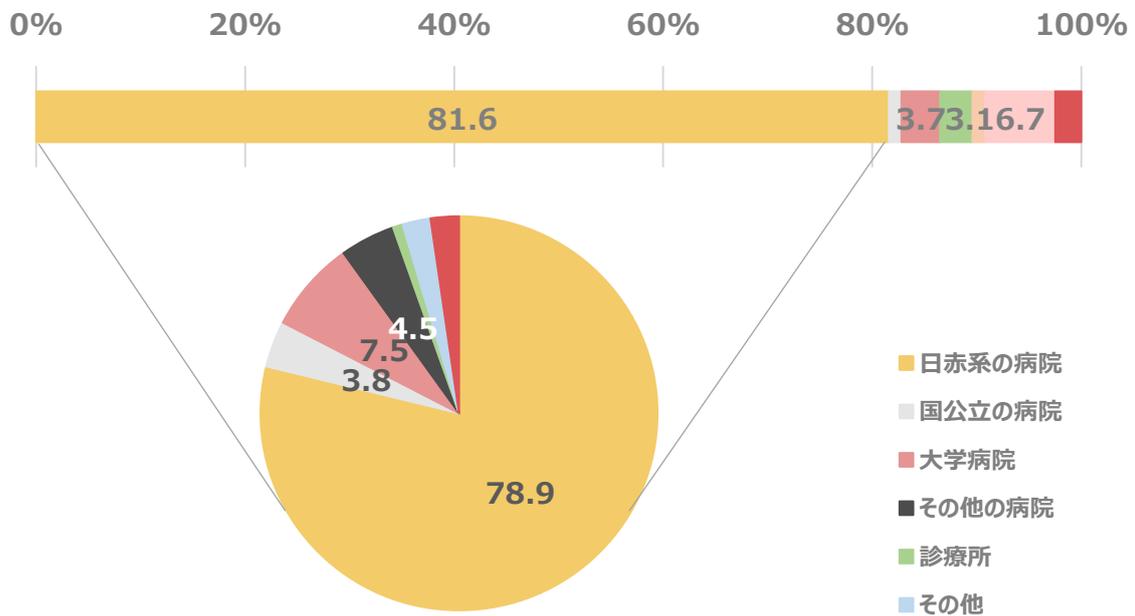


図61-3.どのような病院に就職したいと思っていますか
(質問14で「1. 病院等に就職」を選択した方)(さいたま看護学部)

- 病院等に就職(133名)
- 大学院に進学(6名)
- 助産師学校に進学(5名)
- 保健所・保健センターに就職(2名)
- 専業主婦(夫)(0名)
- その他(0名)
- 企業・自治体に就職(2名)
- 他大学に進学(0名)
- 教育機関(養護教員などを含む)に就職(0名)
- 外国に留学(0名)
- まだ決めていない・わからない(11名)



質問 14-2. [質問 14 で 3. 大学院に進学]したいと回答した学生にお聞きします。

どの大学院に進学したいと思っていますか。以下の中から1つだけ選んで○をつけてください。

図62-1.どの大学院に進学したいと思っていますか
(質問14で「3. 大学院に進学」を選択した方) (全体)

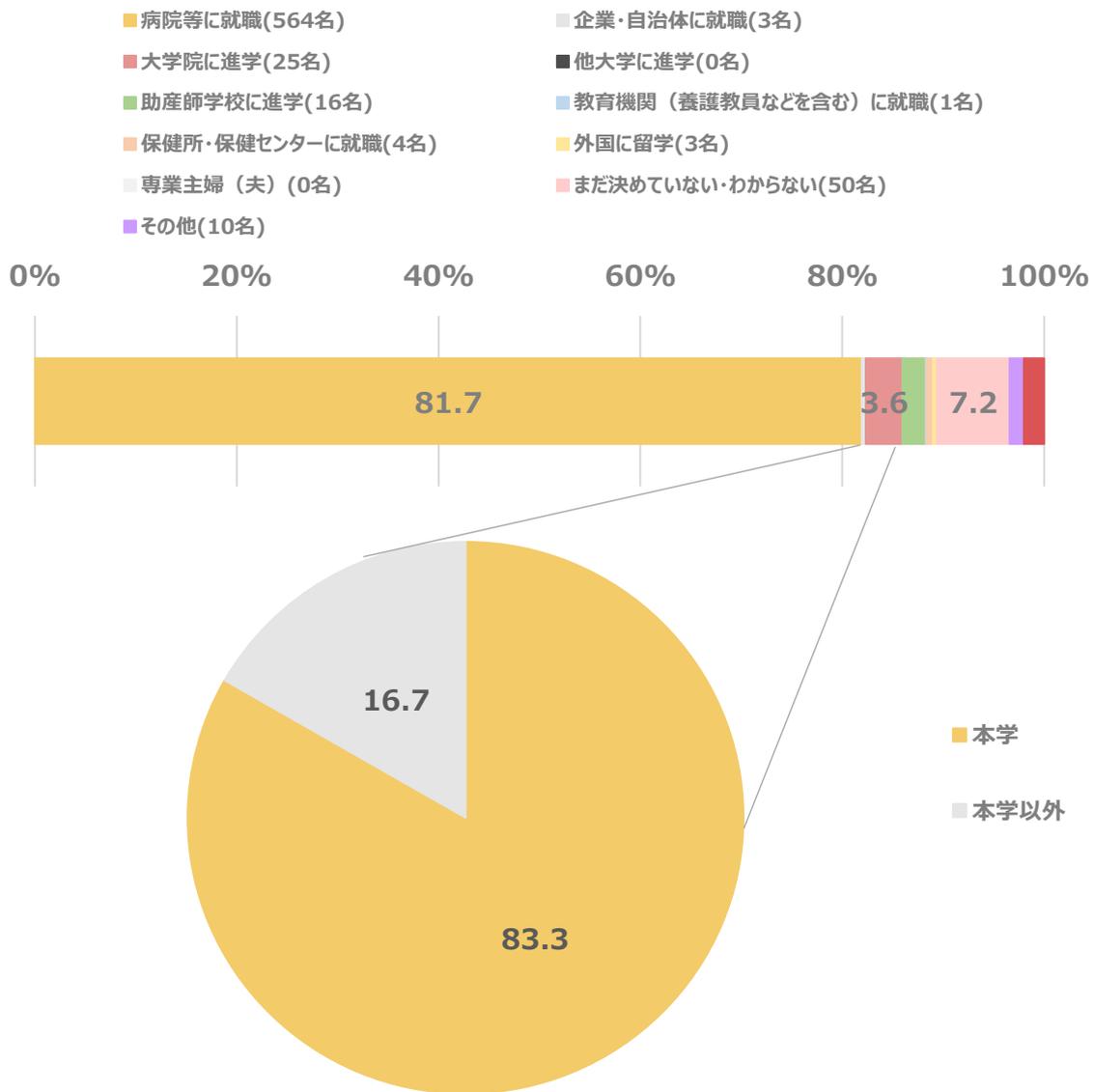


図62-2.どの大学院に進学したいと思っていますか
 (質問14で「3. 大学院に進学」を選択した方) (看護学部)

- 病院等に就職(431名)
- 大学院に進学(19名)
- 助産師学校に進学(11名)
- 保健所・保健センターに就職(2名)
- 専業主婦(夫)(0名)
- その他(10名)
- 企業・自治体に就職(1名)
- 他大学に進学(0名)
- 教育機関(養護教員などを含む)に就職(1名)
- 外国に留学(3名)
- まだ決めていない・わからない(39名)

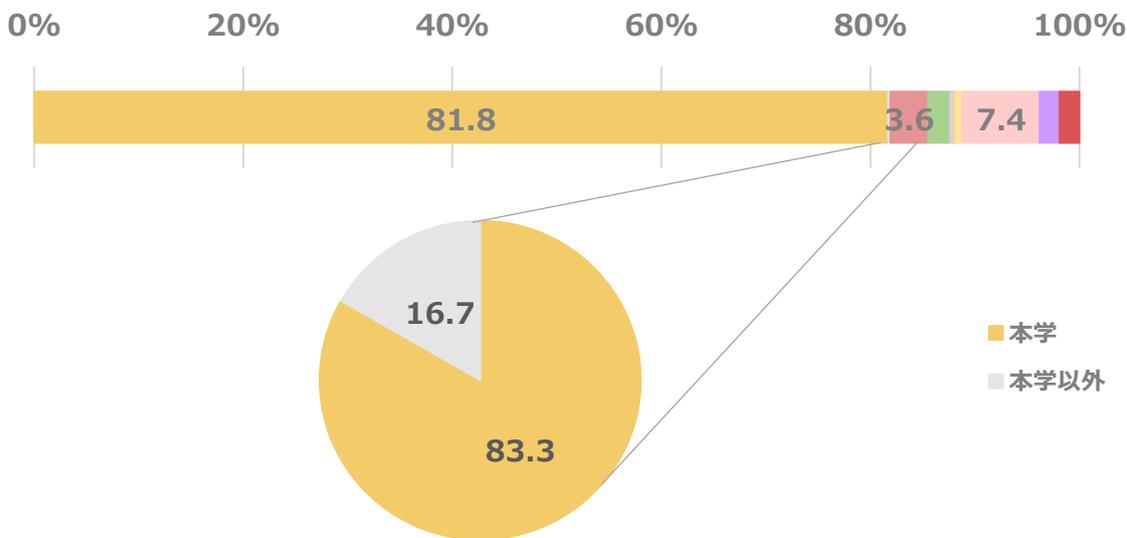
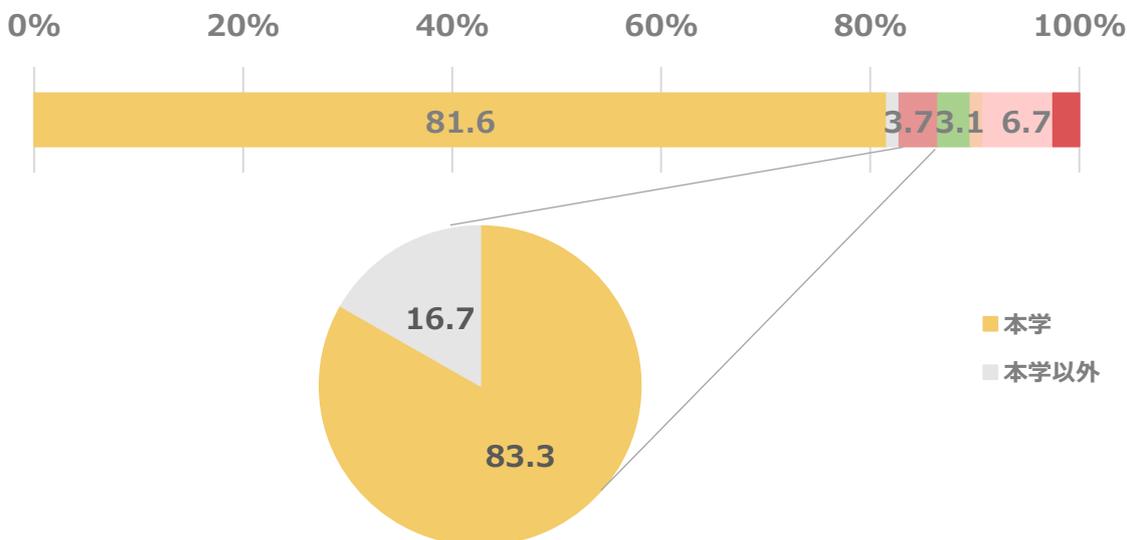


図62-3.どの大学院に進学したいと思っていますか
 (質問14で「3. 大学院に進学」を選択した方) (さいたま看護学部)

- 病院等に就職(133名)
- 大学院に進学(6名)
- 助産師学校に進学(5名)
- 保健所・保健センターに就職(2名)
- 専業主婦(夫)(0名)
- その他(0名)
- 企業・自治体に就職(2名)
- 他大学に進学(0名)
- 教育機関(養護教員などを含む)に就職(0名)
- 外国に留学(0名)
- まだ決めていない・わからない(11名)



2. 学生生活に関する満足度

- ✓ 担当教員の支援には 8 割弱が満足していると回答
- ✓ 保健室には 7 割が満足していると回答、学生相談室はやはり認知・利用のしやすさが課題
- ✓ 奨学金については 6 割が満足、一方大学院生の満足度は低く、課題の 1 つ
- ✓ 図書館には 8 割、生協・食堂・自販機には約半数が満足。さいたま看護学部の不満 1 割が課題
- ✓ 課外活動に関する支援には 4 割が満足、一方不満が 1 年生～ 4 年生で 1 割～ 2 割いたことが課題
- ✓ ハラスメント防止への支援には 6 割が満足、1 年生の満足度が特に高かった一方大学院生が低かった
- ✓ 国際交流・留学への支援には半数が満足、一方で「どちらともいえない」の回答も多く、コロナの影響などが背景にあることも示唆された
- ✓ 就職・キャリア支援には 6 割が満足、大学院生は満足している学生が 2 割に満たない割合と、大学院生への支援が課題
- ✓ 国家試験に関する支援には半数の学生が満足、特に 4 年生は 8 割の学生が満足していると回答。一方 3 年生の 1 割は不満を訴えた
- ✓ 目安箱には半数が満足、看護学部 2 年生の満足度が特に高かった
- ✓ 施設・設備全般について 8 割が満足。一方不満も一定数みられ、さいたま看護学部では 2 割弱の学生が何等かの不満を抱いていた
- ✓ 学生生活全般については 9 割弱が満足と回答、不満の回答はほとんどみられなかった

(1) 担当教員への満足度

クラス担当教員（看護学部）／学生担当教員（さいたま看護学部）による支援に対して、全体では、「とても満足している」「やや満足している」と回答した学生は 77.0%であった。特にさいたま看護学部では、1 年生の「とても満足している」の回答割合が多かった（67.1%）。一方で、「どちらともいえない」と回答した学生が全体で 18.0%であった。看護学部においては 21.7%が「どちらともいえない」と回答しており、教員の支援に対してネガティブな理由について明らかにすることが課題と思われた。

質問 15. (クラス担当教員 (看護学部) /学生担当教員 (さいたま看護学部)) による支援に満足していますか。最もあてはまるものを 1 つ選んで○をつけてください。

図63-1.クラス担当教員（看護学部）／学生担当教員（さいたま看護学部）による支援に満足していますか。(全体)

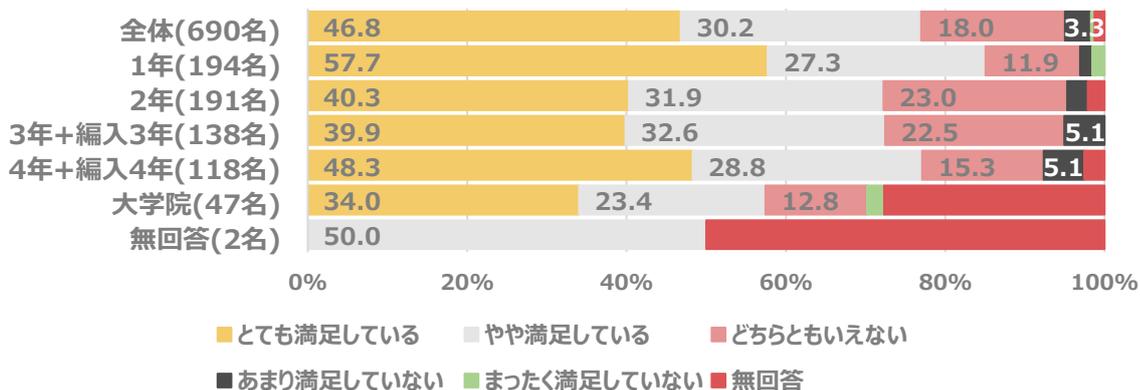


図63-2.クラス担当教員による支援に満足していますか。(看護学部)

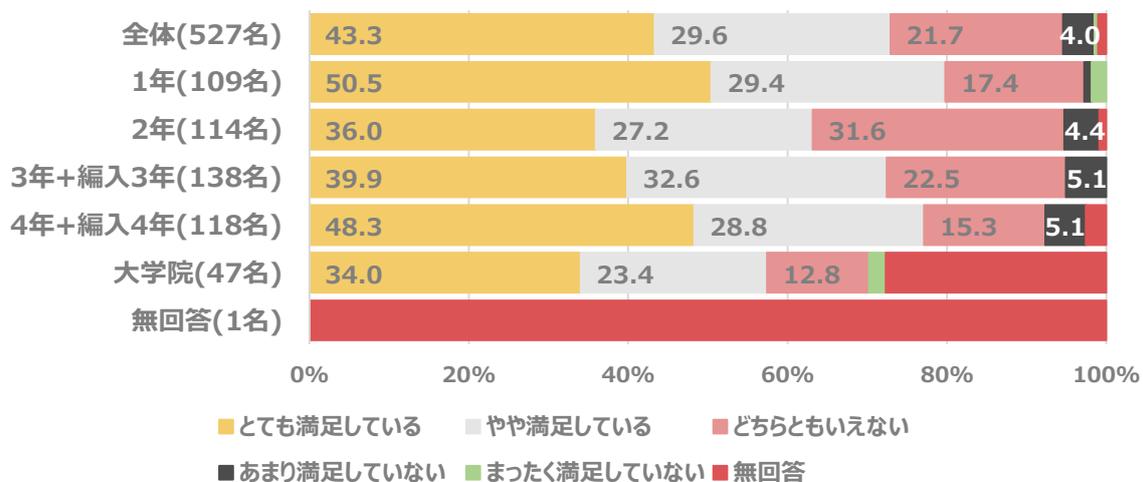
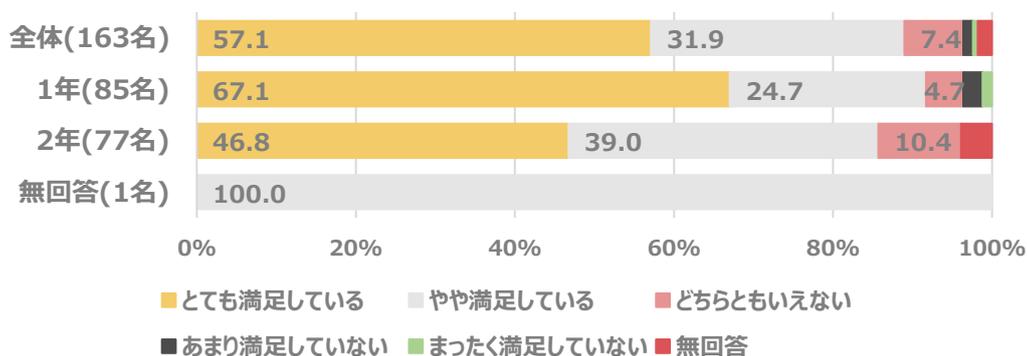


図63-3. 学生担当教員による支援に満足していますか。(さいたま看護学部)



(2) 保健室への満足度

保健室による支援に対して、全体では、「とても満足している」「やや満足している」と回答した学生は 68.4%であった。特に1年生は81.4%が、4年生も71.2%が「とても満足している」「やや満足している」と回答していた。一方で、大学院生は「どちらともいえない」「あまり満足していない」の回答が55.3%と全体の半数におよんだ。

質問 16. 保健室による支援に満足していますか。最もあてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

図64-1.保健室による支援に満足していますか。(全体)

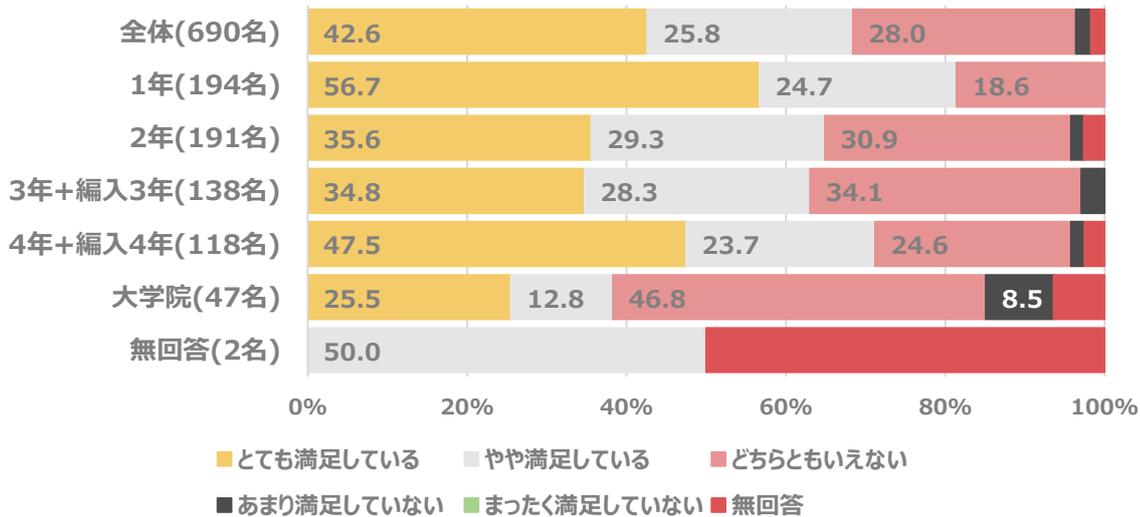


図64-2.保健室による支援に満足していますか。(看護学部)

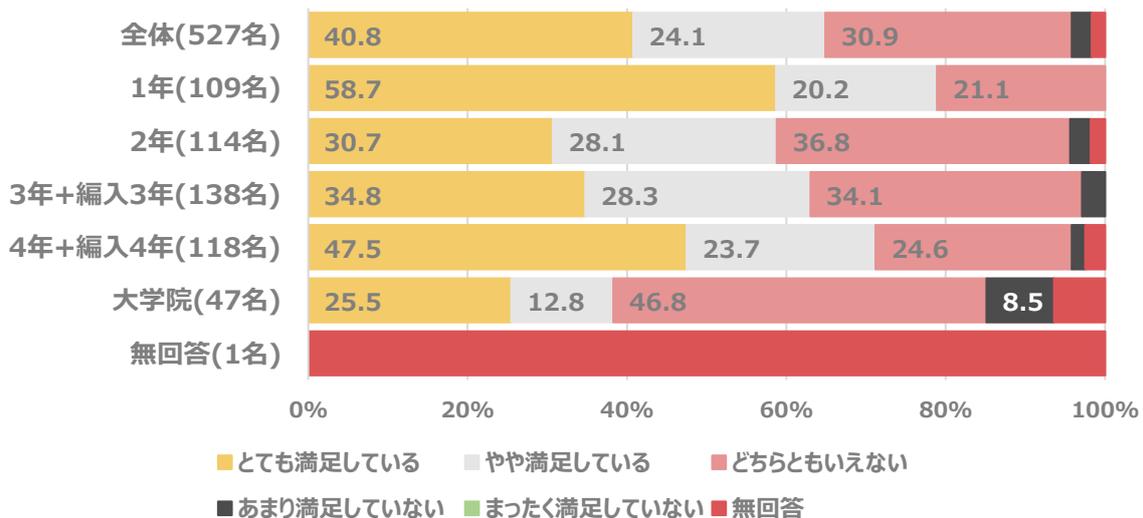
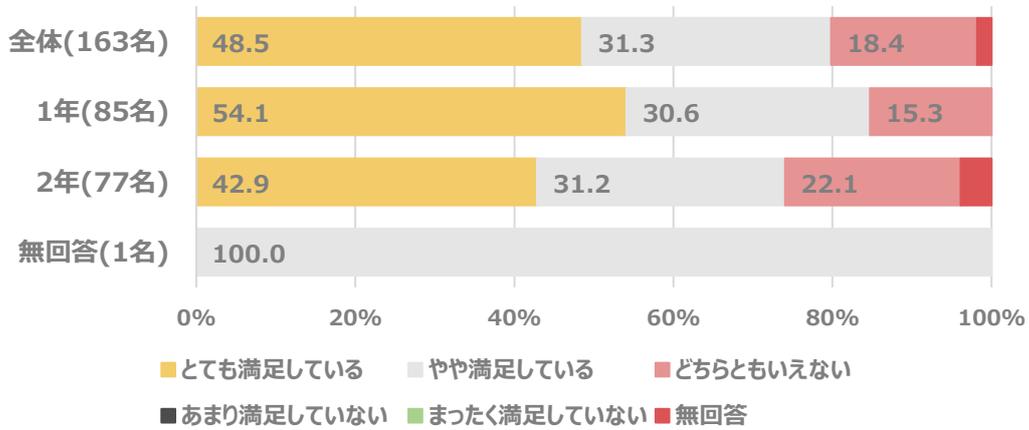


図64-3.保健室による支援に満足していますか。
(さいたま看護学部)



(3) 学生相談室への満足度

学生相談室による支援に対して、全体では、「とても満足している」「やや満足している」と回答した学生は 52.5%であった。2つのキャンパスをみると、2年生でその分布が少々異なり、看護学部では 48.4%が「とても満足している」「やや満足している」と回答していたが、さいたま看護学部では 62.4%であり、学生相談室への満足度が比較的高いといえる。一方で、保健室による支援に対する満足度同様、大学院生は「どちらともいえない」の回答が 63.8%を占めた。

質問 17. 学生相談室による支援に満足していますか。

最もあてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

図65-1. 学生相談室による支援に満足していますか。(全体)

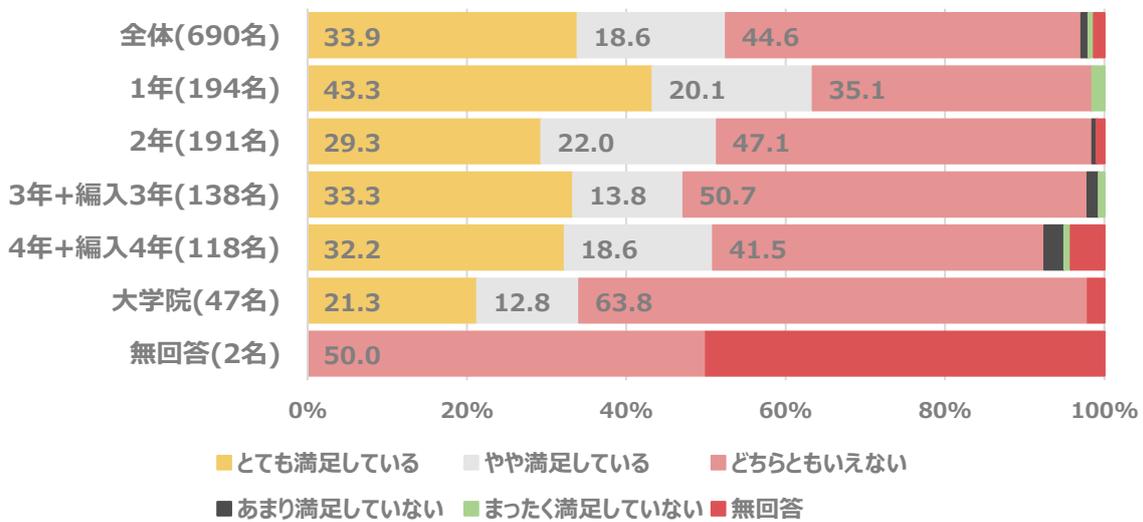


図65-2. 学生相談室による支援に満足していますか。(看護学部)

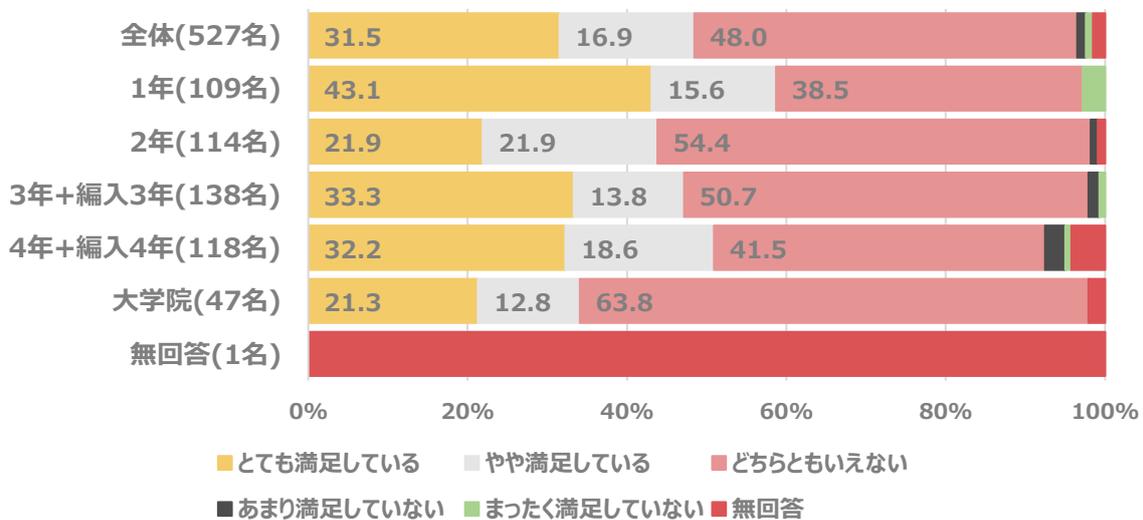
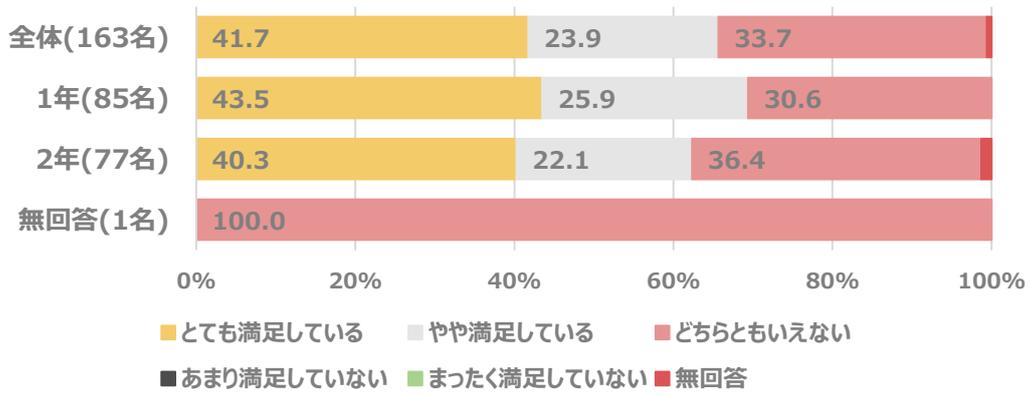


図65-3.学生相談室による支援に満足していますか。
(さいたま看護学部)



(4) 経済的支援への満足度

奨学金等の経済的支援の整備に満足しているかを尋ねたところ、「とても満足している」「やや満足している」が、全体で 61.8%であった。学年別にみるとこの割合は 1 年生から 4 年生まででは概ね分布は似通っているが、大学院生では、「とても満足している」「やや満足している」と回答した学生は 34.0%に留まり、70.2%が「どちらともいえない」「あまり満足していない」「まったく満足していない」と回答していた。特徴的だったのが、看護学部の 2 年生は「とても満足している」と回答した学生の割合が 23.7%と低かったことである（さいたま看護学部では 31.2%である）。

質問 18. 奨学金等の経済的支援の整備に満足していますか。

最もあてはまるものを 1 つ選んで○をつけてください。

図66-1.奨学金等の経済的支援の整備に満足していますか。(全体)

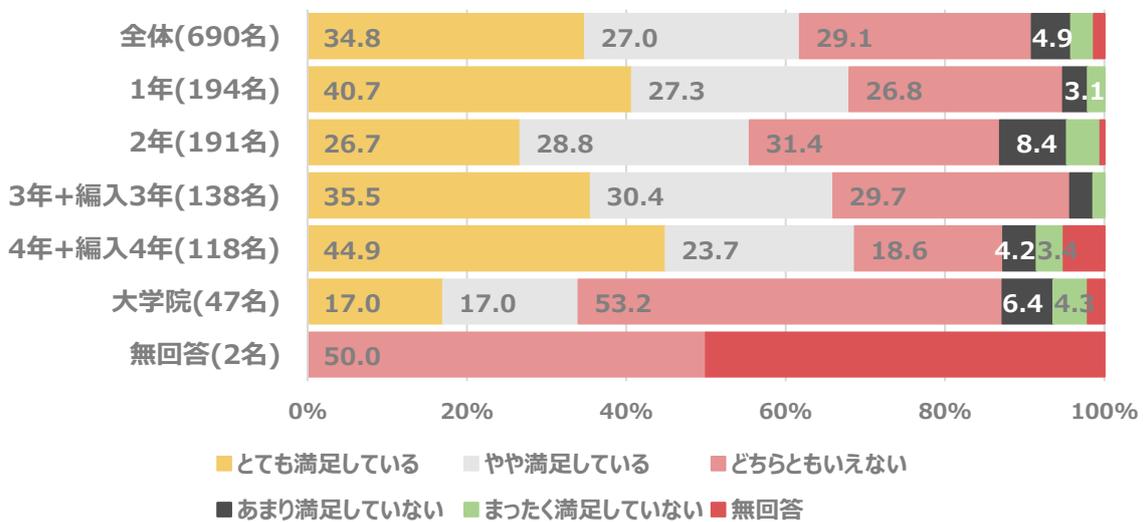


図66-2.奨学金等の経済的支援の整備に満足していますか。(看護学部)

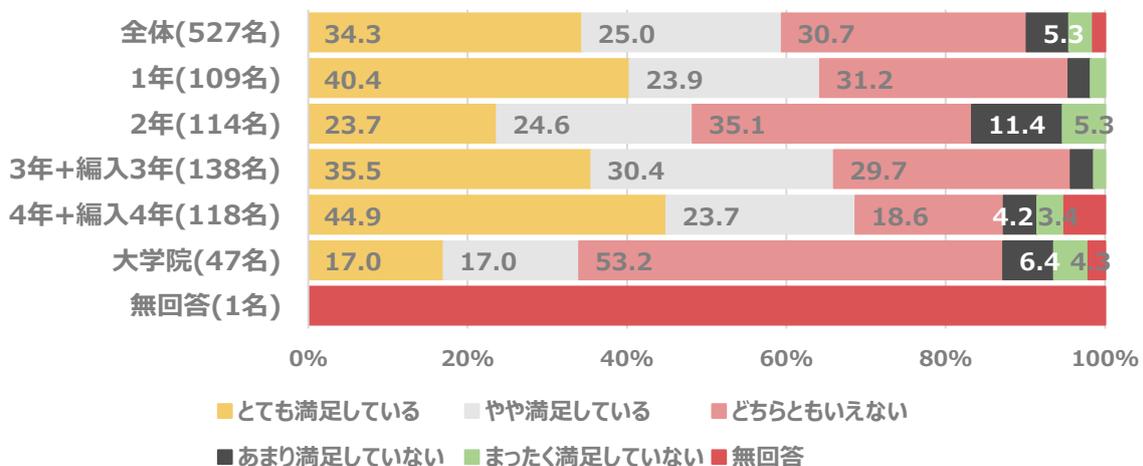
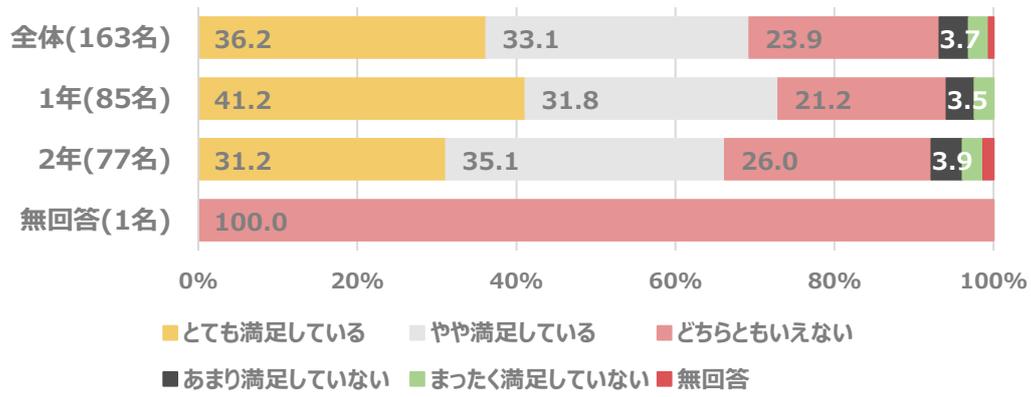


図66-3.奨学金等の経済的支援の整備に満足していますか。
(さいたま看護学部)



(5) 事務職員に対する満足度

事務局による事務職員の対応や支援については、全体で、76.5%の学生が「とても満足している」「やや満足している」と回答していた。特に大学院生は85.1%と、満足度の高い学生が多かった。一方で2年生・3年生・4年生で約6~9%が「あまり満足していない」と回答していた。

質問 19. 事務局による事務職員の対応や支援に満足していますか。
最もあてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

図67-1.事務局による事務職員の対応や支援に満足していますか。
(全体)

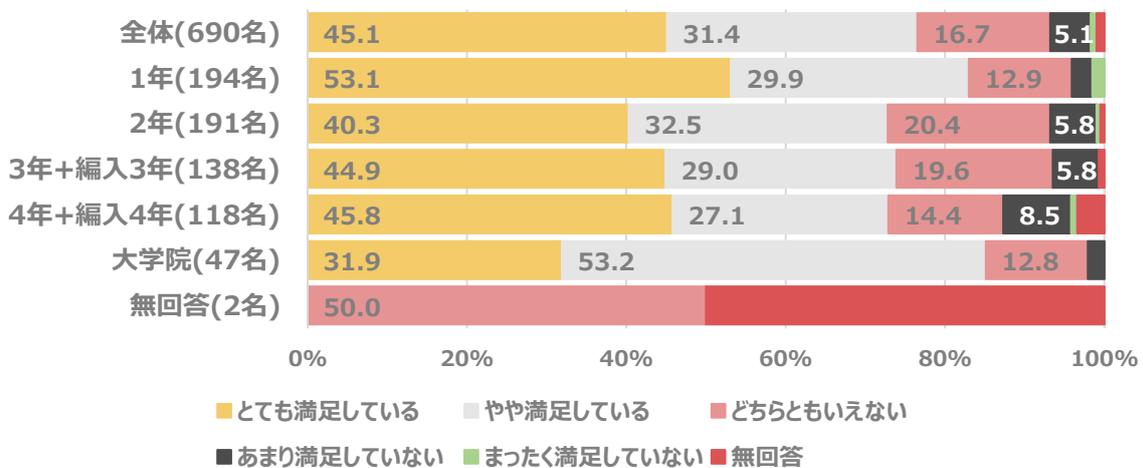


図67-2.事務局による事務職員の対応や支援に満足していますか。
(看護学部)

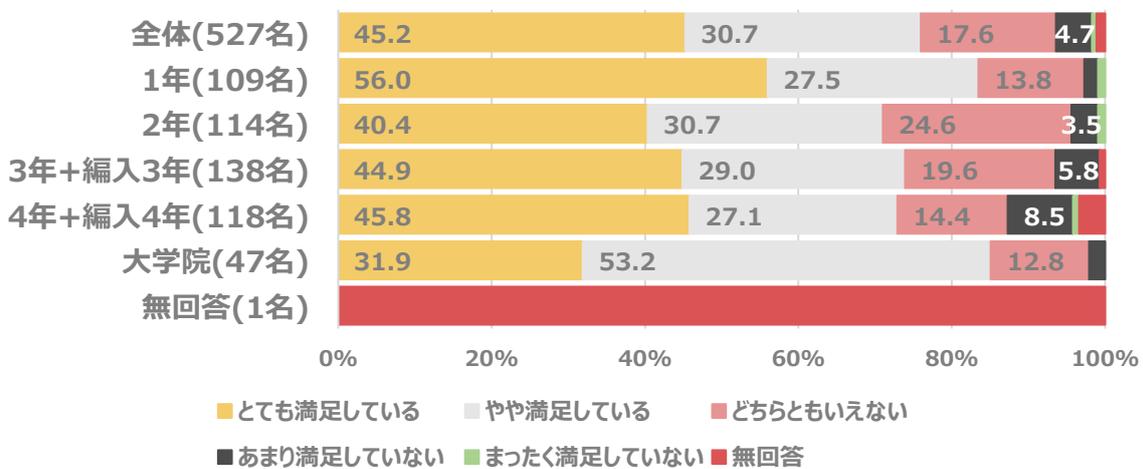
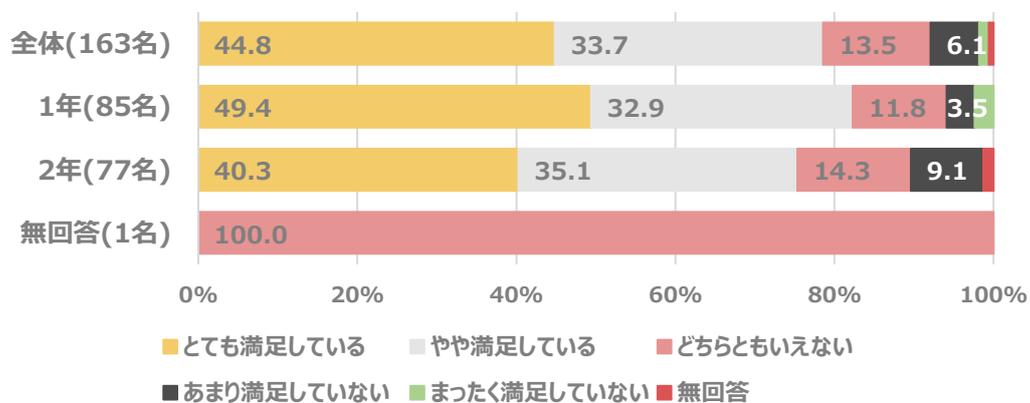


図67-3.事務局による事務職員の対応や支援に満足していますか。
(さいたま看護学部)



(6) 図書館の利用に関する支援に対する満足度

図書館の利用に関する支援については、全体で、83.9%の学生が「とても満足している」「やや満足している」と回答していた。特徴的なのは、学年別にみたときに、1～4年生のうち、2年生の「とても満足している」と回答した割合が他の学年と比べて40.6%と低かった点である（1年生：57.7%、3年生：58.0%、4年生：54.2%）。また、大学院生の「とても満足している」と回答した割合も36.2%と低かった（一方で「やや満足している」割合は48.9%と比較的高く、総じて満足している割合は他学年と遜色ないようにおもわれた）。

質問 20. 図書館の利用に関する支援に満足していますか。
最もあてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

図68-1. 図書館の利用に関する支援に満足していますか。(全体)

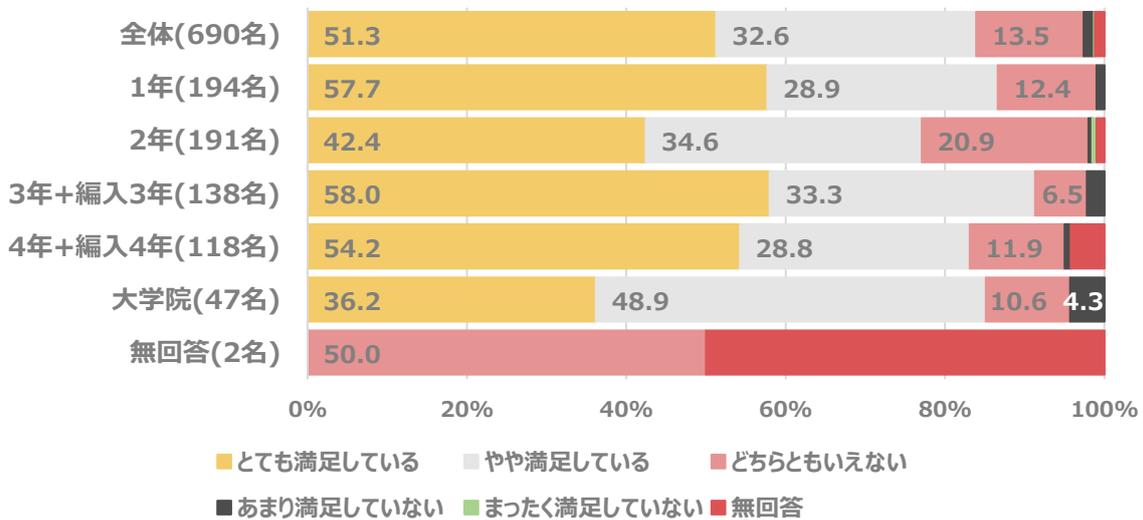


図68-2. 図書館の利用に関する支援に満足していますか。
(看護学部)

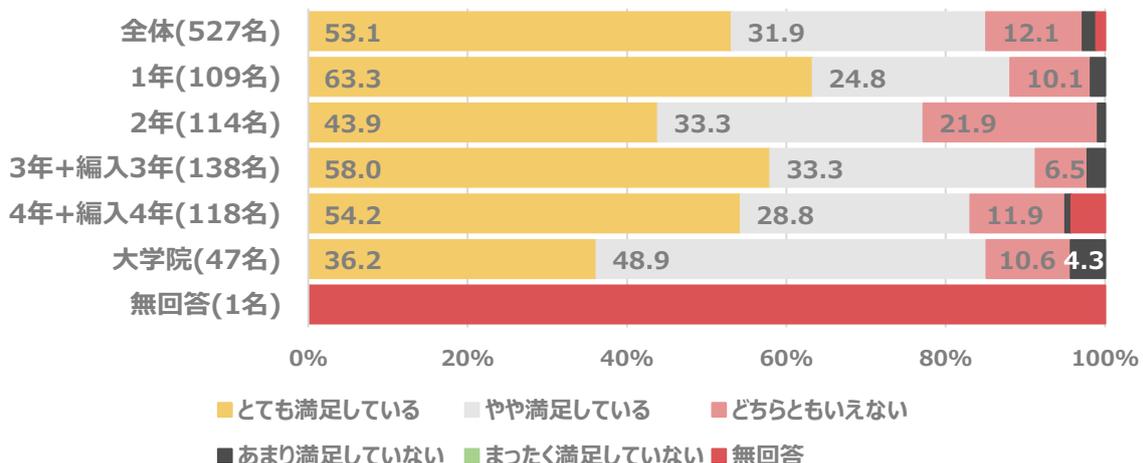
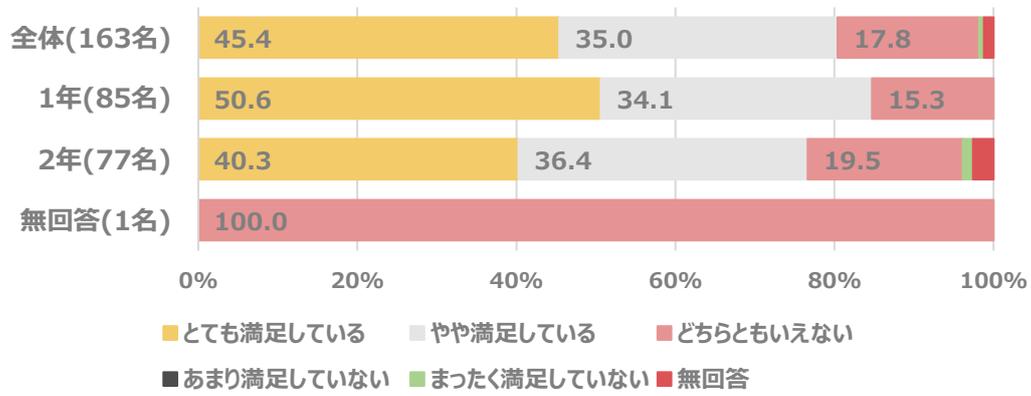


図68-3.図書館の利用に関する支援に満足していますか。
(さいたま看護学部)



(7) 生協や自動販売機などのサービスに対する満足度

生協や食堂または自動販売機（食品販売機）のサービスについて、全体では、52.8%の学生が「とても満足している」「やや満足している」と回答していた。学年別にみると、満足度が高いのは1年生・3年生・4年生で、2年生・大学院生は「どちらともいえない」「あまり満足していない」「まったく満足していない」の割合が高かった。2つのキャンパスをみると、看護学部では「とても満足している」「やや満足している」の割合が全体で58.1%に対し、さいたま看護学部では35.6%と低い傾向がみとれた。特に、さいたま看護学部では「まったく満足していない」の回答が一定割合あり（12.3%）、課題の1つと考えられる。

質問 21. 生協や食堂または自動販売機（食品販売機）のサービスに満足していますか。
最もあてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

図69-1. 生協や食堂または自動販売機（食品販売機）のサービスに満足していますか。(全体)

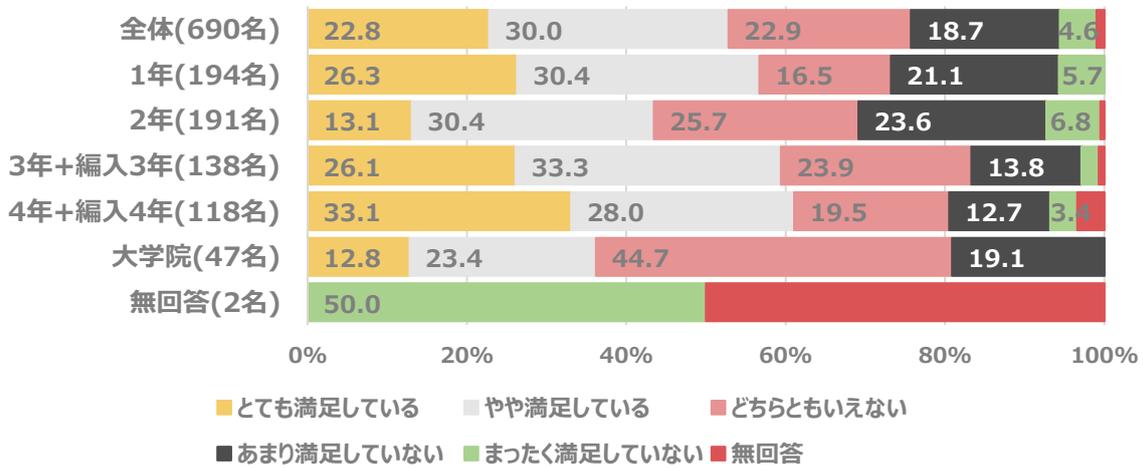


図69-2. 生協や食堂または自動販売機（食品販売機）のサービスに満足していますか。(看護学部)

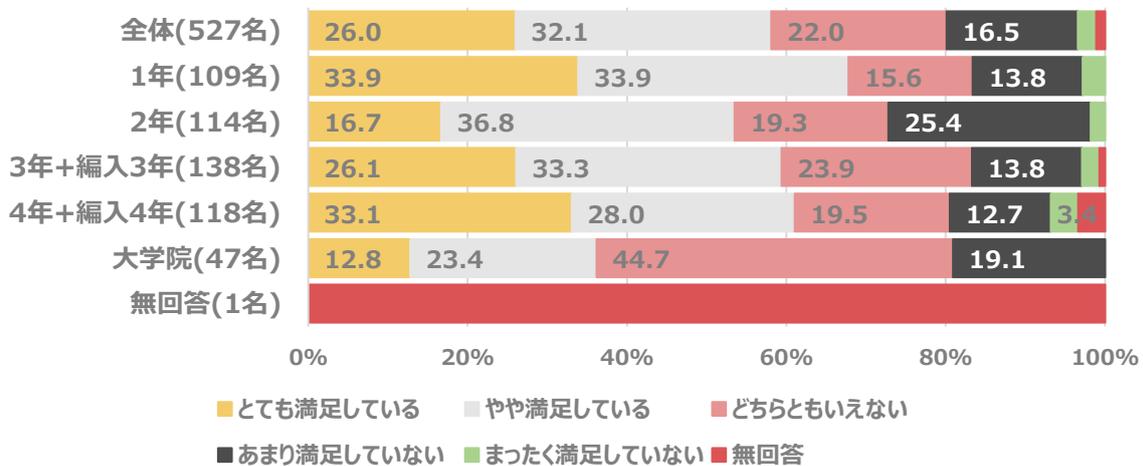
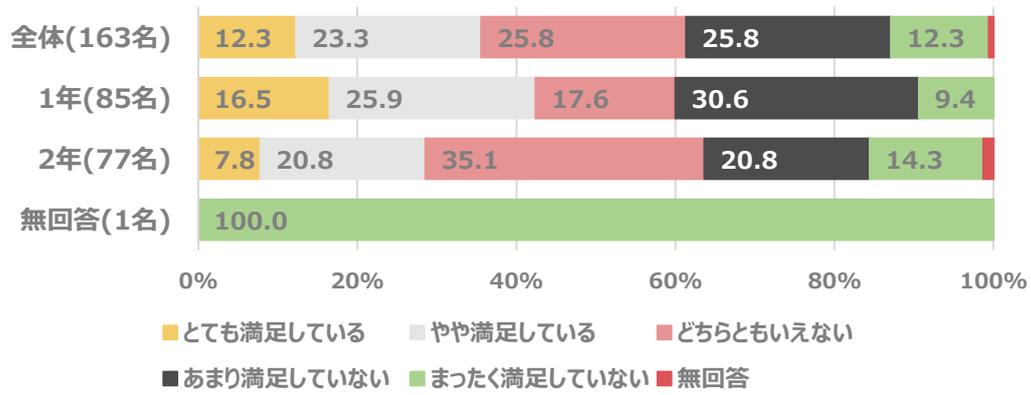


図69-3.生協や食堂または自動販売機（食品販売機）
のサービスに満足していますか。(さいたま看護学部)



(8) 課外活動に対する満足度

課外活動（部活・サークル・学園祭）に関する支援については、全体では、39.5%が「とても満足している」「やや満足している」と回答しており、1年生から4年生までの回答分布は似通っていた。一方で大学院生は「どちらともいえない」が76.6%と多く、満足度も高くない傾向があった。2つのキャンパスでみると、看護学部の2年生に「あまり満足していない」と回答する学生が23.7%と、さいたま看護学部の3.9%と比較して割合が多かった。

質問 22. 課外活動(部活・サークル・学園祭)に関する支援に満足していますか。
最もあてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

図70-1.課外活動（部活・サークル・学園祭）に関する支援に満足していますか。(全体)

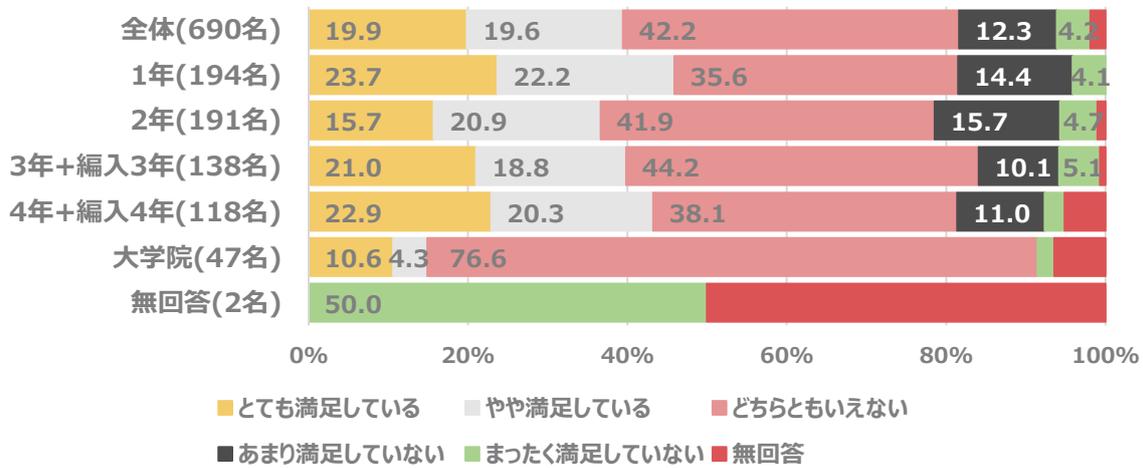


図70-2.課外活動（部活・サークル・学園祭）に関する支援に満足していますか。(看護学部)

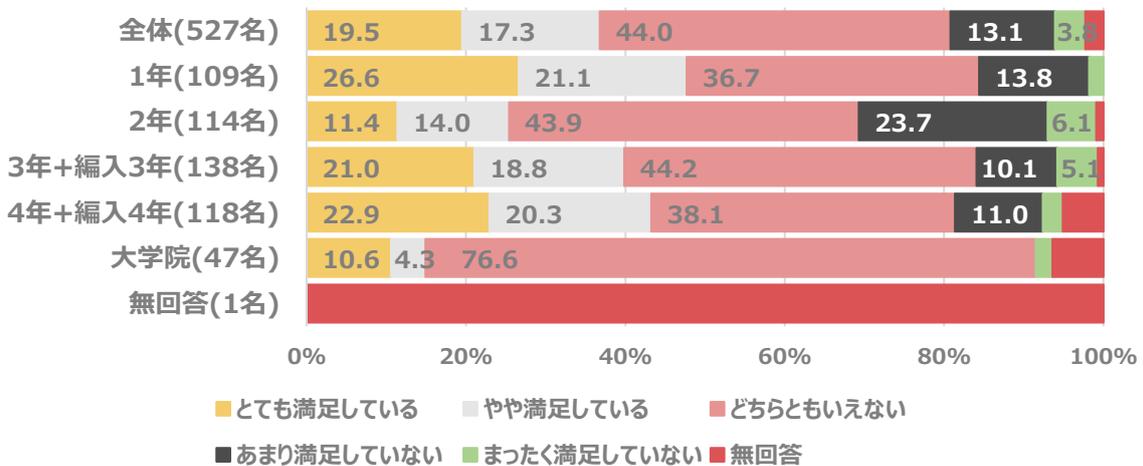
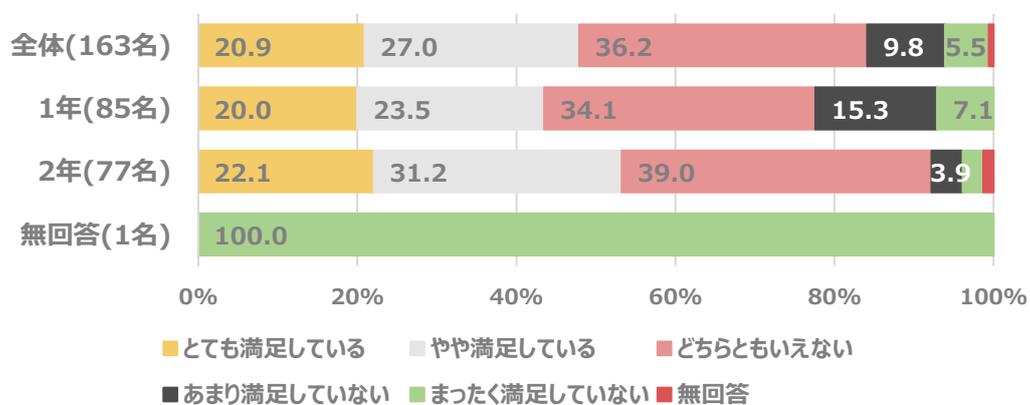


図70-3.課外活動（部活・サークル・学園祭）に関する支援に満足していますか。(さいたま看護学部)



(9) ハラスメント防止のための支援に対する満足度

ハラスメント防止のための大学の体制や支援については、全体では、61.0%が「とても満足している」「やや満足している」と回答していた。学年別にみると、1年生はハラスメント防止のための大学の体制や支援に対する満足度が高く、71.6%が「とても満足している」「やや満足している」と回答、2年生・3年生・4年生はそれぞれおよそ6割程度が「とても満足している」「やや満足している」と回答していた。一方で大学院生は「とても満足している」「やや満足している」と回答した学生は40.5%に留まり、「まったく満足していない」も8.5%回答があった。

質問 23. ハラスメント防止のための大学の体制や支援に満足していますか。
最もあてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

図71-1.ハラスメント防止のための大学の体制や支援に満足していますか。(全体)

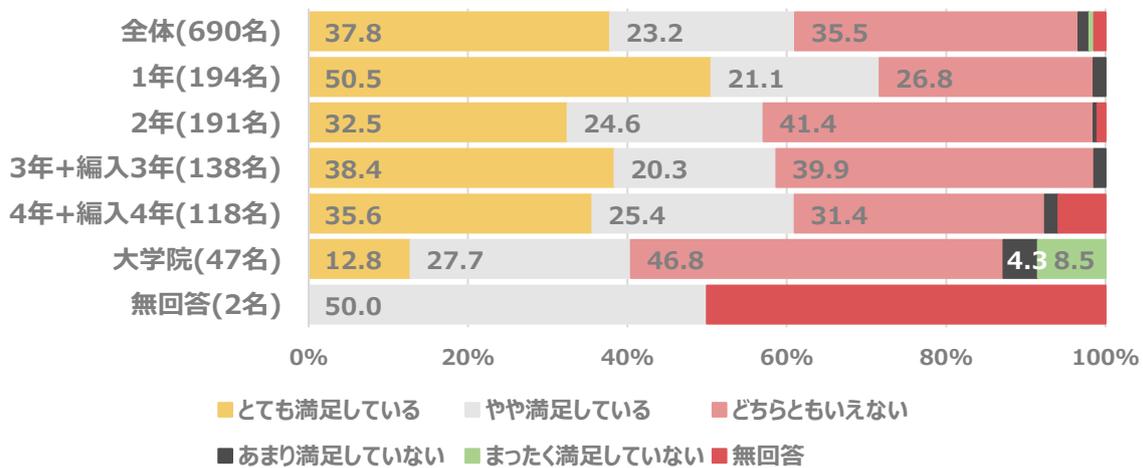


図71-2.ハラスメント防止のための大学の体制や支援に満足していますか。(看護学部)

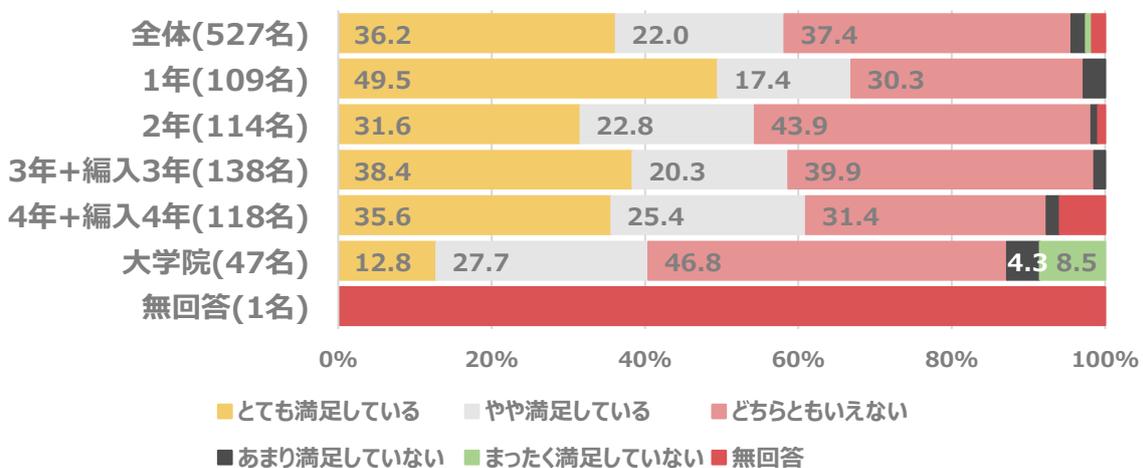
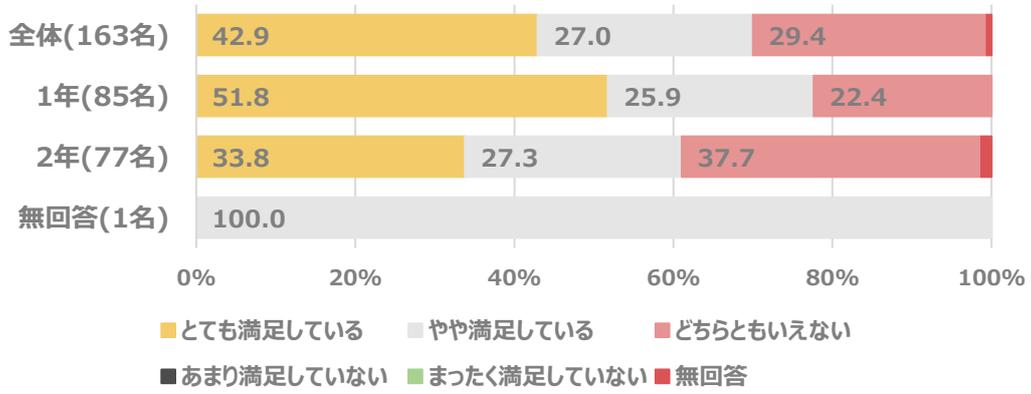


図71-3.ハラスメント防止のための大学の体制や支援に満足していますか。(さいたま看護学部)



(10) 国際交流・留学に関する支援に対する満足度

国際交流・留学に関する支援については、全体では、46.8%が「とても満足している」「やや満足している」と回答していた。学年別にみると、1年生・4年生は満足度が高く学年全体の半数程度が「とても満足している」「やや満足している」と回答、大学院生は「とても満足している」「やや満足している」と回答した学生は21.3%に留まり、「どちらともいえない」「まったく満足していない」の回答も多かった（それぞれ68.1%、4.3%）。

質問 24. 国際交流・留学に関する支援に満足していますか。

最もあてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

図72-1.国際交流・留学に関する支援に満足していますか。(全体)

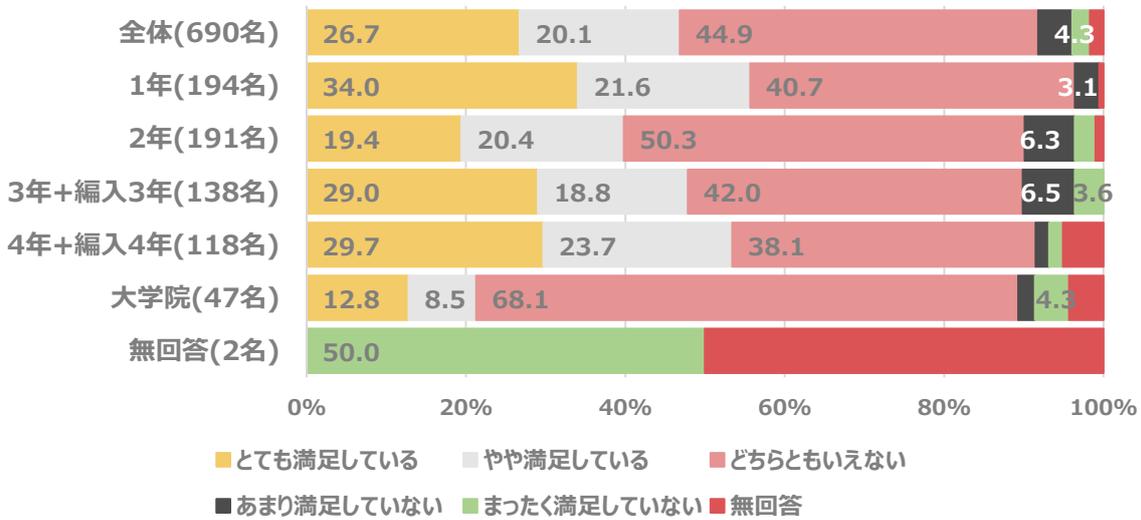


図72-2.国際交流・留学に関する支援に満足していますか。
(看護学部)

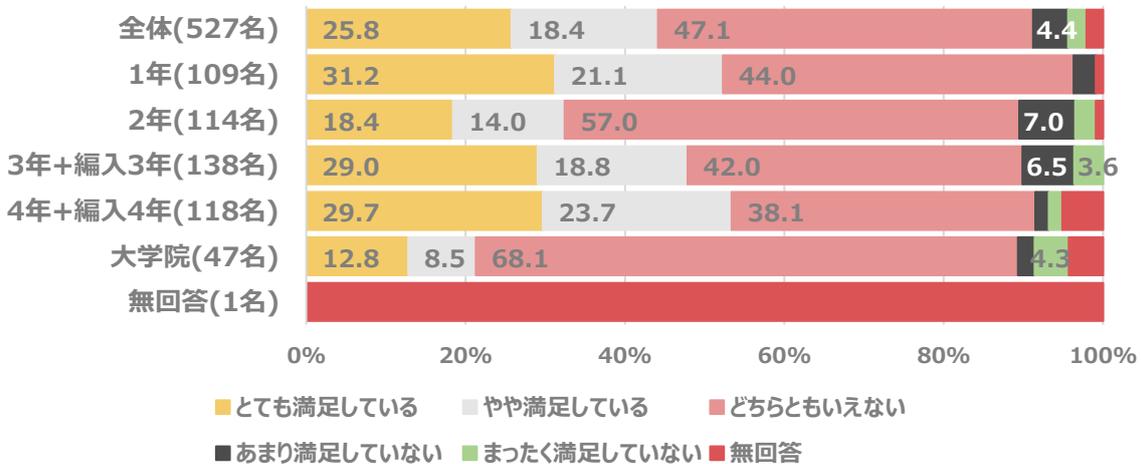
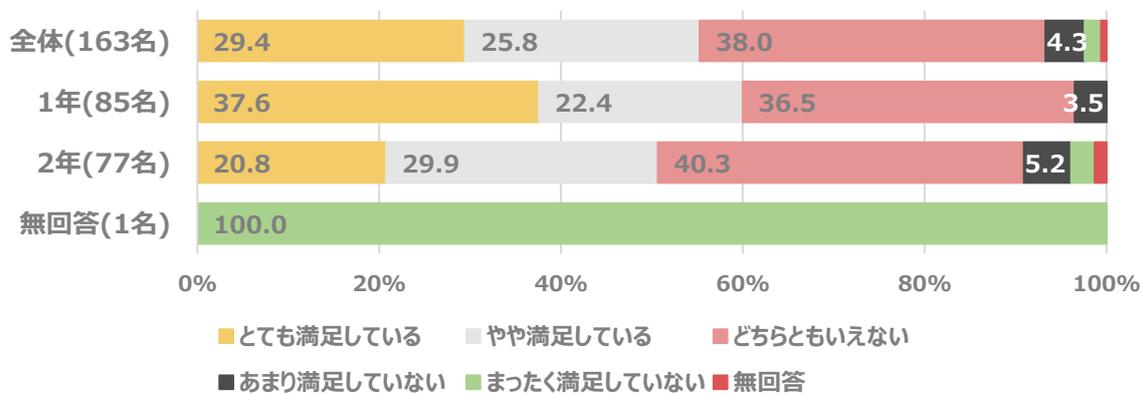


図72-3.国際交流・留学に関する支援に満足していますか。
(さいたま看護学部)



(11) 就職・キャリアに関する支援に対する満足度

就職・キャリアに関する支援については、全体では、58.4%が「とても満足している」「やや満足している」と回答していた。学年別にみると、1年生・4年生は満足度が高くそれぞれ66.5%、73.7%が「とても満足している」「やや満足している」と回答していた。一方大学院生は「とても満足している」「やや満足している」と回答した学生は17.0%に留まり、「どちらともいえない」「あまり満足していない」の回答も多く（それぞれ72.3%、6.4%）、大学院生に対する就職・キャリア支援は課題の1つであると考えられる。

質問 25. 就職・キャリアに関する支援に満足していますか。
最もあてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

図73-1.就職・キャリアに関する支援に満足していますか。(全体)

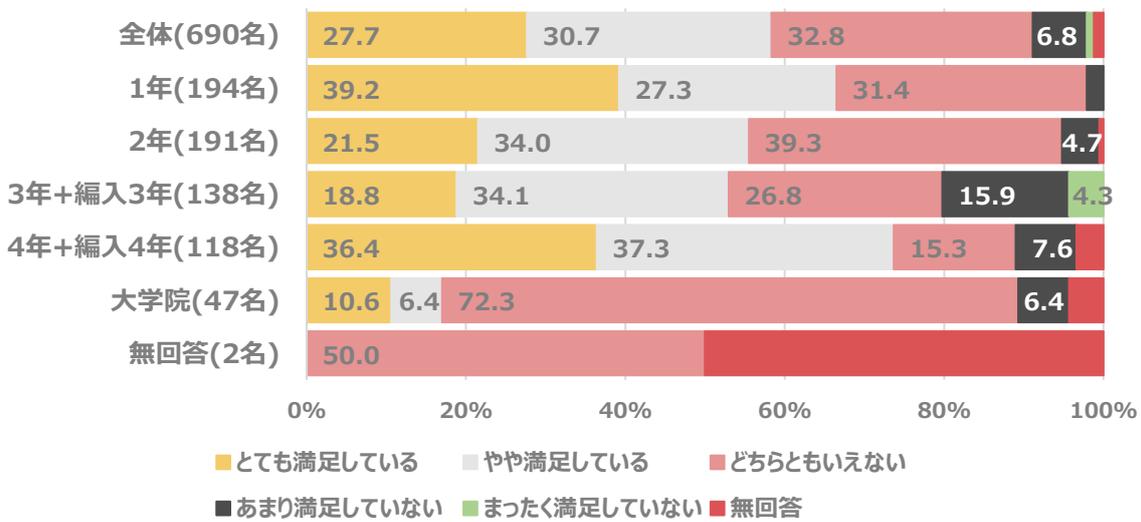


図73-2.就職・キャリアに関する支援に満足していますか。(看護学部)

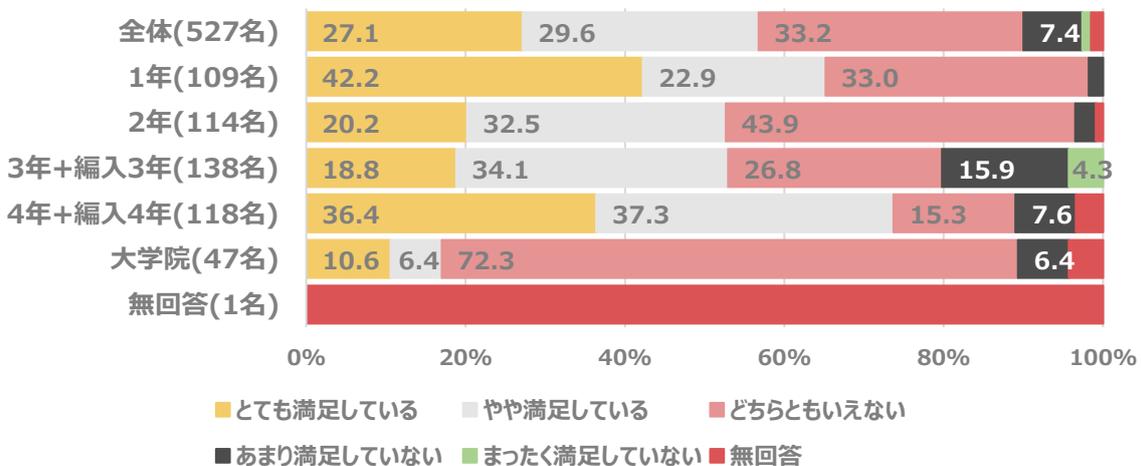
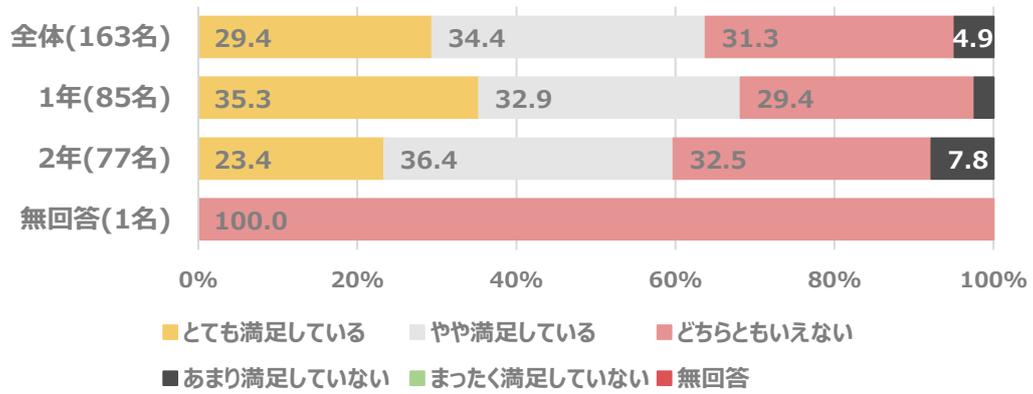


図73-3.就職・キャリアに関する支援に満足していますか。(さいたま看護学部)



(12) 国家試験に関する支援に対する満足度

国家試験に関する支援については、全体では、48.1%が「とても満足している」「やや満足している」と回答していた。学年別にみると、4年生は満足度が最も高く76.3%が「とても満足している」「やや満足している」と回答、一方2年生は37.2%に留まった。3年生は、「とても満足している」「やや満足している」と回答した学生の割合は49.3%だったが、10.9%が「あまり満足していない」と回答しており、この点は気に掛かる結果かと思われた。

質問 26. 国家試験に関する支援に満足していますか。

最もあてはまるものを1つ選んで○をつけてください。さいたま看護学部生は、国家試験に関する支援に該当しないため、「6」を選択してください。

図74-1. 国家試験に関する支援に満足していますか。(全体)

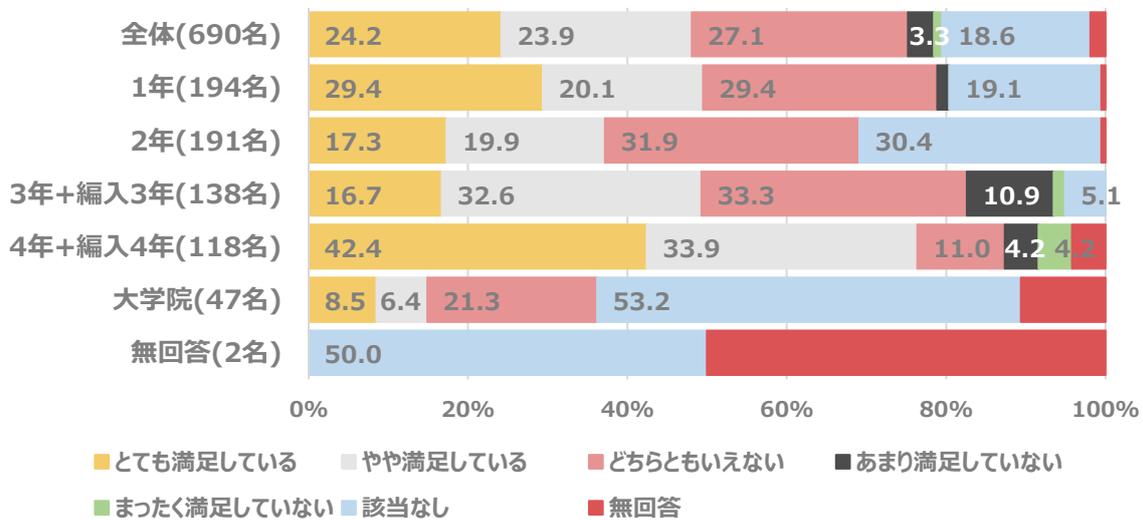


図74-2. 国家試験に関する支援に満足していますか。(看護学部)

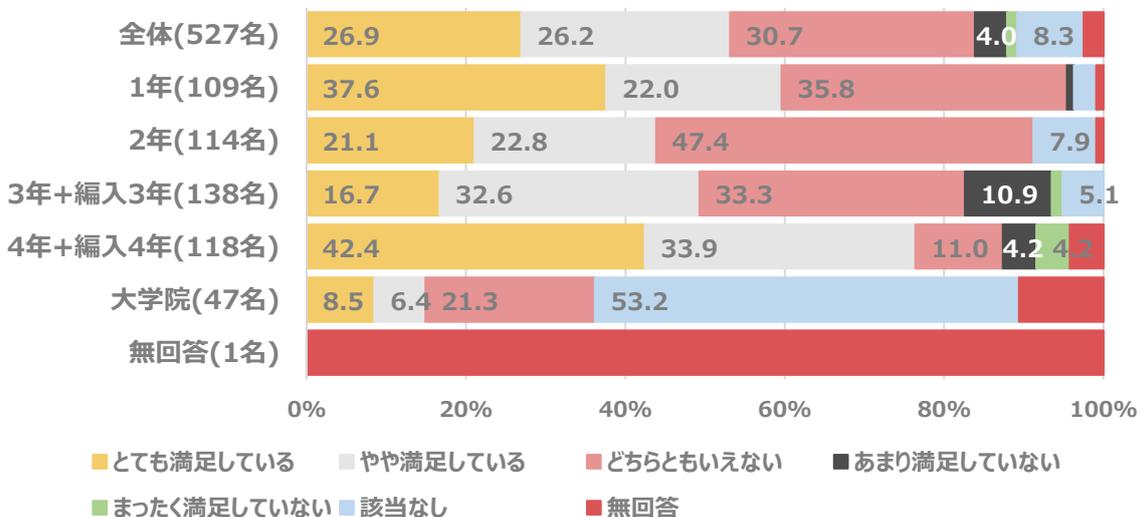
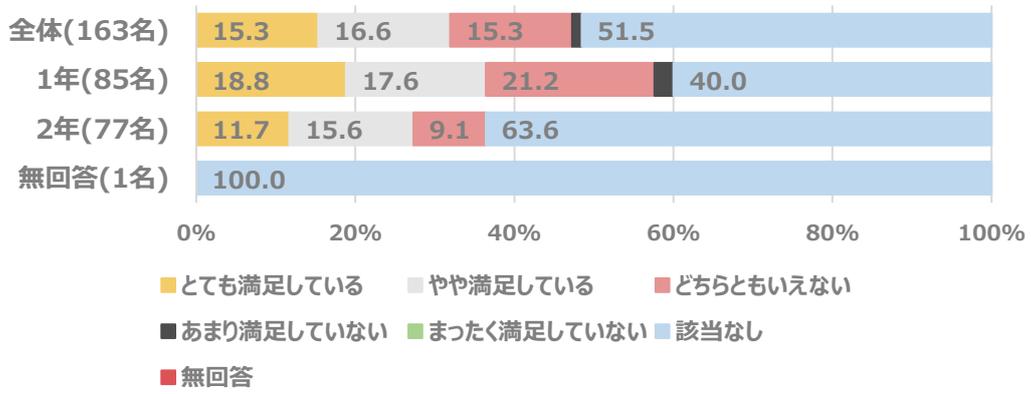


図74-3.国家試験に関する支援に満足していますか。
(さいたま看護学部)



(13) 目安箱に対する満足度

学生からの要望を即時的に聞き取るシステム（目安箱）については、全体では、49.4%が「とても満足している」「やや満足している」と回答していた。学年別にみると、1年生・2年生・3年生は回答の分布が平均的で似通っており、4年生が58.5%と「とても満足している」「やや満足している」と回答した割合が少々高い結果がみとれた。一方で大学院生は満足度が低く、「とても満足している」「やや満足している」の割合は29.7%にとどまった。2つのキャンパスをみると、看護学部の2年生が満足している（「とても満足している」「やや満足している」）と回答した学生が多く51.2%、次いで4年生も高く58.5%であったことが特長的であった。さいたま看護学部は、1年生の49.4%が「とても満足している」「やや満足している」と回答しており、2年生は37.7%とやや低い割合だった。

質問 27. 学生からの要望を即時的に聞き取るシステム（目安箱）に満足していますか。
最もあてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

図75-1. 学生からの要望を即時的に聞き取るシステム（目安箱）に満足していますか。(全体)

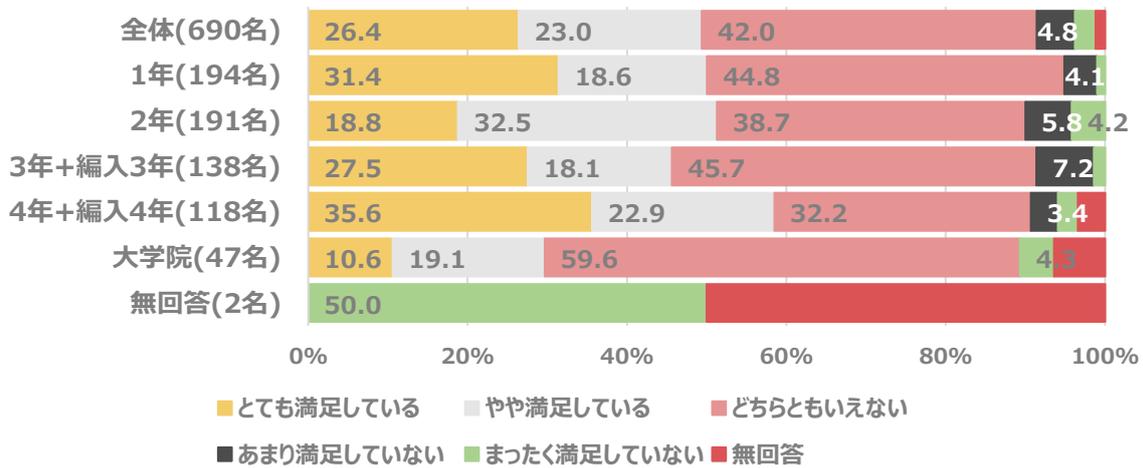


図75-2. 学生からの要望を即時的に聞き取るシステム（目安箱）に満足していますか。(看護学部)

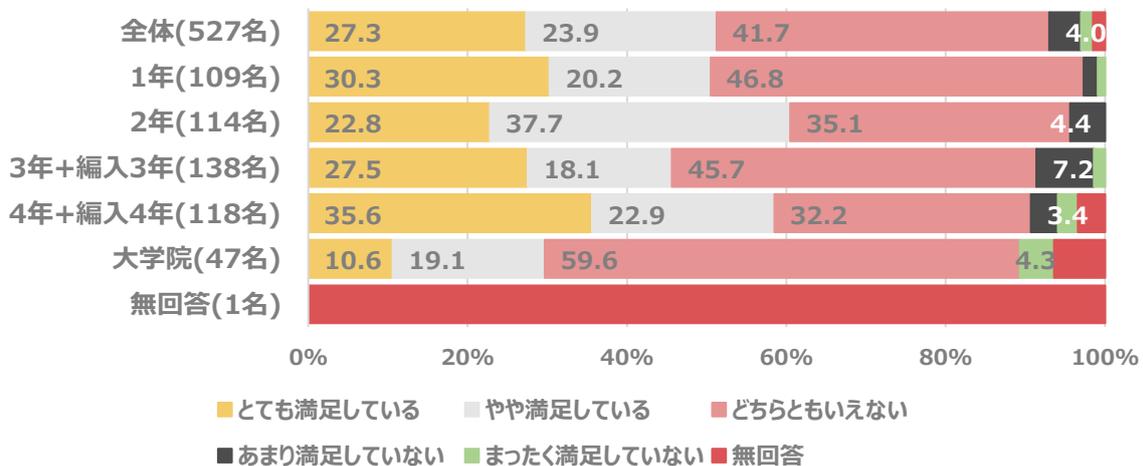
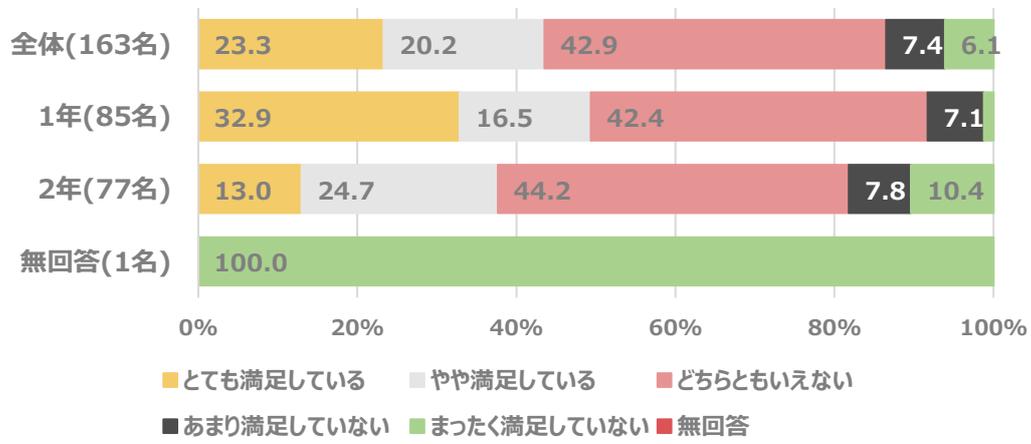


図75-3. 学生からの要望を即時的に聞き取るシステム（目安箱）
に満足していますか。(さいたま看護学部)



(14) 施設・設備に対する全般的な満足度

全般的な施設・設備については、全体では、77.1%が「とても満足している」「やや満足している」と回答していた。こちらはどの学年でも満足していると回答した学生の割合は同程度であった。2つのキャンパスをみると、看護学部の1年生の満足度がとても高かったことが特長的で（91.3%が「とても満足している」「やや満足している」と回答）、一方でさいたま看護学部では1年生・2年生ともに「とても満足している」と回答した学生の割合が少々低かった（1年生：30.6%、2年生：18.2%）。

質問 28. 全般的に施設・設備に満足していますか。

最もあてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

図76-1.全般的に施設・設備に満足していますか。(全体)

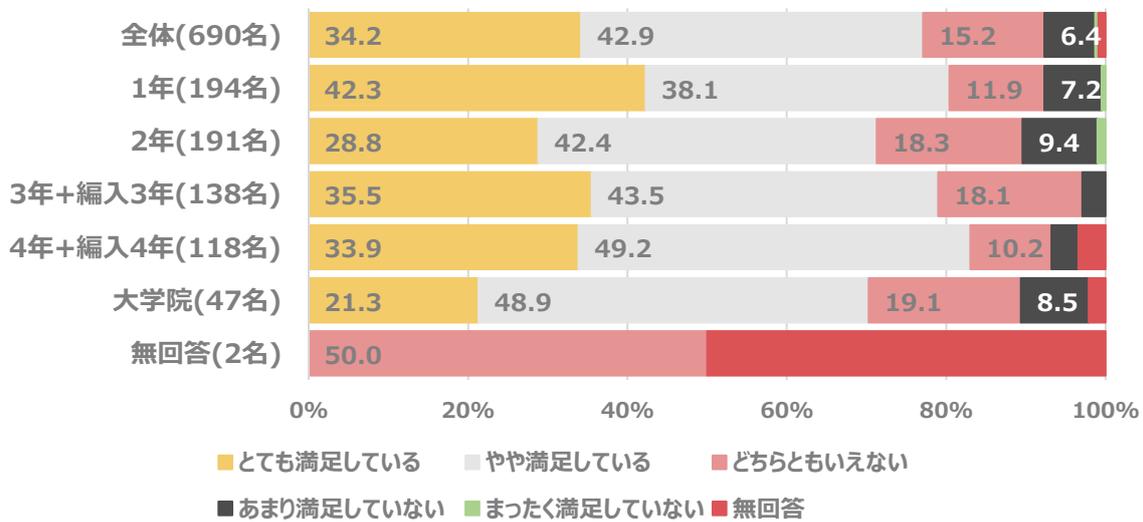


図76-2.全般的に施設・設備に満足していますか。(看護学部)

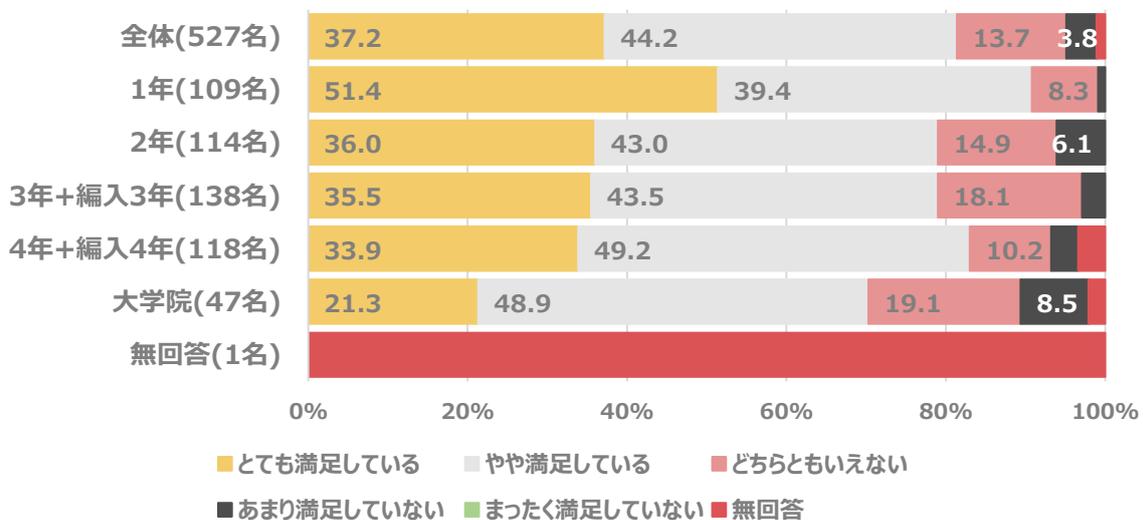
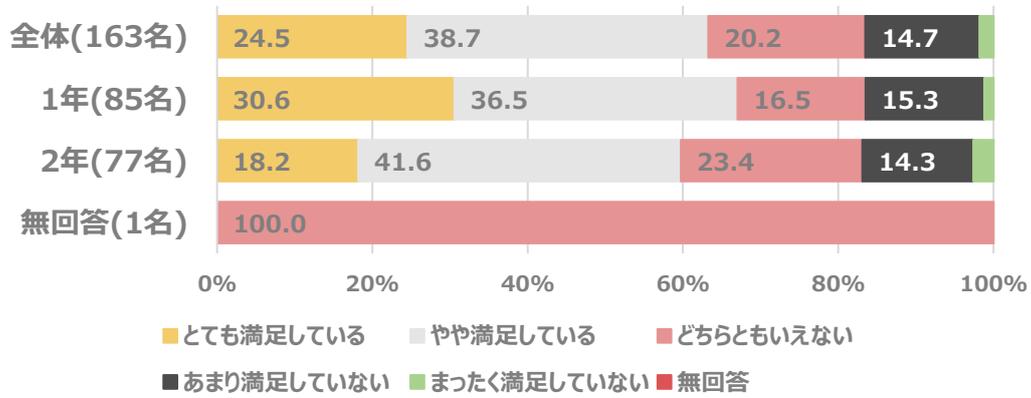


図76-3.全般的に施設・設備に満足していますか。
(さいたま看護学部)



(15) 学生生活に対する全般的な満足度

全般的に学生生活については、全体では、86.2%が「とても満足している」「やや満足している」と回答していた。1年生から4年生までの満足度の分布は同程度であった。「とても満足している」のみ取り上げると、2年生と大学院生の割合が少なかったこと（2年生：26.7%、大学院生：27.7%）が特長的であった。2つのキャンパスをみると、看護学部の1年生・4年生の満足度が高かったことが特長的であった（「とても満足している」と回答した1年生が50.5%、4年生が47.5%であった）。

質問 29. 全般的に学生生活に満足していますか。

最もあてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

図77-1. 全般的に学生生活に満足していますか。(全体)

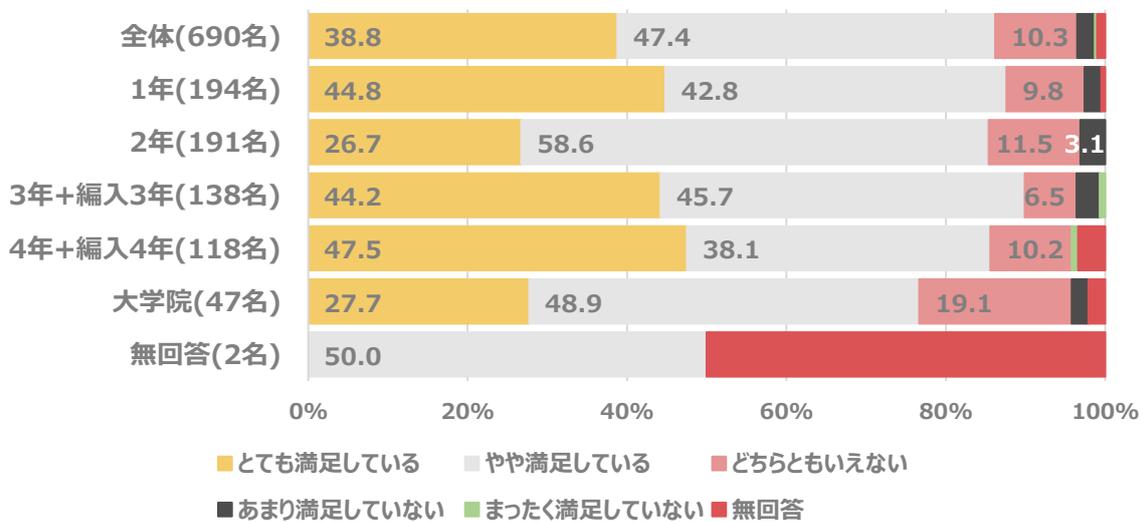


図77-2. 全般的に学生生活に満足していますか。(看護学部)

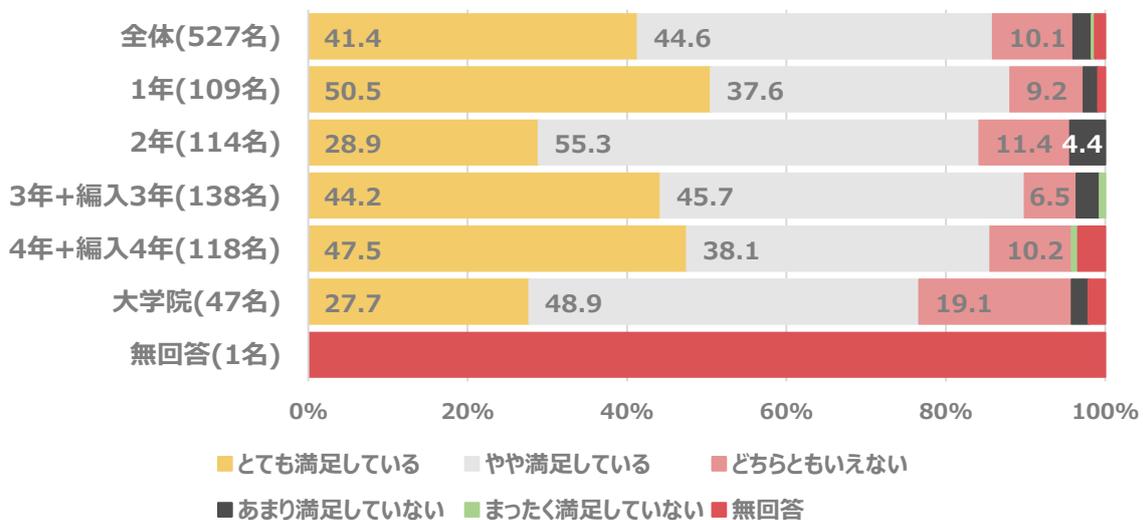
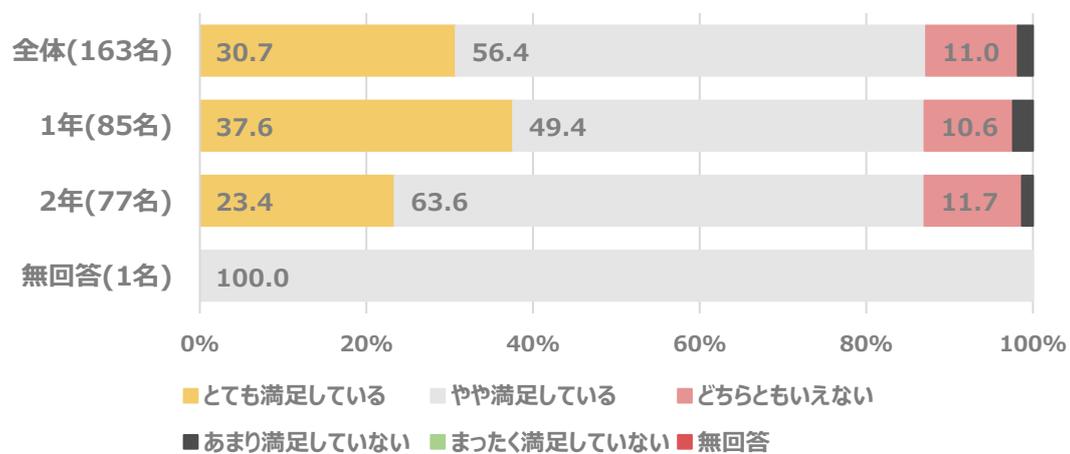


図77-3.全般的に学生生活に満足していますか。(さいたま看護学部)



(16) 学生の出身高校の所在地

出身高校の所在地は、看護学部では、東京都が最も多く全体の 41.4%、神奈川県が 13.1%、埼玉県 11.4%、千葉県 11.6%であった。さいたま看護学部では、埼玉県が最も多く 49.7%、東京都が 17.8%、群馬県が 6.1%であった。

質問 30. あなたの高校の所在地（都道府県名）を教えてください。

図78-1.あなたの高校の所在地（都道府県名）（全体）

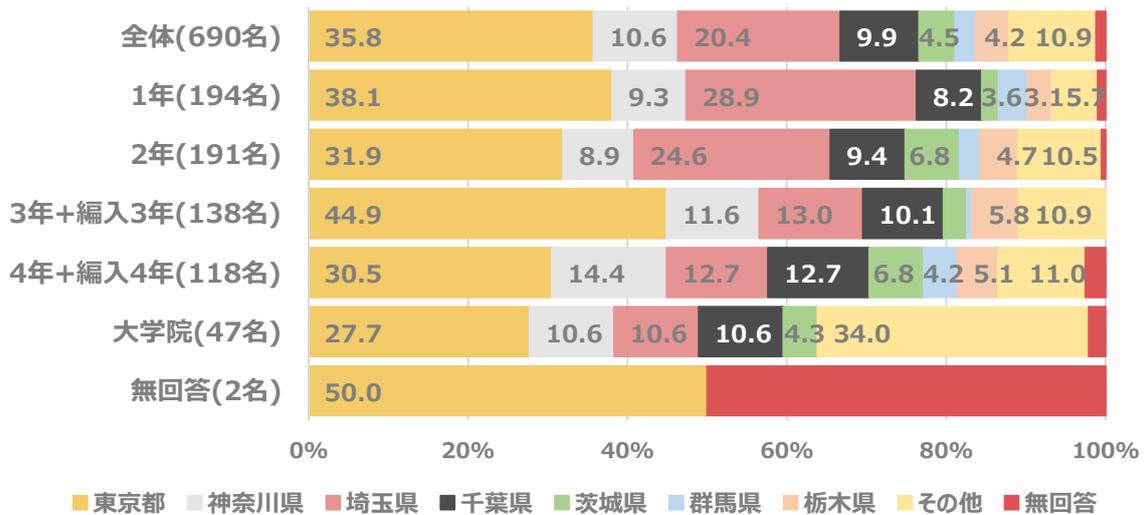
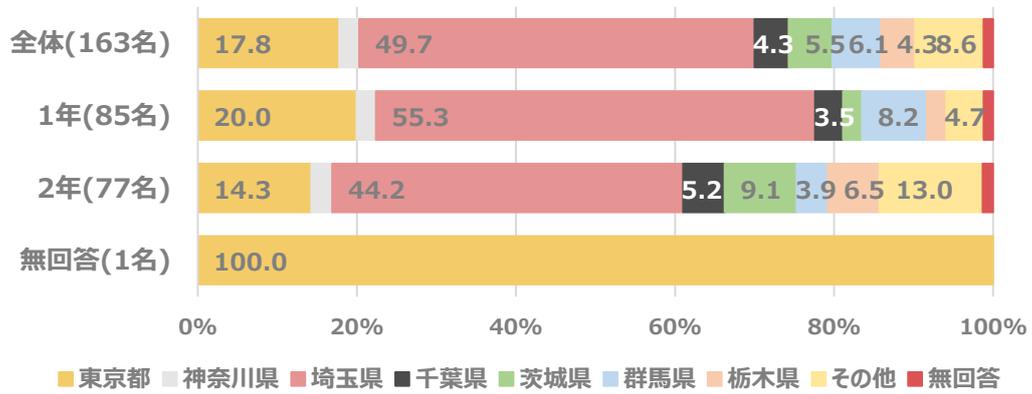


図78-2.あなたの高校の所在地（都道府県名）（看護学部）



図78-3.あなたの高校の所在地（都道府県名）
（さいたま看護学部）



(17) 学部生の入試形態

入試形態は、看護学部では 47.3%が一般入試、16.3%が公募推薦、16.3%が指定校推薦であった。さいたま看護学部では、53.4%が一般入試、27.6%が公募推薦、10.4%が指定校推薦であった。

質問 31. あなたの入試形態を教えてください。(学部生のみ)

図79-1.あなたの入試形態を教えてください。(学部生のみ)
(全体)

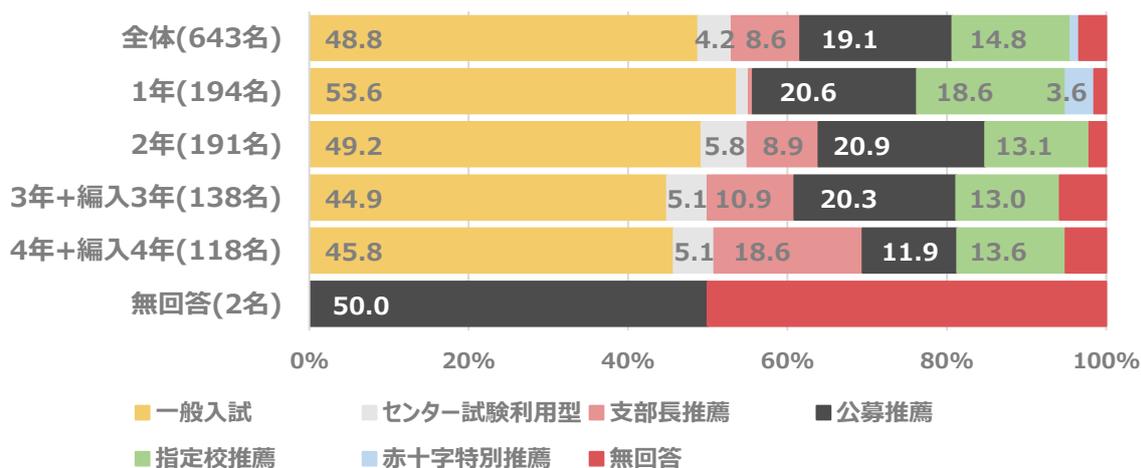


図79-2.あなたの入試形態を教えてください。(学部生のみ)
(看護学部)

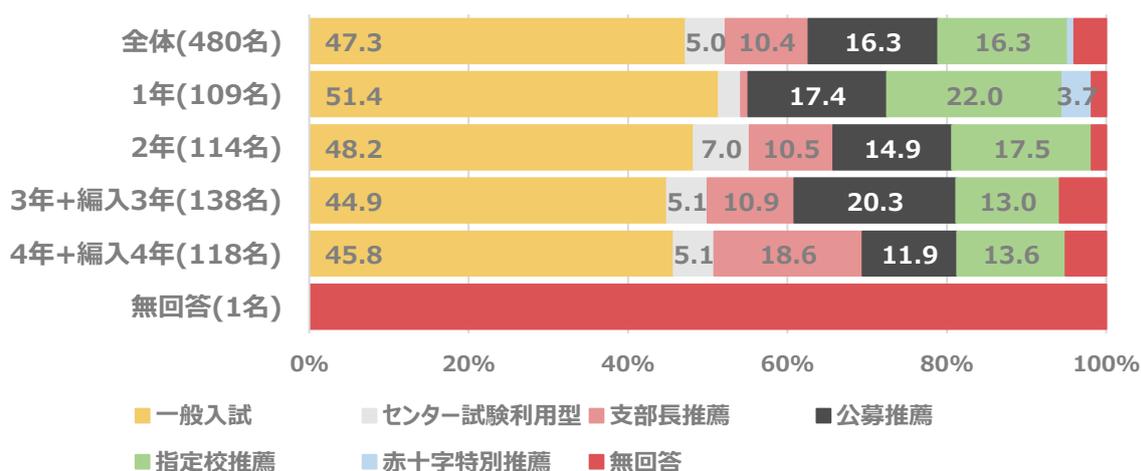
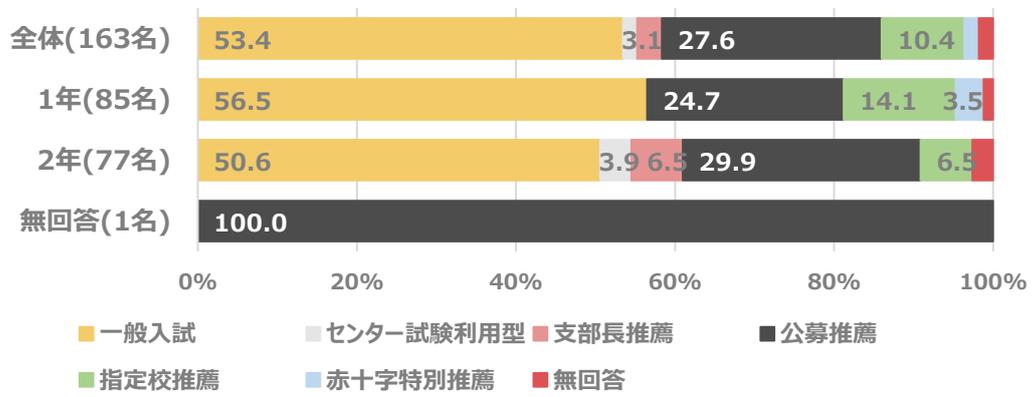


図79-3.あなたの入試形態を教えてください。(学部生のみ)
(さいたま看護学部)



以上

3. 附録（調査表）

＝ 学生の生活実態と満足度に関する調査 ＝

2021 年度版

調査の目的

この調査は、皆さんの現在の生活の実態と満足度を知り、大学生生活をよりよいものにするために行うものです。

前回実施した調査結果と比較してその後どのように変化したのかを探り、今後の皆さんのよりよい環境づくりに活かして行きたいと考えています。そのために学籍番号の記入をお願いしております。本調査の目的以外に調査結果を使用することはありませんし、個人情報をご学外者に提供することもなく、成績評価にも影響しませんので、ありのままをご回答ください。また、調査結果については、後日お知らせいたします。

回答には 30 分程度要しますが、ぜひともご協力をお願いします。

日本赤十字看護大学 学生生活就職支援委員

会

学籍番号

■質問 1 から質問 14 では、皆さんの現在の生活の実態をお聞きします。

質問 1. 現在、住んでいる住居の種類についてお聞きします。下記の項目の中から一つ選んで○をつけてください。

1. 実家
2. 実家以外
 - 1) 下宿
 - 2) アパート・マンション
 - 3) 学生会館
 - 4) 自宅（結婚などして）
3. その他（具体的に)

質問 2. あなたは、現在の住居について満足していますか。下記の中からあてはまるものを一つ選んで○をつけてください。

1. 満足している → (質問 3) へ
2. 満足していない → (質問 2-1) へ
3. どちらともいえない → (質問 3) へ

質問 2-1. **【質問 2 で 2. 満足していない】を選択した方にお聞きします。**

満足していない理由について、該当する項目全てに○をつけてください。

1. 学校から遠い
2. 築年数が古い
3. 狭い
4. 家賃が高い
5. 周囲が騒がしい
6. 安全面で不安がある（具体的に)
7. その他（具体的に)

質問 3. 現在のあなたの 1 ヶ月の平均的な収入 などについてお聞きします。なお、以下の項目は全て学校納付金を除く経済生活とします。各項目について、それぞれあてはまるもの一つを選んで○をつけてください。

A) 家族からの援助額（生活費として）

1. 3万円未満	2. 3万円～6万円未満	3. 6万円～9万円未満
4. 9万円～12万円未満	5. 12万円～15万円未満	6. 15万円～18万円未満
7. 18万円～21万円未満	8. 21万円～24万円未満	9. 24万円～27万円未満
10. 27万円～30万円	11. 30万円以上	

B) 現在受けている奨学金の種類

1. 日本赤十字社医療センター
2. 日本赤十字社都道府県支部および赤十字病院
3. 日本学生支援機構 第一種
4. 日本学生支援機構 第二種
5. その他（具体的に)
6. 受けていない

C) アルバイトによる収入

1. ある → 質問D)へ	2. ない → 質問4)へ
---------------	---------------

D) 授業期間中の1ヶ月のアルバイト収入額はいくらですか。一つだけ選んで○をつけてください。

1. 1万円未満	2. 1万円～2万円未満	3. 2万円～3万円未満
4. 3万円～4万円未満	5. 4万円～5万円未満	6. 5万円～6万円未満
7. 6万円～7万円未満	8. 7万円～8万円未満	9. 8万円～9万円未満
10. 9万円～10万円未満	11. 10万円以上	

E) 職場からの収入

1. ある	2. ない
-------	-------

質問4. 現在のあなたの 1ヶ月の平均的な支出（自分自身に関わる支出のみ）などについてお聞きします。なお、以下の項目は全て学校納付金を除く経済生活とします。各項目について、それぞれあてはまるもの一つを選んで○をつけてください。

A) 食費（自宅通学者は外食費）

1. 1万円未満	2. 1万円～2万円未満	3. 2万円～3万円未満
4. 3万円～4万円未満	5. 4万円～5万円未満	6. 5万円以上

B) 住居費（家賃、光熱水費を含む）<自宅通学者は除く>

1. 3万円未満	2. 3万円～5万円未満	3. 5万円～7万円未満
4. 7万円～9万円未満	5. 9万円～11万円未満	6. 11万円以上

C) 勉学費（学納金を除いた書籍、文具、コピー等に要する経費）

1. 5千円未満	2. 5千円～1万円未満	3. 1万円～1.5万円未満
4. 1.5万円～2万円未満	5. 2万円以上	

D) 通学費

1. 0円	2. 1～5千円未満	3. 5千円～1万円未満
4. 1万円～1.5万円未満	5. 1.5万円～2万円未満	6. 2万円以上

E) 教養・娯楽 (CD・DVD・本・コンサートなど)

1. 5千円未満	2. 5千円～1万円未満	3. 1万円～1.5万円未満
4. 1.5万円～2万円未満	5. 2万円以上	

F) 嗜好品費 (煙草・酒・レジャーなど)

1. 5千円未満	2. 5千円～1万円未満	3. 1万円～1.5万円未満
4. 1.5万円～2万円未満	5. 2万円以上	

G) 習い事の費用 (英会話・ダンス・茶道・華道など)

1. 5千円未満	2. 5千円～1万円未満	3. 1万円～1.5万円未満
4. 1.5万円～2万円未満	5. 2万円以上	

H) 通信費 (携帯電話・インターネット契約、接続料等を含む)

1. 1千円未満	2. 1千円～5千円未満	3. 5千円～1万円未満
4. 1万円～1.5万円未満	5. 1.5万円～2万円未満	6. 2万円～2.5万円未満
7. 2.5万円～3万円未満	8. 3万円～3.5万円未満	9. 3.5万円～4万円未満
10. 4万円～4.5万円未満	11. 4.5万円～5万円未満	12. 5万円以上

I) 総支出額 (A)～H) を加算したもの。学校納付金を除く。

1. ～3万円未満	2. 3万円～6万円未満	3. 6万円～9万円未満
4. 9万円～12万円未満	5. 12万円～15万円未満	6. 15万円～18万円未満
7. 18万円～21万円未満	8. 21万円～24万円未満	9. 24万円～27万円未満
10. 27万円～30万円未満	11. 30万円以上～	

質問5. アルバイトの状況について、質問3のC)で「ある」と回答した学生にお聞きします。

下記のA)～G)の各項目について、それぞれお答えください。

A) 入学以来、アルバイトをどのようにしていましたか。一つだけ選んで○をつけてください。

1. 長期休暇のみ	2. 授業期間中ときどき	3. 授業期間いつも
4. 授業、実習期間いつも	5. 長期休暇中及び授業期間いつも	
6. その他 (具体的に)		

B) アルバイトの目的はなんですか。該当する項目全てに○をつけてください。

1. 学費及び勉学費を得る	2. 生活費を得る
3. クラブ活動・習い事等の費用を得る	4. 娯楽・嗜好品費を得る
5. 高額商品を購入する	6. 社会勉強
7. 友人を作る	8. 時間が空いているため
9. 通信費	
10. その他 (具体的に)	

【C)～F)は、授業期間中にアルバイトをしたことのある学生への質問です。授業期間中にはアルバイトをしたことがない学生は、G)に進んでください。】

C) 授業期間中の1週間の平均アルバイト日数はどのくらいですか。一つだけ選んで○をつけてください。

1. 1日	2. 2～3日	3. 4～5日	4. 6～7日
-------	---------	---------	---------

D) 授業期間中の1回の平均アルバイト時間はどのくらいですか。一つだけ選んで○をつけてください。

1. 2時間未満	2. 2時間～3時間未満	3. 3時間～4時間未満
4. 4時間～5時間未満	5. 5時間～6時間未満	6. 6時間以上
7. その他 ()		

E) 授業期間中の1時間あたりの平均アルバイト賃金はどのくらいですか。一つだけ選んで○をつけてください。

1. ～ 799円	2. 800～ 999円	3. 1,000～1,199円
4. 1,200～1,399円	5. 1,400～1,599円	6. 1,600～1,799円
7. 1,800～1,999円	8. 2,000円～ [具体的に 円]	

F) 授業期間中のアルバイトについて、該当する項目全てに○をつけてください。

1. 家庭教師・塾講師	2. 事務職種	3. 販売業 (レジなど)
4. 接客業 (ウェイター・ウェイトレスなど)		
5. 医療職 (具体的に)		
6. その他 (具体的に)		

【G)は、長期休暇中にアルバイトをしたことのある学生への質問です。長期休暇中にはアルバイトをしたことがない学生は、質問6に進んでください。】

G) 長期休暇中のアルバイトについて、該当する項目全てに○をつけてください。

1. 家庭教師・塾講師	2. 事務職種	3. 販売業 (レジなど)
4. 接客業 (ウェイター・ウェイトレスなど)		
5. 医療職 (具体的に)		
6. その他 (具体的に)		

【全員の学生にお聞きします。】

146 質問6. あなたは、現在、課外活動 (学内外) に参加していますか。(○は一つ)

1. 加入し、活動している	}	(問6-1)へ
2. 加入のみで、活動していない		
3. 以前加入していたがやめた→	(質問6-1) および (6-2) へ	
4. 最初から加入していない →	(質問6-3) へ	

質問6-1. **「質問6」で1～3と回答した学生にお聞きします。**

課外活動について下記の＜A～C＞の各項目についてそれぞれ回答してください。

A) 加入している（していた）学内課外活動に○をつけてください。

- | | | |
|---------------------------|-----------------------|----------------|
| 1. 総合音楽サークル | 2. 手話サークル CLAP | |
| 3. NACEF | 4. 災害救護ボランティアサークル SKV | |
| 5. EFC ボランティアサークル | 6. 日赤 6 大学交流サークル | |
| 7. ARP～All Round Players～ | 8. 日赤テニス部 | 9. Arrosoir |
| 10. IKAN 室内楽アンサンブル部 | 11. 学生部会（図書部の部会も含む） | 12. C h u m |
| 13. KUD | 14. アウトドアサークル | 15. バドミントンサークル |
| 16. 青春しわくちや☆クラブ | 17. クロアルージュ・カフェ | |

B) 加入している（していた）学外のサークル・同好会・ボランティアの活動内容について、該当する項目全てに○をつけてください。

1. スポーツ系（具体的に：	）
2. 文化系（具体的に：	）
3. 社会への貢献（例：手話ボランティア、被災地への貢献、学童へのサポート）	
（具体的に：	）
4. その他（具体的に：	）

C) 課外活動に参加した目的は何ですか。該当する項目全てに○をつけてください。

1. 友人を得るため	2. 知識・教養・技術等を身につけるため
3. 人格形成のため	4. 興味・関心があったから
5. 楽しむため	6. 健康増進のため
7. その他（具体的に	）

D) クラブ活動（課外活動）時間は週平均してどのくらいですか。

1. 1 時間未満	2. 1 時間～2 時間未満	3. 2 時間～3 時間未満
4. 3 時間～4 時間未満	5. 4 時間～5 時間未満	6. 5 時間～6 時間未満
7. 6 時間以上		

質問6-2. **「質問6で3. 以前加入していたがやめた」と回答した学生にお聞きします。**

課外活動を途中でやめた主な理由を一つ選んで○をつけてください。

1. 課外活動に興味がなくなった	
2. 課外活動の方針への不満や人間関係上のトラブル	
3. 学業と両立しない	4. アルバイトがあるから
5. 通学時間が長いから	
6. その他（	）

質問6-3. **「質問6で4. 最初から加入していない」と回答した学生にお聞きします。**

課外活動に参加したことのない、主な理由を一つ選んで○をつけてください。

1. 課外活動に興味が無い	2. 興味ある課外活動がない
3. 学業と両立しない	4. アルバイトがあるから
5. 通学時間が長いから	
6. その他（	）

【全員の学生にお聞きします。】

質問6-4. 以下のA)～C)についてそれぞれお答えください。

A) 本年度の夏期休暇の主な行動について、該当する項目全てに○をつけてください。

1. 国内旅行	2. 海外旅行	3. 自動車等の免許の取得
4. 合宿	5. 研究や勉強	6. アルバイト
7. ボランティア活動		
8. その他(具体的に)	

B) 大学入学以来、技術や資格等の獲得のために学外の学校に通ったことがありますか。

(○は一つ)

1. ある → (B-1)へ	2. ない → (C)へ
----------------	--------------

B-1) **【B)で1. ある】と回答した学生にお聞きします。**

学外の学校でどのような講座を受講しましたか。下記の講座で該当する項目全てに○をつけてください。

1. 語学	2. スポーツ・エアロビクス・ダンス等
3. 各種資格の予備校(資格名:)
4. 茶道・華道	5. 料理
6. 音楽	
7. その他(具体的に)

【全員の学生にお聞きします。】

C) 現在大学で主催している課外教育プログラムも含めて、今後どのようなプログラムを希望しますか。最も希望するものを一つ選んで○をつけてください。

1. 教養講座等の講演会	2. スポーツ講習会等
3. 海外研修	4. 救急法の講習会
5. その他(具体的に)

質問7. 学期中の平日(月～金曜日)1日の生活時間についてお聞きします。

A)～E)の項目毎に、それぞれあてはまるものを一つ選んで○をつけてください。

A) 睡眠時間は

A-1) 実習がない期間

1. 3時間未満	2. 3時間～時間未満	3. 4時間～5時間未満
4. 5時間～6時間未満	5. 6時間～7時間未満	
6. 7時間～8時間未満	7. 8時間以上	

A-2) 実習期間中

1. 3時間未満	2. 3時間～時間未満	3. 4時間～5時間未満
4. 5時間～6時間未満	5. 6時間～7時間未満	
6. 7時間～8時間未満	7. 8時間以上	

B) 学習時間は

B-1) 普段時 (実習がない期間)

(1)-1 専門科目

1. 30分未満	2. 30分～1時間未満	3. 1時間～2時間未満
4. 2時間～3時間未満	5. 3時間以上	

(1)-2 上で「30分未満」「30分～1時間未満」と回答した人にお尋ねします。

その理由として最も当てはまるのはどれですか。

1. 勉強の仕方がわからないから	2. アルバイトで忙しいから
3. サークルが忙しいから	4. 家庭の事情で忙しいから
5. やる気がないから	5. テスト前にすればよいから
7. 授業のみで十分理解できているから	
8. 人間関係のことで手がつかないから	9. その他

(2)-1 基礎教養科目

1. 30分未満	2. 30分～1時間未満	3. 1時間～2時間未満
4. 2時間～3時間未満	5. 3時間以上	

(2)-2 上で「30分未満」「30分～1時間未満」と回答した人にお尋ねします。

その理由として最も当てはまるのはどれですか。

1. 勉強の仕方がわからないから	2. アルバイトで忙しいから
3. サークルが忙しいから	4. 家庭の事情で忙しいから
5. やる気がないから	5. テスト前にすればよいから
7. 授業のみで十分理解できているから	
8. 人間関係のことで手がつかないから	9. その他

B-2) 実習がある期間

1. 30分未満	2. 30分～1時間未満	3. 1時間～2時間未満
4. 2時間～3時間未満	5. 3時間以上	

C) 自由時間 (TV・音楽・電話等) は

1. 1時間未満	2. 1時間～2時間未満	3. 2時間～3時間未満
4. 3時間～4時間未満	5. 4時間以上	

D) 通学時間 (片道) は

1. 30分未満	2. 30分～60分未満	3. 60分～90分未満
4. 90分～120分未満	5. 120分以上	

質問8. 健康状態についてお聞きします。下記の項目から最もあてはまるものを一つ選んで○をつけてください。

1. いつも好調で、異常を感じない
2. 1年に1～2回風邪をひく程度
3. 3ヶ月に1～2回は病気によって欠席することがある
4. 1ヶ月に1～2回は病気によって欠席することがある
5. 常に疲労感や不調を感じている
6. 治療している病気がある (具体的に)
7. その他 (具体的に)

質問 9. 食生活についてお聞きします。

A) 朝食は食べていますか。

1. ほとんど毎日食べている。 2. ときどき食べている。 3. ほとんど食べていない。

B) 昼食は食べていますか。

1. ほとんど毎日食べている。 2. ときどき食べている。 3. ほとんど食べていない。

C) 夕食は食べていますか。

1. ほとんど毎日食べている。 2. ときどき食べている。 3. ほとんど食べていない。

質問 10. 入学してから今までに、悩みや不安はありましたか。

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. あった (ある) | → (質問 10-1) へ |
| 2. なかった (ない) | → (質問 11) へ |

質問 10-1. 【質問 10 で 1. あった (ある)】と回答した学生にお聞きします。

A) どんな悩みや不安がありましたか (ありますか)。下記で該当する項目全てに○を
してください。

- | | |
|------------------|----------------|
| 1. 看護師・助産師としての適性 | 2. 学業に関する能力的問題 |
| 3. 健康について | 4. 人生観について |
| 5. 将来の進路 | 6. 友人との人間関係 |
| 7. 異性問題 | 8. 家族や家庭内のこと |
| 9. 経済的な問題 | 10. 課外活動 |
| 11. その他 (具体的に |) |

B) その悩みや不安を誰に相談しましたか。下記の項目のなかで最もあてはまるものを
一つ選んで○をつけてください。

- | | | |
|-------------|--------------|-------|
| 1. 誰にも相談しない | 2. 友人 | 3. 家族 |
| 4. 大学の教職員 | 5. 恩師や先輩 | |
| 6. カウンセラー | 7. その他 (具体的に |) |

【全員の学生にお聞きします。】

質問 11. 大学の学生相談室を、あなたは利用したことがありますか。

- | | |
|---------|------------|
| 1. 利用した | 2. 利用していない |
|---------|------------|

質問 12. 今後、学生相談室をあなたは利用したいと思えますか。あてはまるもの1つを選んで
○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|---|
| 1. 利用したい | |
| 2. 利用したいがちゅうちょする (その理由: |) |
| 3. 利用したくない | |
| 4. わからない | |

質問 13. 次に大学生生活についてお聞きします。

A) 本学を選んだ理由は何ですか。該当する項目全てに○をつけてください。

1. 大学の特色 (教育内容や専攻分野など)	2. 奨学金制度が充実しているから
3. 就職や将来のことを考えて	4. 大学の立地条件が良いため
5. 周囲のアドバイス	
6. その他 (具体的に)	

B) 本学に入学してよかったと思いますか。最もあてはまるもの一つに○をつけてください。

1. よかったと思う (具体的な理由:)
2. よかったとはいえない (具体的な理由:)
3. どちらともいえない (具体的な理由:)

C) 本学での勉学を続けることについてどのように考えていますか。最もあてはまるものを一つ選んで○をつけてください。

1. このまま勉学を続ける	2. 他の看護系大学へ転学したい
3. 看護系以外の専攻に変更したい	4. その他

D) あなたの学生生活は**充実**していますか。最もあてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

1. とても充実している	2. やや充実している	3. どちらともいえない
4. あまり充実していない	5. まったく充実していない	

E) 大学生活の中であなたが大切だと思っていることは何ですか。

主なもの2つ以内で選んで○をつけてください。

1. 専門的知識や技術を習得する	2. 教養を深める
3. クラブ・サークル等で活躍する	4. 自由を満喫する
5. 交友関係	6. その他 (具体的に)

F) 大学に対して特に期待や要望することについて、下記の項目の中から**3つ以内**で選んで○をつけてください。

1. 教授陣の充実
2. カリキュラムの改善
3. 授業内容の改善
4. 講演会、教養講座等課外教育プログラムの充実
5. 正課関連施設・設備 (例えば、教室や図書館など) の改善
6. 福利厚生施設・設備 (例えば、食堂やロッカー室など) の改善
7. 課外活動施設・設備 (例えば、部室や自治会室など) の改善
8. 奨学金・貸付金・融資資金等の充実
9. 学生の就職指導の充実
10. その他 (具体的に)
11. 特にない

G) あなたが上でとりあげた項目の具体的な内容について教えてください。1つの項目についてでも結構です。

--

質問 14. 卒業後の進路（希望も含む）についてお聞きします。以下の項目の中で最もあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

- | |
|-------------------------|
| 1. 病院等に就職 → (質問 14-1) へ |
| 2. 企業・自治体に就職 |
| 3. 大学院に進学 → (質問 14-2) へ |
| 4. 他大学に進学 |
| 5. 助産師学校に進学 |
| 6. 教育機関（養護教員などを含む）に就職 |
| 7. 保健所・保健センターに就職 |
| 8. 外国に留学 |
| 9. 専業主婦（夫） |
| 10. まだ決めていない・わからない |
| 11. その他（具体的に _____） |

質問 14-1. **【質問 14 で 1. 病院等に就職】したいと回答した学生にお聞きします。**

どのような病院に就職したいと思っていますか。以下の中から1つだけ選んで○をつけてください。

- | | |
|-----------|--------------------|
| 1. 日赤系の病院 | 2. 国公立の病院 |
| 3. 大学病院 | 4. その他の病院 |
| 5. 診療所 | 6. その他（具体的に _____） |

質問 14-2. **【質問 14 で 3. 大学院に進学】したいと回答した学生にお聞きします。**

どの大学院に進学したいと思っていますか。以下の中から1つだけ選んで○をつけてください。

- | | |
|-------|----------------------|
| 1. 本学 | 2. 本学以外(その理由: _____) |
|-------|----------------------|

■質問 15～質問 29 では、学生生活に関する満足度をお聞きします。

質問 15. (クラス担当教員(看護学部)/学生担当教員(さいたま看護学部))による支援に満足していますか。最もあてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- | | | |
|---------------|----------------|--------------|
| 1. とても満足している | 2. やや満足している | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり満足していない | 5. まったく満足していない | |

質問 16. 保健室による支援に満足していますか。最もあてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- | | | |
|---------------|----------------|--------------|
| 1. とても満足している | 2. やや満足している | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり満足していない | 5. まったく満足していない | |

質問 17. 学生相談室による支援に満足していますか。最もあてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- | | | |
|---------------|----------------|--------------|
| 1. とても満足している | 2. やや満足している | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり満足していない | 5. まったく満足していない | |

質問 18. 奨学金等の経済的支援の整備に満足していますか。最もあてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- | | | |
|---------------|----------------|--------------|
| 1. とても満足している | 2. やや満足している | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり満足していない | 5. まったく満足していない | |

質問 19. 事務局による事務職員の対応や支援に満足していますか。最もあてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- | | | |
|---------------|----------------|--------------|
| 1. とても満足している | 2. やや満足している | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり満足していない | 5. まったく満足していない | |

質問 20. 図書館の利用に関する支援に満足していますか。最もあてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- | | | |
|---------------|----------------|--------------|
| 1. とても満足している | 2. やや満足している | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり満足していない | 5. まったく満足していない | |

質問 21. 生協や食堂または自動販売機（食品販売機）のサービスに満足していますか。最もあてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- | | | |
|---------------|----------------|--------------|
| 1. とても満足している | 2. やや満足している | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり満足していない | 5. まったく満足していない | |

質問 22. 課外活動（部活・サークル・学園祭）に関する支援に満足していますか。最もあてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- | | | |
|---------------|----------------|--------------|
| 1. とても満足している | 2. やや満足している | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり満足していない | 5. まったく満足していない | |

質問 23. ハラスメント防止のための大学の体制や支援に満足していますか。最もあてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- | | | |
|---------------|----------------|--------------|
| 1. とても満足している | 2. やや満足している | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり満足していない | 5. まったく満足していない | |

質問 24. 国際交流・留学に関する支援に満足していますか。最もあてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- | | | |
|---------------|----------------|--------------|
| 1. とても満足している | 2. やや満足している | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり満足していない | 5. まったく満足していない | |

質問 25. 就職・キャリアに関する支援に満足していますか。最もあてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- | | | |
|---------------|----------------|--------------|
| 1. とても満足している | 2. やや満足している | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり満足していない | 5. まったく満足していない | |

質問 26. 国家試験に関する支援に満足していますか。最もあてはまるものを1つ選んで○をつけてください。さいたま看護学部生は、国家試験に関する支援に該当しないため、「6」を選択してください。

- | | | |
|---------------|----------------|--------------|
| 1. とても満足している | 2. やや満足している | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり満足していない | 5. まったく満足していない | 6. 該当なし |

質問 27. 学生からの要望を即時的に聞き取るシステム（目安箱）に満足していますか。最もあてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- | | | |
|---------------|----------------|--------------|
| 1. とても満足している | 2. やや満足している | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり満足していない | 5. まったく満足していない | |

質問 28. 全般的に施設・設備に満足していますか。最もあてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- | | | |
|---------------|----------------|--------------|
| 1. とても満足している | 2. やや満足している | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり満足していない | 5. まったく満足していない | |

質問 29. 全般的に学生生活に満足していますか。最もあてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- | | | |
|---------------|----------------|--------------|
| 1. とても満足している | 2. やや満足している | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり満足していない | 5. まったく満足していない | |

最後に、あなたご自身についてお聞きします。

F 0. あなたのキャンパスは：

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. 広尾（看護学部・修士／博士） | 2. 大宮（さいたま看護学部） |
|-------------------|-----------------|

F 1. あなたの学年は：

- | | | | | | |
|--------------------------|---------|-------|---------|-------------|---------------|
| 1. 1年 | 2. 2年 | 3. 3年 | 4. 編入3年 | | |
| 5. 4年 | 6. 編入4年 | | | | |
| 7. 大学院修士（看護学専攻）1年 | | | | | |
| 8. 大学院修士（看護学専攻）2年以上 | | | | | |
| 9. 大学院修士（国際保健助産学専攻）1年 | | | | | |
| 10. 大学院修士（国際保健助産学専攻）2年以上 | | | | | |
| 11. 大学院博士1年 | | | | 12. 大学院博士2年 | 13. 大学院博士3年以上 |
| 14. 大学院（共同災害看護学専攻） | | | | | |

F 2. あなたの高校の所在地（都道府県名）は：

- | | | |
|--------|--------------|--------|
| 1. 東京都 | 2. 神奈川県 | 3. 埼玉県 |
| 4. 千葉県 | 5. 茨城県 | 6. 群馬県 |
| 7. 栃木県 | 8. その他（都道府県名 | ） |

F 3. あなたの入試形態を教えてください。（学部生のみ）

- | | | | |
|----------|--------------|----------|------------|
| 1. 一般入試 | 2. センター試験利用型 | | |
| 3. 支部長推薦 | 4. 公募推薦 | 5. 指定校推薦 | 6. 赤十字特別推薦 |